
「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
基 礎 調 査 報 告 書

平成 2 7 年 1 0 月

船 橋 市

目 次

《本報告書を読む際の注意事項》	1
-----------------	---

船橋市 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査

I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査時期	3
5. 調査票の回答状況	3
6. 設問概要	3
II 調査のポイント	4
1. 将来の居住動向	4
2. 結婚の状況及び出産・子育ての意向等（既婚者）	5
3. 結婚及び出産・子育ての意向等（独身者）	9
4. 地方への移住に関する意向等	10
III 調査結果（詳細）	11
1. 属性	11
2. 将来の居住動向	12
(1) 船橋市外に居住している可能性	12
(2) 船橋市から転居する見通しの理由	14
(3) 転居したい先（転居予定先）	16
3. 結婚の状況及び出産・子育ての意向等（既婚者）	18
(1) 結婚した年齢	18
(2) 初婚・再婚の別	19
(3) 出産・子育ての意向等	21
1) 現在の子どもの人数	21
2) 理想的な子どもの人数	23
3) 今後持つつもりの子どもの人数	25
4) 最終的に持つつもりの子どもの人数	28
5) 希望出生率	30
6) 今後持つつもりの子どもの数が持てない場合の原因	31
7) 今後持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由	33

(4) 親世代との同居・手助けの有無	35
1) 親世代との同居の有無	35
2) 親世代の手助けの有無	37
3) 親世代との同居・近居の希望	39
(5) 船橋市の子育て環境の安全・安心面の評価	41
(6) 不妊及び不妊治療	43
1) 不妊に関する不安や悩みの有無	43
2) 不妊治療の経験の有無	45
4. 結婚及び出産・子育ての意向等（独身者）	48
(1) 現在独身でいる理由	48
(2) 今後の結婚の意向	51
1) 結婚の意向	51
2) 結婚したい年齢層	53
(3) 理想とする子どもの人数	55
5. 地方への移住に関する意向等	57
(1) 地方への移住希望	57
(2) 地方へ移住するタイミング	59
(3) 地方へ移住したい理由	61
6. 結婚・出産・子育てに関するご意見等	64

転出入者アンケート調査

I 調査概要	70
1. 調査の目的	70
2. 調査の対象	70
3. 調査方法	70
4. 調査の時期	70
5. 調査票の回答状況	70
6. 設問概要	70
II 調査結果のポイント	71
1. 転出後・転入前の居住地	71
2. 転出入のきっかけ	72
3. 船橋市の居住環境の評価	73
4. 転出入先として検討した市区町村	74
(1) 転出者	74
(2) 転入者	75
5. 転出者の再移住の意向	76

III 転出者アンケート調査結果（詳細）	77
1. 属性	77
2. 転出動向	78
(1) 転出前の船橋市の居住地区	78
(2) 転出後の居住地	79
(3) 転出のきっかけ	80
(4) 転出前後の住居形態	86
(5) 転出前後の家族構成	88
(6) 船橋市と転出後の居住地の評価	91
(7) 検討した転出先	99
(8) 船橋市の住みやすさの評価	102
(9) 住みやすかった・住みにくかった理由	104
1) 住みやすかった理由	104
2) 住みにくかった理由	107
(10) 船橋市への再移住の意向	109
(11) 船橋市のまちづくりへの自由意見	111
IV 転入者アンケート結果（詳細）	114
1. 属性	114
2. 転入動向	115
(1) 船橋市の居住地区	115
(2) 転入前の居住地	116
(3) 転入のきっかけ	117
(4) 転入前後の住居形態	126
(5) 転入前後の家族構成	128
(6) 船橋市と転入前の居住地の評価	131
(7) 検討した転入先の有無	139
(8) 検討した転入先	141
(9) 船橋市に転入を決めた理由	142
(10) 船橋市の住みやすさの評価	145
(11) 船橋市の定住意向	147
(12) 船橋市のまちづくりへの自由意見	151

調 査 票

I 船橋市 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査	153
II 転出入者アンケート調査	161
1. 転出者向けアンケート調査票	161
2. 転入者向けアンケート調査票	165

《本報告書を読む際の注意事項》

- ・ 表中の比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。
- ・ 複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。
- ・ 本文中の「n」は、設問に対する有効回答件数を意味する。
- ・ 本文中の「SA」、「MA」、「FA」は以下の略称である。
「S A」(Single Answer):単一回答形式(選択肢のなかから1つを選択)
「MA」(Multiple Answer):複数回答形式(選択肢のなかから複数を選択)
「F A」(Free Answer):自由回答形式(文字や数値を回答欄に記述)
- ・ 有効回答件数が25件以下の項目は、標本誤差率が20.0%を上回るため、分析の対象外とする。

《参考》本調査における標本誤差率

回収数 (サンプル数) (件)	回答の比率				
	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,273	± 1.7 %	± 2.2 %	± 2.6 %	± 2.7 %	± 2.8 %
1,000	± 1.9 %	± 2.5 %	± 2.9 %	± 3.1 %	± 3.2 %
500	± 2.7 %	± 3.6 %	± 4.1 %	± 4.4 %	± 4.5 %
300	± 3.5 %	± 4.6 %	± 5.3 %	± 5.7 %	± 5.8 %
100	± 6.0 %	± 8.0 %	± 9.2 %	± 9.8 %	± 10.0 %
50	± 8.5 %	± 11.3 %	± 13.0 %	± 13.9 %	± 14.1 %
40	± 9.5 %	± 12.6 %	± 14.5 %	± 15.5 %	± 15.8 %
30	± 11.0 %	± 14.6 %	± 16.7 %	± 17.9 %	± 18.3 %
25	± 12.0 %	± 16.0 %	± 18.3 %	± 19.6 %	± 20.0 %
20	± 13.4 %	± 17.9 %	± 20.5 %	± 21.9 %	± 22.4 %
10	± 19.0 %	± 25.3 %	± 29.0 %	± 31.0 %	± 31.6 %

(表の見方)

例えば、ある設問の回答者数が300人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が60%であった場合、95%の確率で、その回答比率の誤差の範囲は±5.7%以内(54.3%～65.7%)となる。

船橋市 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査

I 調査概要

1. 調査の目的

船橋市民の結婚・出産・子育てに関する意向等を明らかにし、若い世代の希望を実現した場合の出生率（市民希望出生率）を算出し、人口の将来展望に活用するほか、結婚・出産・子育ての障害になっている事象を分析し、希望を実現するために効果的な施策を検討するための基礎資料とする。

2. 調査の対象

船橋市内に居住している18～49歳の男女5,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

3. 調査方法

郵送配布・郵送回収

4. 調査時期

平成27年7月1日（月）～21日（火）

5. 調査票の回答状況

- ・ 設計標本数：5,000人〔18～34歳／2,800人、35～49歳／2,200人〕
- ・ 有効回答数：1,273人
- ・ 有効回答率：25.5%

6. 設問概要

設問の概要は以下の通り。

①属性	持つつもりの子どもの人数
性別	今後持つつもりの子どもの持てない理由
年齢	持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由
居住地	親世代との同居・手助けの有無（3歳未満）
出身地	親世代との同居・近居の希望
転入の有無	船橋市の子育て環境の評価
居住形態	不妊に関する不安や悩みの有無
同居者（家族）	不妊治療の経験の有無
職業	
勤務地・通学地	④結婚の状況及び出産・子育ての意向等（独身者）
勤務地・通学地までの所要時間	独身でいる理由
②将来の居住動向	結婚の意向
船橋市外に居住している可能性	結婚したい年齢層
転居理由	理想とする子どもの人数
転居したい先（転居予定先）	⑤地方への移住に関する意向等
③結婚の状況及び出産・子育ての意向等（既婚者）	地方への移住希望
結婚した年齢	地方へ移住するタイミング
初婚・再婚の別	地方へ移住したい理由
現在の子どもの人数	⑥結婚・出産・子育てに関するご意見等
理想的な子どもの人数	結婚・出産・子育てに関するご意見等
今後持つつもりの子どもの人数	

II 調査のポイント

1. 将来の居住動向

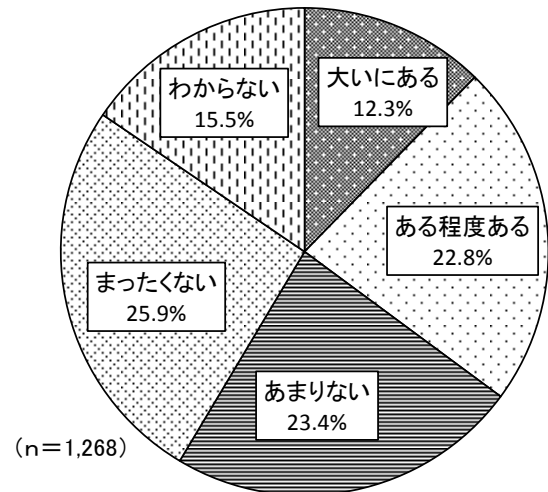
○ 市民の 35.1%は 5 年後に船橋市外に居住している可能性あり。

5 年後に船橋市外に居住している可能性についてみると、「大いにある」は 12.3%となっており、「ある程度ある (22.8%)」を合わせると 35.1%が「ある」と回答した (図表 1)。

年齢層別にみると、「20～24 歳」の「ある」計 (大いにある+ある程度ある) が 63.5%で最も多く、「40～44 歳」は「ない」計 (あまりない+まったくない) が 65.7%で最多であった。

船橋市から転居したい先 (転居予定先) をみると (「具体的な場所は未定」を除く)、「千葉県内の他の市町村 (23.8%)」と「東京都 (21.8%)」が拮抗している

図表 1 船橋市外に居住している可能性

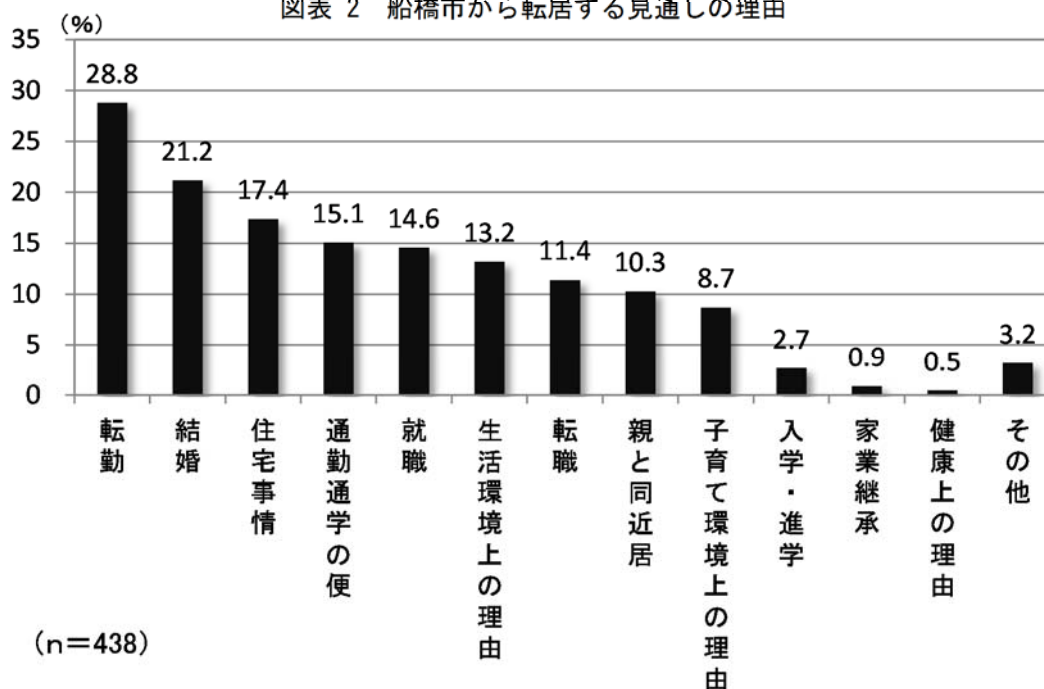


○ 転居理由のトップ 3 は「転勤」、「結婚」及び「住宅事情」。

船橋市から転居する見通しの理由は、「転勤」が 28.8%で最も多く、「結婚 (21.2%)」、「住宅事情 (17.4%)」が続いている (図表 2)。

年齢層別にみると、「20～24 歳」は「就職 (51.2%)」、「25～29 歳」は「結婚 (29.4%)」、「30～34 歳」から「40～44 歳」までは「転勤」、「45～49 歳」は「住宅事情 (34.8%)」がそれぞれ最多であった。

図表 2 船橋市から転居する見通しの理由



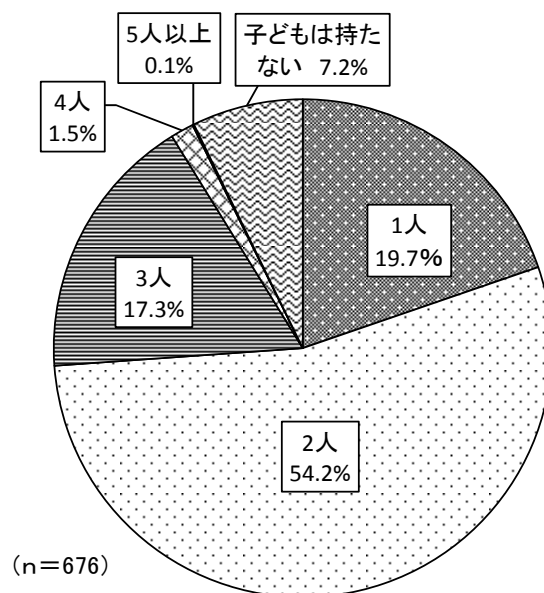
2. 結婚の状況及び出産・子育ての意向等（既婚者）

- 夫婦の予定している子どもの人数（平均値）は1.87人。
- 予定している子どもの人数が持てない場合の理由のトップ3は「健康上の理由」、「保育所不足」及び「収入面の不安」。

最終的に持つつもりの子どもの人数（構成比）は、図表3 最終的に持つつもりの子どもの人数「2人」が54.2%で最も多く、「1人（19.7%）」、「3人（17.3%）」が続いている。「子どもは持たない」は7.2%であった（図表3）。

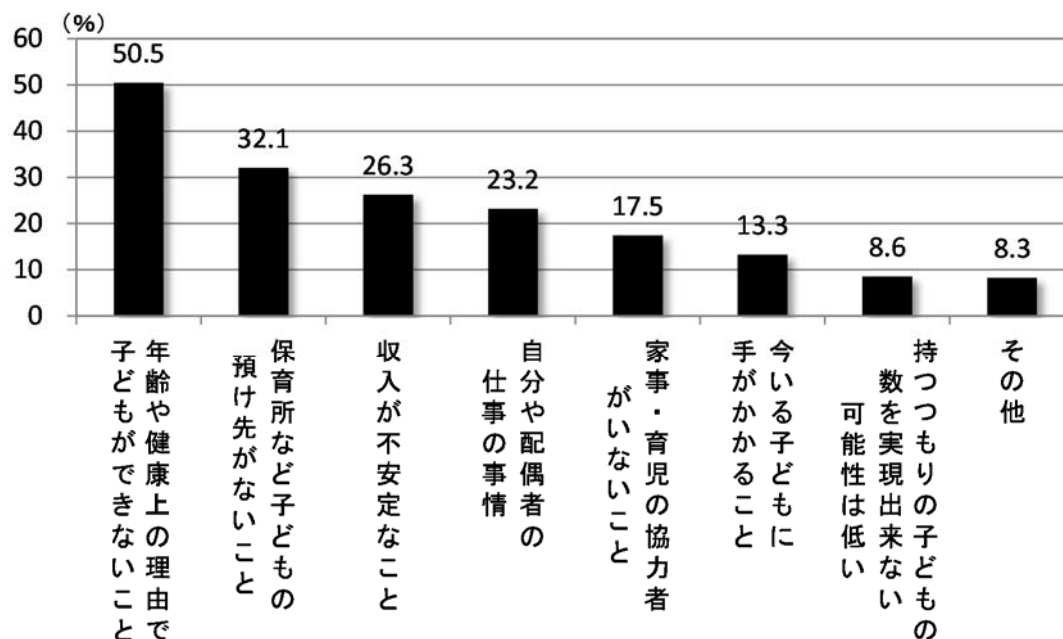
今後持つつもりの子どもの数が持てない場合の原因は、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が50.5%で最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先がないこと（32.1%）」、「収入が不安定なこと（26.3%）」の順となっている（図表4）。なお、「持つつもりの子どもの数を実現できない可能性は低い」は8.6%に留まっている。

年齢層別にみると、「25～29歳」は「保育所など子どもの預け先がないこと」が36.0%で最も多く、「30～34歳」以上は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」がそれぞれ最多となっている。



最終的に持つつもりの子どもの人数の平均値	1.87人
----------------------	-------

図表4 今後持つつもりの子どもの数が持てない場合の原因



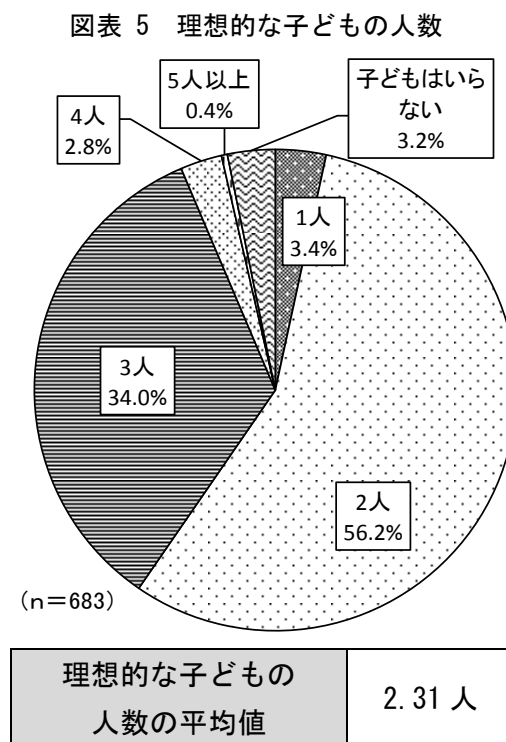
(n=315)

- 夫婦の理想的な子どもの人数（平均値）は 2.31 人。
- 予定している子どもも人数が理想的な子どもの人数より少ない理由のトップ 3 は、「子育てや教育費の負担感」、「ほしいけれどもできない」及び「健康上の理由」

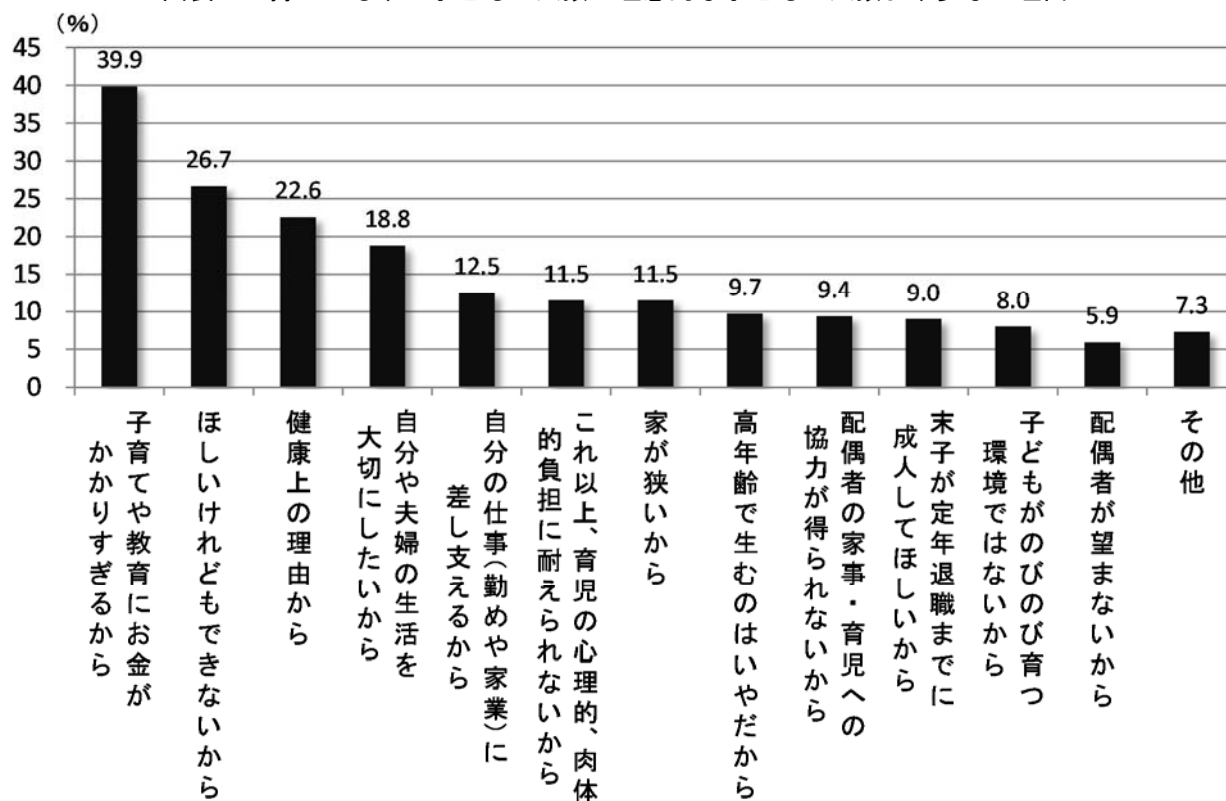
理想的な子どもの人数（構成比）は、「2 人」が 56.2%で最も多く、「3 人（34.0%）」、「1 人（3.4%）」が続いている。「子どもはいらない」は 3.2%であった（図表 5）。

今後持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 39.9%で最も多く、「ほしいけれどもできないから（26.7%）」、「健康上の理由から（22.6%）」が続いている（図表 6）。

年齢層別にみると、「30～34 歳」から「40～44 歳」までは、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がそれぞれ最も多く、「45～49 歳」は「ほしいけれどもできないから（38.6%）」が最多であった。



図表 6 持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由



(n=288)

○ 市民の希望出生率は 1.73（参考：国民希望出生率 1.8 程度）

今回のアンケート結果の数値を用いて算出した船橋市の希望出生率は 1.73 であった（【参考】まち・ひと・しごと創生本部が前提としている国民希望出生率^{（注1）}は 1.8 程度）（図表 7）。なお、本市の平成 26 年の合計特殊出生率は 1.36 であり、希望出生率より、0.37 ポイント低水準となっている。

図表 7 希望出生率の算式

$$\begin{aligned} \text{希望出生率} &= \{(\text{有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定子ども数}) + (\text{独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \times \text{独身者の希望子ども数})\} \times \text{離死別等の影響} \\ &= \{(33.0\% \times 1.87) + (67.0\% \times 90.3\% \times 2.03)\} \times 0.938 = \underline{1.73} \end{aligned}$$

《基礎数値》

項目	国	船橋市	備考
①有配偶者割合	34%	37%	総務省統計局「国勢調査」（平成 22 年）における 18～34 歳の有配偶者の割合
②独身者割合	66%	63%	1－有配偶者割合
③独身者のうち結婚を希望する者の割合	89%	90.3%	18～34 歳の独身者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合
④夫婦の予定子ども数	2.07 人	1.87 人	夫婦の平均予定子ども数
⑤独身者の希望子ども数	2.12 人	2.03 人	18～34 歳の独身者（「いずれ結婚するつもり」と答えた者）の平均希望子ども数
⑥離死別等の影響	0.938		離別、死別の影響のことで、社人研の仮定値（0.938）を本推計でも仮定値とした。

※「船橋市 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査（平成 27 年 7 月実施）」の回答データ（既婚者：18～49 歳、未婚者 18～34 歳）をもとに算出（まち・ひと・しごと創生本部が前提としているデータと同じ手法）。

※国の③～⑤は、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」（第 14 回、平成 22 年）における数値

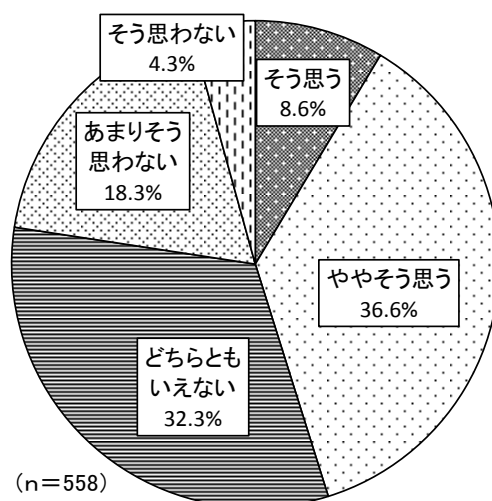
（注1）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン＜参考資料集＞」（平成 26 年 12 月 27 日）における国民希望出生率の算出方法を参考とした。

○ 市民の 45.2%が船橋市の子育て環境を安全・安心と評価。

船橋市の子育て環境の安全・安心面の評価についてみると、「そう思う」は 8.6%となっており、「ややそう思う (36.6%)」を合わせると 45.2%が「思う」と回答した (図表 8)。

居住地区別にみると、「北部」は「思う」計 (53.2%) が最も多く、「思う」計が最も少ない「西部 (35.1%)」とは 18.1 ポイントの差異がみられた。

図表 8 船橋市の子育て環境の評価



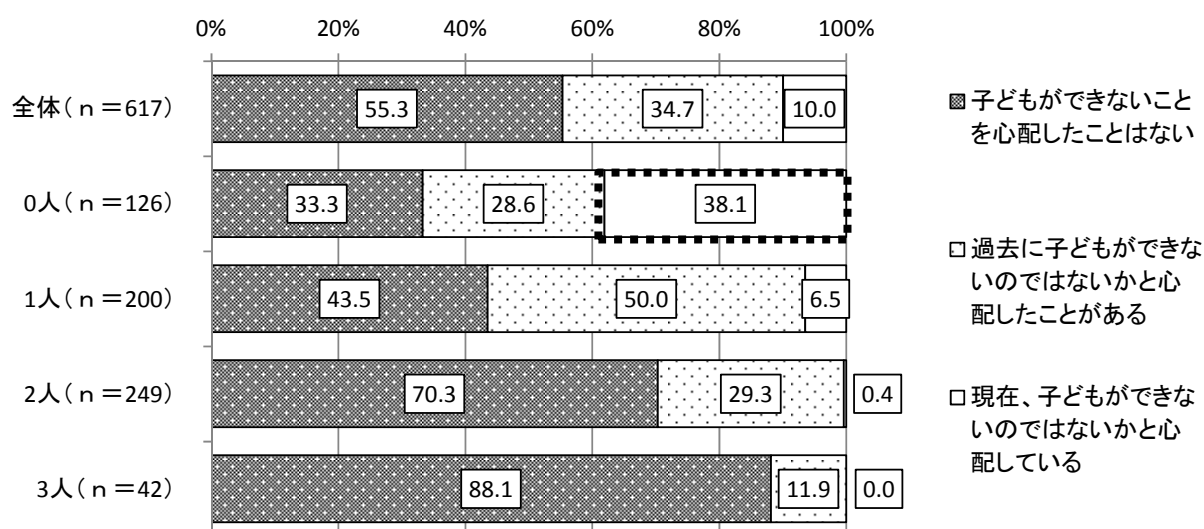
○ 子どもがいない夫婦の約 4 割で子どもができないことを心配している。

○ 子どもがいない夫婦の 4 人に 1 人が実際に検査・治療を受けている。

不妊に関する不安や悩みの有無についてみると、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」は 34.7%、「現在、子どもができないのではないかと心配している」は 10.0%であった (図表 9)。現在の子どもの人数別にみると、「0 人」の 38.1%が「現在、子どもができないのではないかと心配している」と回答した。

不妊治療の経験の有無を現在の子どもの人数別にみると、「0 人」の 24.4%が「現在、検査や治療を受けている」、35.6%が「過去に検査や治療を受けたことがある」と回答した。

図表 9 不妊に関する不安や悩みの有無 (現在の子どもの人数別)



3. 結婚及び出産・子育ての意向等（独身者）

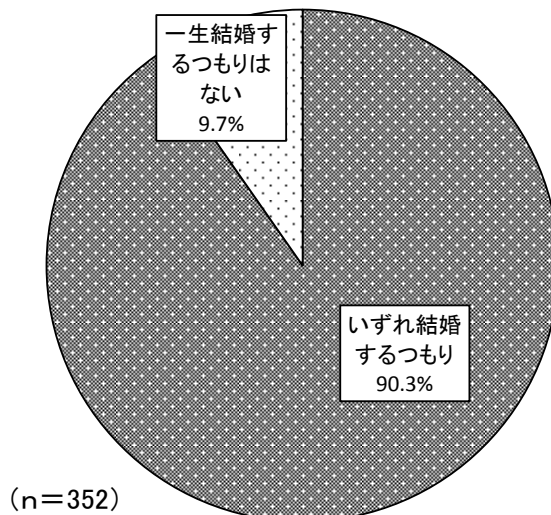
- 独身者（18～34 歳）の約 9 割は結婚の意欲あり。
- 現在独身でいる理由は「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最多。

独身者（18～34 歳）の結婚の意向についてみると、「いずれ結婚するつもり」が 90.3%と「一生結婚するつもりはない（9.7%）」を大きく上回っている（図表 10）。

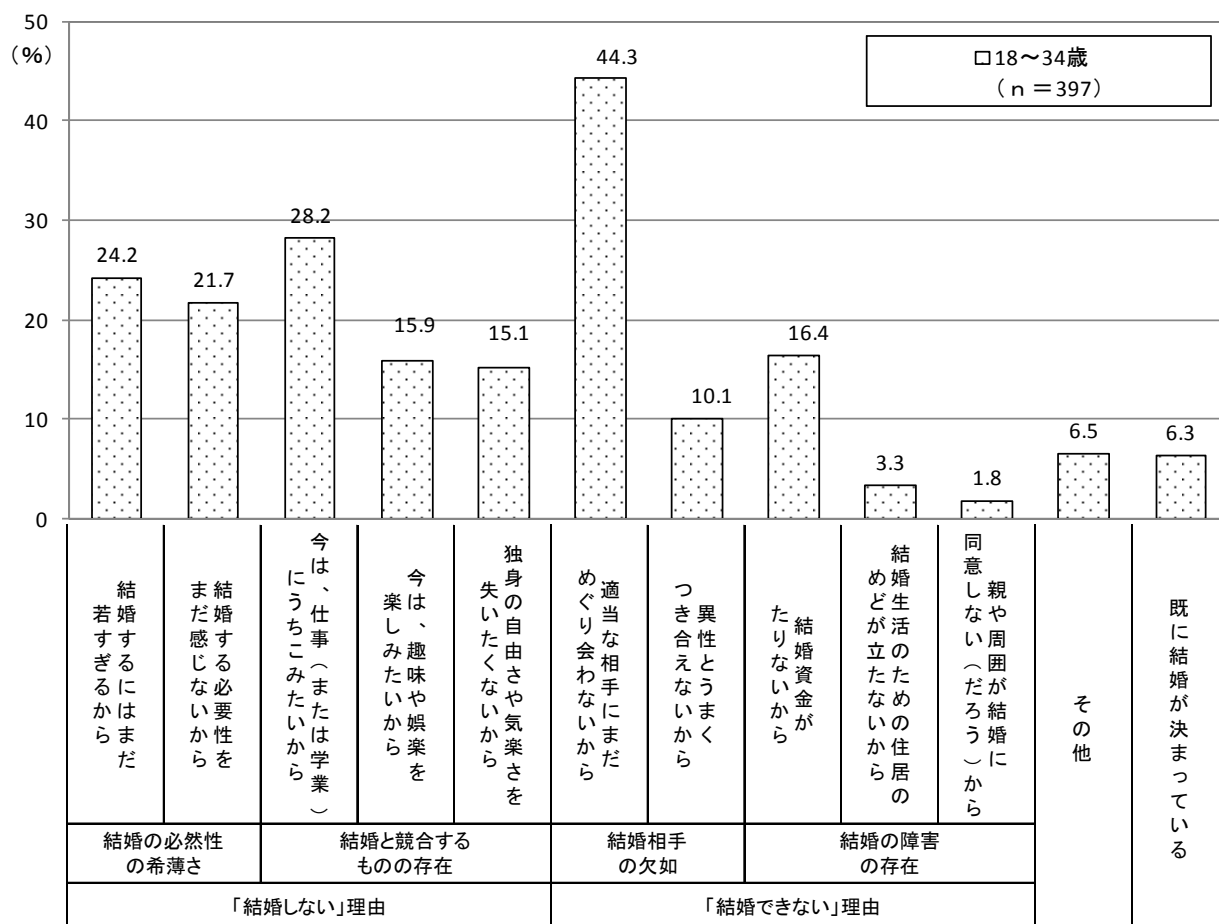
「一生結婚するつもりはない」と回答した割合を職業別にみると、「会社員（14.4%）」や「公務員（9.7%）」に比べて、「アルバイト・パート（34.4%）」の割合が多くなっている。

現在独身でいる理由についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が 44.3%で最も多く、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから（28.2%）」、「結婚するにはまだ若すぎるから（24.2%）」が続いている（図表 11）。

図表 10 結婚の意向（18～34 歳）



図表 11 現在独身でいる理由（18～34 歳）

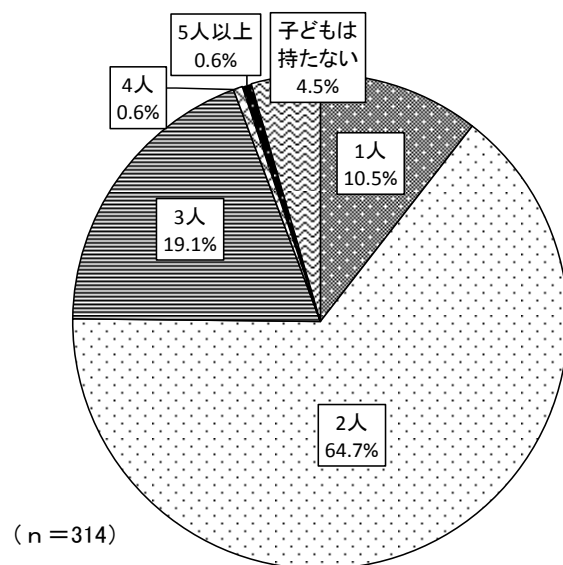


○ 独身者の希望する子どもの人数（18～34 歳の平均値）は 2.03 人。

独身者（18～34 歳）が理想とする子どもの人数（構成比）についてみると、「2 人」が 64.7%と最も多く、「3 人（19.1%）」、「1 人（10.5%）」が続いている（図表 12）。「子どもは持たない」は 4.5%であった。なお、独身者が将来結婚したときに理想とする子どもの人数の平均値（18～34 歳）は 2.03 人であった。

「子どもは持たない」と回答した割合を職業別にみると、「会社員（19.5%）」や「公務員（11.1%）」に比べて、「無職（年金生活者含む）（46.7%）」や「契約（派遣）社員（39.4%）」、「アルバイト・パート（29.7%）」の割合がいずれも多くなっている。

図表 12 理想とする子どもの人数（18～34 歳）



理想とする子どもの人数（平均値）	2.03 人
------------------	--------

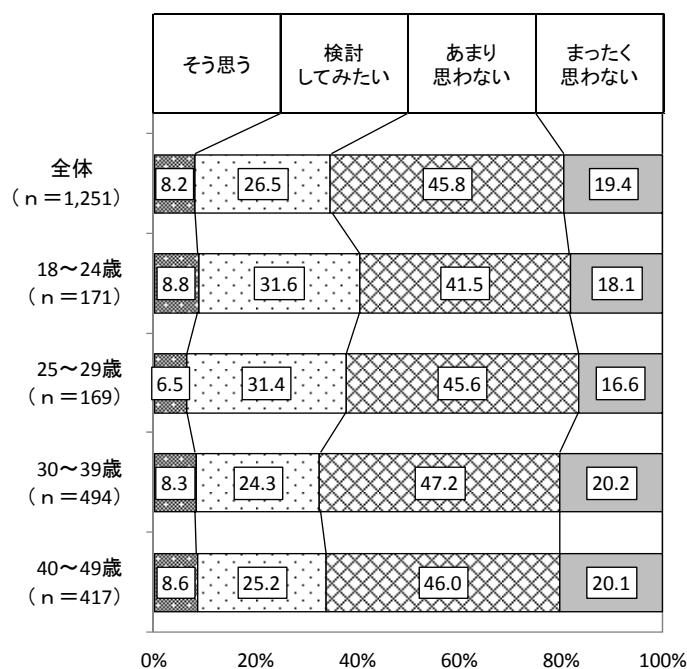
4. 地方への移住に関する意向等

○ 市民の 34.7%は地方への移住を肯定的に捉えている。

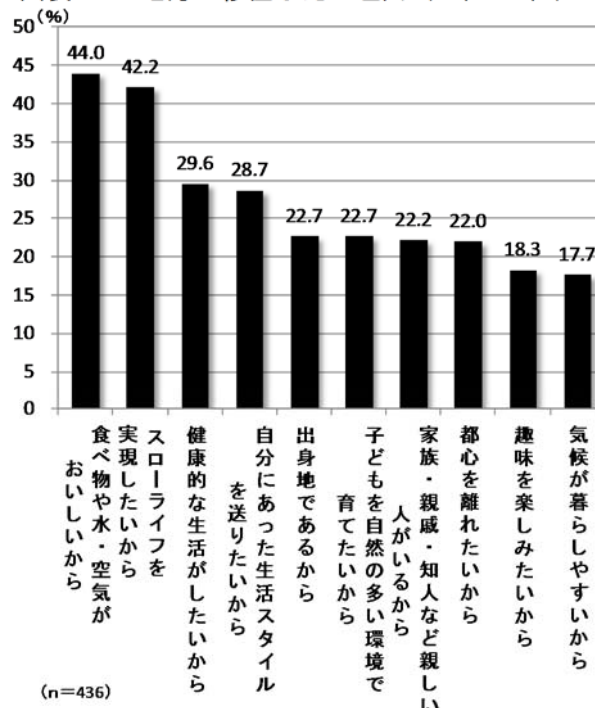
地方への移住希望についてみると、「そう思う」は 8.2%となっており、「検討してみたい（26.5%）」をあわせると、34.7%の回答者は地方への移住を肯定的に捉えている（図表 13）。

地方へ移住したい理由についてみると、「食べ物や水・空気がおいしいから」が 44.0%で最も多く、「スローライフを実現したいから（42.2%）」、「健康的な生活がしたいから（29.6%）」が続いている（図表 14）。

図表 13 地方への移住希望（年齢層別）



図表 14 地方へ移住したい理由（上位 10 位）



III 調査結果（詳細）

◆あなた自身のことについておうかがいします。

1. 属性

回答者の属性は図表 15 の通り。

図表 15 属性

属性	カテゴリ	回答割合 (%)	属性	カテゴリ	回答割合 (%)
性別 (n=1,273)	男性	35.9	居住形態 (n=1,268)	一戸建て(持家)	42.9
	女性	64.1		一戸建て(賃貸)	1.6
年代 (n=1,273)	18～19歳	3.0		集合住宅(持家)	23.5
	20～24歳	10.8		集合住宅(賃貸)	26.5
	25～29歳	13.6		社宅・独身寮	5.0
	30～34歳	23.2		その他	0.6
	35～39歳	16.1	世帯人数 (n=1,268)	単身(あなた1人)	12.8
	40～44歳	16.6		2人	15.4
	45～49歳	16.7		3人	31.2
居住地区 (n=1,265)	東部	28.0		4人	32.2
	西部	25.7		5人以上	8.4
	南部	20.2	同居者 (n=1,266)	配偶者	53.3
	北部	12.3		子ども(小学生以下)	35.4
	中部	13.8		子ども(中学生以上)	13.8
出身地 (n=1,258)	千葉県	42.0		親	34.6
	東京都	15.3		兄弟・姉妹	13.8
	神奈川県	3.9		祖父母	3.2
	埼玉県	2.7		孫	0.1
	その他関東	3.7		いない(一人暮らし)	11.2
	北海道	1.9		その他	2.1
	東北	6.0	職業 (n=1,265)	農・漁業	0.0
	中部	6.7		会社員	40.2
	近畿	6.6		公務員	5.4
	中国	2.9		自営・自由業・経営者	4.0
	四国	1.3		アルバイト・パート	17.8
	九州・沖縄	5.5		契約(派遣)社員	4.7
	海外	1.4		学生	7.8
転入の有無 (n=1,258)	(1) 船橋市で生まれ、市内に住み続けている	17.2		専業主婦(主夫)	15.7
	(2) 船橋市で生まれ、市外に出たが戻ってきた	6.6		無職(年金生活者含む)	2.6
	(3) 船橋市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた	19.6		その他	1.9
	(4) 船橋市外で生まれ、(3)以外の理由で転入してきた	56.7	通勤・通学地 (n=1,022)	船橋市内	25.7
婚姻状況 (n=1,273)	既婚者	54.1		千葉県(船橋市以外)	30.2
	未婚者	45.9		東京都	40.9
				神奈川県	1.0
				埼玉県	0.7
				その他	1.5

2. 将来の居住動向

◆将来の居住動向などについておうかがいします

(1) 船橋市外に居住している可能性

(問1)あなたは、5年後、船橋市外に居住している可能性がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。(SA)

5年後に船橋市外に居住している可能性についてみると、「大いにある」は12.3%となっており、「ある程度ある(22.8%)」を合わせると35.1%が「ある」と回答した(図表16)。

一方、「まったくない(25.9%)」と「あまりない(23.4%)」の合計は、49.3%となっている。「わからない」は15.5%であった。

属性別にみると、性別は、「男性」の「ある」計(大いにある+ある程度ある)が38.2%と「女性(33.4%)」を上回っている(図表17)。婚姻状況別には、「未婚者」の「ある」計が44.1%と「既婚者(27.5%)」を上回った。

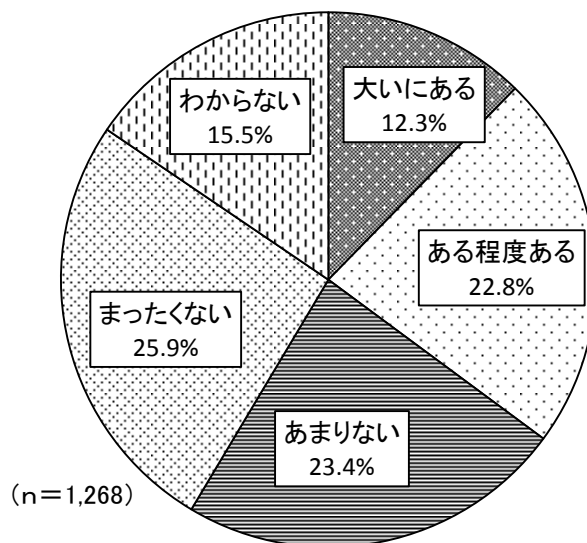
年齢層別にみると、「20～24歳」の「ある」計が63.5%と他の年齢層比で最も多くなっている。一方、「40～44歳」や「45～49歳」は「ない」計(あまりない+まったくない)が65%前後と多い。

居住地区別には、「南部」の「ある」計が40.8%と他地区と比べて最も多く、「北部」は「ない」計が57.1%で最多となっている。

居住形態別にみると、「社宅・独身寮」の「ある」計が76.2%と他の居住形態と比べて最多であった。一方、「一戸建て(持家)」は「ない」計が61.1%で最も多かった。

職業別では、「学生」の「ある」計が63.7%で他の職業と比べて最も多くなっており、「専業主婦(主夫)」では「ない」計が66.5%で最多となっている。

図表 16 船橋市外に居住している可能性



図表 17 船橋市外に居住している可能性（属性別）

(単位: %)

		回答数 (n)	「ある」計	大いにある	ある程度ある	「ない」計	あまりない	まったくない	わからない
全体		1,268	35.1	12.3	22.8	49.3	23.4	25.9	15.5
性別	男性	456	38.2	13.6	24.6	45.6	24.3	21.3	16.2
	女性	812	33.4	11.6	21.8	51.5	22.9	28.6	15.1
婚姻状況	既婚者	687	27.5	9.6	17.9	61.8	26.3	35.5	10.6
	未婚者	581	44.1	15.5	28.6	34.6	20.0	14.6	21.3
年齢層別	18～19歳	38	52.6	10.5	42.1	26.3	18.4	7.9	21.1
	20～24歳	137	63.5	22.6	40.9	25.6	16.8	8.8	10.9
	25～29歳	173	49.1	17.9	31.2	31.2	18.5	12.7	19.7
	30～34歳	292	37.3	14.4	22.9	45.9	24.7	21.2	16.8
	35～39歳	205	28.3	11.2	17.1	57.1	23.9	33.2	14.6
	40～44歳	210	20.0	5.7	14.3	65.7	29.5	36.2	14.3
	45～49歳	213	20.7	6.1	14.6	64.8	24.4	40.4	14.6
居住地区別	東部	354	34.8	13.6	21.2	50.0	23.7	26.3	15.3
	西部	325	38.2	12.0	26.2	47.7	23.1	24.6	14.2
	南部	255	40.8	14.5	26.3	46.3	25.1	21.2	12.9
	北部	154	27.2	8.4	18.8	57.1	20.1	37.0	15.6
	中部	172	28.5	9.9	18.6	49.4	24.4	25.0	22.1
居住形態別	一戸建て(持家)	543	24.7	8.7	16.0	61.1	22.1	39.0	14.2
	一戸建て(賃貸)	20	20.0	15.0	5.0	50.0	35.0	15.0	30.0
	集合住宅(持家)	295	30.2	8.5	21.7	58.3	32.2	26.1	11.5
	集合住宅(賃貸)	335	49.5	17.3	32.2	30.7	20.6	10.1	19.7
	社宅・独身寮	63	76.2	34.9	41.3	9.5	7.9	1.6	14.3
職業別	会社員	507	38.1	14.4	23.7	47.5	27.2	20.3	14.4
	公務員	68	48.6	16.2	32.4	45.6	19.1	26.5	5.9
	自営・自由業・経営者	50	26.0	12.0	14.0	64.0	20.0	44.0	10.0
	アルバイト・パート	224	24.1	9.4	14.7	56.3	22.8	33.5	19.6
	契約(派遣)社員	59	42.4	10.2	32.2	33.9	18.6	15.3	23.7
	学生	99	63.7	17.2	46.5	18.2	12.1	6.1	18.2
	専業主婦(主夫)	197	23.3	9.6	13.7	66.5	28.4	38.1	10.2
	無職(年金生活者含む)	32	21.9	3.1	18.8	40.7	9.4	31.3	37.5

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(2) 船橋市から転居する見通しの理由

(問2) 船橋市から転居される見通しの理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。(MA)

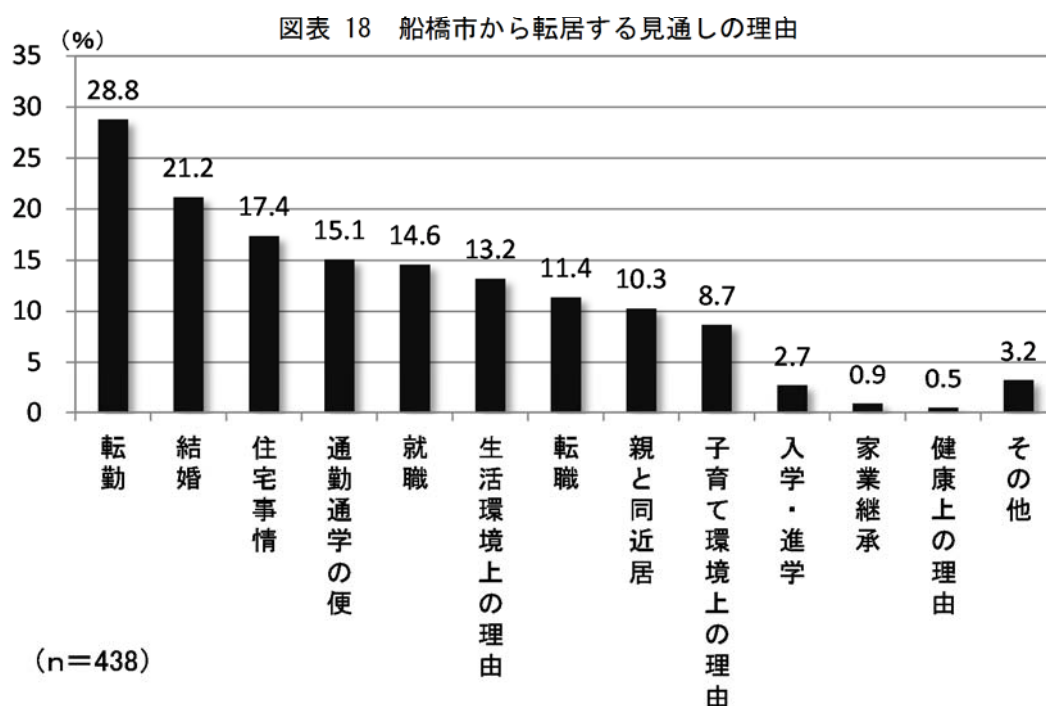
船橋市から転居する見通しの理由は、「転勤」が 28.8%で最も多く、「結婚 (21.2%)」、「住宅事情 (17.4%)」が続いている (図表 18)。

属性別にみると、性別では、「男性」は「転勤 (34.5%)」、「通勤通学の便 (18.4%)」など仕事関連が多く、「女性」は「結婚 (25.8%)」、「住宅事情 (17.8%)」など生活関連のほか、「転勤」も 25.0%と多い (図表 19)。

婚姻状況別には、「既婚者」は「転勤 (41.3%)」、「住宅事情 (28.8%)」などが多く、「未婚者」は「結婚 (35.8%)」、「就職 (24.8%)」などが多かった。

年齢層別には、「20～24 歳」は「就職 (51.2%)」が最も多く、「通勤通学の便 (23.3%)」も他の年齢層比で最多となっている。「25～29 歳」は「結婚 (29.4%)」が最多となっているほか、「転職 (17.6%)」が他の年齢層比で最も多い。「30～34 歳」は「転勤 (36.4%)」が最も多く、「生活環境上の理由」も 16.8%で他の年齢層比で最多であった。「35～39 歳」は「転勤 (38.6%)」が最も多く、「子育て環境上の理由」も 15.8%で他の年齢層比で最も多かった。「40～44 歳」は「転勤 (43.2%)」、「45～49 歳」は「住宅事情 (34.8%)」がそれぞれ最多であった。

職業別にみると、「会社員」、「公務員」、「アルバイト・パート」及び「専業主婦 (主夫)」は「転勤」、「学生」は「就職 (84.4%)」がそれぞれ最多となっている。



図表 19 船橋市から転居する見通しの理由（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	転勤	結婚	住宅事情	通勤通学の便	就職	生活環境上の理由	転職	親と同居	子育て環境上の理由	入学・進学	家業継承	健康上の理由	その他
全体		438	28.8	21.2	17.4	15.1	14.6	13.2	11.4	10.3	8.7	2.7	0.9	0.5	3.2
性別	男性	174	34.5	14.4	16.7	18.4	17.2	13.2	10.9	9.8	9.2	1.1	1.1	0.6	2.3
	女性	264	25.0	25.8	17.8	12.9	12.9	13.3	11.7	10.6	8.3	3.8	0.8	0.4	3.8
状況別	既婚者	184	41.3	1.1	28.8	6.0	0.5	14.1	7.6	19.6	19.6	2.7	1.6	0.0	3.8
	未婚者	254	19.7	35.8	9.1	21.7	24.8	12.6	14.2	3.5	0.8	2.8	0.4	0.8	2.8
年齢層別	18～19歳	20	5.0	5.0	0.0	10.0	75.0	5.0	0.0	5.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	86	17.4	27.9	4.7	23.3	51.2	7.0	11.6	1.2	0.0	4.7	0.0	1.2	1.2
	25～29歳	85	28.2	29.4	15.3	15.3	2.4	16.5	17.6	11.8	9.4	1.2	1.2	0.0	3.5
	30～34歳	107	36.4	24.3	24.3	15.9	2.8	16.8	8.4	4.7	15.0	3.7	1.9	0.0	2.8
	35～39歳	57	38.6	15.8	14.0	7.0	0.0	12.3	12.3	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0	3.5
	40～44歳	37	43.2	8.1	24.3	10.8	0.0	13.5	13.5	21.6	13.5	0.0	2.7	0.0	2.7
	45～49歳	46	19.6	10.9	34.8	13.0	0.0	15.2	8.7	23.9	0.0	0.0	0.0	2.2	8.7
居住地区別	東部	123	29.3	17.1	14.6	14.6	17.9	11.4	8.9	8.9	8.1	3.3	0.0	0.0	1.6
	西部	122	35.2	18.9	17.2	16.4	12.3	14.8	12.3	9.8	10.7	2.5	0.0	0.0	3.3
	南部	101	32.7	21.8	20.8	12.9	9.9	9.9	11.9	12.9	7.9	2.0	3.0	0.0	5.0
	北部	38	23.7	31.6	13.2	13.2	23.7	13.2	13.2	7.9	2.6	5.3	0.0	5.3	2.6
	中部	51	7.8	25.5	19.6	19.6	15.7	17.6	13.7	11.8	9.8	2.0	2.0	0.0	3.9
居住形態別	一戸建て(持家)	130	17.7	30.8	7.7	16.9	24.6	12.3	10.8	6.2	5.4	2.3	0.0	1.5	2.3
	一戸建て(賃貸)	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	集合住宅(持家)	89	23.6	18.0	7.9	16.9	21.3	14.6	10.1	13.5	7.9	6.7	0.0	0.0	1.1
	集合住宅(賃貸)	162	31.5	16.7	28.4	14.2	6.2	14.8	13.6	14.2	11.7	1.2	1.1	0.0	3.7
	社宅・独身寮	48	64.6	12.5	20.8	10.4	2.1	6.3	8.3	2.1	6.3	2.1	1.9	0.0	8.3
職業別	会社員	192	31.8	31.3	17.7	17.7	1.0	9.9	14.1	9.4	7.8	2.1	-	0.0	2.6
	公務員	32	43.8	15.6	18.8	18.8	6.3	9.4	9.4	9.4	12.5	3.1	0.0	0.0	0.0
	自営・自由業・経営者	13	0.0	15.4	46.2	23.1	0.0	61.5	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0	0.0	23.1
	アルバイト・パート	51	25.5	5.9	21.6	7.8	3.9	15.7	15.7	11.8	7.8	0.0	2.0	0.0	3.9
	契約(派遣)社員	24	12.5	25.0	12.5	16.7	4.2	29.2	25.0	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2
	学生	64	7.8	15.6	3.1	18.8	84.4	3.1	1.6	3.1	0.0	9.4	0.0	1.6	0.0
	専業主婦(主夫)	43	62.8	0.0	20.9	2.3	2.3	9.3	4.7	27.9	14.0	2.3	2.3	0.0	4.7
	無職(年金生活者含む)	6	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(3) 転居したい先（転居予定先）

(問3) 船橋市から転居したい先(転居予定先)はどこですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。また、転居先として具体的にイメージされている市区町村がある方は、その市区町村名をご記入ください。(SA)

船橋市から転居したい先（転居予定先）をみると（「具体的な場所は未定」を除く）、「千葉県内の他の市町村（23.8%）」と「東京都（21.8%）」が拮抗している（図表 20）。

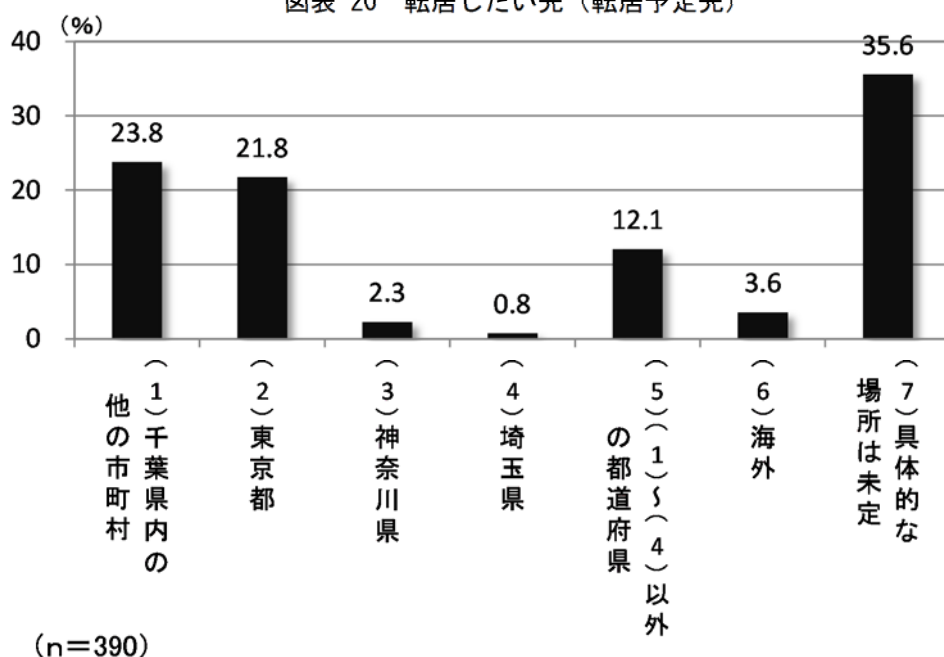
属性別にみると、婚姻状況別では、「既婚者」は「千葉県内の他の市町村（29.9%）」、「未婚者」は、「東京都（30.5%）」が最多となっている（図表 21）。

年齢層別では、「20～24 歳」は「東京都（28.8%）」が最も多く、「25～29 歳」以上は、「35～39 歳」を除いて「千葉県内の他の市町村」が最多となっている。

居住形態別では、「一戸建て（持家）」や「集合住宅（持家）」は「東京都」、「集合住宅（賃貸）」は「千葉県内の他の市町村」がそれぞれ最多となっている。「社宅・独身寮」は「東京都（24.4%）」と「1～4 以外の都道府県（22.2%）」の割合が多かった。

職業別では、「会社員」は「千葉県内の他の市町村（25.0%）」と「東京都（24.4%）」が拮抗している。「学生」は「東京都（39.3%）」が圧倒的に多かった。

図表 20 転居したい先（転居予定先）



図表 21 転居したい先（転居予定先）（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	（1） 他の市町村 内	（2） 東京都	（3） 神奈川県	（4） 埼玉県	（5） 外都道府県 154以	（6） 海外	（7） 場所は未 定具体的な
全体		390	23.8	21.8	2.3	0.8	12.1	3.6	35.6
性別	男性	157	23.6	22.3	1.3	1.3	10.8	3.2	37.6
	女性	233	24.0	21.5	3.0	0.4	12.9	3.9	34.3
状況	既婚者	167	29.9	10.2	4.2	1.2	15.0	4.2	35.3
	未婚者	223	19.3	30.5	0.9	0.4	9.9	3.1	35.9
年齢層別	18～19歳	19	10.5	42.1	0.0	0.0	5.3	5.3	36.8
	20～24歳	80	18.8	28.8	1.3	0.0	8.8	2.5	40.0
	25～29歳	73	30.1	19.2	4.1	1.4	11.0	4.1	30.1
	30～34歳	97	29.9	20.6	1.0	0.0	12.4	4.1	32.0
	35～39歳	50	20.0	22.0	4.0	2.0	22.0	2.0	28.0
	40～44歳	34	17.6	14.7	2.9	2.9	8.8	5.9	47.1
	45～49歳	37	24.3	10.8	2.7	0.0	13.5	2.7	45.9
居住地区別	東部	105	21.0	21.0	2.9	0.0	12.4	1.9	41.0
	西部	110	12.7	27.3	1.8	0.9	10.0	5.5	41.8
	南部	93	34.4	18.3	2.2	1.1	11.8	2.2	30.1
	北部	35	34.3	20.0	2.9	2.9	11.4	2.9	25.7
	中部	45	26.7	20.0	2.2	0.0	17.8	6.7	26.7
居住形態別	一戸建て（持家）	116	19.8	25.9	1.7	0.9	7.8	3.4	40.5
	一戸建て（賃貸）	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	集合住宅（持家）	76	17.1	23.7	3.9	0.0	7.9	5.3	42.1
	集合住宅（賃貸）	146	32.9	16.4	2.7	1.4	14.4	2.1	30.1
	社宅・独身寮	45	13.3	24.4	0.0	0.0	22.2	6.7	33.3
職業別	会社員	168	25.0	24.4	3.6	0.6	11.3	3.6	31.5
	公務員	28	39.3	7.1	3.6	3.6	10.7	7.1	28.6
	自営・自由業・経営者	11	45.5	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3
	アルバイト・パート	50	20.0	10.0	0.0	2.0	18.0	4.0	46.0
	契約（派遣）社員	16	31.3	18.8	0.0	0.0	18.8	0.0	31.3
	学生	61	9.8	39.3	0.0	0.0	4.9	3.3	42.6
	専業主婦（主夫）	41	19.5	17.1	4.9	0.0	14.6	2.4	41.5
	無職（年金生活者含む）	6	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目（「（7）具体的な場所は未定」を除く）。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0％以上）のため分析対象外。

3. 結婚の状況及び出産・子育ての意向等（既婚者）

◆あなたの結婚の状況及び出産・子育ての動向等についておうかがいします

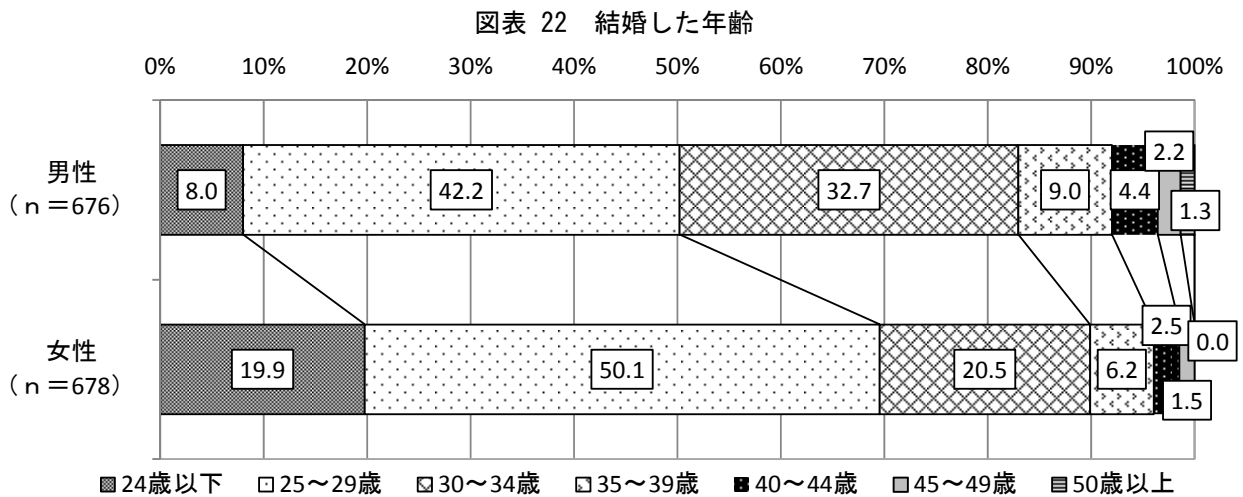
（１）結婚した年齢

（問4）あなた方ご夫婦がご結婚されたのはご夫婦がそれぞれ何歳のときですか。（FA）

【集計対象は、回答者及びその配偶者】

1) 全体

結婚した年齢をみると、男女ともに「25～29歳（男性：42.2%、女性：50.1%）」が最も多く、次いで「30～34歳（男性：32.7%、女性：20.5%）」となっている（図表 22）。

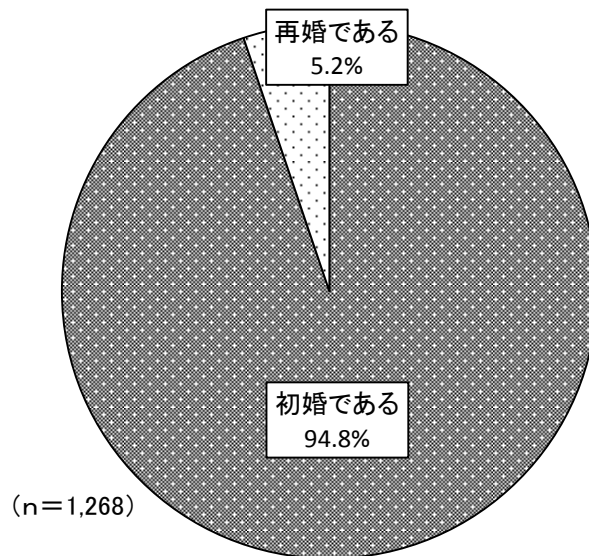


(2) 初婚・再婚の別

(問5)あなたの現在の結婚における初婚・再婚の別について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

初婚・再婚の別についてみると、「初婚である」は94.8%、「再婚である」は5.2%となっている(図表23、24)。

図表 23 初婚・再婚の別



図表 24 初婚・再婚の別（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	初婚である	再婚である
全体		1,268	94.8	5.2
性別	男性	173	94.8	5.2
	女性	513	94.7	5.3
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0
	20～24歳	6	100.0	0.0
	25～29歳	56	100.0	0.0
	30～34歳	175	95.4	4.6
	35～39歳	146	97.3	2.7
	40～44歳	151	90.7	9.3
	45～49歳	152	93.4	6.6
居住地区別	東部	181	96.1	3.9
	西部	201	93.5	6.5
	南部	142	96.5	3.5
	北部	70	91.4	8.6
	中部	87	96.6	3.4
職業別	会社員	235	94.5	5.5
	公務員	32	100.0	0.0
	自営・自由業・経営者	32	84.4	15.6
	アルバイト・パート	148	96.6	3.4
	契約（派遣）社員	25	96.0	4.0
	学生	2	100.0	0.0
	専業主婦（主夫）	197	94.4	5.6
	無職（年金生活者含む）	1	0.0	100.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(3) 出産・子育ての意向等

1) 現在の子どもの人数

(問6)あなた方ご夫婦の現在のお子さんの人数について()内にご記入ください。(FA)

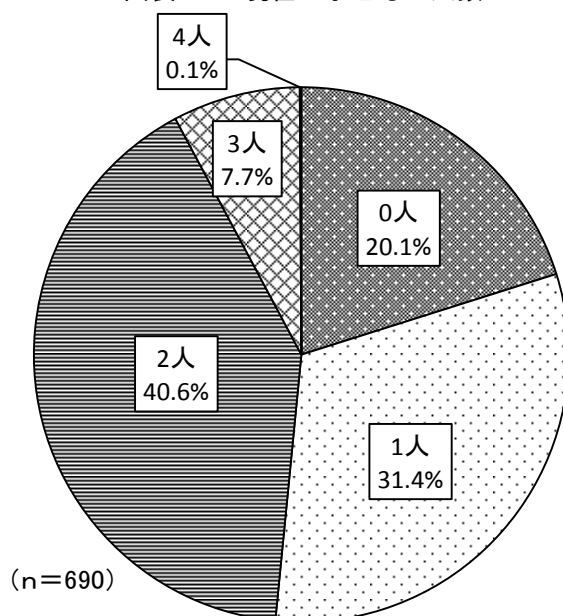
① 全体

現在の子どもの人数の平均値は、1.36 人となっている（図表 25）。

現在の子どもの人数（構成比）は、「2人」が40.6%で最も多く、次いで「1人（31.4%）」、「0人（20.1%）」、「3人（7.7%）」の順となっている。

年齢層別にみると、「25～29歳」は「1人（42.9%）」が最も多く、「30～34歳」以上は「2人」が最多となっている（図表 26）。

図表 25 現在の子どもの人数



現在の子どもの
人数の平均値

1.36 人

図表 26 現在の子どもの人数（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	0人	1人	2人	3人	4人
全体		690	20.1	31.4	40.6	7.7	0.1
性別	男性	175	22.3	33.1	37.7	6.3	0.6
	女性	515	19.4	30.9	41.6	8.2	0.0
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	7	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0
	25～29歳	56	35.7	42.9	21.4	0.0	0.0
	30～34歳	175	23.4	32.6	37.7	5.7	0.6
	35～39歳	147	15.0	26.5	51.7	6.8	0.0
	40～44歳	152	16.4	27.6	44.7	11.2	0.0
	45～49歳	153	17.6	34.6	37.3	10.5	0.0
居住地区別	東部	181	18.8	29.8	45.3	5.5	0.6
	西部	203	20.7	37.4	33.5	8.4	0.0
	南部	142	28.2	32.4	32.4	7.0	0.0
	北部	71	15.5	26.8	47.9	9.9	0.0
	中部	88	13.6	22.7	53.4	10.2	0.0
職業別	会社員	236	25.0	32.6	34.3	8.1	0.0
	公務員	32	25.0	43.8	28.1	3.1	0.0
	自営・自由業・経営者	32	28.1	9.4	37.5	21.9	3.1
	アルバイト・パート	150	16.0	28.7	46.0	9.3	0.0
	契約(派遣)社員	25	40.0	44.0	12.0	4.0	0.0
	学生	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	専業主婦(主夫)	198	10.1	34.3	50.5	5.1	0.0
	無職(年金生活者含む)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

2) 理想的な子どもの人数

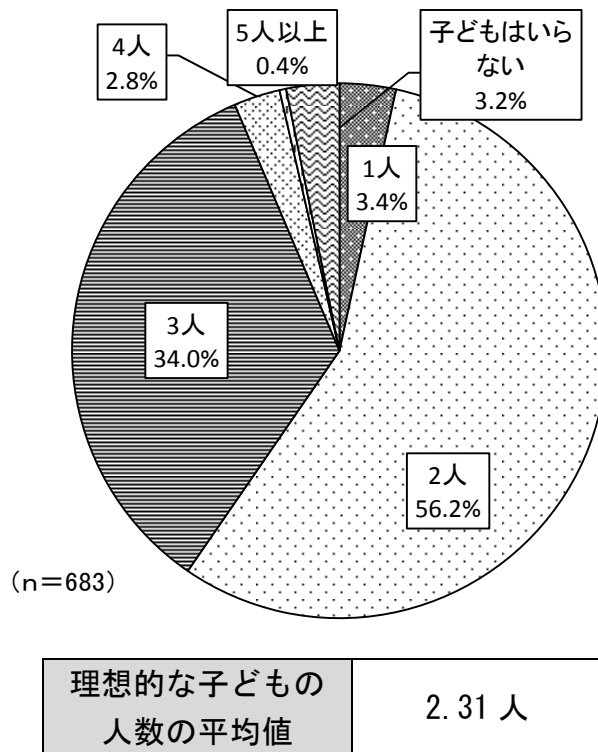
(問7)あなた方ご夫婦にとって、理想的なお子さんの数は何人ですか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

理想的な子どもの人数の平均値は、2.31 人となっている (図表 27)。

理想的な子どもの人数 (構成比) は、「2 人」が 56.2%で最も多く、「3 人 (34.0%)」、「1 人 (3.4%)」が続いている。「子どもはいらない」は 3.2%であった。

現在の子どもの人数が「0 人」の回答者のうち、85.3%は 1 人以上の子どもを持ちたい意向で、うち「2 人」という回答が 64.0%を占めている (図表 28)。同様に「1 人」の 92.5%が「2 人」以上の子どもを持ちたいと考えており、うち「2 人」は 63.1%を占めている。なお、現在の子どもの人数が「2 人」の 43.1%、「3 人」の 5.7%は、現在の子どもの人数以上に子どもを持ちたいと回答した。

図表 27 理想的な子どもの人数



図表 28 現在の子どもの人数との相関

		回答数 (n)	理想的な子どもの人数					
			子どもは いない	1人	2人	3人	4人	5人以上
現在 の 子 ど も の 人 数	全体	683	3.2	3.4	56.2	34.0	2.8	0.4
	0人	136	14.7	3.7	64.0	14.7	2.2	0.7
	1人	214	0.0	7.5	63.1	27.1	2.3	0.0
	2人	279	0.4	0.4	56.3	39.8	2.9	0.4
	3人	53	1.9	1.9	9.4	81.1	3.8	1.9
	4人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

→合計85.3%

→合計92.5%

→合計43.1%

→合計5.7%

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、現在の子どもの人数で満足している回答者の割合。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 29 理想的な子どもの人数(属性別)

(単位: %)

		回答数 (n)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子ども はい ない
全体		683	3.4	56.2	34.0	2.8	0.4	3.2
性別	男性	174	2.3	59.8	29.3	3.4	1.1	4.0
	女性	509	3.7	55.0	35.6	2.6	0.2	2.9
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	6	0.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	25～29歳	56	3.6	55.4	37.5	3.6	0.0	0.0
	30～34歳	174	1.1	55.2	36.8	4.6	0.0	2.3
	35～39歳	147	1.4	56.5	39.5	1.4	0.0	1.4
	40～44歳	149	2.7	53.7	36.2	0.7	1.3	5.4
	45～49歳	151	8.6	58.9	23.2	3.3	0.7	5.3
居住地区別	東部	181	3.3	59.1	30.9	3.3	1.1	2.2
	西部	198	3.0	59.1	32.8	3.0	0.0	2.0
	南部	142	3.5	54.2	33.8	2.1	0.0	6.3
	北部	70	1.4	48.6	42.9	2.9	0.0	4.3
	中部	87	5.7	51.7	36.8	2.3	1.1	2.3
職業別	会社員	235	3.4	59.6	28.1	3.0	1.3	4.7
	公務員	32	0.0	40.6	53.1	6.3	0.0	0.0
	自営・自由業・経営者	31	6.5	35.5	51.6	6.5	0.0	0.0
	アルバイト・パート	147	4.1	59.2	34.0	0.0	0.0	2.7
	契約(派遣)社員	24	4.2	66.7	20.8	0.0	0.0	8.3
	学生	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦(主夫)	197	3.0	54.8	36.5	3.6	0.0	2.0
	無職(年金生活者含む)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

3) 今後持つつもりの子どもの人数

(問8)あなた方ご夫婦の今後持つつもりのお子さんの予定についておうかがいします。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

今後持つつもりの子どもの人数の平均値は、0.48人となっている(図表30)。

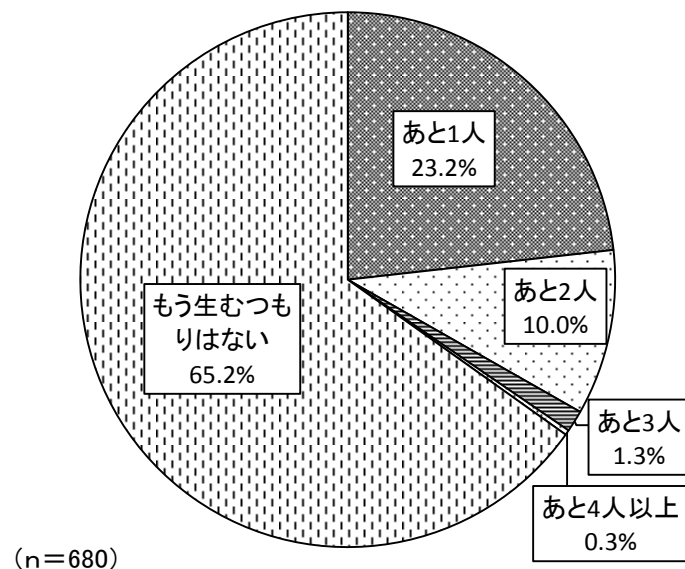
今後持つつもりの子どもの人数(構成比)は、「もう生むつもりはない」が65.2%で最も多く、次いで「あと1人(23.2%)」、「あと2人(10.0%)」の順となっている。

現在の子どもの人数が「0人」の回答者のうち、66.4%の回答者は子どもを持ちたい意向で、とりわけ「あと2人」が35.8%で最も多かった(図表31)。現在の子どもの人数が「1人」の回答者では、「もう生むつもりはない(51.9%)」が「あと1人(39.8%)」を12.1ポイント上回った。なお、現在の子どもの人数が「2人」の84.2%、「3人」の100.0%は「もう生むつもりはない」としている。

女性の職業別に今後1人以上「生む予定あり」の割合をみると、最も多い「会社員(43.7%)」と最も少ない「アルバイト・パート(15.7%)」では28.0ポイントの差異がみられた(図表32)。

年齢層別にみると、「25～29歳」は「あと1人(48.2%)」、「30～34歳」も「あと1人(40.5%)」がいずれも最も多くなっているが、「35～39歳」以上は「もう生むつもりはない」がいずれも最多であった(図表33)。

図表 30 今後持つつもりの子どもの人数



今後持つつもりの子どもの 人数の平均値	0.48 人
------------------------	--------

図表 31 現在の子どもの人数との相関

(単位: %)

		回答数 (n)	今後持つつもりの子どもの人数				
			あと1人	あと2人	あと3人	あと 4人以上	もう生む つもりはない
現在 の 子 ど も の 人 数	全体	680	23.2	10.0	1.3	0.3	65.1
	0人	134	23.9	35.8	6.7	0.0	33.6
	1人	216	39.8	7.9	0.0	0.5	51.9
	2人	278	14.4	1.1	0.0	0.4	84.2
	3人	51	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	4人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、現在の子どもの人数別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 32 女性の職業別との相関

(単位: %)

		回答数 (n)	今後持つつもりの子どもの人数					もう生む つもりは ない
			生む 予定あり	あと 1人	あと 2人	あと 3人	あと 4人以上	
女性 の 職 業	全体	503	31.8	20.1	10.3	1.2	0.2	68.2
	会社員	94	43.7	26.6	16.0	1.1	0.0	56.4
	公務員	17	76.5	41.2	29.4	5.9	0.0	23.5
	自営・自由業 ・経営者	19	21.0	10.5	10.5	0.0	0.0	78.9
	アルバイト・パート	146	15.7	6.8	8.9	0.0	0.0	84.2
	契約(派遣)社員	21	52.4	28.6	19.0	4.8	0.0	47.6
	学生	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	専業主婦	196	32.1	25.5	5.6	0.5	0.5	67.9
	無職(年金生活者 含む)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、女性の職業別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 33 今後持つつもりの子どもの人数（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	あと 1人	あと 2人	あと 3人	あと 4人以上	つ も う は な い
全体		680	23.2	10.0	1.3	0.3	65.1
性別	男性	172	32.6	8.7	1.7	0.6	56.4
	女性	508	20.1	10.4	1.2	0.2	68.1
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	56	48.2	33.9	5.4	0.0	12.5
	30～34歳	173	40.5	17.9	2.9	0.6	38.2
	35～39歳	146	25.3	11.0	0.0	0.0	63.7
	40～44歳	148	11.5	0.0	0.0	0.7	87.8
	45～49歳	151	2.0	0.0	0.7	0.0	97.4
居住地区別	東部	180	21.7	10.6	1.7	0.6	65.6
	西部	199	24.6	10.6	1.5	0.5	62.8
	南部	141	22.7	14.9	2.1	0.0	60.3
	北部	69	31.9	2.9	0.0	0.0	65.2
	中部	86	17.4	5.8	0.0	0.0	76.7
職業別	会社員	234	30.3	11.1	0.9	0.4	57.3
	公務員	32	40.6	21.9	6.3	0.0	31.3
	自営・自由業・経営者	31	12.9	9.7	3.2	0.0	74.2
	アルバイト・パート	146	6.8	8.9	0.0	0.0	84.2
	契約(派遣)社員	24	33.3	16.7	4.2	0.0	45.8
	学生	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	専業主婦(主夫)	196	25.5	5.6	0.5	0.5	67.9
	無職(年金生活者含む)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

4) 最終的に持つつもりの子どもの人数

(問9) そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

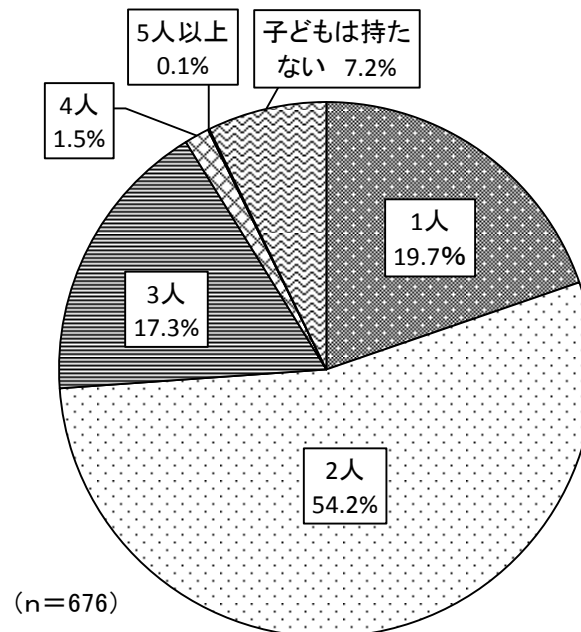
最終的に持つつもりの子どもの人数の平均値は、1.87 人となっている（図表 34）。

最終的に持つつもりの子どもの人数（構成比）は、「2 人」が 54.2%で最も多く、「1 人（19.7%）」、「3 人（17.3%）」が続いている。「子どもは持たない」は 7.2%であった。

現在の子どもの人数以上に子どもを持ちたいと考えている回答者の割合は、現在の子どもの人数が「0 人」は 66.2%、「1 人」は 50.5%、「2 人」は 16.6%、「3 人」は 4.0%となっている（図表 35）。

年齢層別にみると、全年齢層で「2 人」が最も多くなっている（図表 36）。「25～29 歳」では、「3 人（28.6%）」、「4 人（3.6%）」が他の年齢層比で最多となっている。

図表 34 最終的に持つつもりの子どもの人数



最終的に持つつもりの子どもの人数の平均値

1.87 人

図表 35 現在の子どもの人数との相関

(単位: %)

		回答数 (n)	最終的に持つつもりの子どもの人数						
			子どもは 持たない	1人	2人	3人	4人	5人以上	
現在 の 子 ど も の 人 数	全体	676	7.2	19.7	54.2	17.3	1.5	0.1	
	0人	133	33.8	21.1	36.8	8.3	0.0	0.0	→66.2%
	1人	214	0.5	49.1	40.7	8.9	0.9	0.0	→50.5%
	2人	277	0.7	0.0	82.7	14.4	2.2	0.0	→16.6%
	3人	51	2.0	0.0	2.0	92.2	2.0	2.0	→4.0%
	4人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、現在の子どもの人数で満足している回答者の割合。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 36 最終的に持つつもりの子どもの人数(属性別)

(単位: %)

		回 答 数 (n)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以上	持 子 た な い は
全体		676	19.7	54.2	17.3	1.5	0.1	7.2
性 別	男性	170	15.3	57.6	17.6	2.4	0.0	7.1
	女性	506	21.1	53.0	17.2	1.2	0.2	7.3
年 齢 層 別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	6	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	25～29歳	56	8.9	58.9	28.6	3.6	0.0	0.0
	30～34歳	174	9.8	62.1	23.6	1.7	0.6	2.3
	35～39歳	146	16.4	63.0	17.8	0.0	0.0	2.7
	40～44歳	147	26.5	49.0	12.9	1.4	0.0	10.2
	45～49歳	147	32.0	38.8	10.2	1.4	0.0	17.7
居 住 地 区 別	東部	178	17.4	60.7	15.7	1.7	0.0	4.5
	西部	199	23.6	51.3	18.6	0.5	0.0	6.0
	南部	138	19.6	46.4	17.4	2.9	0.0	13.8
	北部	71	18.3	56.3	16.9	0.0	1.4	7.0
	中部	85	16.5	56.5	18.8	2.4	0.0	5.9
職 業 別	会社員	231	17.7	53.2	17.7	1.7	0.0	9.5
	公務員	31	9.7	54.8	32.3	0.0	0.0	3.2
	自営・自由業・経営者	31	16.1	45.2	29.0	3.2	0.0	6.5
	アルバイト・パート	146	26.0	54.1	11.0	0.7	0.7	7.5
	契約(派遣)社員	24	25.0	54.2	8.3	0.0	0.0	12.5
	学生	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦(主夫)	197	19.8	55.8	18.3	2.0	0.0	4.1
	無職(年金生活者含む)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

5) 希望出生率

今回のアンケート結果の数値を用いて算出した船橋市の希望出生率は 1.73 であった（【参考】まち・ひと・しごと創生本部が前提としている国民希望出生率は 1.8 程度）（図表 37、38）。

なお、本市の平成 25 年の合計特殊出生率は 1.39 であり、希望出生率より、0.34 ポイント低水準となっている。

図表 37 希望出生率の算式

希望出生率＝{(有配偶者割合×夫婦の予定子ども数)+(独身者割合×独身者のうち結婚を希望する者の割合×独身者の希望子ども数)}×離死別等の影響(注1)
 ＝{(37.0%×1.87)+(63.0%×90.3%×2.03)}×0.938＝1.73 (注2)
 (注1) 離死別等の影響：離別、死別の影響のことで、社人研の仮定値(0.938)を本推計でも仮定値とした。
 (注2) 「船橋市 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査(平成27年7月実施)」の回答データ(既婚者：18～49歳、未婚者18～34歳)をもとに算出(まち・ひと・しごと創生本部が前提としているデータと同じ手法)。

図表 38 船橋市の希望出生率算定の各種データ

□夫婦の予定子ども数【図表34参照】

予定子ども数 (人)	回答数 (人)	合計子ども数 (人)	平均予定 子ども数(人)
0	49	0	
1	133	133	
2	366	732	
3	117	351	
4	10	40	
5	1	5	
	676	1,261	1.87
(A)		(B)	(B/A)

□独身者の希望子ども数【図表65参照】

予定子ども数 (人)	回答数 (人)	合計子ども数 (人)	平均予定 子ども数(人)
0	14	0	
1	33	33	
2	203	406	
3	60	180	
4	2	8	
5	2	10	
	314	637	2.03
(A)		(B)	(B/A)

□有配偶者割合・独身者割合【平成22年国勢調査から算出(18～34歳)】

有配偶者割合	37.0%
独身者割合	63.0%

□独身者のうち結婚を希望する者の割合【図表61参照】

いずれ結婚するつもり	90.3%
一生結婚するつもりはない	9.7%

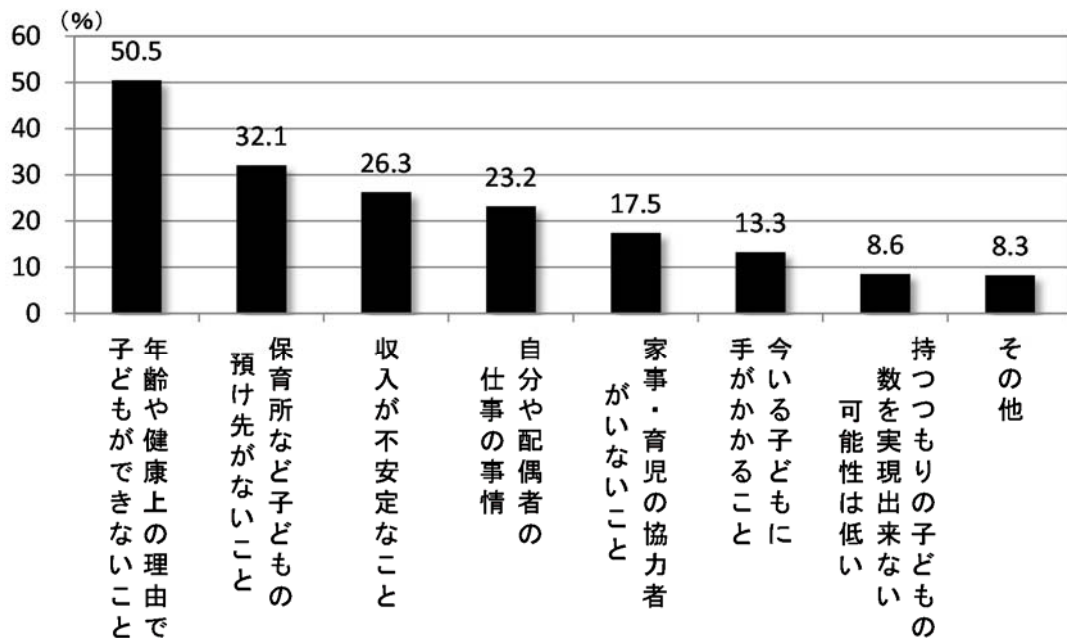
6) 今後持つつもりのお子さんが持てない場合の原因

(問 10) 今後持つつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いでしょうか。以下のなかから、あてはまるものすべてに○印をつけてください。(MA)

今後持つつもりのお子さんが持てない場合の原因は、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が 50.5%で最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先がないこと (32.1%)」、「収入が不安定なこと (26.3%)」の順となっている (図表 39)。なお、「持つつもりのお子さんの数を実現出来ない可能性は低い」は 8.6%に留まっている。

年齢層別にみると、「25～29 歳」は「保育所など子どもの預け先がないこと」が 36.0%で最も多いほか、「収入が不安定なこと (34.0%)」や「自分や配偶者の仕事の事情 (32.0%)」、「持つつもりのお子さんの数を実現出来ない可能性は低い (16.0%)」が他の年齢層比で最多となっている (図表 40)。「30～34 歳」は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が 47.2%で最も多く、「保育所など子どもの預け先がないこと (42.4%)」や「今いる子どもに手がかかること (18.4%)」が他の年齢層比では最も多い。「35～39 歳」は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと (62.3%)」や「保育所など子どもの預け先がないこと (30.4%)」が多いほか、「家事・育児の協力者がいないこと (21.7%)」が他の年齢層比で最多となっている。「40～44 歳」や「45～49 歳」は、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと (40～44 歳 : 62.5%、45～49 歳 : 81.8%)」がそれぞれ最多となっている。

図表 39 今後持つつもりのお子さんが持てない場合の原因



(n=315)

図表 40 今後持つつもりの子どもの持てない理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	年齢や健康上の理由で子どもができないこと	保育所など子どもの預け先がないこと	収入が不安定なこと	自分や配偶者の仕事の事情	家事・育児の協力者がいないこと	今いる子どもに手がかること	持つつもりの子どもの数を実現出来ない可能性は低い	その他
全体		315	50.5	32.1	26.3	23.2	17.5	13.3	8.6	8.3
性別	男性	95	41.1	31.6	34.7	25.3	20.0	7.4	9.5	8.4
	女性	220	54.5	32.3	22.7	22.3	16.4	15.9	8.2	8.2
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	6	16.7	33.3	66.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7
	25～29歳	50	18.0	36.0	34.0	32.0	18.0	10.0	16.0	8.0
	30～34歳	125	47.2	42.4	26.4	29.6	18.4	18.4	7.2	8.0
	35～39歳	69	62.3	30.4	18.8	17.4	21.7	14.5	5.8	11.6
	40～44歳	32	62.5	18.8	28.1	18.8	15.6	9.4	6.3	6.3
	45～49歳	33	81.8	3.0	21.2	3.0	3.0	3.0	9.1	3.0
居住地区別	東部	81	55.6	35.8	28.4	27.2	14.8	11.1	4.9	4.9
	西部	87	51.7	32.2	27.6	23.0	23.0	10.3	10.3	9.2
	南部	77	45.5	31.2	22.1	20.8	10.4	14.3	9.1	14.3
	北部	36	33.3	25.0	30.6	13.9	16.7	22.2	13.9	5.6
	中部	32	62.5	34.4	21.9	31.3	28.1	15.6	3.1	6.3
職業別	会社員	122	45.9	36.1	27.0	30.3	18.9	11.5	9.8	9.0
	公務員	22	68.2	27.3	4.5	22.7	18.2	9.1	0.0	4.5
	自営・自由業・経営者	13	69.2	23.1	46.2	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0
	アルバイト・パート	46	58.7	26.1	19.6	13.0	13.0	17.4	2.2	13.0
	契約（派遣）社員	15	40.0	20.0	40.0	33.3	13.3	0.0	13.3	6.7
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）	86	45.3	32.6	25.6	16.3	18.6	17.4	11.6	7.0
	無職（年金生活者含む）	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

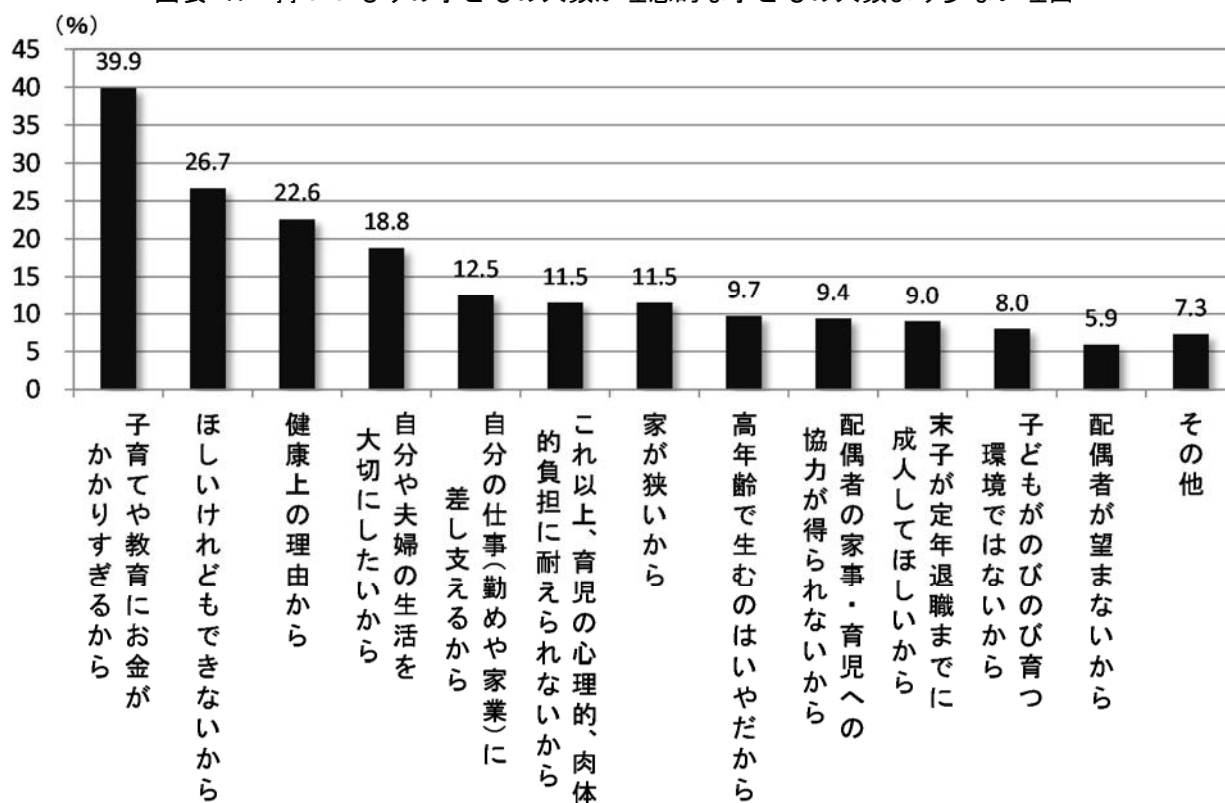
7) 今後持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由

(問 11) 今後持つつもりのお子さんの数が、理想的なお子さんの数より少ないのはどうしてですか。以下の理由のなかから、あてはまるものすべてに○印をつけ、そのなかで最も重要な理由には◎をつけてください。(MA)

今後持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 39.9%で最も多く、「ほしいけれどもできないから (26.7%)」、「健康上の理由から (22.6%)」が続いている (図表 41)。

年齢層別にみると、「30～34 歳」は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 50.8%で最も多いほか、「自分の仕事 (勤めや家業) に差し支えるから (26.2%)」や「家が狭いから (23.0%)」が他の年齢層比で最多であった (図表 42)。「35～39 歳」は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから (41.3%)」が最多で、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから (23.8%)」、「高年齢で生むのはいやだから (15.9%)」や「末子が定年退職までに成人してほしいから (12.7%)」などが他の年齢層比で最も多かった。「40～44 歳」は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 38.2%で最も多く、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから (17.1%)」や「配偶者の家事・育児への協力が得られないから (10.5%)」が他の年齢層比で最多であった。「45～49 歳」は「ほしいけれどもできないから (38.6%)」が最も多いほか、「健康上の理由から (31.4%)」も他の年齢層比で最多となっている。

図表 41 持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由



(n=288)

図表 42 持つつもりの子どもの人数が理想的な子どもの人数より少ない理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	ほしいけれどもできないから	健康上の理由から	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	家が狭いから	体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	高齢で生むのはいやだから	配偶者の家事・育児への協力が得られないから	末子が定年退職までに成人してほしいから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	配偶者が望まないから	その他
全体		288	39.9	26.7	22.6	18.8	12.5	11.5	11.5	9.7	9.4	9.0	8.0	5.9	7.3	
性別	男性	68	41.2	23.5	22.1	16.2	7.4	8.8	7.4	16.2	2.9	11.8	8.8	4.4	4.4	
	女性	220	39.5	27.7	22.7	19.5	14.1	12.3	12.7	7.7	11.4	8.2	7.7	6.4	8.2	
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～24歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	25～29歳	15	66.7	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	13.3	
	30～34歳	61	50.8	18.0	23.0	21.3	26.2	23.0	11.5	9.8	9.8	6.6	8.2	6.6	8.2	
	35～39歳	63	41.3	25.4	19.0	23.8	17.5	9.5	6.3	15.9	6.3	12.7	9.5	7.9	7.9	
	40～44歳	76	38.2	30.3	21.1	19.7	9.2	10.5	17.1	6.6	10.5	10.5	7.9	6.6	5.3	
	45～49歳	70	22.9	38.6	31.4	12.9	1.4	5.7	11.4	7.1	8.6	7.1	7.1	4.3	7.1	
居住地区別	東部	69	36.2	14.5	7.2	30.4	8.7	8.7	13.0	11.6	20.3	8.7	5.8	14.5	11.6	
	西部	84	41.7	13.1	15.5	28.6	11.9	7.1	19.0	10.7	20.2	7.1	8.3	6.0	3.6	
	南部	57	36.8	15.8	15.8	26.3	14.0	7.0	26.3	10.5	24.6	10.5	3.5	8.8	7.0	
	北部	38	42.1	2.6	5.3	15.8	2.6	2.6	10.5	13.2	28.9	13.2	5.3	7.9	10.5	
	中部	38	44.7	5.3	15.8	26.3	5.3	15.8	21.1	13.2	21.1	10.5	5.3	7.9	5.3	
職業別	会社員	91	40.7	24.2	24.2	15.4	18.7	6.6	8.8	11.0	9.9	8.8	11.0	3.3	5.5	
	公務員	12	16.7	41.7	25.0	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	
	自営・自由業・経営者	14	42.9	35.7	28.6	21.4	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	7.1	7.1	21.4	7.1	
	アルバイト・パート	68	36.8	30.9	17.6	17.6	11.8	13.2	16.2	10.3	14.7	8.8	4.4	4.4	8.8	
	契約（派遣）社員	12	41.7	8.3	33.3	16.7	25.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	専業主婦（主夫）	84	42.9	23.8	21.4	23.8	4.8	11.9	10.7	8.3	9.5	9.5	9.5	8.3	7.1	
	無職（年金生活者含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(4) 親世代との同居・手助けの有無

(問 12) あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間(3歳未満の場合は現在)について、①ご夫婦いずれかの親世帯と同居していましたか。また、同別居とは別に、②子育ての手助けはありましたか。あてはまるものをそれぞれ選んで番号に○印をつけてください(複数人の子どもがいる場合は、第1子についてお答えください)。(SA)

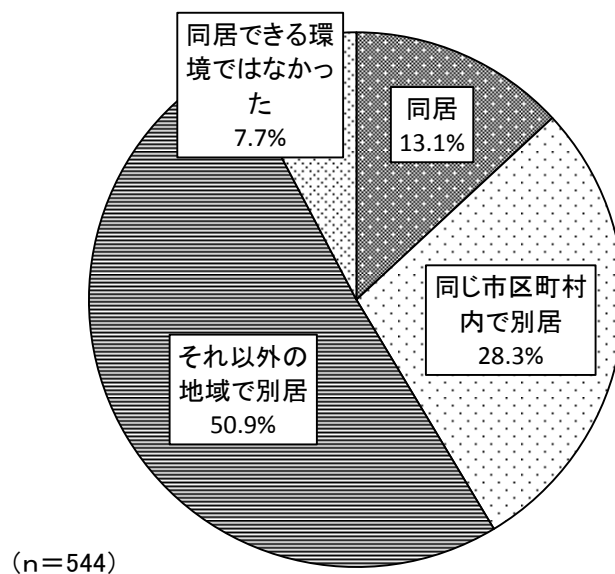
1) 親世代との同居の有無

子どもが3歳になるまでの親世代との同居についてみると、「同居」は13.1%となっている(図表43)。また、「同じ市区町村内で別居」は28.3%、「それ以外の地域で別居」は50.9%であった。「同居できる環境ではなかった」は7.7%となっている。

年齢層別にみると、全年齢層で「それ以外の地域で別居」が最多となっている(図表44)。「25～29歳」は、「同居」が21.6%と他の年齢層比で最も多かった。

居住地区別にみると、「北部」は「同居(25.8%)」が他の地区と比べて最も多く、最も「同居」が少ない「南部」(6.9%)とは18.9ポイントの差異がみられる。

図表 43 親世代との同居の有無



図表 44 親世代との同居の有無（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	同居	同じ市区町 村内 で別居	それ以外 の地域 で別居	同居で できる環 境では なかつた
全体		544	13.1	28.3	50.9	7.7
性別	男性	135	11.9	31.9	45.9	10.4
	女性	409	13.4	27.1	52.6	6.8
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	25～29歳	37	21.6	16.2	54.1	8.1
	30～34歳	132	12.1	30.3	45.5	12.1
	35～39歳	123	8.9	28.5	55.3	7.3
	40～44歳	122	14.8	33.6	49.2	2.5
	45～49歳	127	14.2	23.6	54.3	7.9
居住地区別	東部	149	13.4	34.2	46.3	6.0
	西部	153	9.8	24.2	59.5	6.5
	南部	102	6.9	30.4	50.0	12.7
	北部	62	25.8	19.4	45.2	9.7
	中部	74	17.6	28.4	50.0	4.1
職業別	会社員	176	12.5	28.4	50.0	9.1
	公務員	23	17.4	34.8	47.8	0.0
	自営・自由業・経営者	20	20.0	50.0	30.0	0.0
	アルバイト・パート	127	13.4	27.6	55.1	3.9
	契約（派遣）社員	15	6.7	33.3	53.3	6.7
	学生	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	専業主婦（主夫）	174	12.1	25.9	51.7	10.3
	無職（年金生活者含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

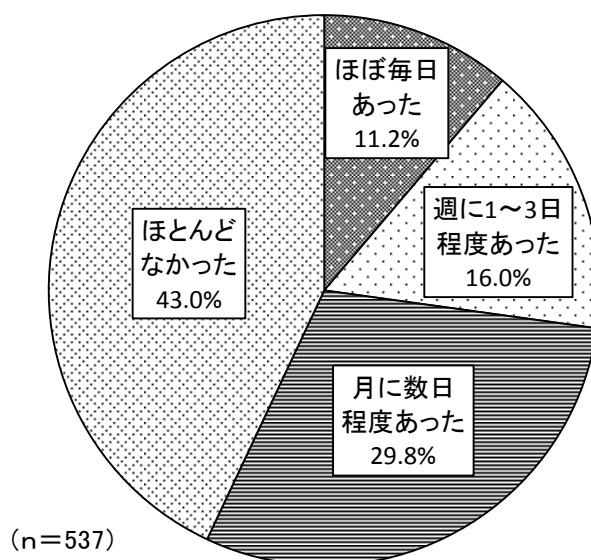
2) 親世代の手助けの有無

子どもが3歳になるまでの親世代の手助けの有無についてみると、「ほぼ毎日あった」は11.2%、「週に1～3日程度あった」は16.0%、「月に数日程度あった」は29.8%となっており、これらを合わせると57.0%が親からの手助けが「あった」と回答している（図表45）。一方、「ほとんどなかった」は43.0%であった。

子どもが3歳になるまでの親世代の手助けの有無と今後持つつもりの子どもの人数との相関をみると、「あと1人」と回答したのは、「ほぼ毎日あった」が31.0%で最も多く、次いで「週に1～3日程度あった（26.2%）」、「月に数日程度あった（22.8%）」、「ほとんどなかった（20.3%）」の順となっている（図表46）。

年齢層別にみると、全年齢層で「ほとんどなかった」が最多となっている（図表47）。「25～29歳」は、「ほぼ毎日あった」が22.2%と他の年齢層比で最も多かった。

図表 45 親世代の手助けの有無



図表 46 親世代の手助けの有無（今後持つつもりの子どもの人数との相関）

（単位：％）

		回答数 (n)	今後持つつもりの子どもの人数				
			あと1人	あと2人	あと3人	あと4人以上	もう生むつもりはない
手助けの親世代の有無	ほぼ毎日あった	58	31.0	3.4	0.0	0.0	65.5
	週に1～3日程度あった	84	26.2	3.6	0.0	1.2	69.0
	月に数日程度あった	158	22.8	4.4	0.0	0.0	72.8
	ほとんどなかった	227	20.3	3.5	0.0	0.4	75.8

（注）グレーの濃い網掛けは、親世代の手助けの有無別に最も割合が多い項目。

図表 47 親世代の手助けの有無（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	ほぼ毎日 あった	週に1～3日 程度あった	月に数日 程度あった	ほとんど なかった
全体		537	11.2	16.0	29.8	43.0
性別	男性	130	10.0	16.9	31.5	41.5
	女性	407	11.5	15.7	29.2	43.5
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3
	25～29歳	36	22.2	19.4	27.8	30.6
	30～34歳	129	13.2	14.0	34.9	38.0
	35～39歳	120	8.3	20.0	34.2	37.5
	40～44歳	125	12.8	20.8	25.6	40.8
	45～49歳	124	6.5	8.9	25.0	59.7
居住地区別	東部	144	9.0	20.8	27.8	42.4
	西部	157	12.1	13.4	33.1	41.4
	南部	101	9.9	13.9	31.7	44.6
	北部	58	15.5	13.8	20.7	50.0
	中部	73	12.3	17.8	32.9	37.0
職業別	会社員	174	10.9	16.7	29.3	43.1
	公務員	23	17.4	26.1	17.4	39.1
	自営・自由業・経営者	20	5.0	35.0	25.0	35.0
	アルバイト・パート	124	8.9	15.3	31.5	44.4
	契約（派遣）社員	15	20.0	6.7	40.0	33.3
	学生	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	専業主婦（主夫）	174	11.5	13.8	31.6	43.1
	無職（年金生活者含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

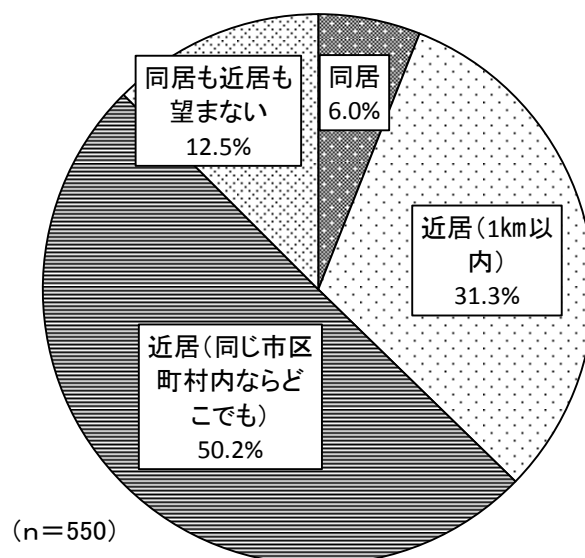
3) 親世代との同居・近居の希望

(問 13)あなた方ご夫婦のお子さんを出産、子育てするにあたり、ご夫婦と親世帯の住居はどのような形態が望ましい、または望ましかったですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

親世代との同居・近居の希望についてみると、「同居」は 6.0%となっている(図表 48)。また、「近居(1km以内)」は 31.3%で、「近居(同じ市区町村内ならどこでも)」(50.2%)をあわせると 81.5%が「近居」を希望している。一方、「同居も近居も望まない」は 12.5%であった。

年齢層別にみると、全年齢層で「近居(同じ市区町村内ならどこでも)」が最も多く、その回答割合は「25～29 歳」が 71.1%と他の年齢層比で最多であった(図表 49)。

図表 48 親世代との同居・近居の希望



図表 49 親世代との同居・近居の希望（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	同居	(1 km 近居 以内)	近居（同じ市 区町村内なら どこでも）	同居も近居も 望まない
全体		550	6.0	31.3	50.2	12.5
性別	男性	136	6.6	30.1	55.9	7.4
	女性	414	5.8	31.6	48.3	14.3
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	25～29歳	38	7.9	18.4	71.1	2.6
	30～34歳	135	5.9	34.8	47.4	11.9
	35～39歳	124	2.4	32.3	50.8	14.5
	40～44歳	124	3.2	38.7	46.8	11.3
	45～49歳	126	11.9	23.0	49.2	15.9
居住地区別	東部	147	8.8	32.7	45.6	12.9
	西部	160	3.8	30.6	53.8	11.9
	南部	103	4.9	30.1	50.5	14.6
	北部	61	4.9	27.9	50.8	16.4
	中部	75	8.0	36.0	49.3	6.7
職業別	会社員	178	5.6	34.3	48.9	11.2
	公務員	24	4.2	33.3	58.3	4.2
	自営・自由業・経営者	21	9.5	28.6	52.4	9.5
	アルバイト・パート	128	5.5	35.2	39.1	20.3
	契約（派遣）社員	15	0.0	40.0	60.0	0.0
	学生	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	専業主婦（主夫）	175	6.3	25.1	58.3	10.3
	無職（年金生活者含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

（５）船橋市の子育て環境の安全・安心面の評価

（問 14）船橋市は、お子さんが安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。（SA）

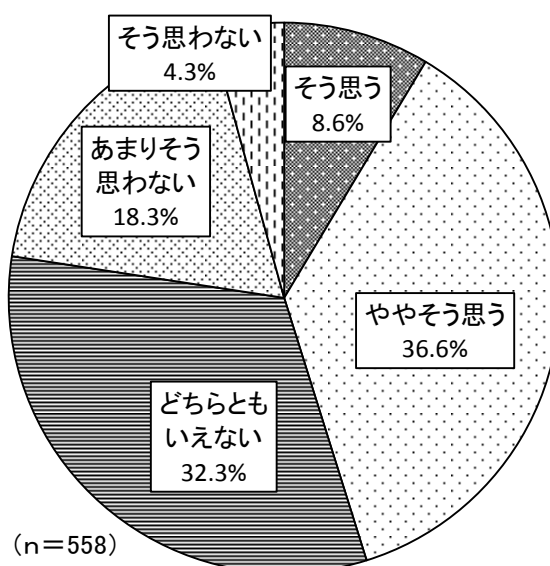
船橋市の子育て環境の安全・安心面の評価についてみると、「そう思う」は 8.6%となっており、「ややそう思う（36.6%）」を合わせると 45.2%が「思う」と回答した（図表 50）。

一方、「そう思わない（4.3%）」と「あまりそう思わない（18.3%）」の合計は 22.6%であった。なお、「どちらともいえない」は 32.3%となっている。

年齢層別にみると、「25～29 歳」は「どちらともいえない（39.5%）」、「30～34 歳」以上は「ややそう思う」が最多となっている（図表 51）。

居住地区別にみると、「北部」は「思う」計（53.2%）が他の地区と比べて最も多く、「思う」計が最も少ない「西部」（35.1%）とは 18.1 ポイントの差異がみられた。

図表 50 船橋市の子育て環境の評価



図表 51 船橋市の子育て環境の評価（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	「思う」計			どちらとも いえない	「思わない」計		
			思う	やや思う	やや思う		思わない	あまりそう 思わない	そう思わない
全体		558	45.2	8.6	36.6	32.3	22.6	18.3	4.3
性別	男性	137	48.9	8.0	40.9	22.6	28.5	21.9	6.6
	女性	421	44.0	8.8	35.2	35.4	20.7	17.1	3.6
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
	25～29歳	38	44.7	10.5	34.2	39.5	15.8	15.8	0.0
	30～34歳	136	42.6	5.1	37.5	31.6	25.8	22.1	3.7
	35～39歳	125	44.8	7.2	37.6	29.6	25.6	20.0	5.6
	40～44歳	127	46.5	8.7	37.8	33.1	20.4	17.3	3.1
	45～49歳	129	47.3	13.2	34.1	32.6	20.1	14.7	5.4
居住地区別	東部	150	51.4	12.7	38.7	29.3	19.4	14.7	4.7
	西部	162	35.1	4.9	30.2	34.6	30.3	24.7	5.6
	南部	103	45.7	4.9	40.8	34.0	20.3	18.4	1.9
	北部	62	53.2	11.3	41.9	32.3	14.5	12.9	1.6
	中部	76	47.3	11.8	35.5	28.9	23.7	17.1	6.6
職業別	会社員	179	45.8	8.4	37.4	28.5	25.7	20.7	5.0
	公務員	24	50.0	12.5	37.5	33.3	16.7	12.5	4.2
	自営・自由業・経営者	22	36.4	0.0	36.4	31.8	31.8	22.7	9.1
	アルバイト・パート	130	46.9	6.9	40.0	39.2	13.8	11.5	2.3
	契約（派遣）社員	15	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	26.7	13.3
	学生	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	専業主婦（主夫）	179	46.9	10.6	36.3	29.6	23.5	20.7	2.8
	無職（年金生活者含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(6) 不妊及び不妊治療

1) 不妊に関する不安や悩みの有無

(問 15) あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。また、不妊治療のご経験はありますか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(SA)

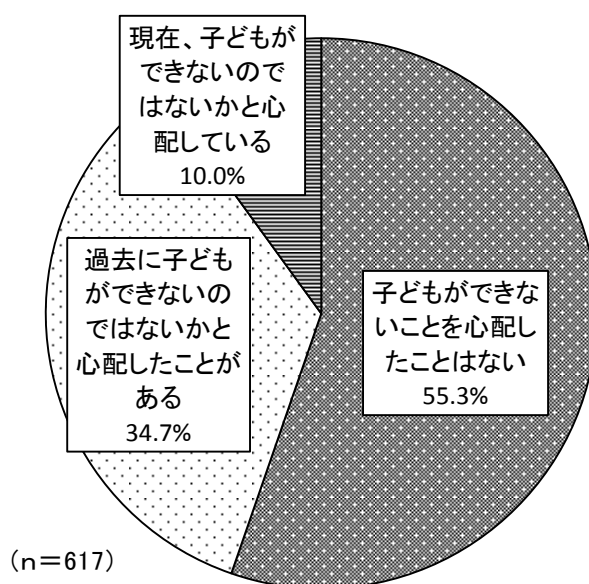
(1) 不妊に関する悩みの有無(1つだけに○)

不妊に関する不安や悩みの有無についてみると、「子どもができないことを心配したことはない」は 55.3%と最も多かった(図表 52)。一方、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」は 34.7%、「現在、子どもができないのではないかと心配している」は 10.0%であった。

年齢層別にみると、全年齢層で「子どもができないことを心配したことはない」が最も多かった(図表 53)。「30～34 歳」は「現在、子どもができないのではないかと心配している(19.0%)」が他の年齢層比で最も多く、「40～44 歳」や「45～49 歳」の約 4 割は「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」と回答した。

現在の子どもの人数別にみると、「0 人」の 38.1%が「現在、子どもができないのではないかと心配している」と回答し、「1 人」の 50.0%が「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」と回答した(図表 54)。

図表 52 不妊に関する不安や悩みの有無



図表 53 不妊に関する不安や悩みの有無（属性別）

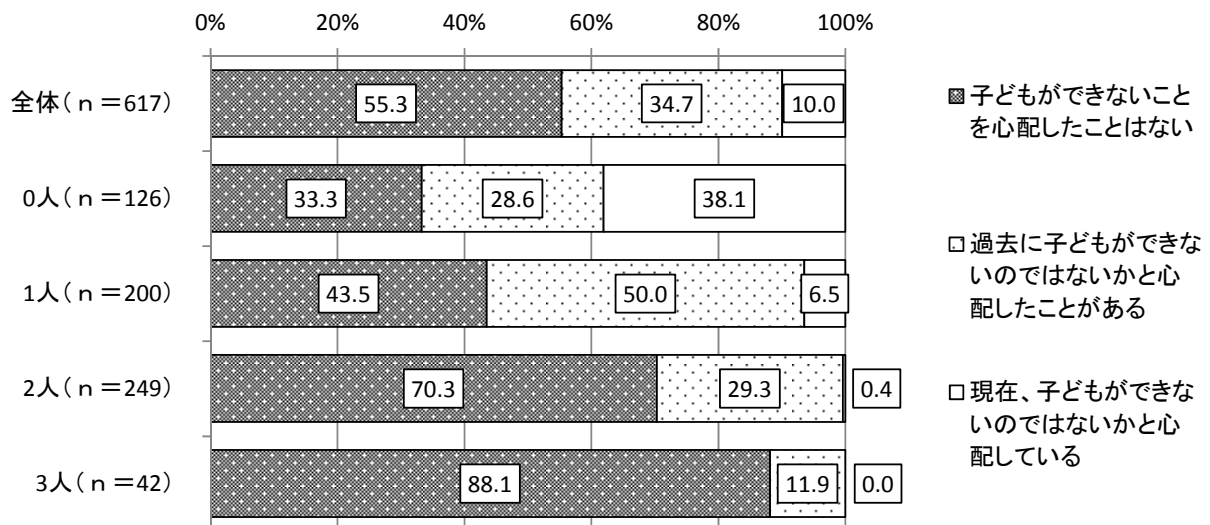
（単位：％）

		回 答 数 （ <i>n</i> ）	こ ど も が で き な い こ と を 心 配 し た こ と は な い	か き 過 去 に こ ど も が で き な い の で は な い か と 心 配 し た こ と は あ る	か き 現 在 、 こ ど も が で き な い の で は な い か と 心 配 し て い る
全体		617	55.3	34.7	10.0
性 別	男性	155	63.2	27.1	9.7
	女性	462	52.6	37.2	10.2
年 齢 層 別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	5	60.0	20.0	20.0
	25～29歳	49	59.2	30.6	10.2
	30～34歳	158	55.7	25.3	19.0
	35～39歳	134	51.5	35.8	12.7
	40～44歳	134	53.7	41.0	5.2
	45～49歳	137	58.4	40.1	1.5
居 住 地 区 別	東部	164	57.9	34.1	7.9
	西部	181	52.5	34.3	13.3
	南部	125	56.0	32.8	11.2
	北部	62	53.2	37.1	9.7
	中部	81	56.8	37.0	6.2
職 業 別	会社員	210	56.2	30.0	13.8
	公務員	28	50.0	42.9	7.1
	自営・自由業・経営者	28	71.4	25.0	3.6
	アルバイト・パート	137	55.5	36.5	8.0
	契約（派遣）社員	24	45.8	29.2	25.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）	175	53.7	41.1	5.1
	無職（年金生活者含む）	1	0.0	0.0	100.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 54 不妊に関する不安や悩みの有無（現在の子どもの人数別）



2) 不妊治療の経験の有無

【問 15 (1) で「2.」または「3.」とお答えになった方への質問】

(問 15) あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。また、不妊治療のご経験はありますか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。

(2) 不妊治療の経験の有無 (S A)

不妊治療の経験の有無についてみると、「現在、検査や治療を受けている」は 8.1% となっており、「過去に検査や治療を受けたことがある (48.8%)」をあわせると 56.9% が不妊治療・検査の受診経験者であった (図表 55)。

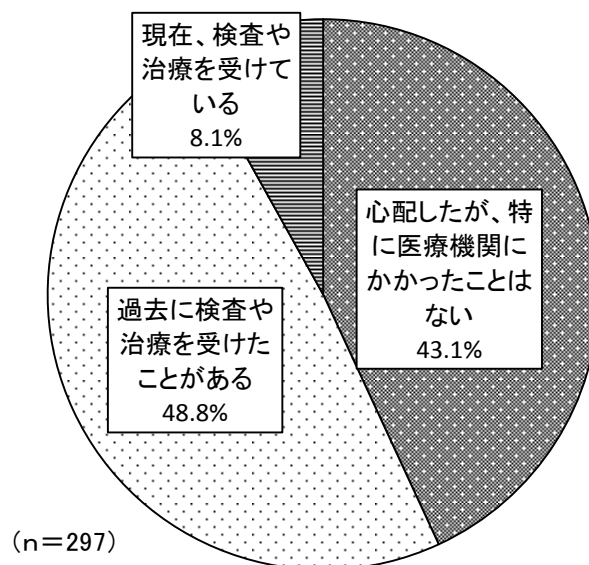
一方、「心配したが、特に医療機関にかかったことはない」は 43.1% となっている。

年齢層別にみると、「30～34 歳」の 18.1% が「現在、検査や治療を受けている」と回答した (図表 56)。また、「35～39 歳」や「40～44 歳」の約 6 割は「過去に検査や治療を受けたことがある」としている。

不妊に対する不安や悩みの有無別にみると、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」という回答者のうち、「過去に検査や治療を受けたことがある」は 58.2% と「心配したが、特に医療機関にかかったことはない (41.8%)」を上回っている (図表 57)。また、「現在、子どもができないのではないかと心配している」という回答者のうち、「現在、検査や治療を受けている」が 37.1%、「過去に検査や治療を受けたことがある」が 19.4% となっているが、43.5% は「心配したが、特に医療機関にかかったことはない」と回答した。

現在の子どもの人数別にみると、「0 人」の 24.4% が「現在、検査や治療を受けている」、35.6% が「過去に検査や治療を受けたことがある」と回答した。また、「1 人」の 49.6% が「過去に検査や治療を受けたことがある」と回答している (図表 58)。

図表 55 不妊治療の経験の有無



図表 56 不妊治療の経験の有無（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	心配した 医療機関に 相談した ことがある	過去に検査 を受けた ことがある	現在、検査 を受けて いる
全体		297	43.1	48.8	8.1
性別	男性	63	41.3	52.4	6.3
	女性	234	43.6	47.9	8.5
年齢層別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	2	100.0	0.0	0.0
	25～29歳	23	47.8	30.4	21.7
	30～34歳	72	44.4	37.5	18.1
	35～39歳	71	35.2	59.2	5.6
	40～44歳	68	36.8	60.3	2.9
	45～49歳	61	54.1	45.9	0.0
居住地区別	東部	72	44.4	47.2	8.3
	西部	90	46.7	43.3	10.0
	南部	63	46.0	44.4	9.5
	北部	31	45.2	48.4	6.5
	中部	38	28.9	68.4	2.6
職業別	会社員	101	42.6	47.5	9.9
	公務員	14	50.0	42.9	7.1
	自営・自由業・経営者	8	37.5	50.0	12.5
	アルバイト・パート	64	40.6	46.9	12.5
	契約（派遣）社員	14	50.0	42.9	7.1
	学生	1	100.0	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）	87	40.2	57.5	2.3
	無職（年金生活者含む）	1	100.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

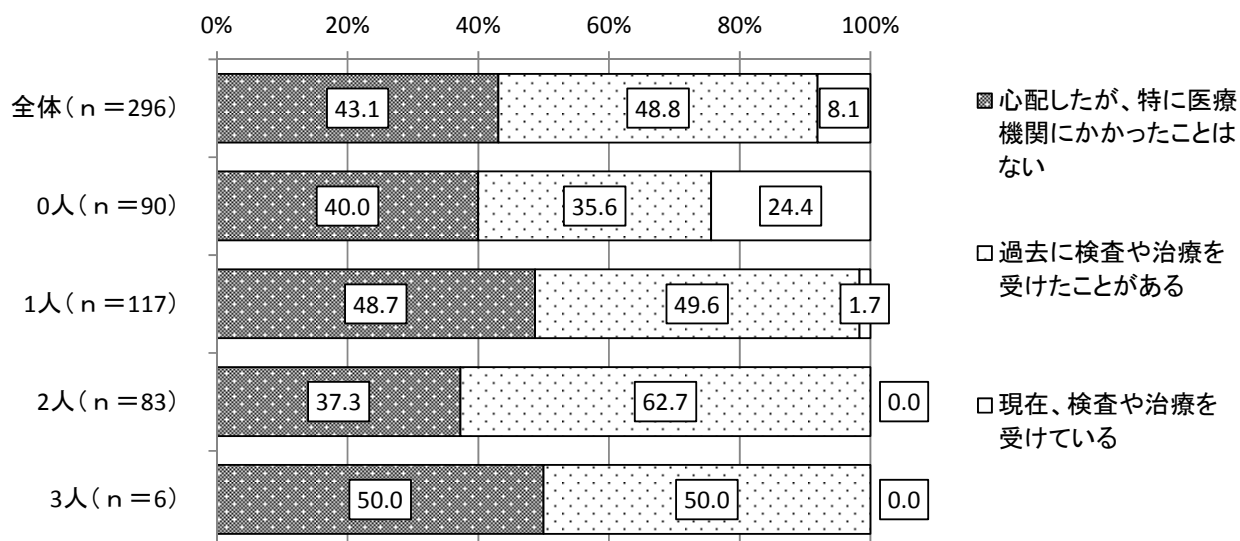
図表 57 不妊治療の経験の有無（不妊に対する不安や悩みの有無別）

（単位：％）

		回答数(n)	不妊治療の経験の有無		
			心配したが、特に医療機関にかかったことはない	過去に検査や治療を受けたことがある	現在、検査や治療を受けている
不妊に対する不安や悩みの有無	全体	297	43.1	48.8	8.1
	過去に子どもができないのではないかと心配したことがある	213	41.8	58.2	0.0
	現在、子どもができないのではないかと心配している	62	43.5	19.4	37.1

（注）グレーの濃い網掛けは、不妊に対する不安や悩みの有無別に最も割合が多い項目。

図表 58 不妊治療の経験の有無（現在の子どもの人数別）



4. 結婚及び出産・子育ての意向等（独身者）

◆あなたの結婚や出産・子育ての意向等についておうかがいします

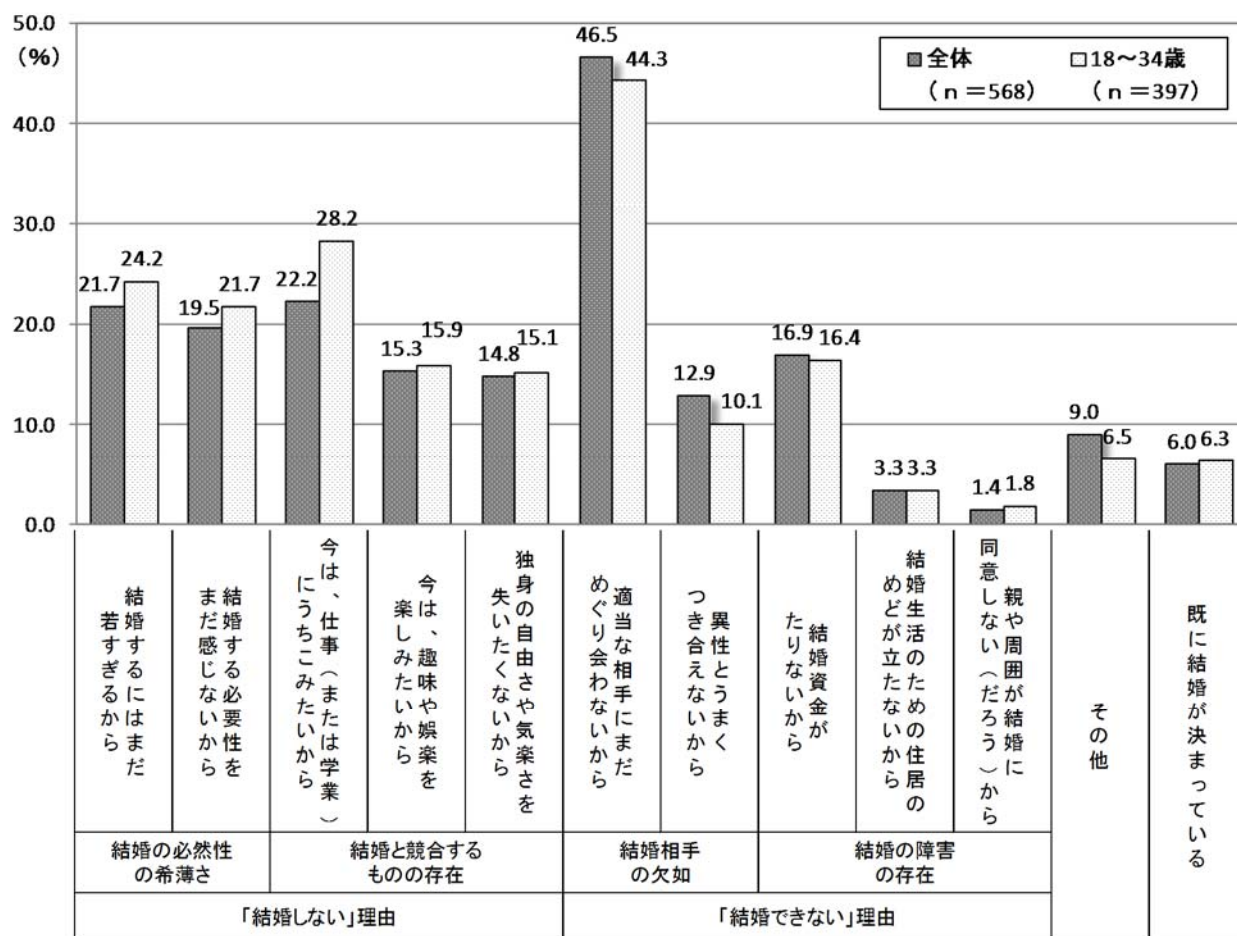
（１）現在独身でいる理由

（問 16）あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください（3 つまで）。（MA）

現在独身でいる理由についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が 46.5%で最も多く、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから（22.2%）」、「結婚するにはまだ若すぎるから（21.7%）」が続いている（図表 59）。そのうち、18～34 歳では、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が 44.3%で最も多く、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから（28.2%）」、「結婚するにはまだ若すぎるから（24.2%）」が続いている。

年齢層別にみると、「18～19 歳」や「20～24 歳」は、「結婚するにはまだ若すぎるから（18～19 歳：76.3%、20～24 歳：47.2%）」が最も多く、「20～24 歳」は、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから（48.8%）」や「結婚資金が足りないから（19.7%）」が他の年齢層比で最多であった（図表 60）。「25～29 歳」以上は「適当な相手にまだめぐりあわないから」が最も多くなっている。「35～39 歳」は、「結婚する必要性をまだ感じないから（26.8%）」、「40～44 歳」は、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから（32.1%）」、「異性とうまくつき合えないから（23.2%）」及び「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから（19.6%）」がそれぞれ他の年齢層比で最多となっている。

図表 59 現在独身でいる理由



図表 60 現在独身でいる理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	「結婚」しない理由					「結婚できない」理由					その他	すでに結婚が 決まっている
			結婚の必然性 の希薄さ		結婚と競合する ものの存在			結婚相手 の欠如		結婚の障害 の存在				
			結婚する にはまだ若すぎ るから	結婚する 必要をまだ感 じないから	業（に）うちこ みたいから	今は、仕事（または学 校）に 興味や娯楽を 楽しみたいから	今は、趣味や娯楽を 楽しみたいから	独身の自由さや 気楽さを失いた くないから	適当な相手に まだめぐり 会わないから	異性とうまく つき合えな いから	結婚資金が たりないから	結婚生活のた めの住居の 問題が ない（だ ろう）から		
全体		568	16.9	21.7	22.2	14.8	19.5	46.5	12.9	15.3	3.3	1.4	9.0	6.0
性別	男性	277	15.5	21.3	20.9	16.2	22.0	43.0	15.2	19.5	4.0	2.2	10.8	4.0
	女性	291	18.2	22.0	23.4	13.4	17.2	49.8	10.7	11.3	2.7	0.7	7.2	7.9
年齢層別	18～34歳	397	24.2	21.7	28.2	15.9	15.1	44.3	10.1	16.4	3.3	1.8	6.5	6.3
	18～19歳	38	76.3	21.1	42.1	10.5	5.3	10.5	7.9	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0
	20～24歳	127	47.2	26.0	48.8	14.2	10.2	33.9	6.3	19.7	3.9	2.4	2.4	3.1
	25～29歳	115	6.1	19.1	16.5	19.1	17.4	45.2	11.3	13.9	4.3	0.9	8.7	12.2
	30～34歳	117	0.0	19.7	12.8	16.2	21.4	65.8	13.7	19.7	2.6	2.6	10.3	6.0
	35～39歳	56	0.0	26.8	10.7	12.5	30.4	53.6	12.5	16.1	5.4	0.0	8.9	7.1
	40～44歳	56	0.0	16.1	10.7	19.6	32.1	51.8	23.2	14.3	3.6	1.8	14.3	5.4
	45～49歳	59	0.0	22.0	3.4	5.1	27.1	49.2	22.0	8.5	1.7	0.0	20.3	3.4
居住地区別	東部	168	19.0	16.1	24.4	16.7	21.4	48.2	11.9	16.1	3.0	0.6	10.1	6.5
	西部	118	21.2	17.8	20.3	9.3	16.1	45.8	10.2	14.4	4.2	2.5	8.5	8.5
	南部	111	16.2	27.9	18.9	15.3	17.1	47.7	14.4	15.3	4.5	0.0	7.2	5.4
	北部	84	16.7	23.8	25.0	16.7	23.8	36.9	15.5	14.3	2.4	3.6	8.3	6.0
	中部	85	8.2	27.1	22.4	16.5	20.0	51.8	14.1	15.3	2.4	1.2	10.6	2.4
職業別	会社員	268	7.5	21.6	13.8	14.6	25.4	49.3	11.2	15.3	5.2	1.5	6.7	7.8
	公務員	36	8.3	13.9	25.0	22.2	27.8	72.2	16.7	11.1	0.0	2.8	11.1	5.6
	自営・自由業・経営者	17	11.8	17.6	23.5	17.6	23.5	52.9	11.8	17.6	11.8	0.0	5.9	17.6
	アルバイト・パート	73	8.2	24.7	11.0	19.2	20.5	49.3	23.3	16.4	1.4	0.0	17.8	5.5
	契約（派遣）社員	34	0.0	26.5	17.6	17.6	14.7	58.8	14.7	26.5	5.9	0.0	11.8	8.8
	学生	95	64.2	26.3	57.9	9.5	3.2	18.9	7.4	8.4	0.0	2.1	3.2	1.1
	無職（年金生活者含む）	28	7.1	10.7	3.6	7.1	14.3	42.9	17.9	21.4	0.0	3.6	21.4	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(2) 今後の結婚の意向

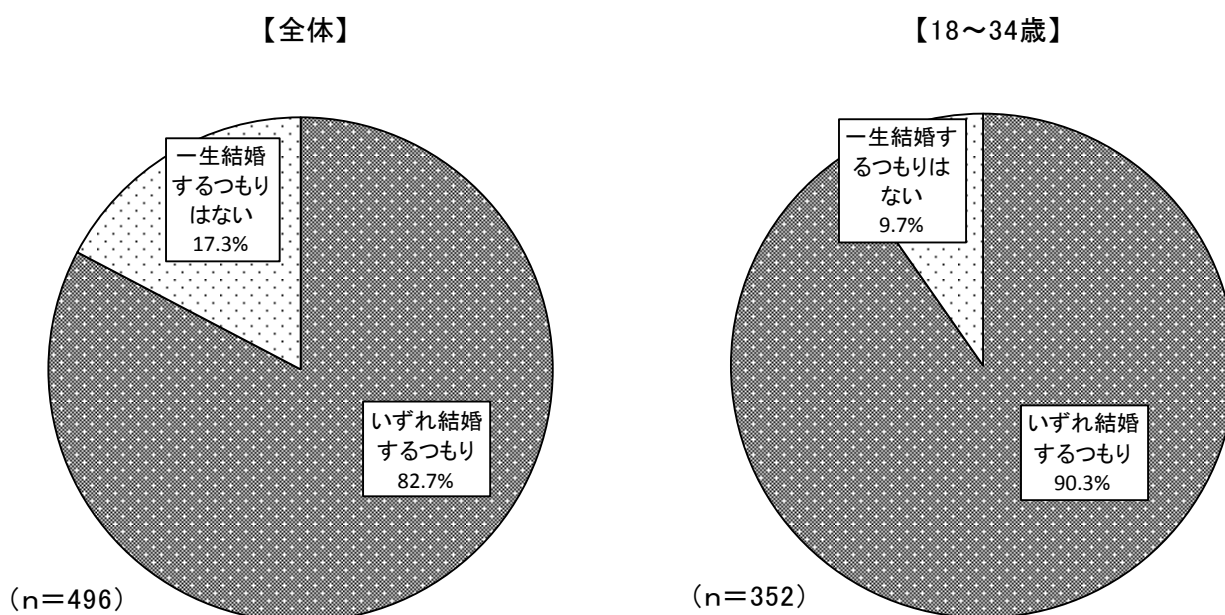
1) 結婚の意向

(問 17) あなたの結婚に関するお考えは次のうちどちらですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

結婚の意向についてみると、「いずれ結婚するつもり」が82.7%と「一生結婚するつもりはない(17.3%)」を上回っている(図表 61)。そのうち18～34歳でも、「いずれ結婚するつもり」が90.3%と「一生結婚するつもりはない(9.7%)」を上回っている(図表 61)。

性別にみると、「女性」は、「いずれ結婚するつもり」が85.5%で「男性」の79.8%を上回っている(図表 62)。「一生結婚するつもりはない」と回答した割合を年齢層別にみると、「20～24歳(3.4%)」以降は加齢に応じて割合が高まり、40歳代では約4割となっている。また、職業別にみると、「会社員(14.4%)」や「公務員(9.7%)」に比べて、「アルバイト・パート(34.4%)」の割合が多くなっている。

図表 61 結婚の意向



図表 62 結婚の意向（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	いずれ つれ結 もり婚 する	つー も生結 り婚す はない
全体		496	82.7	17.3
性別	男性	248	79.8	20.2
	女性	248	85.5	14.5
年齢層別	18～34歳	352	90.3	9.7
	18～19歳	35	82.9	17.1
	20～24歳	116	96.6	3.4
	25～29歳	101	90.1	9.9
	30～34歳	100	86.0	14.0
	35～39歳	50	74.0	26.0
	40～44歳	44	56.8	43.2
	45～49歳	50	60.0	40.0
居住地区別	東部	147	85.7	14.3
	西部	104	85.6	14.4
	南部	98	87.8	12.2
	北部	77	77.9	22.1
	中部	69	69.6	30.4
職業別	会社員	229	85.6	14.4
	公務員	31	90.3	9.7
	自営・自由業・経営者	16	100.0	0.0
	アルバイト・パート	64	65.6	34.4
	契約（派遣）社員	26	65.4	34.6
	学生	87	92.0	8.0
	無職（年金生活者含む）	26	65.4	34.6

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

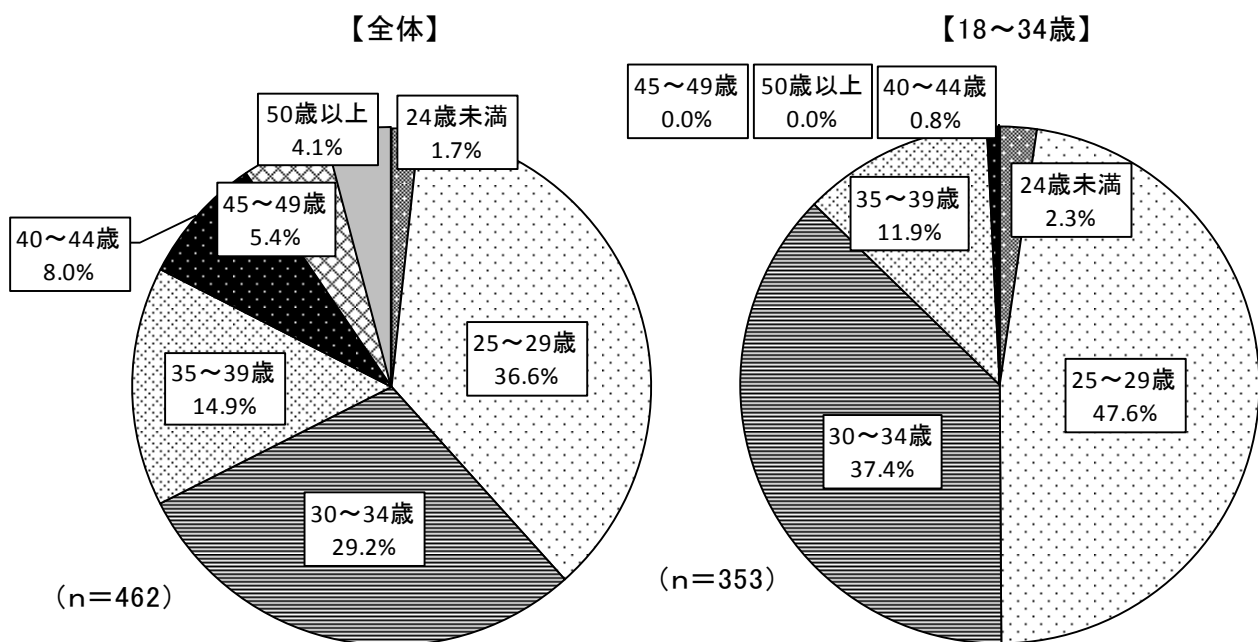
2) 結婚したい年齢層

(問 18)あなたが結婚したいご自分の年齢について、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。(SA)

結婚したい年齢層についてみると、「25～29 歳」が 36.6%で最も多く、次いで「30～34 歳 (29.2%)」、「35～39 歳 (14.9%)」の順となっている(図表 63)。そのうち 18～34 歳では、「25～29 歳」が 47.6%と最多で、「30～34 歳 (37.4%)」、「35～39 歳 (11.9%)」が続いている。

年齢層別にみると、「20～24 歳」の 75.8%が「25～29 歳」に結婚したいと回答している(図表 64)。一方、「25～29 歳」から「40～44 歳」までは、自分の属している年齢階層で結婚したいという割合がいずれも最多となっており、かつ加齢に応じてその割合が高まっている(自分の属している年齢階層で結婚したい割合: 25～29 歳 51.5%→30～34 歳 56.0%→35～39 歳 60.5%→40～44 歳 62.5%)。「45～49 歳」は「45～49 歳」や「50 歳以上」がいずれも 47.1%で最多となっている。

図表 63 結婚したい年齢層



図表 64 結婚したい年齢層（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	24歳未満	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳以上
全体		462	1.7	36.6	29.2	14.9	8.0	5.4	4.1
性別	男性	221	0.5	32.1	29.4	15.8	8.1	7.7	6.3
	女性	241	2.9	40.7	29.0	14.1	7.9	3.3	2.1
年齢層別	18～34歳	353	2.3	47.6	37.4	11.9	0.8	0.0	0.0
	18～19歳	28	3.6	67.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	124	4.8	75.8	18.5	0.8	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	101	1.0	51.5	44.6	3.0	0.0	0.0	0.0
	30～34歳	100	0.0	3.0	56.0	38.0	3.0	0.0	0.0
	35～39歳	43	0.0	0.0	4.7	60.5	32.6	0.0	2.3
	40～44歳	32	0.0	0.0	3.1	0.0	62.5	28.1	6.3
	45～49歳	34	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	47.1	47.1
居住地区別	東部	137	4.4	33.6	28.5	19.7	3.6	5.1	5.1
	西部	101	0.0	38.6	31.7	13.9	10.9	5.0	0.0
	南部	96	0.0	40.6	27.1	15.6	6.3	6.3	4.2
	北部	64	1.6	42.2	28.1	9.4	12.5	3.1	3.1
	中部	61	1.6	29.5	31.1	11.5	8.2	8.2	9.8
職業別	会社員	222	1.4	31.5	26.1	19.8	8.6	8.6	4.1
	公務員	33	0.0	39.4	48.5	6.1	3.0	0.0	3.0
	自営・自由業・経営者	18	0.0	16.7	22.2	16.7	27.8	5.6	11.1
	アルバイト・パート	48	2.1	31.3	29.2	12.5	10.4	6.3	8.3
	契約（派遣）社員	23	0.0	13.0	43.5	26.1	17.4	0.0	0.0
	学生	86	3.5	69.8	23.3	3.5	0.0	0.0	0.0
	無職（年金生活者含む）	18	5.6	5.6	38.9	11.1	16.7	5.6	16.7

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(3) 理想とする子どもの人数

(問 19)あなたが将来結婚したとき、子どもは何人くらい欲しいですか。理想と思う子どもの人数について、あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

【集計対象は、問 17 で「いずれ結婚するつもり」と回答した 410 サンプル。】

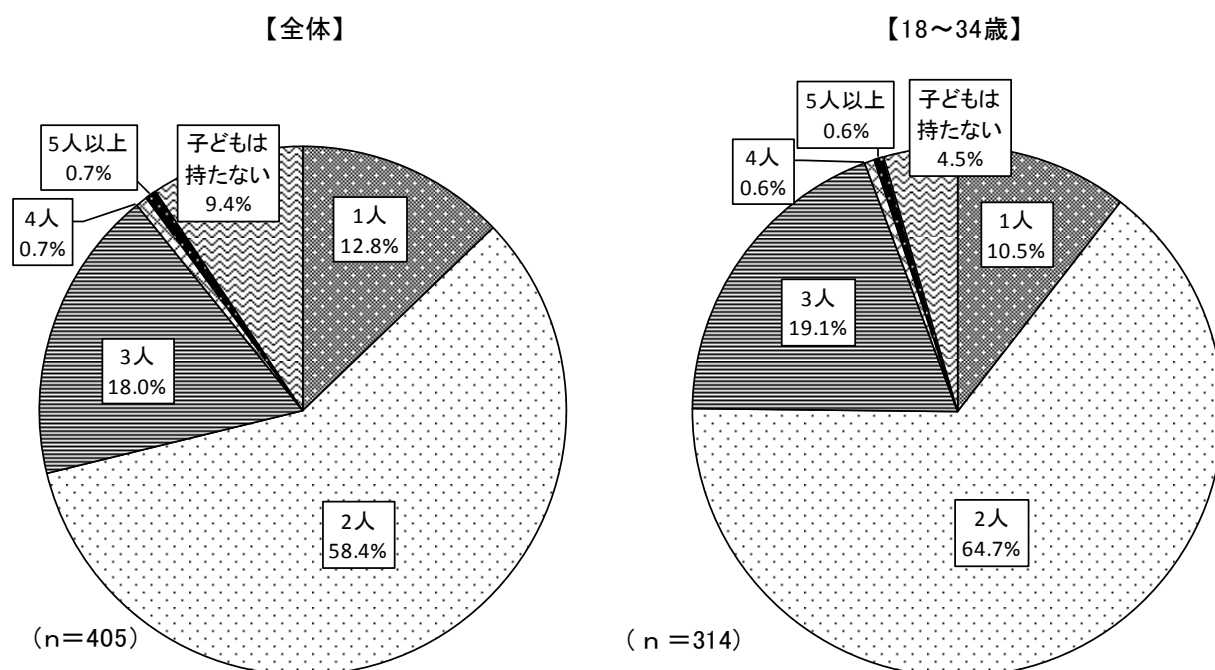
将来結婚したときに理想とする子どもの人数の平均値は、1.90 人 (18～34 歳は 2.03 人) であった (図表 65)。

理想とする子どもの人数 (構成比) についてみると、「2 人」が 58.4%と最も多く、「3 人 (18.0%)」、「1 人 (12.8%)」が続いている。なお、「子どもは持たない」は 9.4%であった。そのうち 18～34 歳では、「2 人」が 64.7%と最多で、「3 人 (19.1%)」、「1 人 (10.5%)」の順となっている。

「2 人」と回答した割合を年齢層別にみると、「18～19 歳」から「35～39 歳」までは「2 人」がいずれも最多となっており、その回答割合は「20～24 歳」が 63.8%で最も多く、加齢に伴って徐々に水準を引き下げて「35～39 歳」には 41.1%となっている (図表 66)。「40～44 歳」や「45～49 歳」は「子どもは持たない」がいずれも最多であった。

「子どもは持たない」と回答した割合を職業別にみると、「会社員 (19.5%)」や「公務員 (11.1%)」に比べて、「無職 (年金生活者含む) (46.7%)」、「契約 (派遣) 社員 (39.4%)」及び「アルバイト・パート (29.7%)」の割合がいずれも多くなっている。

図表 65 理想とする子どもの人数



理想とする子どもの 人数の平均値	全体	18～34 歳
	1.90 人	2.03 人

図表 66 理想とする子どもの人数（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	子ども はいは 持た	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以上
全体		405	9.4	12.8	58.3	18.0	0.7	0.7
性別	男性	278	21.2	12.6	49.6	14.4	1.1	1.1
	女性	289	20.1	14.2	50.2	14.5	1.0	0.0
年齢層別	18～34歳	398	11.6	11.6	59.3	16.6	0.5	0.5
	18～19歳	35	14.3	5.7	62.9	14.3	2.9	0.0
	20～24歳	130	6.9	11.5	63.8	16.9	0.8	0.0
	25～29歳	116	10.3	10.3	57.8	19.8	0.0	1.7
	30～34歳	117	17.1	14.5	54.7	13.7	0.0	0.0
	35～39歳	56	30.4	16.1	41.1	12.5	0.0	0.0
	40～44歳	57	42.1	24.6	22.8	5.3	5.3	0.0
	45～49歳	56	53.6	12.5	19.6	10.7	1.8	1.8
居住地区別	東部	170	20.6	13.5	49.4	15.3	1.2	0.0
	西部	119	19.3	14.3	50.4	14.3	0.8	0.8
	南部	111	18.0	18.0	51.4	12.6	0.0	0.0
	北部	83	21.7	9.6	48.2	18.1	0.0	2.4
	中部	82	25.6	8.5	50.0	12.2	3.7	0.0
職業別	会社員	266	19.5	14.3	51.9	11.7	1.5	1.1
	公務員	36	11.1	2.8	52.8	33.3	0.0	0.0
	自営・自由業・経営者	18	16.7	11.1	61.1	11.1	0.0	0.0
	アルバイト・パート	74	29.7	17.6	39.2	13.5	0.0	0.0
	契約（派遣）社員	33	39.4	12.1	48.5	0.0	0.0	0.0
	学生	93	9.7	9.7	60.2	18.3	2.2	0.0
	無職（年金生活者含む）	30	46.7	16.7	16.7	20.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

5. 地方への移住に関する意向等

◆あなたの地方への移住に関する意向等についておうかがいします。

(1) 地方への移住希望

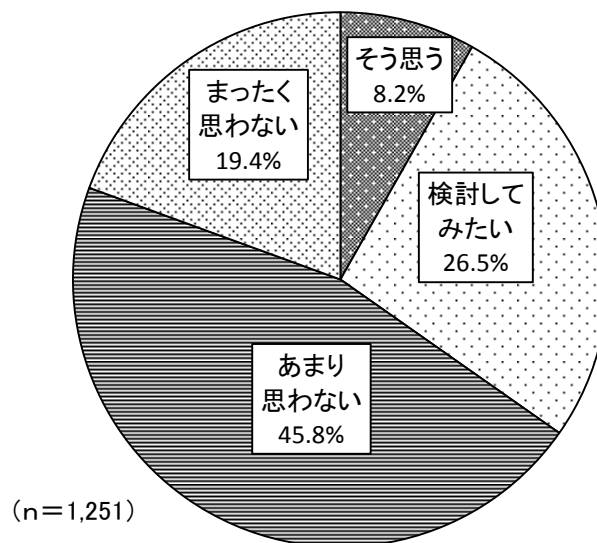
(問 20) 政府は、地方創生のため、東京圏の一極集中是正を推進していますが、あなたは、地方に移住してみたいと思いますか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。(S A)

地方への移住希望についてみると、「そう思う」は 8.2%となっており、「検討してみたい (26.5%)」をあわせると、34.7%の回答者は地方への移住を肯定的に捉えている(図表 67)。

一方、「まったく思わない (19.4%)」と「あまり思わない (45.8%)」の合計は 65.2%であった。

地方移住「肯定」派(そう思う+検討してみたい)の割合を性別にみると、「男性」が 40.5%と「女性」の 31.6%を上回っており、年齢層別には、「20～24 歳 (40.8%)」が他の年齢層比で最も多かった(図表 68)。また、地方移住「肯定」派を職業別にみると、「学生」が 45.3%で最も多く、次いで「会社員 (38.2%)」、「自営業・自由業・経営者 (38.0%)」の順となっている。

図表 67 地方への移住希望



図表 68 地方への移住希望（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	地方移住 「肯定」派			地方移住 「否定」派	あまり 思わない	まったく 思わない
				そう 思う	検討 してみたい			
全体		1,251	34.7	8.2	26.5	65.2	45.8	19.4
性別	男性	444	40.5	9.0	31.5	59.4	37.8	21.6
	女性	807	31.6	7.8	23.8	68.4	50.2	18.2
婚姻 状況	既婚者	677	34.3	8.7	25.6	65.7	47.1	18.6
	未婚者	574	35.4	7.7	27.7	64.7	44.3	20.4
年齢 層別	18～19歳	36	38.9	2.8	36.1	61.1	44.4	16.7
	20～24歳	135	40.8	10.4	30.4	59.2	40.7	18.5
	25～29歳	169	37.9	6.5	31.4	62.2	45.6	16.6
	30～34歳	291	31.3	10.3	21.0	68.7	48.8	19.9
	35～39歳	203	34.5	5.4	29.1	65.5	44.8	20.7
	40～44歳	208	35.1	7.7	27.4	65.0	43.8	21.2
	45～49歳	209	32.6	9.6	23.0	67.4	48.3	19.1
居住 地区 別	東部	348	34.1	8.0	26.1	65.9	44.3	21.6
	西部	320	38.5	7.2	31.3	61.5	43.1	18.4
	南部	251	32.7	7.2	25.5	67.3	47.8	19.5
	北部	154	35.1	7.8	27.3	64.9	42.2	22.7
	中部	170	33.0	12.4	20.6	67.0	53.5	13.5
職業 別	会社員	500	38.2	7.6	30.6	61.8	43.8	18.0
	公務員	65	36.9	13.8	23.1	63.1	44.6	18.5
	自営・自由業・経営者	50	38.0	12.0	26.0	62.0	34.0	28.0
	アルバイト・パート	223	30.5	8.5	22.0	69.5	51.1	18.4
	契約(派遣)社員	59	35.6	5.1	30.5	64.4	45.8	18.6
	学生	95	45.3	9.5	35.8	54.7	40.0	14.7
	専業主婦(主夫)	195	24.6	8.2	16.4	75.4	52.8	22.6
	無職(年金生活者含む)	33	33.3	3.0	30.3	66.7	39.4	27.3

(注) グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

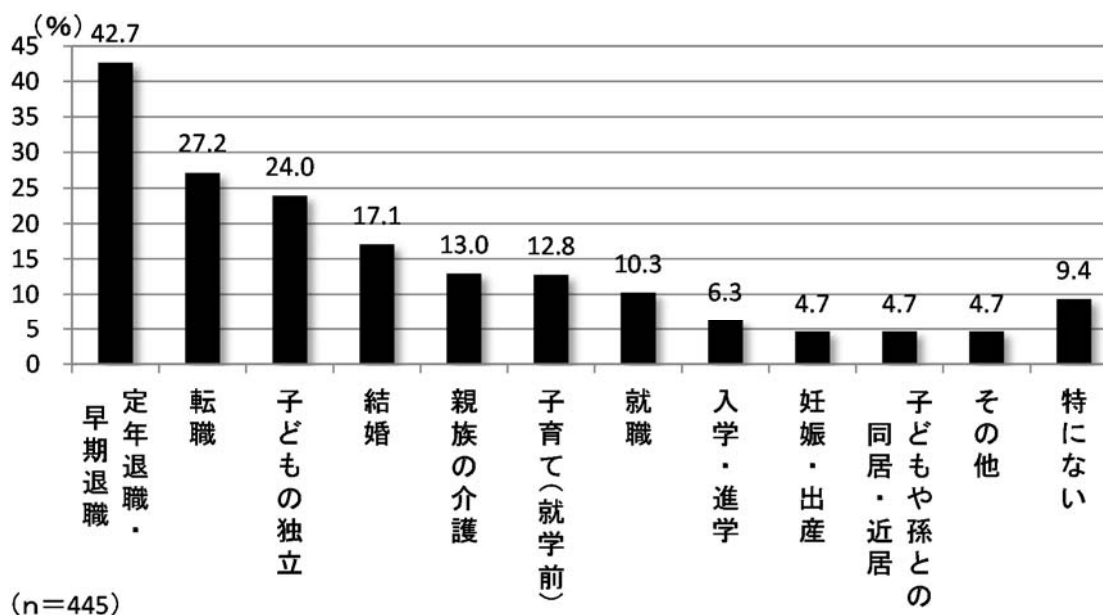
(2) 地方へ移住するタイミング

(問 21) 船橋市から地方へ移住するのは、どのタイミングが良いと思われますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。(MA)

船橋市から地方へ移住するタイミングについてみると、「定年退職・早期退職」が42.7%で最も多く、次いで「転職(27.2%)」、「子どもの独立(24.0%)」の順となっている(図表69)。

年齢層別にみると、「20～24歳」は「結婚」が42.4%で最も多く、「就職(33.9%)」や「妊娠・出産(11.9%)」も他の年齢層比で最多であった(図表70)。「25～29歳」以上は「定年退職・早期退職」がいずれも最多となっているほか、「25～29歳」は「転職(39.1%)」、「30～34歳」は「子育て(就学前)(21.3%)」や「入学・進学(13.8%)」、「40～44歳」は「子どもの独立(34.7%)」、「45～49歳」は「親族の介護(18.3%)」や「子どもや孫との同居・近居(8.5%)」などがそれぞれ他の年齢層比で最も多かった。

図表 69 地方へ移住するタイミング



図表 70 地方へ移住するタイミング（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	定年退職・早期退職	転職	子どもの独立	結婚	親族の介護	子育て（就学前）	就職	入学・進学	妊娠・出産	子どもや孫との同居・近居	その他	特にない
全体		445	42.7	27.2	24.0	17.1	13.0	12.8	10.3	6.3	4.7	4.7	4.7	9.4
性別	男性	187	44.4	29.4	19.3	12.8	11.2	12.3	13.9	4.8	4.8	4.3	5.3	12.3
	女性	258	41.5	25.6	27.5	20.2	14.3	13.2	7.8	7.4	4.7	5.0	4.3	7.4
婚姻状況	既婚者	236	53.4	22.9	36.4	2.5	16.5	15.7	3.4	10.6	3.8	7.6	4.2	8.1
	未婚者	209	30.6	32.1	10.0	33.5	9.1	9.6	18.2	1.4	5.7	1.4	5.3	11.0
年齢層別	18～19歳	15	6.7	13.3	6.7	40.0	0.0	26.7	33.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	59	27.1	30.5	10.2	42.4	3.4	10.2	33.9	3.4	11.9	0.0	0.0	6.8
	25～29歳	64	42.2	39.1	12.5	21.9	10.9	17.2	9.4	0.0	3.1	4.7	7.8	14.1
	30～34歳	94	37.2	31.9	23.4	20.2	14.9	21.3	4.3	13.8	6.4	7.4	5.3	4.3
	35～39歳	70	50.0	28.6	30.0	4.3	17.1	12.9	5.7	11.4	4.3	4.3	8.6	10.0
	40～44歳	72	50.0	19.4	34.7	6.9	13.9	5.6	2.8	2.8	0.0	2.8	5.6	11.1
	45～49歳	71	56.3	16.9	33.8	5.6	18.3	4.2	7.0	2.8	1.4	8.5	1.4	14.1
居住地区別	東部	121	40.5	26.4	24.0	17.4	13.2	14.0	10.7	6.6	2.5	5.0	5.8	9.9
	西部	126	46.8	27.8	19.8	16.7	10.3	15.9	8.7	8.7	8.7	4.8	4.0	9.5
	南部	87	43.7	31.0	28.7	14.9	16.1	12.6	9.2	5.7	5.7	5.7	3.4	10.3
	北部	55	34.5	29.1	21.8	29.1	10.9	9.1	18.2	5.5	1.8	7.3	7.3	7.3
	中部	55	45.5	20.0	27.3	9.1	16.4	7.3	7.3	1.8	1.8	0.0	3.6	9.1
職業別	会社員	192	50.0	35.9	18.2	17.2	13.5	13.5	4.2	4.7	4.7	5.2	4.7	9.4
	公務員	26	53.8	11.5	23.1	19.2	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	0.0	7.7	11.5
	自営・自由業・経営者	20	40.0	15.0	35.0	10.0	5.0	15.0	5.0	0.0	5.0	5.0	15.0	20.0
	アルバイト・パート	67	43.3	23.9	38.8	17.9	17.9	9.0	7.5	7.5	1.5	3.0	3.0	4.5
	契約（派遣）社員	21	23.8	52.4	14.3	9.5	19.0	19.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5
	学生	45	20.0	17.8	11.1	33.3	6.7	15.6	51.1	4.4	13.3	0.0	0.0	2.2
	専業主婦（主夫）	51	49.0	13.7	43.1	3.9	17.6	15.7	3.9	19.6	3.9	15.7	5.9	7.8
	無職（年金生活者含む）	11	9.1	18.2	0.0	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

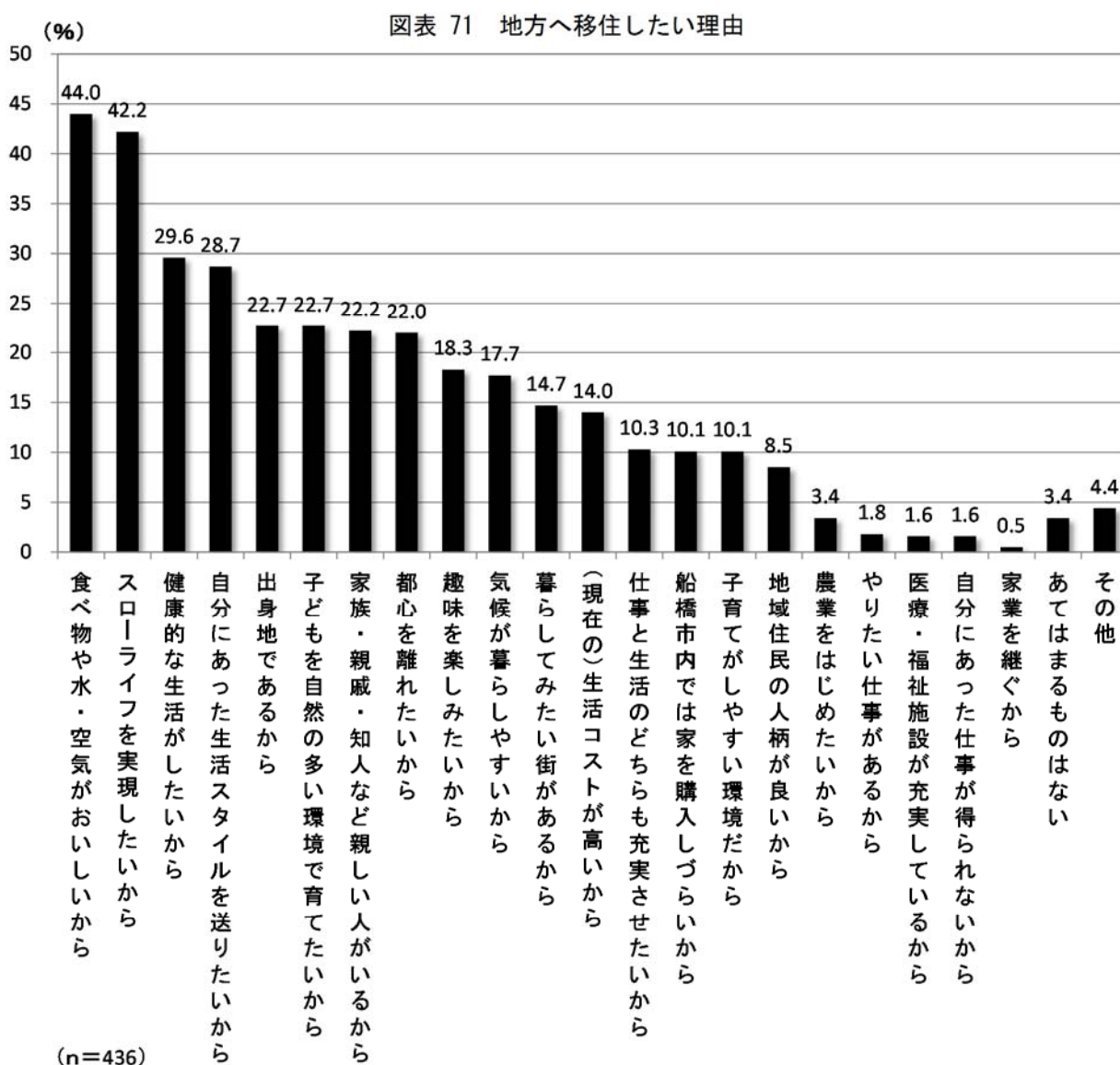
(3) 地方へ移住したい理由

(問 22) 地方へ移住をしたい・検討してみたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。(MA)

地方へ移住したい理由についてみると、「食べ物や水・空気がおいしいから」が 44.0%で最も多く、「スローライフを実現したいから (42.2%)」、「健康的な生活がしたいから (29.6%)」が続いている (図表 71)。

年齢層別にみると、「20～24 歳」から「35～39 歳」までは「食べ物や水・空気がおいしいから」が最も多く、「40～44 歳」や「45～49 歳」は「スローライフを実現したいから」が最多となっている (図表 72)。

上位 3 位を年齢層別にみると、1 位の「食べ物や水・空気がおいしいから」は「30～34 歳 (50.0%)」、2 位の「スローライフを実現したいから」は、「45～49 歳 (52.2%)」、3 位の「健康的な生活をしたいから」は「45～49 歳 (36.2%)」がそれぞれ他の年齢層比で最多となっている。



図表 72 地方へ移住したい理由（属性別①）

（単位：％）

		回答数（n）	食べ物や水・空気が おいしいから	スローライフを実現したい から	健康的な生活がしたいから	自分にあった生活スタイル を送りたいから	出身地であるから	子どもを自然の多い環境で 育てたいから	家族・親戚・知人など親し い人がいるから	都心を離れたいから	趣味を楽しみたいから	気候が暮らしやすいから	暮らしてみたい街があるか ら
全体		436	44.0	42.2	29.6	28.7	22.7	22.7	22.2	22.0	18.3	17.7	14.7
性別	男性	181	41.4	42.5	29.3	29.3	21.5	20.4	19.9	20.4	24.3	19.3	18.8
	女性	255	45.9	42.0	29.8	28.2	23.5	24.3	23.9	23.1	14.1	16.5	11.8
婚姻状況	既婚者	234	42.3	42.7	31.2	28.2	26.5	23.1	28.2	20.1	17.9	16.7	15.4
	未婚者	202	46.0	41.6	27.7	29.2	18.3	22.3	15.3	24.3	18.8	18.8	13.9
年齢層別	18～19歳	14	42.9	35.7	21.4	35.7	0.0	35.7	7.1	14.3	7.1	21.4	21.4
	20～24歳	57	47.4	40.4	26.3	31.6	21.1	29.8	12.3	24.6	15.8	21.1	10.5
	25～29歳	61	47.5	39.3	23.0	23.0	26.2	29.5	27.9	24.6	16.4	11.5	19.7
	30～34歳	92	50.0	37.0	31.5	25.0	20.7	32.6	27.2	29.3	13.0	20.7	15.2
	35～39歳	71	45.1	36.6	31.0	28.2	32.4	22.5	26.8	14.1	16.9	21.1	9.9
	40～44歳	72	41.7	50.0	29.2	30.6	16.7	11.1	18.1	15.3	29.2	13.9	19.4
	45～49歳	69	31.9	52.2	36.2	33.3	24.6	7.2	21.7	24.6	21.7	15.9	11.6
居住地区別	東部	118	44.9	37.3	28.8	31.4	22.0	22.9	18.6	23.7	17.8	16.1	16.1
	西部	125	43.2	48.0	27.2	31.2	24.0	23.2	22.4	20.8	20.0	16.8	9.6
	南部	83	42.2	43.4	34.9	25.3	28.9	22.9	31.3	26.5	15.7	15.7	16.9
	北部	54	53.7	29.6	35.2	22.2	13.0	25.9	14.8	11.1	22.2	25.9	22.2
	中部	55	36.4	50.9	21.8	29.1	21.8	18.2	23.6	25.5	16.4	18.2	12.7
職業別	会社員	190	46.3	48.9	35.8	30.5	22.6	21.6	22.6	25.3	22.6	17.4	12.6
	公務員	25	24.0	36.0	12.0	24.0	16.0	12.0	8.0	8.0	12.0	8.0	28.0
	自営・自由業・経営者	19	31.6	36.8	42.1	15.8	10.5	26.3	5.3	31.6	47.4	21.1	26.3
	アルバイト・パート	69	44.9	36.2	20.3	23.2	27.5	18.8	24.6	18.8	10.1	17.4	11.6
	契約（派遣）社員	21	42.9	28.6	23.8	33.3	33.3	38.1	47.6	19.0	9.5	28.6	19.0
	学生	43	48.8	44.2	27.9	37.2	9.3	37.2	7.0	20.9	14.0	20.9	16.3
	専業主婦（主夫）	48	43.8	33.3	29.2	29.2	35.4	20.8	37.5	12.5	12.5	14.6	10.4
	無職（年金生活者含む）	10	50.0	30.0	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0	20.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 73 地方へ移住したい理由（属性別②）

（単位：％）

		回答数（n）	（現在の）生活コストが高いから	仕事と生活のどちらも充実させたいから	船橋市内では家を購入しづらいから	子育てがしやすい環境だから	地域住民の人柄が良いから	農業をはじめたいから	やりたい仕事があるから	医療・福祉施設が充実しているから	自分にあった仕事を得られないから	家業を継ぐから	あてはまるものはない	その他
全体		436	14.0	10.3	10.1	10.1	8.5	3.4	1.8	1.6	1.6	0.5	3.4	4.4
性別	男性	181	15.5	14.4	9.4	9.4	7.2	5.0	2.8	1.1	1.7	1.1	5.5	1.7
	女性	255	12.9	7.5	10.6	10.6	9.4	2.4	1.2	2.0	1.6	0.0	2.0	6.3
状況	既婚者	234	15.8	8.5	13.2	13.2	8.1	3.4	0.0	2.6	1.3	0.4	1.3	4.7
	未婚者	202	11.9	12.4	6.4	6.4	8.9	3.5	4.0	0.5	2.0	0.5	5.9	4.0
年齢層別	18～19歳	14	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	57	8.8	10.5	1.8	7.0	15.8	1.8	5.3	1.8	0.0	0.0	1.8	5.3
	25～29歳	61	16.4	18.0	9.8	14.8	9.8	6.6	4.9	0.0	1.6	0.0	4.9	1.6
	30～34歳	92	14.1	12.0	19.6	14.1	7.6	7.6	0.0	3.3	3.3	1.1	2.2	3.3
	35～39歳	71	12.7	8.5	14.1	18.3	8.5	0.0	1.4	2.8	4.2	0.0	5.6	5.6
	40～44歳	72	15.3	8.3	5.6	1.4	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	6.9
	45～49歳	69	18.8	4.3	5.8	2.9	10.1	4.3	0.0	1.4	0.0	1.4	4.3	4.3
居住地区別	東部	118	10.2	6.8	10.2	12.7	6.8	1.7	3.4	0.8	1.7	0.0	5.1	5.1
	西部	125	15.2	8.8	12.8	8.0	8.8	3.2	1.6	2.4	0.8	0.0	2.4	2.4
	南部	83	13.3	16.9	9.6	13.3	6.0	7.2	1.2	1.2	2.4	2.4	4.8	4.8
	北部	54	14.8	14.8	1.9	9.3	13.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.7
	中部	55	18.2	7.3	12.7	5.5	10.9	3.6	1.8	3.6	3.6	0.0	1.8	7.3
職業別	会社員	190	15.3	10.0	8.9	11.1	6.3	3.7	0.5	1.1	1.1	0.5	2.6	4.2
	公務員	25	8.0	8.0	12.0	8.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	自営・自由業・経営者	19	36.8	15.8	10.5	15.8	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3
	アルバイト・パート	69	14.5	7.2	11.6	4.3	13.0	4.3	1.4	1.4	1.4	0.0	2.9	2.9
	契約（派遣）社員	21	23.8	4.8	9.5	14.3	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8
	学生	43	2.3	11.6	2.3	7.0	16.3	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3
	専業主婦（主夫）	48	12.5	10.4	20.8	16.7	8.3	2.1	0.0	6.3	4.2	0.0	2.1	10.4
	無職（年金生活者含む）	10	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0

（注）グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0％以上）のため分析対象外。

6. 結婚・出産・子育てに関するご意見等

◆あなたの結婚・出産・子育てに関するご意見等についておうかがいします。

(問 23) 少子化、人口問題を考えるうえでの、結婚・出産・子育てのあり方や行政による支援について、ご意見などがございましたら以下の欄に自由にご記入ください。(FA)

本アンケートでは、結婚・出産・子育てに関する意見として 666 件の意見が寄せられた。カテゴリー別の件数及び主な意見は以下の通り。

図表 74 結婚・出産・子育てに関する意見（カテゴリー別件数）

カテゴリー	件数
保育環境の充実	172
金銭面の支援	128
雇用環境の充実	79
地域環境の充実	62
教育・文化環境の充実	56
不妊治療への支援	35
結婚への支援	23
その他	111
合計	666

(1) 保育環境の充実

地方から出てきて、周囲に身内がいない女性のためにも、保育園の数を増やすなど、子育て環境を充実してほしい。周囲の女性で働きたいけれど、保育園がなくて、子どもを預けられず、働けないという方の話をよくききます。(女性、25～29 歳、本町、未婚)

保育園に 4 月に入園希望者への結果が出るのが遅すぎる。2 月末や 3 月頭に結果の通知が来るのでは遅いと感じる。私は、4 月に育休から復職予定だったが、会社との事前打ち合わせも、保育園の結果がわからなかったため、なかなか話が進まなかった。川崎方面に在住しているママ友は、1 月中には結果が分かって準備等も万全にできたようだ。船橋市もそうしてほしい。(女性、30～34 歳、八木ケ谷、既婚)

企業に保育所が増えれば女性の社会進出も促進されるのではと思う。企業の会社内に設置できればよいかもしれませんが、中小企業であればエリア毎に保育園（施設）を設けることができれば、乳児をあずける際には、仕事の合間に様子を見に行けたり、授乳等やふれ合う機会も増えたりすると思います。(女性、30～34 歳、本町、未婚)

今、保育園を探しているが、容易に入れない状態に困っている。これでは働く女性が子どもを産めないし、産む際に退職するのでは納税者も減り良くないと思う。保育園の安定は子ど

もを希望する女性の支えになり、出産意欲も上がる結果につながると思う。子育て支援に無駄な3,000円のバマキや、児童手当数千円を配るくらいなら保育園づくりに税金を使ってほしい。保育士の待遇も良くして、定員までしっかり預かる保育園づくりをしてほしい。(女性、30～34歳、本町、既婚)

現在、第一子妊娠中ですが、船橋市の保育園への入園に対する待機児童があまりにも多く、確実に入園できるという保障がなかったため、つい最近ですが仕事を辞めざるをえませんでした。『認可外』も考えましたが経済面で厳しいところがあったので、あきらめざるをえませんでした。市の情勢等もあるかとは思いますが、私の他にもこういう方がかなりいるかと思うので、安心して子どもを出産して育てられる環境を作っていただけませんか？(女性、30～34歳、八木ケ谷、既婚)

(2) 金銭面の支援

現在、子育てをされていて思うのが、今後の費用負担のことです。成長するにつれ、高校や大学への進学する際の学費負担が重くなるのは、目に見えており、それを考慮すると、もう一人産もうという気はなくなります。一昔前に比べたら、子どもに対する手当では、手厚くなったと感じますが、更なる金銭的支援に加えて、出産前後に、給与の保障をした上で、パートナーに強制的にでも育休を取らせて、育児参加を義務付けるなど、今以上に真剣に取り組まない限り、人口は増えないと思います。(女性、35～39歳、葛飾、既婚)

出産にかかる費用が無料になったら良いと思う。私達のように若い年代はお金がないので、出産、子育てにかかる費用を考えると、なかなか結婚や出産にふみきれないと思う。30歳までに産したら費用がかからないなど、もっと若い人が子どもを出産・育てやすくなる制度ができれば良いと思う。(女性、20～24歳、本町、未婚)

姉が5月に第1子を出産しました。姉は東京都内に住んでいますが、里帰り出産で船橋に帰って来ていました。そこで、姉はいつも妊婦検診、出産費用が自費なことに、いつも不満を言っていました。「これだから少子化になるんだ。」と。子どもが生まれてからも、すごくお金のかかることばかりで、特に予防接種の任意のものが自費なことに疑問を抱いていました。こうして、出産や子育てについて、目の当たりにし、私は、自分自身の将来の出産や子育てにも不安を抱きました。もっと、国や市などから、負担してくれたら良いのにと、私も姉も思っています。(女性、20～24歳、豊富、未婚)

子育て世帯への援助金を増やしてほしい。船橋市は、私立幼稚園しかなく、年子や2歳差で産むと、保育代だけで月53,000円かかります。7月と12月に少し補助ありますが、すごく厳しいです。(男性、40～44歳、葛飾、既婚)

医療費の助成について、船橋は300円ですが、無料の地域があると聞きました。同様にしていただけると有難いです。(女性、35～39歳、葛飾、既婚)

(3) 雇用環境の充実

10年前に比べて、女性が子育てをしながら働ける環境はかなり推進されてきていると思いますが、結婚・出産で一旦職を離れ再就職する場合、希望通りの職を見つけるのがむずかし

い環境にあると感じます。経験や才能がある女性がたくさんいるにも関わらず、雇用に結びつかないのはもったいないです。ダイバーシティ的な働き方をさらに推進されれば、少子化問題も改善されてくると思います。(女性、40～44 歳、本町、既婚)
夫婦共働きをする上で、103 万の扶養内というのはとても低いと思う。子どもが多いともちろん出費も増える。そのため私も働かざるを得ない状況。103 万、130 万を越えて働きたいが、そうすると余程（16 万／月）収入を得なくては税金で引かれてしまい働き損が発生する。だから扶養内にしています。でも子どもが多くなれば出費も増える。教育費にかけたい…。少子化を改善するなら、タバコや酒税を上げて、扶養範囲の額を上げて欲しい…。(女性、30～34 歳、八木ケ谷、既婚)
男性が育児や出産等で仕事を休業できる制度をもっと推奨していくべきである。日本は仕事がきつすぎる。(男性、20～24 歳、葛飾、未婚)
仕事が忙しすぎて、ゆっくりとした時間がない。これでは、安心して、出産・子育てが出来ない。日本人は働きすぎだと思う。疲れている。労働時間・残業時間の減らさなければならぬと思う。(女性、45～49 歳、八木ケ谷、未婚)
育児や家事、仕事の両立が大変で体力的にも厳しくなっている。できれば、男性（子持ち）の給料を上げてもらって女性は育児に専念できる環境になれば、少子化は解消されてくるのではないかと感じる。(女性、30～34 歳、法典、既婚)

(4) 地域環境の充実

私は、千葉市から結婚を機に船橋市に転入しました。子育てを行うにあたって、児童ホームを利用させていただき、子育てのしやすさは日々感じます。反対に、転入してストレスに感じたのは、道の狭さや歩道のない道が多いことです。「ベビーカーを押して出かけるのがこわい。」というのが本音です。学校や幼稚園など、子どもが通る道だけでも、道幅の確保や歩道の整備、信号の設置等に目を向けていただけますと幸いです。(女性、30～34 歳、習志野台、既婚)
通学路があまり整備されていない。ガードレールのない道や車の通りの多い道、道幅がとても狭い場所が多い。ベビーカーでも通りにくい。新船橋や津田沼のように、他のところもきちんと整備してほしい。(女性、30～34 歳、法典、既婚)
子どもが安全に遊べる場所が少ないように思います。公園でのボール使用禁止場所が多く、子ども達が元気に動き、遊べる場所を増やして欲しい。児童ホームのような場所を増やしたり、学校の校庭を開放したりするなどをしてもらえると良いと思います。放課後の子ども教室が出来てとても良いと思いますが、帰宅時に一緒に帰る友達がいない時は不安に感じます。(女性、45～49 歳、新高根・芝山、既婚)
船橋市は、全体的に渋滞が慢性的に発生し、児童が安全に登校できる状況に至っていません。インフラの整備等、弱者保護の観点が見受けられません。待機児童による学童の制限や保育園の児童の制限等により人生プランが大いに狂い、退職や仕事の制限を受け、辛い過去を経験しました。そういう所に目配り、気配りがいかない状況を打破するよう願います。(男性、35～39 歳、湊町、既婚)

船橋は道路事情が悪く、通勤通学なども危険な所が多い。行き違いが出来ない道路や直線も少なく、鉄道も高架でないなど。子育てには不便不自由な地域であると思う。住環境を整え、住みやすく子育てしやすい地域にして欲しい。(男性、30～34 歳、法典、未婚)

(5) 教育・文化環境の充実

子どもを持たない人の子どもへの理解が不足している。教育で子どもを持つことの意義をもっと小さい頃から徹底的に教えて将来につなげるべき。子持ち世帯と独身、ディンクス世帯との税金や社会保障のあり方を区別して差をつけるべき。そうでないと、個人の考えのみで行動しすぎて、社会全体を考えて生きない人が増えていく。(女性、40～44 歳、八木ケ谷、既婚)

幼稚園の公立があったら嬉しい。月謝がとても高く、お金がかかるので大変な思いをしている方が実際大勢いて、子育てしながらの仕事を余儀なくされている。もっと金銭的な支援があったら働かなくてもよくなるため本当に助かるし、子どもの人数やタイミングを気にせず産めると思う。(女性、35～39 歳、習志野台、既婚)

船橋市は子育て支援をすすめておりますが、他県や他市に比べてもっとがんばってほしいことがあります。他県では、土曜日授業をはじめていたり、夏休みも1週間くり上げられたりするなど授業数の確保に積極的と感じる一方、船橋市はゆとり教育からとあまり推進されていない印象をうけます。短縮日課となり、午前で終業する日も多く、教育面でたちおくれしていないか心配しています。子どもの放課後教育や保育園の待機対策は評価される部分もあるのですが、是非ご検当をお願いします。(女性、40～44 歳、習志野台、既婚)

船橋市は運動には力を入れるが、文化的な教育には関心がうすいように感じます。図書館などもっとちゃんとしてほしいです。小学校も中学校も遠く、通学路は全く整備されていない。この状況では下の子どもを産もうとは思わないです。(女性、40～44 歳、法典、既婚)

子どもの教育に熱心な船橋市であることを望みます。放課後、子どもの長所や弱点によりそっていく教育を先生1人だけではなく、2～3人の先生が気軽にアドバイスできるような環境を希望します。(女性、45～49 歳、習志野台、既婚)

(6) 不妊治療への支援

子育て支援を重視するのは良いが、妊活に対する支援をもう少し考えてほしいです。子どもが生まれなければ人口は増加しません。出産可能者に4人生んでもらうより、6組に1組もいる不妊者に1人生んでもらう方が現実的ではないでしょうか？(女性、30～34 歳、習志野台、既婚)

不妊治療の医療費が高く、子どもが欲しいのにあきらめてしまう人が多い。少子化を孝えているなら、その点を保険適用できる様にしてあげて欲しい。(女性、40～44 歳、八木ケ谷、既婚)

不妊治療を続けるうえで、働きながらの治療に限界を感じました。働きながら通院するのが理想ですが、病院が遅くまで開いていないと常に仕事を遅刻・早退しなければならず、最初は会社にも”体調不良”と説明していましたが毎月続くのでそれも出来ず、結局、治療を止

めました。遅い時間まで開けてくれる病院があれば治療再開したいです。(女性、35～39 歳、葛飾、既婚)

現在、子どもができないか心配しているのですが、お金がかかるので医療機関にはかかっていません。そんな人はたくさんいると思います。医療できるのは、お金のある人ですよね。とても簡単な検査でもいいので、手軽に受けられる機会があつたらいいなと思います。あるのかもしれないけど…知らないので、分かりやすく公表してほしいです。他県の友人に船橋は住みやすいんでしょ？と聞かれます。子育てにおいて自慢できることがほしい。(女性、30～34 歳、新高根・芝山、既婚)

不妊治療への助成が少なすぎる！！情神的にもつらいのに金銭的にもつらくなると、あきらめようと思う人が多いと思うので少子化になるのではないのでしょうか？！また、児童手当や子どもの入院・通院が全国でばらばらなのは統一する事はできないのか？！比較的に東京都が優遇されているので東京に住む人が多くなるのではないのでしょうか？！船橋市は公立の幼稚園もないので、知っていたら船橋に住まなかったです。(女性、35～39 歳、夏見、既婚)

(7) 結婚への支援

独身者の出会いの場となるような、趣味・サークル・祭りなどのイベントや、青年会のような集まりの場を設けてほしいです。1 回限りの出会い系イベントではなく、あくまで目的は趣味やその他の内容で、複数回男女問わず交流が図れることが重要と思います。周りの独身者は本当に結婚したくない人はほとんどおらず、出会いがなくパートナーがいないから、結婚していないだけです。(女性、30～34 歳、新高根・芝山、未婚)

少子化対策の第一歩は、まず、独身者に出会いの場を与えて、結婚してもらうことが一番だと思います。子育てをされていて感じることは、子どもにとっては、まず、親にしっかり育ててもらう方が幸せだと思うので、フルタイムで保育園にあずけて、女性が仕事をするのではなく、子どもが小さいうちは、無理に仕事をしなくても、生活していける環境作りを考えてみてもいいのではと思います。(女性、40～44 歳、習志野台、既婚)

市や大学等が協賛して若者の出会いの場を提供する。結婚後、船橋市内に転居してくる夫婦を優遇する。船えもん（ふなっしー）などの知名度のあるキャラクターが「子育てのしやすい街」として全国にアピールする。(男性、35～39 歳、習志野台、既婚)

市内に独身の友達がたくさんいますが、一番は出会いが無いことかなと思います。他市とかで、コミュニケーションをとれる場を提供している所もあるので、老人だけでなく、若者のコミュニケーションをとれる場があってもいいのではと思います。(女性、35～39 歳、葛飾、既婚)

婚活イベントなどやっているとは思いますが、情報が入ってきません。そのような場があると嬉しいです。(男性、40～44 歳、葛飾、未婚)

(8) その他

江戸川区のように、子育てをサポートする姿勢がもっとあったらいいと思う。東京にも近く、住みやすい地域だと思うので、結婚して子どもを育てることが前向きになるような制度などあればいいと思う（親子で割引とか）。あるのかもしれませんが、私は知りません。もっとアピールしたらいいと思います。（女性、25～29 歳、本町、未婚）

46 歳の私の経験から考えることは、結婚後、自分の世話を妻にさせる夫や、出産・子育て・教育の全てを妻に押しつける夫が変わらない限り、女性は結婚や出産を敬遠するのでは。出産間近や子育て中の方がたくさんいるので、行政が支援を厚くするのはよいと思いますが、男性の教育に力を入れてみては。男性がやりたくないことを行政にやらせるという男性優位の考えの極みに見えるので。（女性、45～49 歳、前原、既婚）

結婚・出産・育児について、行政の支援を充実させるべき。子どもが増えることにより、労働力が増えて、ゆくゆくは高齢福祉にもつながっていくため、目先のことより先をみた行政支援を考えてほしい。（男性、35～39 歳、前原、未婚）

世帯収入に応じて支援に該当しない場合などがあるが、そもそも線引きする収入ラインが低い。支援を受けられない世帯でもさほど裕福でなく、税率等でもすでに負担が大きいのが実情である。より公平感のある支援制度の確立を希望する。（男性、45～49 歳、法典、既婚）

子育てに対する支援は、かなり増えてきているとは思いますが。核家族化やひとり親世帯が増えている現状では、まだまだ母親は子育てに対して不安を持ち続けています。その不安が解消されるよう、様々な対策をお願いしたいと思います。（女性、35～39 歳、葛飾、既婚）

転出入者アンケート調査

I 調査概要

1. 調査の目的

本市への転入・転出理由等を調査することにより、人口動向に影響のある事象の分析を行う。

2. 調査の対象

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの転出者・転入者 各 2,500 人

3. 調査方法

郵送配布・郵送による回収

4. 調査の時期

平成 27 年 7 月 1 日（水）～ 7 月 22 日（水）

5. 調査票の回答状況

- ・ 設計標本数：5,000 人
- ・ 船橋市からの転出者：有効回答数 571 人（有効回答率 22.8%）
- ・ 船橋市への転入者：有効回答数 661 人（有効回答率 26.4%）

6. 設問概要

設問の概要は以下の通り。

① 転出者向けアンケート		② 転入者アンケート	
回答者の属性	性別	回答者の属性	性別
	年齢層		年齢層
	職業		職業
	子どもとの同居の有無		子どもとの同居の有無
	65 歳以上の高齢者との同居の有無		65 歳以上の高齢者との同居の有無
	船橋市の居住年数		現在の勤務地・通学地
	現在の勤務地・通学地		船橋市の転入前の居住経験
転出動向	転出前の船橋市の住所	転入動向	船橋市の住所
	転出後の住所		転入前の住所
	転出のきっかけ		転入のきっかけ
	転出前後の住居形態		転入前後の住居形態
	転出前後の家族構成		転入前後の家族構成
	船橋市と現住所の評価		船橋市と転入前の住所の評価
	船橋市への転出の検討の有無		検討した転入先の有無
	検討した転出先		検討した転入先
	船橋市の住みやすさの評価		船橋市に転入をきめた理由
	住みやすい・住みにくい理由		船橋市の住みやすさの評価
	船橋市への再移住の意向		船橋市の定住意向・転出したい理由
	船橋市のまちづくりへの自由意見		船橋市のまちづくりへの自由意見

II 調査結果のポイント

1. 転出後・転入前の居住地

○ 転出後及び転入前の居住地は「市川市」や「千葉市」など県内自治体が多い。

転出後の住所は、「千葉県」が35.6%で最も多く、次いで「東京都(25.6%)」、「中部(7.3%)」の順となっている(図表75)。転出先を市町村別にみると、「千葉縣市川市」と「千葉県千葉市」が10.2%で最も多く、「千葉県習志野市(7.3%)」が続いている。

また、転入前の住所も、「千葉県」が43.1%で最も多く、「東京都(17.7%)」、「中部(6.0%)」が続いている)。転入前の住所を市町村別にみると、「千葉縣市川市」が13.1%で最も多く、「千葉県千葉市(10.9%)」、「千葉県八千代市(5.2%)」の順となっている。

図表 75 転出後・転入前の居住地

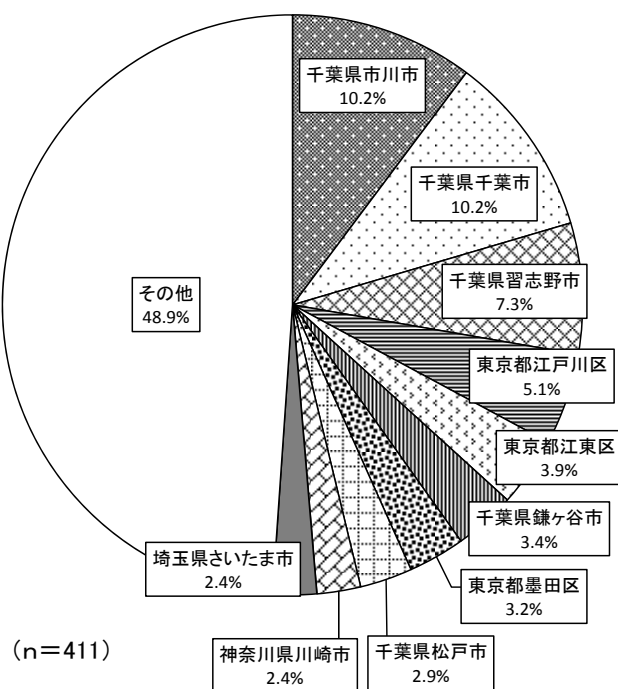
転出後の居住地（都県・地域別）

	構成比(%)
千葉県	35.6
東京都	25.6
中部	7.3
埼玉県	6.2
近畿	5.9
その他	19.4

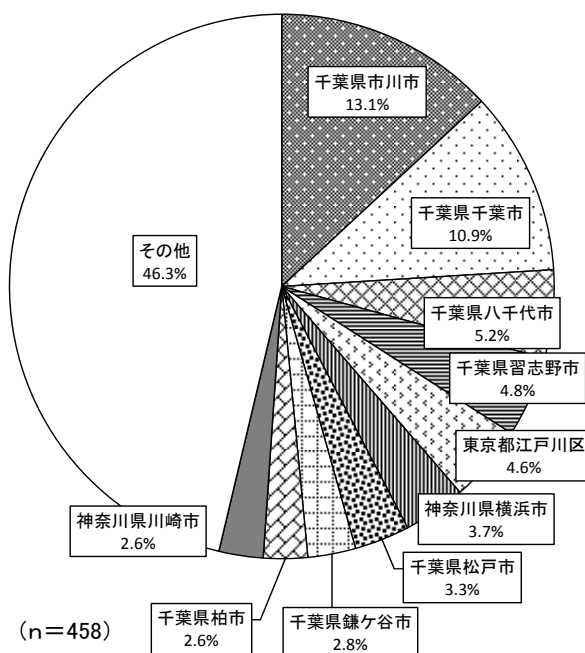
転入前の居住地（都県・地域別）

	構成比(%)
千葉県	43.1
東京都	17.7
中部	6.0
神奈川県	5.4
埼玉県	5.4
その他	22.4

転出後の居住地（上位10市区）



転入前の居住地（上位10市区）



2. 転出入のきっかけ

- 転出・転入のきっかけは、いずれも「結婚」が約2割で最多となっている。
- 転出・転入ともにきっかけの上位3位（結婚、転勤、住宅事情）の合計シェアは5割程度となっている。

船橋市から転出したきっかけは、「結婚」が22.7%で最も多く、次いで「転勤（16.1%）」、「住宅事情（14.3%）」の順となっている（図表76）。

本市に転入するきっかけは、「結婚」が20.0%で最も多く、次いで「住宅事情（16.7%）」、「転勤（16.6%）」の順となっている。

図表 76 転出入のきっかけ（年齢層別）

転出のきっかけ（年齢層別）

転入のきっかけ（年齢層別）

	1位	2位	3位		1位	2位	3位
全体 (n=559)	結婚 (22.7%)	転勤 (16.1%)	住宅事情 (14.3%)	全体 (n=634)	結婚 (20.0%)	住宅事情 (16.7%)	転勤 (16.6%)
18～24歳 (n=50)	就職 (38.0%)	転勤 (16.0%)	結婚 (10.0%)	18～24歳 (n=72)	就職 (31.9%)	結婚 (19.4%)	通勤・ 通学の便 (8.3%)
25～29歳 (n=125)	結婚 (40.8%)	転職 (10.4%)	住宅事情 (8.8%)	25～29歳 (n=133)	結婚 (30.8%)	転勤 (12.0%)	住宅事情 (10.5%)
30～39歳 (n=194)	結婚 (29.9%)	住宅事情 (17.0%)	転勤 (14.9%)	30～39歳 (n=217)	結婚 (24.4%)	転勤 (17.1%)	住宅事情 (17.1%)
40～49歳 (n=110)	転勤 (29.1%)	住宅事情 (13.6%)	生活環境上 の理由 (11.8%)	40～49歳 (n=114)	転勤 (25.4%)	住宅事情 (21.9%)	結婚 (12.3%)
50～59歳 (n=39)	転勤 (28.2%)	住宅事情 (17.9%)	親と同近居 (15.4%)	50～59歳 (n=55)	転勤 (23.6%)	住宅事情 (23.6%)	親と同近居 (7.9%)
60歳以上 (n=37)	住宅事情 (32.4%)	親と同近居 (13.5%)	生活環境上 の理由 (8.1%)	60歳以上 (n=43)	住宅事情 (27.9%)	転勤 (11.6%)	転職 (9.3%)

3. 船橋市の居住環境の評価

- 転出入者の船橋市の居住環境の評価をみると、転出入者ともに「交通の便」、「買い物など日常生活の利便性」が高評価となっている。
- 一方、「自然の豊かさ」や「治安の良さ」は転出入者ともに低評価となっているほか、「道路などの都市基盤」は転入者のワースト1位であった。

転出者の現在の居住地と比較した船橋市の評価（D I）をみると、「交通の便（21.4 ポイント）」や「買い物などの日常生活の利便性（19.3 ポイント）」、「医療・福祉環境（6.2 ポイント）」の水準が高い（図表 77）。一方、「自然の豊かさ（▲34.9 ポイント）」や「治安の良さ（▲30.8 ポイント）」、「通勤・通学時間（▲22.4 ポイント）」などは低水準となっている。

一方、転入者の以前の居住地と比較した船橋市の評価（D I）は、「交通の便（14.0 ポイント）」や「買い物などの日常生活の利便性（8.4 ポイント）」、「親や子どもの家の近さ（6.5 ポイント）」などの水準が高い。一方、「道路などの都市基盤（▲24.1 ポイント）」や「自然の豊かさ（▲14.0 ポイント）」、「治安の良さ（▲11.4 ポイント）」などは低水準となっている。

図表 77 船橋市の居住環境の評価

転出後の住所との比較			転入前の住所との比較		
(単位:ポイント)			(単位:ポイント)		
	評価項目	船橋市の評価DI ^(注)		評価項目	船橋市の評価DI ^(注)
1位	交通の便 (n=564)	21.4	1位	交通の便 (n=641)	14.0
2位	買い物など日常生活の利便性(n=561)	19.3	2位	買い物など日常生活の利便性(n=643)	8.4
3位	医療・福祉環境 (n=564)	6.2	3位	親や子どもの家の近さ (n=633)	6.5
4位	親や子どもの家の近さ (n=555)	▲ 1.1	4位	医療・福祉環境 (n=645)	3.4
5位	まちのイメージ (n=560)	▲ 2.2	5位	まちのイメージ (n=637)	1.8
6位	教育環境 (n=561)	▲ 4.6	6位	教育環境 (n=639)	0.6
7位	地域のコミュニケーション (n=563)	▲ 11.8	7位	地域のコミュニケーション (n=640)	▲ 2.7
8位	子育て環境 (n=561)	▲ 12.1	8位	通勤・通学時間 (n=634)	▲ 4.1
9位	住宅価格・家賃(安さ) (n=560)	▲ 13.4	9位	子育て環境 (n=638)	▲ 6.1
10位	道路などの都市基盤 (n=560)	▲ 14.1	10位	住宅価格・家賃(安さ) (n=631)	▲ 8.1
11位	通勤・通学時間 (n=553)	▲ 22.4	11位	治安の良さ (n=640)	▲ 11.4
12位	治安の良さ (n=562)	▲ 30.8	12位	自然の豊かさ (n=642)	▲ 14.0
13位	自然の豊かさ (n=565)	▲ 34.9	13位	道路などの都市基盤 (n=642)	▲ 24.1

(注) 評価DI＝「船橋市が優れている」とした回答割合－「転出後・転入前の市区町村が優れている」とした回答割合。

4. 転出入先として検討した市区町村

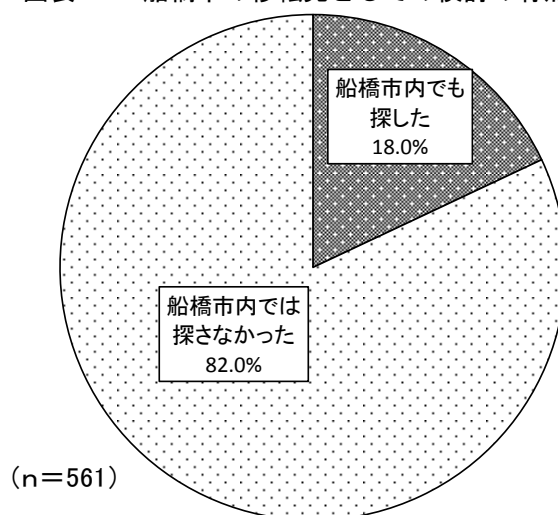
(1) 転出者

- 転出者の18.0%は船橋市内でも新たな住居を検討した結果、市外へ転出した。
- 船橋市内で新たな住居を検討した層の転出のきっかけは、「住宅事情」、「結婚」、「生活環境上の理由」が上位となっている。

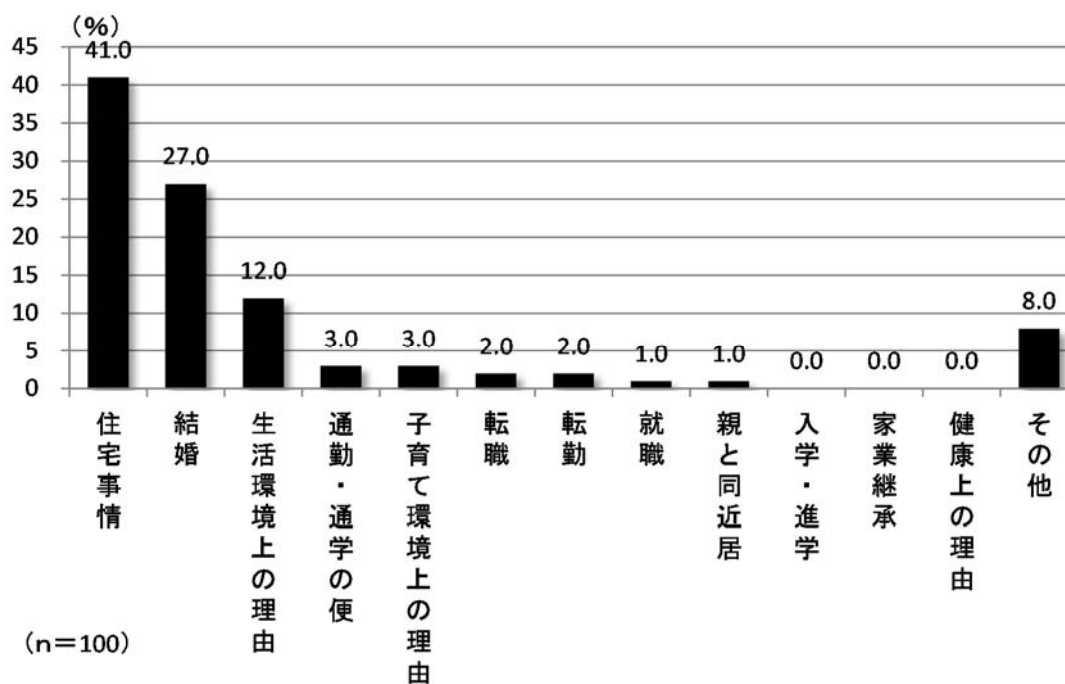
転出者のうち新たな住居を「船橋市内でも探した」回答者の割合は18.0%となっている(図表78)。

「船橋市内でも探した」と回答した層の転出のきっかけをみると、「住宅事情」が41.0%で最も多く、次いで「結婚(27.0%)」、「生活環境上の理由(12.0%)」の順となっている(図表79)。

図表 78 船橋市の移転先としての検討の有無



図表 79 「船橋市内でも探した」と回答した割合(転出のきっかけ別)



(2) 転入者

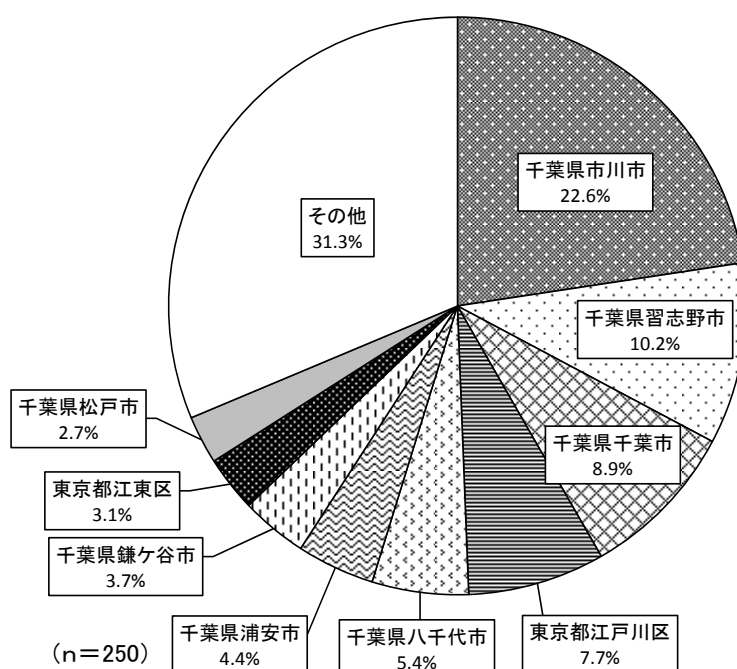
- 転入先として本市のほかに検討した市町村は「市川市」「習志野市」「千葉市」が多い。
- 本市に転入を決めた理由は「公共交通機関が便利である」が最多となっている。
- 就学前の子どもがいる世帯では、本市の「住宅価格・家賃が適当である」、「親や子ども等が近隣に住んでいる」及び「子育てがしやすい環境である」ことを評価している。

転入を検討した市区町村をみると、「千葉縣市川市」が22.6%で最も多く、次いで「千葉県習志野市(10.2%)」、「千葉県千葉市(8.9%)」の順となっている(図表80)。

本市に転入を決めた理由についてみると、「公共交通機関が便利である」が34.6%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃が適当である(29.6%)」、「職場・学校が近い(27.7%)」が続いている(図表81)。

就学前の子どもがいる世帯では、「住宅価格・家賃が適当である(37.6%)」や「親や子ども等が近隣に住んでいる(37.6%)」、「子育てがしやすい環境である(13.8%)」を評価して転入を決めている。

図表 80 転入を検討した市町村



図表 81 船橋市に転入を決めたきっかけ (単位: %)

回答数(n)	全体	就学前の 子どもが いる世帯
	(638)	(109)
公共交通機関が便利である	34.6	27.5
住宅価格・家賃が適当である	29.6	37.6
職場・学校が近い	27.7	22.0
親や子ども等が近隣に住んでいる	21.6	37.6
買い物・レジャー環境が充実している	16.0	16.5
知人・友人がいる	12.7	9.2
自然が豊かである	6.6	7.3
まちに賑わいを感じる	5.5	5.5
子育てがしやすい環境である	4.9	13.8
医療・介護・福祉が充実している	3.1	3.7
道路など生活インフラが整っている	2.4	0.9
教育環境が良い	1.3	4.6
防災・防犯体制が充実している	0.8	0.9
文化・教育施設が充実している	0.6	1.8
その他	22.4	17.4

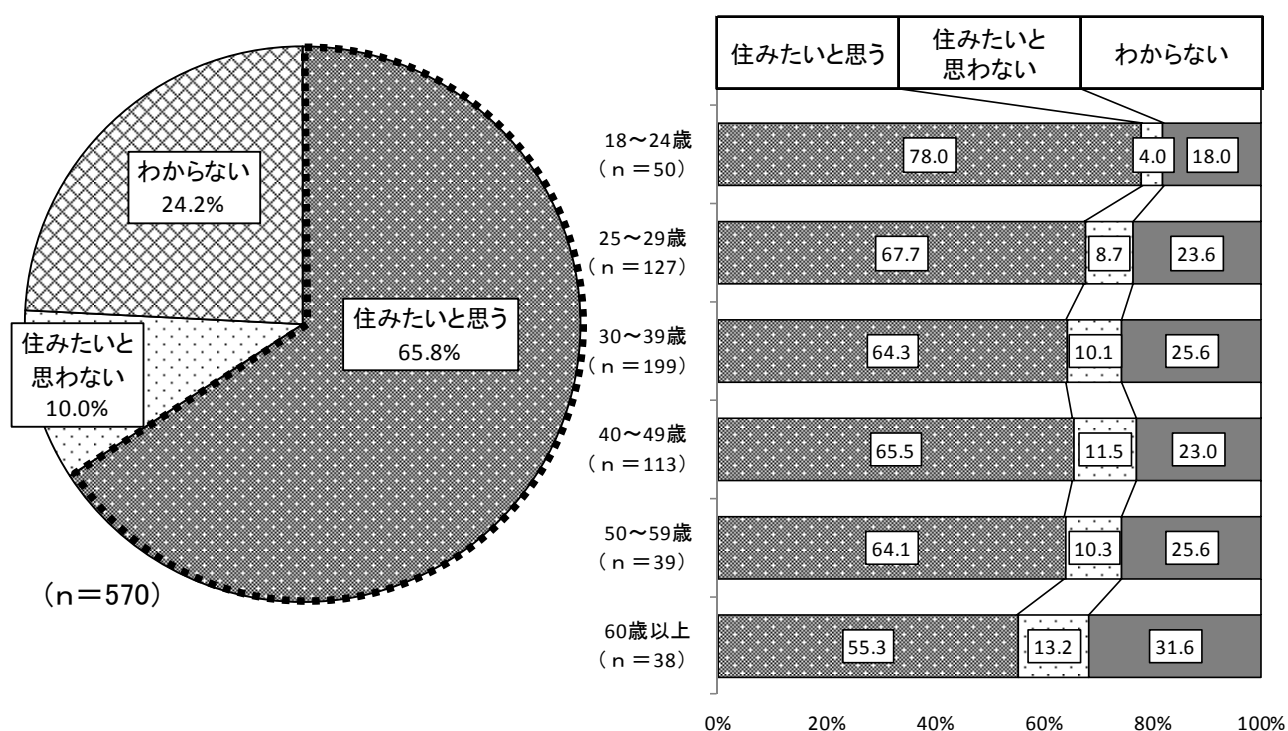
5. 転出者の再移住の意向

- 転出者の 65.8%が「住みたいと思う」と回答した。
- 若年層ほど再移住の意向が強い（18～24 歳の「住みたいと思う」の回答割合：78.0%）。

転出者の本市への再移住の意向についてみると、「住みたいと思う」は 65.8%と、「住みたいと思わない（10.0%）」を 55.8 ポイント上回っている（図表 82）。

年齢層別にみると、「18～24 歳」は「住みたいと思う」が 78.0%で最も多く、年齢層が上がるにつれて減少傾向となり、「60 歳以上」では 55.3%となっている。

図表 82 転出者の再移住の意向



III 転出者アンケート調査結果（詳細）

1. 属性

あなた自身のことについておうかがいします。

回答者の属性は図表 83 のとおり。

図表 83 回答者の属性（転出者）

属性	カテゴリー	回答割合 (%)	属性	カテゴリー	回答割合 (%)
性別 (n=564)	男性	38.7	子どもの 属性 (n=121)	就学前	63.6
	女性	61.3		小学校	9.9
年齢層 (n=567)	18～19歳	1.1		中学生	1.7
	20～24歳	7.8		高等学校	2.5
	25～29歳	22.6		短大・大学・専門学校等	2.5
	30～34歳	19.0		社会人・アルバイト	7.4
	35～39歳	16.0		その他	12.4
	40～44歳	12.7	船橋市の 居住年数 (n=569)	5年未満	38.3
	45～49歳	7.2		5～9年	19.7
	50～54歳	3.0		10～14年	11.4
	55～59歳	3.9		15～19年	6.0
	60～64歳	3.9		20～24年	6.7
	65歳以上	2.8		25年以上	17.9
職業 (n=567)	農・漁業	0.2	勤務地 (n=440)	千葉県	27.3
	会社員	49.7		東京都	46.1
	公務員	7.9		神奈川県	4.1
	自営・自由業・経営者	3.2		埼玉県	4.1
	アルバイト・パート	8.5		その他関東	0.7
	契約(派遣)社員	5.3		北海道	0.9
	学生	1.9		東北	3.0
	専業主婦(主夫)	16.9		中部	5.5
	無職(年金生活者含む)	4.1		近畿	4.3
	その他	2.3		中国	1.1
同居している 高齢者の有無 (n=554)	いる	8.3		四国	0.2
	いない	91.7		九州・沖縄	2.7

2. 転出動向

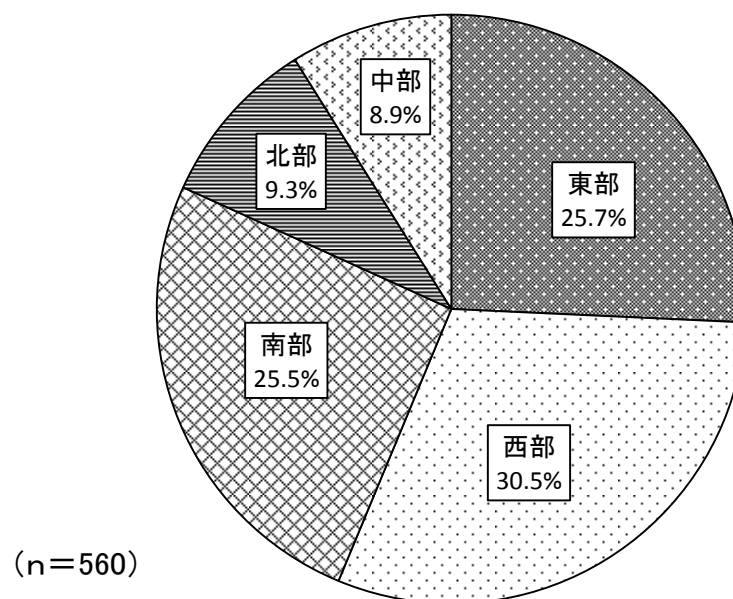
転出動向についておうかがいします。

(1) 転出前の船橋市の居住地区

転出前の船橋市のご住所について□のなかにご記入ください。(F A)

転出前の船橋市の居住地区は、「西部」が30.5%で最も多く、次いで「東部(25.7%)」、「南部(25.5%)」の順となっている(図表84)。

図表 84 転出前の船橋市の居住地区

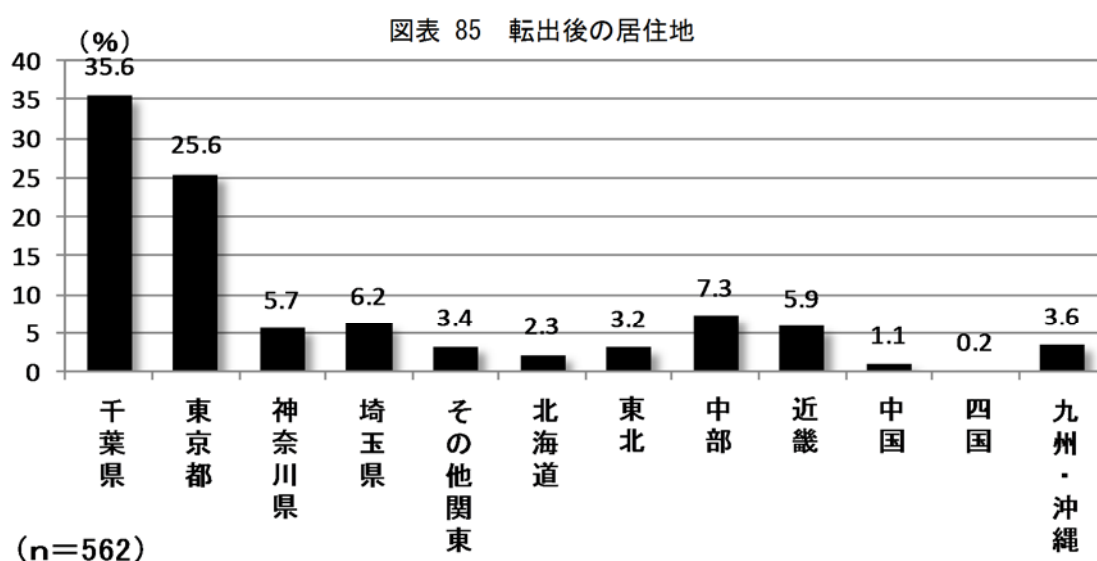


(2) 転出後の居住地

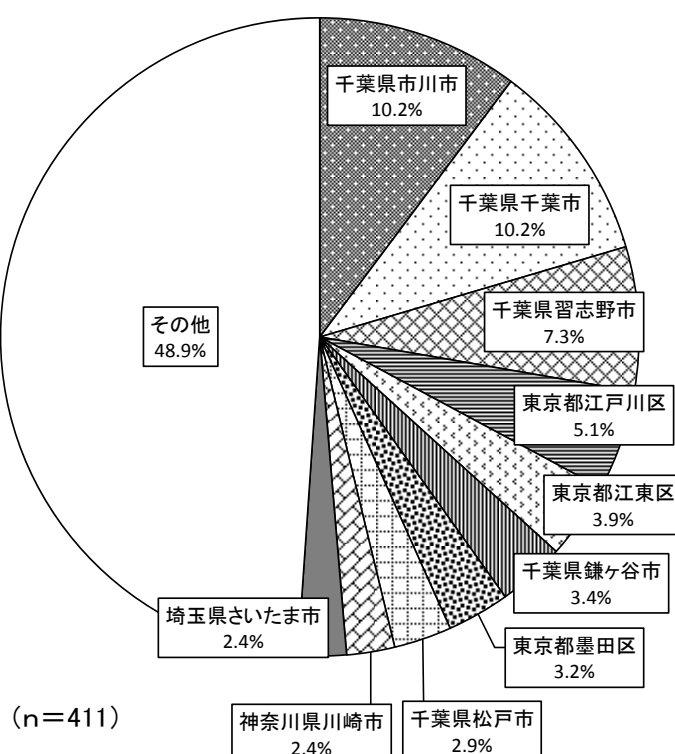
船橋市から転出後のご住所について□のなかにご記入ください。(F A)

転出後の居住地は、「千葉県」が 35.6%で最も多く、次いで「東京都(25.6%)」、「中部(7.3%)」の順となっている(図表 85)。

転出先を市区町村別にみると、「千葉県市川市」と「千葉県千葉市」が 10.2%で最も多く、「千葉県習志野市(7.3%)」、「東京都江戸川区(5.1%)」、「東京都江東区(3.9%)」が続いている(図表 86)。



図表 86 主な転出先の市区町村



(3) 転出のきっかけ

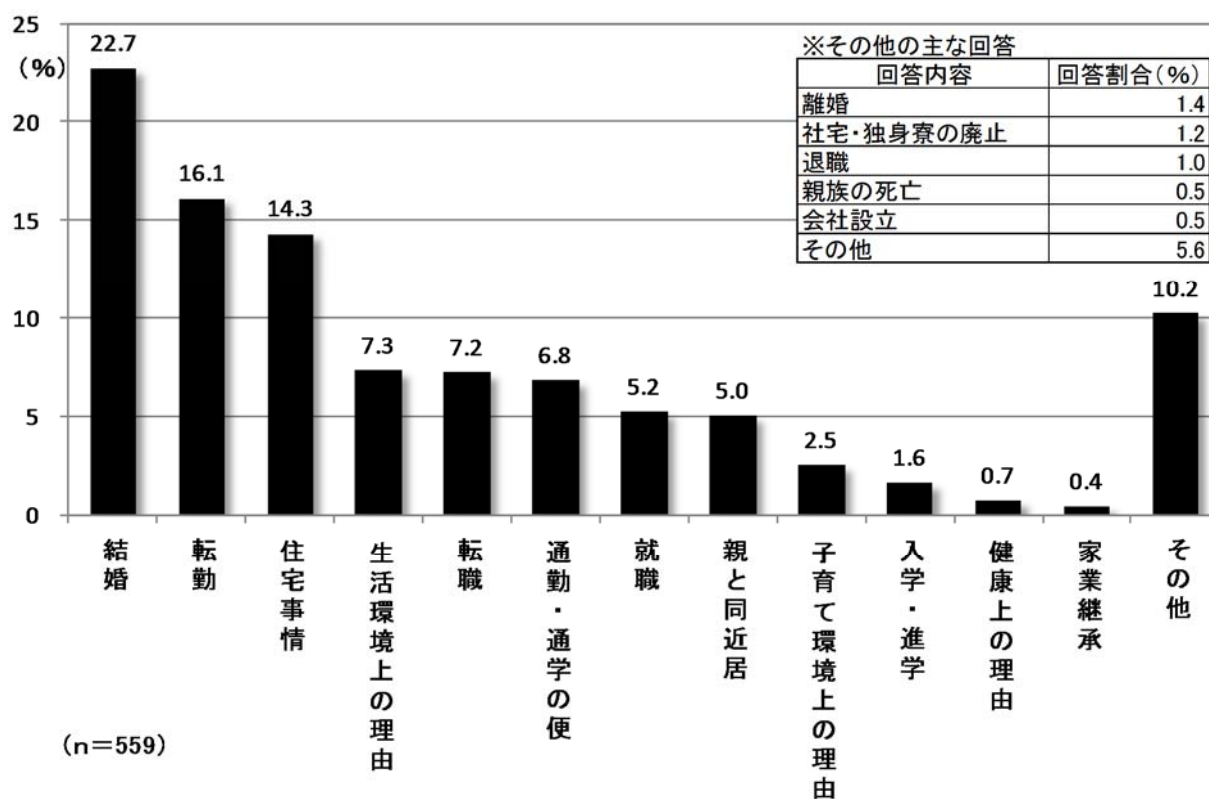
船橋市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(S A)

1) 全体

船橋市から転出したきっかけは、「結婚」が22.7%で最も多く、次いで「転勤(16.1%)」、「住宅事情(14.3%)」の順となっている(図表87)。

年齢層別にみると、「20～24歳」は「就職(43.2%)」が最多となっている。「25～29歳」から「35～39歳」までは「結婚」がそれぞれ最も多かった。また、「25～29歳」は「転職(10.4%)」、「30～34歳」は「通勤・通学の便(10.5%)」、「35～39歳」は「住宅事情(19.1%)」や「子育て環境上の理由(6.7%)」が他の年齢層と比べて最も多くなっている。「40～44歳」や「45～49歳」は「転勤」がそれぞれ最多であった。また、「40～44歳」では「生活環境上の理由(14.3%)」や「親と同近居(5.7%)」などの多さも目立った(図表88)。

図表 87 転出のきっかけ



図表 88 転出のきっかけ（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	結婚	転勤	住宅事情	生活環境上の理由	転職	通勤・通学の便	就職	親と同居	子育て環境上の理由	入学・進学	健康上の理由	家業継承	その他
全体		559	22.7	16.1	14.3	7.3	7.2	6.8	5.2	5.0	2.5	1.6	0.7	0.4	10.2
性別	男性	214	16.8	22.4	12.6	5.6	9.3	7.0	9.8	3.7	1.4	1.9	0.9	0.5	7.9
	女性	338	26.6	12.4	15.4	8.0	5.6	6.2	2.4	5.9	3.3	1.5	0.6	0.3	11.8
年齢層別	18～19歳	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	44	11.4	15.9	0.0	4.5	9.1	6.8	43.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
	25～29歳	125	40.8	7.2	8.8	8.0	10.4	4.8	5.6	2.4	3.2	0.8	0.0	0.8	7.2
	30～34歳	105	32.4	14.3	15.2	6.7	4.8	10.5	1.0	1.9	1.9	1.9	0.0	1.0	8.6
	35～39歳	89	27.0	15.7	19.1	5.6	6.7	3.4	1.1	5.6	6.7	0.0	1.1	0.0	7.9
	40～44歳	70	12.9	25.7	11.4	14.3	7.1	7.1	1.4	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	8.6
	45～49歳	40	5.0	35.0	17.5	7.5	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	50～54歳	17	5.9	41.2	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	17.6
	55～59歳	22	0.0	18.2	22.7	4.5	4.5	4.5	0.0	22.7	0.0	0.0	4.5	0.0	18.2
	60～64歳	21	0.0	4.8	33.3	4.8	0.0	4.8	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	65歳以上	16	0.0	0.0	31.3	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	31.3
居住地別	東部	142	22.5	14.8	16.2	7.0	6.3	7.0	8.5	5.6	1.4	1.4	0.7	0.0	8.5
	西部	169	25.4	14.2	18.3	8.9	6.5	4.1	1.8	5.9	3.0	3.0	0.0	0.0	8.9
	南部	141	17.7	17.7	9.9	7.8	10.6	7.1	5.0	5.7	5.0	1.4	0.7	1.4	9.9
	北部	52	23.1	15.4	9.6	1.9	0.0	13.5	7.7	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	23.1
	中部	49	26.5	24.5	14.3	6.1	8.2	8.2	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
職業別	会社員	277	28.2	17.0	11.6	8.3	7.2	9.0	5.4	3.6	2.9	0.7	0.0	0.4	5.8
	公務員	43	16.3	30.2	9.3	9.3	2.3	2.3	18.6	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	9.3
	自営・自由業・経営者	17	11.8	0.0	23.5	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	23.5
	アルバイト・パート	46	30.4	8.7	10.9	4.3	15.2	4.3	2.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
	契約（派遣）社員	30	16.7	3.3	26.7	3.3	16.7	10.0	3.3	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	10.0
	学生	11	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1
	専業主婦（主夫）	94	17.0	25.5	20.2	6.4	4.3	2.1	0.0	7.4	5.3	2.1	1.1	1.1	7.4
	無職（年金生活者含む）	23	4.3	4.3	17.4	8.7	0.0	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	47.8

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

2) 「結婚」をきっかけとした転出のクロス集計

① 転出後の住所

結婚をきっかけとした転出者の転出後の居住地を都県別にみると、「千葉県 (39.7%)」と「東京都 (32.5%)」が多くなっており、全体との比較では「東京都」が 6.9 ポイント、「千葉県」が 4.1 ポイント多くなっている (図表 89)。

結婚をきっかけとした転出者の転出後の居住地を市町村別でみると、「市川市」が 11.2% で最も多く、次いで「千葉市 (8.0%)」、「江戸川区 (7.2%)」の順となっている (図表 90)。全体との比較では、順位に変動はみられるが顔ぶれはほぼ同じ自治体となっている。

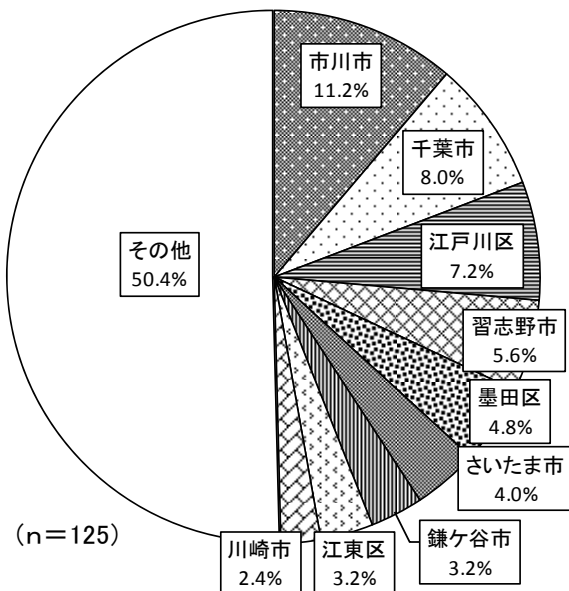
図表 89 転出後の住所 (都県別・「結婚」をきっかけ)

(単位: %、ポイント)

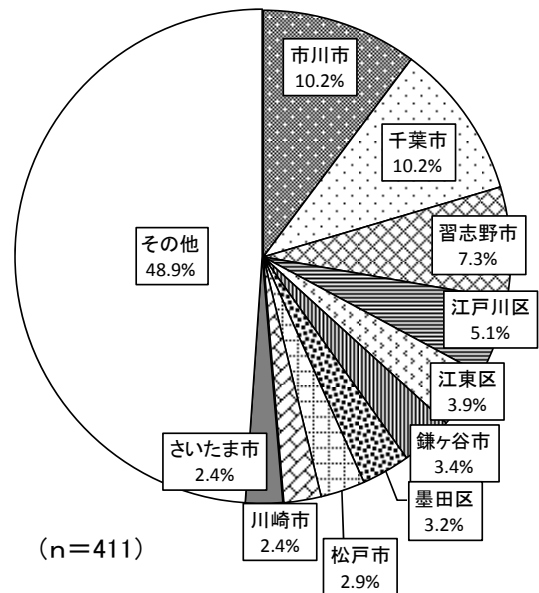
	(n 回答者)	東京圏	千葉県	東京都	神奈川県	埼玉県	その他
結婚【A】	126	85.6	39.7	32.5	6.3	7.1	14.4
全体【B】	562	73.1	35.6	25.6	5.7	6.2	26.9
差異【A-B】	-	12.5	4.1	6.9	0.6	0.9	▲ 12.5

図表 90 転出後の住所 (市区町村別・「結婚」をきっかけ)

【結婚】



【全体】



② 転出前の住所

結婚をきっかけとした転出者の転出前の住所は、「西部」が34.4%で最も多く、次いで「東部（25.6%）」、「南部（20.0%）」となっている（図表91）。

全体との比較では、「西部」が3.9ポイント全体を上回っているが、「南部」は全体を5.5ポイント下回っている。

図表 91 転出前の住所（「結婚」がきっかけ）

（単位：％、ポイント）

	回答者 (n)	東部	西部	南部	北部	中部
結婚【A】	125	25.6	34.4	20.0	9.6	10.4
全体【B】	560	25.7	30.5	25.5	9.3	8.9
差異【A-B】	-	▲ 0.1	3.9	▲ 5.5	0.3	1.5

③ 転出前後の居住形態

結婚をきっかけとした転出者の転出前の居住形態は、「集合住宅（賃貸）（37.8%）」が最も多く、「一戸建て（持家）（30.7%）」が続いている（図表92）。

一方、転出後の居住形態は、「集合住宅（賃貸）」が80.2%と圧倒的に多く、その割合は、転出前（37.8%）を42.4ポイント上回っている。

図表 92 転出前後の居住形態（「結婚」をきっかけ）

（単位：％）

	回答者 (n)	一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	集合住宅 (持家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・ 独身寮	その他
転出前【A】	127	30.7	19.7	0.8	37.8	9.4	1.6
転出後【B】	126	7.1	7.9	2.4	80.2	2.4	0.0
差異【B-A】	-	▲ 23.6	▲ 11.8	1.6	42.4	▲ 7.0	▲ 1.6

④ 船橋市の居住年数

結婚をきっかけとした転出者の船橋市内の居住年数をみると、「25 年以上 (27.6%)」と「5 年未満 (26.8%)」が拮抗している (図表 93)。

「25 年以上 (27.6%)」は、全体 (17.4%) を 10.2 ポイント上回っているが、「5 年未満 (26.8%)」は全体 (38.8%) を 12.0 ポイント下回っている。

図表 93 船橋市の居住年数 (「結婚」をきっかけ) (単位: %)

	回答者 (n)	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上
全体	557	38.8	19.4	11.5	6.1	6.8	17.4
入学・進学	9	22.2	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1
就職	29	24.1	6.9	13.8	13.8	37.9	3.4
転職	39	56.4	15.4	5.1	2.6	0.0	20.5
転勤	90	50.0	20.0	11.1	6.7	4.4	7.8
家業継承	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住宅事情	80	46.3	23.8	13.8	3.8	3.8	8.8
生活環境上の理由	41	46.3	19.5	2.4	4.9	2.4	24.4
通勤・通学の便	37	32.4	18.9	18.9	2.7	8.1	18.9
親と同近居	28	21.4	28.6	10.7	14.3	3.6	21.4
結婚	127	26.8	20.5	11.8	3.9	9.4	27.6
子育て環境上の理由	14	57.1	21.4	7.1	7.1	0.0	7.1
健康上の理由	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
その他	57	36.8	15.8	12.3	8.8	5.3	21.1

⑤ 船橋市内での住居の検討状況

結婚をきっかけとした転出者の船橋市内での住居の検討状況をみると、「船橋市内でも探した」は 21.3% で「全体 (18.1%)」を 3.2 ポイント上回っている (図表 94)。

図表 94 船橋市内での住居の検討状況 (「結婚」をきっかけ) (単位: %)

	回答者 (n)	船橋市内でも 探した	船橋市内では 探さなかった
全体	554	18.1	81.9
入学・進学	9	0.0	100.0
就職	27	3.7	96.3
転職	40	5.0	95.0
転勤	90	2.2	97.8
家業継承	2	0.0	100.0
住宅事情	78	52.6	47.4
生活環境上の理由	41	29.3	70.7
通勤・通学の便	38	7.9	92.1
親と同近居	28	3.6	96.4
結婚	127	21.3	78.7
子育て環境上の理由	14	21.4	78.6
健康上の理由	4	0.0	100.0
その他	56	14.3	85.7

⑥ 船橋市と現住所の評価

結婚をきっかけとした転出者の船橋市と現住所の評価（「船橋市が優れている」とした回答割合）をみると、「親や子どもの家の近さ（結婚 44.1%、全体 30.8%）」、「住宅価格・家賃（安さ）（同 35.4%、28.6%）」、「治安の良さ（同 21.3%、16.5%）」などは全体の評価を上回っている（図表 95）。

一方、「道路などの都市基盤（同 23.6%、28.2%）」や「買い物など日常生活の利便性（同 50.0%、53.7%）」、「教育環境（同 11.8%、15.4%）」は全体の評価を下回っている。

図表 95 船橋市と現住所の評価（「結婚」をきっかけ）

≪「船橋市が優れている」割合≫

（単位：%、ポイント）

	結婚 【A】	全体 【B】	差異(DI) 【A-B】
親や子どもの家の近さ (n=127、555)	44.1	30.8	13.3
住宅価格・家賃(安さ) (n=127、560)	35.4	28.6	6.8
治安の良さ (n=127、562)	21.3	16.5	4.8
自然の豊かさ (n=127、565)	27.6	23.7	3.9
まちのイメージ (n=127、560)	37.0	34.6	2.4
通勤・通学時間 (n=126、553)	32.5	30.9	1.6
地域のコミュニケーション (n=127、563)	17.3	17.9	▲ 0.6
子育て環境 (n=127、561)	12.6	15.7	▲ 3.1
医療・福祉環境 (n=127、564)	29.1	32.4	▲ 3.3
交通の便 (n=126、564)	51.6	55.1	▲ 3.5
教育環境 (n=127、561)	11.8	15.4	▲ 3.6
買い物など日常生活の 利便性(n=126、561)	50.0	53.7	▲ 3.7
道路などの都市基盤 (n=127、560)	23.6	28.2	▲ 4.6

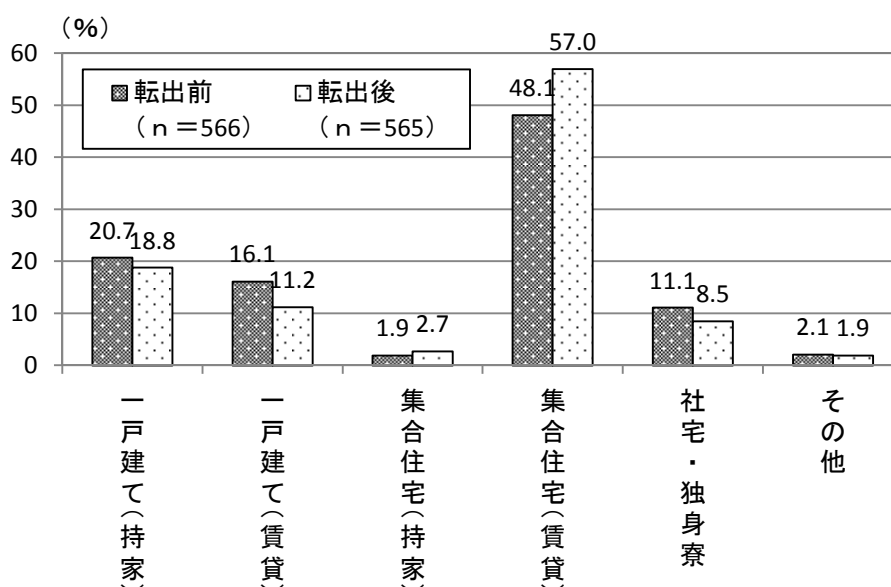
(4) 転出前後の住居形態

転出前後の住居形態は、次のうちどれですか。(S A)

転出前後の住居形態（回答者の構成比）をみると、「一戸建て（持家）（転出前 20.7%→転出後 18.8%）」、「一戸建て（賃貸）（同 16.1%→11.2%）」及び「社宅・独身寮（同 11.1%→8.5%）」はいずれも減少しているが、「集合住宅（持家）（同 1.9%→2.7%）」、「集合住宅（賃貸）（同 48.1%→57.0%）」は増加している（図表 96）。

転出前後の住居形態（相関）をみると、転出前は「一戸建て（持家・賃貸）」だった層は、「集合住宅（持家・賃貸）」に概ね 5～6 割程度が移動している（図表 97）。「集合住宅（賃貸）」は、「集合住宅（賃貸）」への移動が 60.3%で最多となっているが、19.5%は「一戸建て（持家）」に移動している。「社宅・独身寮」は「集合住宅（賃貸）」への移動が 42.9%で最も多い。

図表 96 転出前後の住居形態（回答者の構成比）



図表 97 転出前後の居住形態（相関）

(単位: %)

（単位：％）

		回答数 (n)	転出後の居住形態					
			一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	集合住宅 (持家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・ 独身寮	その他
全 体		565	18.8	11.2	2.7	57.0	8.5	1.9
転 出 前 の 居 住 形 態	一戸建て(持家)	116	16.4	7.8	3.4	62.9	6.9	2.6
	一戸建て(賃貸)	91	19.8	15.4	2.2	54.9	6.6	1.1
	集合住宅(持家)	11	63.6	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0
	集合住宅(賃貸)	272	19.5	12.1	2.9	60.3	4.4	0.7
	社宅・独身寮	63	14.3	11.1	0.0	42.9	30.2	1.6
	その他	12	0.0	0.0	8.3	33.3	25.0	33.3

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、転出前の居住形態別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 98 転出前後の居住形態（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	一戸建て (持家)		一戸建て (賃貸)		集合住宅 (持家)		集合住宅 (賃貸)		社宅・ 独身寮		その他	
			転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後
全体		566	20.7	18.8	16.1	11.2	1.9	2.7	48.1	57.0	11.1	8.5	2.1	1.9
性別	男性	216	19.9	17.1	14.8	6.0	1.4	0.9	43.1	58.8	17.1	14.4	3.7	2.8
	女性	343	21.6	19.6	16.3	14.3	2.0	3.8	51.3	55.8	7.6	5.0	1.2	1.5
年齢層別	18～19歳	6	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	20～24歳	44	38.6	13.6	15.9	2.3	4.5	2.3	31.8	47.7	4.5	29.5	4.5	4.5
	25～29歳	126	23.0	12.0	11.9	6.4	0.0	0.0	52.4	75.2	12.7	6.4	0.0	0.0
	30～34歳	108	18.5	13.9	11.1	6.5	0.0	2.8	53.7	69.4	15.7	6.5	0.9	0.9
	35～39歳	91	14.3	20.9	17.6	22.0	2.2	3.3	52.7	48.4	9.9	4.4	3.3	1.1
	40～44歳	71	18.3	19.7	15.5	7.0	8.5	5.6	46.5	54.9	11.3	9.9	0.0	2.8
	45～49歳	40	7.5	17.5	20.0	17.5	0.0	2.5	52.5	52.5	17.5	10.0	2.5	0.0
	50～54歳	17	17.6	35.3	23.5	17.6	0.0	5.9	41.2	17.6	11.8	23.5	5.9	0.0
	55～59歳	22	27.3	40.9	18.2	4.5	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	4.5	4.5
	60～64歳	21	19.0	42.9	38.1	19.0	0.0	0.0	38.1	33.3	4.8	0.0	0.0	4.8
	65歳以上	16	37.5	18.8	18.8	37.5	6.3	6.3	31.3	18.8	0.0	0.0	6.3	18.8
居住地別	東部	144	21.5	18.2	16.0	13.3	0.0	1.4	49.3	58.7	12.5	7.7	0.7	0.7
	西部	171	14.6	18.1	16.4	11.7	2.9	2.9	48.0	56.1	15.2	9.4	2.9	1.8
	南部	143	10.5	25.9	12.6	10.5	2.1	2.1	65.7	53.8	7.0	7.0	2.1	0.7
	北部	52	61.5	13.5	9.6	11.5	3.8	1.9	13.5	51.9	7.7	11.5	3.8	9.6
	中部	50	26.0	10.0	28.0	6.0	2.0	8.0	32.0	64.0	10.0	10.0	2.0	2.0
職業別	会社員	278	19.4	15.5	16.9	10.5	1.8	1.1	48.9	62.5	11.9	9.4	1.1	1.1
	公務員	45	22.2	6.7	13.3	6.7	0.0	2.2	26.7	48.9	31.1	33.3	6.7	2.2
	自営・自由業・経営者	18	33.3	16.7	22.2	16.7	0.0	5.6	44.4	61.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	アルバイト・パート	48	20.8	25.0	6.3	6.3	0.0	4.2	60.4	54.2	8.3	6.3	4.2	4.2
	契約(派遣)社員	30	20.0	23.3	10.0	6.7	3.3	3.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	11	36.4	18.2	9.1	9.1	0.0	18.2	45.5	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	専業主婦(主夫)	95	17.9	23.2	13.7	17.9	4.2	4.2	52.6	51.6	11.6	2.1	0.0	1.1
	無職(年金生活者含む)	23	21.7	34.8	34.8	17.4	0.0	4.3	30.4	26.1	4.3	4.3	8.7	13.0

(注) グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

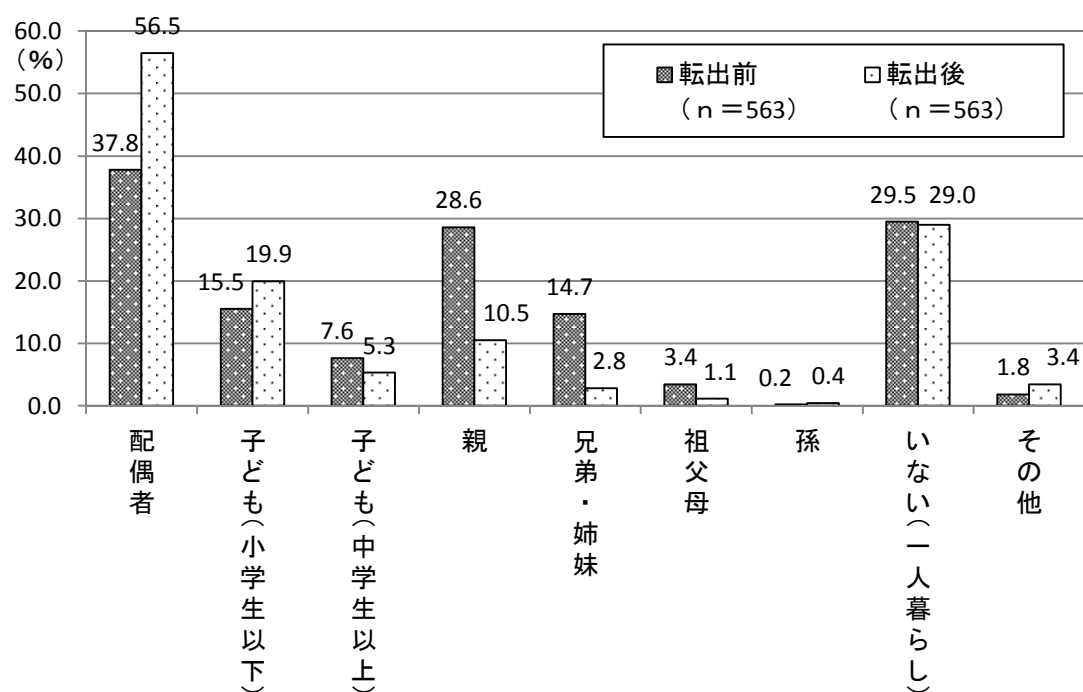
（５）転出前後の家族構成

転出前後の家族構成は、次のうちどれですか。（ＳＡ）

転出前後の家族構成（回答者の構成比）をみると、「配偶者（転出前 37.8%→転出後 56.5%）」が 18.7 ポイント増加していることが目立つ（図表 99）。一方、「親（同 28.6%→10.5%）」、「兄弟・姉妹（同 14.7%→2.8%）」は大幅に減少している。

転出前後の家族構成（相関）をみると、転出前に「親」と暮らしていた層は、転出後には「配偶者（50.6%）」や「いない（一人暮らし）（38.1%）」が多くなり、「親」は 8.1%に減少している（図表 100）。また、転出前の「いない（一人暮らし）」層は、転出後には「いない（一人暮らし）」が 48.8%で最も多いが「配偶者」が 33.7%で続いている。

図表 99 転出前後の家族構成



図表 100 転出前後の家族構成（相関）

（単位：％）

	回答数 (n)	転出後の家族構成								
		配偶者	子ども(小 学生以下)	子ども(中 学生以上)	親	兄弟・ 姉妹	祖父母	孫	いない(一 人暮らし)	その他
全 体	562	56.6	19.9	5.3	10.5	2.8	1.1	0.4	28.8	3.4
転 出 前 の 家 族 構 成	配偶者	213	84.5	47.9	8.9	1.9	0.0	0.5	6.6	1.4
	子ども (小学生以下)	87	83.9	92.0	9.2	2.3	0.0	0.0	5.7	1.1
	子ども (中学生以上)	43	53.5	11.6	53.5	18.6	2.3	0.0	16.3	2.3
	親	160	50.6	7.5	0.6	8.1	2.5	1.3	0.0	38.1
	兄弟・姉妹	82	43.9	7.3	0.0	6.1	3.7	2.4	0.0	45.1
	祖父母	19	52.6	15.8	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	36.8
	孫	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	いない (一人暮らし)	166	33.7	0.0	1.2	13.9	4.8	1.8	0.6	48.8
	その他	10	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	30.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、転出前の家族構成別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 101 転出前後の家族構成（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	配偶者		(小学生以下)		(中学生以上)		親		兄弟・姉妹		祖父母		孫		(一人暮らし)		その他	
			転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後
全体		563	37.8	56.5	15.5	19.9	7.6	5.3	28.6	10.5	14.7	2.8	3.4	1.1	0.2	0.4	29.5	29.0	1.8	3.4
性別	男性	213	30.0	43.5	11.7	12.6	5.6	2.3	28.6	11.2	18.3	3.3	1.4	1.4	0.0	0.0	36.2	43.5	2.8	3.7
	女性	343	42.9	64.6	17.8	24.6	9.0	7.3	28.6	9.9	12.5	2.6	4.7	0.6	0.3	0.6	25.1	19.9	1.2	3.2
年齢層別	18～19歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	33.3	83.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
	20～24歳	44	0.0	11.4	0.0	2.3	0.0	0.0	65.9	15.9	47.7	6.8	15.9	4.5	0.0	0.0	27.3	75.0	6.8	0.0
	25～29歳	125	26.4	63.2	6.4	18.4	0.8	0.0	39.2	9.6	21.6	2.4	6.4	0.8	0.0	0.0	33.6	24.8	0.0	2.4
	30～34歳	108	33.3	68.5	23.1	25.9	0.0	0.9	30.6	2.8	14.8	0.9	1.9	0.0	0.0	0.0	33.3	23.1	0.9	4.6
	35～39歳	90	48.9	70.0	27.8	34.4	0.0	1.1	26.7	7.8	8.9	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	24.4	18.9	1.1	1.1
	40～44歳	71	53.5	58.6	23.9	25.7	12.7	8.6	15.5	8.6	5.6	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.4	25.7	2.8	4.3
	45～49歳	40	47.5	52.5	20.0	20.0	20.0	22.5	10.0	15.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	37.5	32.5	2.5	0.0
	50～54歳	17	64.7	52.9	11.8	5.9	52.9	35.3	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	23.5	0.0	5.9
	55～59歳	22	59.1	50.0	0.0	0.0	18.2	13.6	0.0	18.2	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	27.3	22.7	4.5	4.5
	60～64歳	20	50.0	33.3	0.0	0.0	35.0	4.8	10.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	38.1	0.0	4.8
	65歳以上	16	43.8	31.3	0.0	0.0	31.3	18.8	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	18.8	37.5	6.3	25.0
居住地別	東部	144	38.2	55.6	16.0	21.5	9.0	4.9	27.1	10.4	15.3	2.1	4.9	0.7	0.0	0.7	27.8	29.2	2.8	4.9
	西部	170	39.4	63.2	14.7	19.9	8.8	8.2	25.3	7.6	12.4	1.2	1.2	0.0	0.0	0.6	32.4	25.7	0.6	1.8
	南部	141	39.7	53.2	16.3	20.6	4.3	1.4	15.6	17.7	7.8	7.1	2.8	2.1	0.0	0.0	40.4	25.5	2.8	3.5
	北部	52	30.8	48.1	17.3	17.3	13.5	7.7	57.7	7.7	32.7	1.9	7.7	3.8	1.9	0.0	7.7	40.4	1.9	3.8
	中部	50	38.0	57.1	14.0	18.4	4.0	6.1	46.0	4.1	24.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	16.0	32.7	0.0	4.1
職業別	会社員	275	28.7	55.6	11.3	15.6	5.1	2.5	33.5	8.7	16.4	2.5	2.5	0.7	0.0	0.0	33.5	34.9	1.5	1.8
	公務員	45	31.1	40.0	13.3	8.9	2.2	6.7	28.9	0.0	15.6	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	33.3	51.1	4.4	6.7
	自営・自由業・経営者	18	44.4	38.9	11.1	16.7	11.1	0.0	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	50.0	0.0	0.0
	アルバイト・パート	48	39.6	58.3	14.6	27.1	10.4	8.3	25.0	14.6	14.6	4.2	0.0	2.1	0.0	0.0	35.4	16.7	2.1	6.3
	契約（派遣）社員	30	16.7	26.7	6.7	10.0	6.7	6.7	23.3	23.3	13.3	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	60.0	33.3	0.0	13.3
	学生	11	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	36.4	54.5	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	36.4	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）	95	77.9	93.7	37.9	45.3	13.7	12.6	15.8	3.2	5.3	0.0	6.3	0.0	0.0	1.1	5.3	0.0	0.0	1.1
	無職（年金生活者含む）	23	26.1	21.7	4.3	4.3	17.4	4.3	21.7	39.1	17.4	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	26.1	34.8	13.0	4.3

（注）グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(6) 船橋市と転出後の居住地の評価

船橋市と現在お住まいの市区町村を以下の項目について比べると、どちらが優れているとお考えですか。(S A)

1) 全体

「船橋市が優れている」という回答割合は、「交通の便」が55.1%で最も多く、「買い物など日常生活の利便性(53.7%)」、「まちのイメージ(34.6%)」が続いている(図表102)。

「船橋市が優れている【A】」と「現在の市区町村が優れている【B】」の「差異【A-B】(D I)^(注2)」をみると、「交通の便(21.4ポイント)」や「買い物など日常生活の利便性(19.3ポイント)」、「医療・福祉環境(6.2ポイント)」の水準が高い。一方、「自然の豊かさ(▲34.9ポイント)」や「治安の良さ(▲30.8ポイント)」、「通勤・通学時間(▲22.4ポイント)」などは低水準となっている。

図表 102 船橋市と転出後の居住地の評価

(単位: %、ポイント)

	船橋市が 優れている 【A】	現在の市区町村 が優れている 【B】	わからない	差異(DI) 【A-B】
交通の便 (n=564)	55.1	33.7	11.2	21.4
買い物など日常生活の 利便性(n=561)	53.7	34.4	11.9	19.3
まちのイメージ (n=560)	34.6	36.8	28.6	▲ 2.2
医療・福祉環境 (n=564)	32.4	26.2	41.3	6.2
通勤・通学時間 (n=553)	30.9	53.3	15.7	▲ 22.4
親や子どもの家の近さ (n=555)	30.8	31.9	37.3	▲ 1.1
住宅価格・家賃(安さ) (n=560)	28.6	42.0	29.5	▲ 13.4
道路などの都市基盤 (n=560)	28.2	42.3	29.5	▲ 14.1
自然の豊かさ (n=565)	23.7	58.6	17.7	▲ 34.9
地域のコミュニケーション (n=563)	17.9	29.7	52.4	▲ 11.8
治安の良さ (n=562)	16.5	47.3	36.1	▲ 30.8
子育て環境 (n=561)	15.7	27.8	56.5	▲ 12.1
教育環境 (n=561)	15.4	20.0	64.6	▲ 4.6

(注) 1. 「船橋市が優れている」の降順で掲載。

2. グレーの濃い網掛けは、評価項目別に最も割合が多い項目。

(注2) diffusion index の略。「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法で得られた指数。プラス値は、本市が「優れている」程度、マイナス値は本市が「劣っている」程度を表す。

2) 東京圏（都県別DI）

船橋市の評価を転出後の居住地別（東京圏の各都県別）で見ると、「千葉県」との比較では、「交通の便（44.0ポイント）」や「買い物など日常生活の利便性（22.7ポイント）」などの評価が高く、「住宅価格・家賃（安さ）（▲41.9ポイント）」や「自然の豊かさ（▲39.5ポイント）」などは低くなっている（図表103）。「東京都」との比較では、「住宅価格・家賃（安さ）（72.6ポイント）」や「自然の豊かさ（20.8ポイント）」などの評価は高いが、「通勤・通学時間（▲74.8ポイント）」や「交通の便（▲50.7ポイント）」などは低い。「神奈川県」との比較では、「住宅価格・家賃（安さ）（25.0ポイント）」や「買い物など日常生活の利便性（21.9ポイント）」などの評価が高く、「自然の豊かさ（▲43.7ポイント）」や「まちのイメージ（▲25.0ポイント）」などは低くなっている。「埼玉県」との比較では、「まちのイメージ（37.2ポイント）」や「買い物など日常生活の利便性（34.3ポイント）」などの評価は高いが、「自然の豊かさ（▲51.4ポイント）」や「道路などの都市基盤（▲37.1ポイント）」などは低かった。

図表 103 船橋市と転出後の居住地の評価（東京圏の各都県別DI）

（単位：ポイント）

回答数(n)	全体 (556)	転出後居住地			
		千葉県 (198)	東京都 (142)	神奈川県 (32)	埼玉県 (35)
交通の便	21.1	44.0	▲ 50.7	12.9	11.4
買い物など 日常生活の利便性	19.3	22.7	▲ 18.8	21.9	34.3
医療・福祉環境	6.2	16.5	▲ 27.7	▲ 6.3	2.9
親や子どもの家の近さ	▲ 1.1	1.1	13.3	▲ 6.5	8.9
まちのイメージ	▲ 2.2	13.6	▲ 25.2	▲ 25.0	37.2
教育環境	▲ 4.6	▲ 3.5	▲ 18.8	3.1	2.9
地域のコミュニケーション	▲ 11.8	▲ 3.5	▲ 0.7	3.1	▲ 2.8
子育て環境	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 10.4	▲ 9.4	▲ 8.6
住宅価格・家賃(安さ)	▲ 13.4	▲ 41.9	72.6	25.0	▲ 22.8
道路などの都市基盤	▲ 14.1	▲ 3.5	▲ 47.9	▲ 9.4	▲ 37.1
通勤・通学時間	▲ 22.4	7.7	▲ 74.8	0.0	▲ 29.4
治安の良さ	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 18.9	▲ 6.3	▲ 11.5
自然の豊かさ	▲ 34.9	▲ 39.5	20.8	▲ 43.7	▲ 51.4

（注）1. 転入前居住地との比較における全体の降順で掲載。

2. DIは「船橋市が優れている」-「転出後の市区町村が優れている」で算出。

3. 回答数(n)は「交通の便」を掲載。

4. グレーの濃い網掛けは、評価項目別に最も水準が高い項目。

図表 104 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別①）

（単位：％）

		住宅価格・家賃(安さ)				交通の便			
		回答数 (n)	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数 (n)	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		560	28.6	42.0	29.5	564	55.1	33.7	11.2
性別	男性	213	26.8	46.5	26.8	215	54.4	34.0	11.6
	女性	340	29.1	39.1	31.8	342	56.1	32.7	11.1
年齢層別	18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	6	66.7	33.3	0.0
	20～24歳	44	31.8	38.6	29.5	44	52.3	38.6	9.1
	25～29歳	125	28.8	44.8	26.4	125	59.2	33.6	7.2
	30～34歳	107	37.4	36.4	26.2	108	47.2	41.7	11.1
	35～39歳	89	31.5	33.7	34.8	90	55.6	27.8	16.7
	40～44歳	71	23.9	42.3	33.8	71	52.1	39.4	8.5
	45～49歳	40	25.0	52.5	22.5	40	47.5	42.5	10.0
	50～54歳	17	11.8	70.6	17.6	17	70.6	23.5	5.9
	55～59歳	22	18.2	36.4	45.5	22	68.2	9.1	22.7
	60～64歳	21	14.3	61.9	23.8	21	66.7	14.3	19.0
	65歳以上	14	14.3	35.7	50.0	16	62.5	25.0	12.5
居住地別	東部	142	26.1	44.4	29.6	144	50.0	35.4	14.6
	西部	170	27.6	41.8	30.6	171	66.1	24.6	9.4
	南部	142	31.7	45.8	22.5	141	61.0	32.6	6.4
	北部	50	36.0	30.0	34.0	52	28.8	55.8	15.4
	中部	50	24.0	36.0	40.0	50	46.0	40.0	14.0
職業別	会社員	275	34.5	40.4	25.1	278	52.2	38.1	9.7
	公務員	45	20.0	42.2	37.8	45	57.8	35.6	6.7
	自営・自由業・経営者	16	37.5	31.3	31.3	17	41.2	58.8	0.0
	アルバイト・パート	48	25.0	41.7	33.3	48	64.6	27.1	8.3
	契約(派遣)社員	30	26.7	36.7	36.7	29	58.6	31.0	10.3
	学生	11	45.5	36.4	18.2	11	54.5	45.5	0.0
	専業主婦(主夫)	95	18.9	48.4	32.6	95	60.0	20.0	20.0
	無職(年金生活者含む)	23	21.7	47.8	30.4	23	52.2	26.1	21.7

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 105 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別②）

（単位：％）

		通勤・通学時間				買い物など日常生活の利便性			
		回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		553	30.9	53.3	15.7	561	53.7	34.4	11.9
性別	男性	213	29.1	60.1	10.8	213	49.3	38.5	12.2
	女性	333	31.8	48.9	19.2	342	56.7	31.3	12.0
年齢層別	18～19歳	6	33.3	66.7	0.0	6	33.3	50.0	16.7
	20～24歳	42	31.0	59.5	9.5	44	59.1	29.5	11.4
	25～29歳	126	31.0	54.0	15.1	126	57.9	31.7	10.3
	30～34歳	108	25.9	56.5	17.6	108	41.7	45.4	13.0
	35～39歳	88	34.1	53.4	12.5	88	51.1	35.2	13.6
	40～44歳	69	30.4	53.6	15.9	69	55.1	31.9	13.0
	45～49歳	39	23.1	61.5	15.4	40	52.5	37.5	10.0
	50～54歳	17	35.3	64.7	0.0	17	88.2	5.9	5.9
	55～59歳	22	40.9	31.8	27.3	22	72.7	27.3	0.0
	60～64歳	19	42.1	36.8	21.1	21	47.6	38.1	14.3
	65歳以上	13	30.8	15.4	53.8	16	43.8	25.0	31.3
居住地別	東部	140	32.9	46.4	20.7	142	53.5	35.9	10.6
	西部	167	35.3	52.1	12.6	171	48.0	36.3	15.8
	南部	140	33.6	57.9	8.6	141	66.7	26.2	7.1
	北部	51	19.6	54.9	25.5	51	33.3	51.0	15.7
	中部	49	14.3	63.3	22.4	50	58.0	28.0	14.0
職業別	会社員	276	28.3	60.9	10.9	276	53.6	34.4	12.0
	公務員	44	34.1	54.5	11.4	45	44.4	40.0	15.6
	自営・自由業・経営者	17	41.2	58.8	0.0	17	35.3	58.8	5.9
	アルバイト・パート	47	36.2	48.9	14.9	47	63.8	27.7	8.5
	契約（派遣）社員	30	40.0	53.3	6.7	30	53.3	36.7	10.0
	学生	11	18.2	81.8	0.0	11	45.5	45.5	9.1
	専業主婦（主夫）	92	34.8	33.7	31.5	94	58.5	28.7	12.8
	無職（年金生活者含む）	20	25.0	35.0	40.0	23	43.5	39.1	17.4

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 106 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別③）

（単位：％）

		医療・福祉環境				子育て環境			
		回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		564	32.4	26.2	41.3	561	15.7	27.8	56.5
性別	男性	215	33.5	26.0	40.5	214	18.2	22.4	59.3
	女性	342	31.9	26.0	42.1	340	14.1	30.9	55.0
年齢層別	18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	6	33.3	16.7	50.0
	20～24歳	44	38.6	18.2	43.2	44	22.7	15.9	61.4
	25～29歳	126	25.4	26.2	48.4	126	10.3	29.4	60.3
	30～34歳	108	26.9	31.5	41.7	108	19.4	27.8	52.8
	35～39歳	90	25.6	31.1	43.3	90	16.7	35.6	47.8
	40～44歳	70	45.7	22.9	31.4	71	11.3	29.6	59.2
	45～49歳	40	40.0	20.0	40.0	40	20.0	15.0	65.0
	50～54歳	17	41.2	23.5	35.3	17	29.4	11.8	58.8
	55～59歳	22	50.0	13.6	36.4	22	4.5	31.8	63.6
	60～64歳	21	38.1	28.6	33.3	20	10.0	25.0	65.0
	65歳以上	16	25.0	25.0	50.0	13	15.4	38.5	46.2
居住地別	東部	144	31.3	24.3	44.4	142	13.4	22.5	64.1
	西部	171	32.2	30.4	37.4	170	12.9	33.5	53.5
	南部	141	32.6	25.5	41.8	142	16.9	27.5	55.6
	北部	52	40.4	19.2	40.4	51	27.5	19.6	52.9
	中部	50	30.0	24.0	46.0	50	18.0	34.0	48.0
職業別	会社員	278	28.1	27.7	44.2	278	15.1	23.0	61.9
	公務員	45	33.3	17.8	48.9	45	15.6	31.1	53.3
	自営・自由業・経営者	17	23.5	35.3	41.2	17	11.8	23.5	64.7
	アルバイト・パート	48	37.5	20.8	41.7	48	14.6	31.3	54.2
	契約（派遣）社員	30	43.3	23.3	33.3	30	10.0	26.7	63.3
	学生	11	45.5	36.4	18.2	11	45.5	18.2	36.4
	専業主婦（主夫）	94	33.0	31.9	35.1	95	14.7	37.9	47.4
	無職（年金生活者含む）	23	52.2	13.0	34.8	21	14.3	42.9	42.9

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 107 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別④）

（単位：％）

		教育環境				地域のコミュニケーション			
		回答数 (n)	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数 (n)	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		560	15.4	20.0	64.6	563	17.9	29.7	52.4
性別	男性	213	17.8	16.9	65.3	215	18.6	30.2	51.2
	女性	340	13.8	21.8	64.4	341	17.6	29.0	53.4
年齢層別	18～19歳	6	16.7	66.7	16.7	6	50.0	16.7	33.3
	20～24歳	44	20.5	15.9	63.6	44	29.5	15.9	54.5
	25～29歳	126	12.7	16.7	70.6	126	15.1	27.0	57.9
	30～34歳	108	13.9	21.3	64.8	108	17.6	31.5	50.9
	35～39歳	90	14.4	23.3	62.2	90	13.3	24.4	62.2
	40～44歳	71	12.7	22.5	64.8	70	21.4	32.9	45.7
	45～49歳	40	20.0	12.5	67.5	40	20.0	40.0	40.0
	50～54歳	17	35.3	5.9	58.8	17	17.6	35.3	47.1
	55～59歳	22	13.6	27.3	59.1	22	13.6	36.4	50.0
	60～64歳	20	20.0	20.0	60.0	21	14.3	42.9	42.9
	65歳以上	12	8.3	25.0	66.7	15	20.0	33.3	46.7
居住地別	東部	142	15.5	17.6	66.9	143	16.8	30.8	52.4
	西部	170	10.0	21.8	68.2	171	15.2	29.2	55.6
	南部	142	17.6	18.3	64.1	142	12.7	34.5	52.8
	北部	50	26.0	22.0	52.0	51	43.1	15.7	41.2
	中部	50	18.0	24.0	58.0	50	20.0	28.0	52.0
職業別	会社員	278	13.7	14.7	71.6	278	18.7	24.8	56.5
	公務員	45	15.6	20.0	64.4	45	20.0	22.2	57.8
	自営・自由業・経営者	16	6.3	31.3	62.5	17	17.6	52.9	29.4
	アルバイト・パート	48	16.7	25.0	58.3	48	18.8	35.4	45.8
	契約（派遣）社員	30	10.0	20.0	70.0	30	13.3	30.0	56.7
	学生	11	36.4	36.4	27.3	11	45.5	27.3	27.3
	専業主婦（主夫）	95	15.8	27.4	56.8	94	12.8	37.2	50.0
	無職（年金生活者含む）	21	23.8	28.6	47.6	23	17.4	39.1	43.5

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 108 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別⑤）

（単位：％）

		道路などの都市基盤				治安の良さ			
		回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		560	28.2	42.3	29.5	562	16.5	47.3	36.1
性別	男性	212	33.5	43.9	22.6	215	19.5	45.6	34.9
	女性	341	25.2	41.1	33.7	340	14.7	48.2	37.1
年齢層別	18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	6	16.7	50.0	33.3
	20～24歳	44	31.8	45.5	22.7	44	36.4	36.4	27.3
	25～29歳	126	31.0	36.5	32.5	126	21.4	42.9	35.7
	30～34歳	107	23.4	45.8	30.8	108	13.9	47.2	38.9
	35～39歳	90	26.7	47.8	25.6	89	13.5	50.6	36.0
	40～44歳	69	24.6	50.7	24.6	70	17.1	52.9	30.0
	45～49歳	40	30.0	35.0	35.0	40	10.0	45.0	45.0
	50～54歳	17	29.4	35.3	35.3	17	5.9	41.2	52.9
	55～59歳	21	42.9	28.6	28.6	22	0.0	63.6	36.4
	60～64歳	20	30.0	40.0	30.0	21	9.5	61.9	28.6
	65歳以上	16	25.0	37.5	37.5	15	13.3	40.0	46.7
居住地別	東部	143	30.1	44.1	25.9	143	16.1	49.0	35.0
	西部	169	23.7	42.6	33.7	171	14.0	52.0	33.9
	南部	140	34.3	38.6	27.1	141	14.2	49.6	36.2
	北部	52	28.8	38.5	32.7	51	25.5	27.5	47.1
	中部	50	22.0	48.0	30.0	50	26.0	40.0	34.0
職業別	会社員	276	28.3	42.8	29.0	278	19.4	46.8	33.8
	公務員	45	22.2	46.7	31.1	45	17.8	35.6	46.7
	自営・自由業・経営者	16	12.5	68.8	18.8	17	17.6	70.6	11.8
	アルバイト・パート	47	38.3	31.9	29.8	48	12.5	54.2	33.3
	契約（派遣）社員	30	23.3	36.7	40.0	30	10.0	40.0	50.0
	学生	11	45.5	36.4	18.2	11	27.3	54.5	18.2
	専業主婦（主夫）	94	24.5	45.7	29.8	93	8.6	49.5	41.9
	無職（年金生活者含む）	23	43.5	34.8	21.7	23	13.0	56.5	30.4

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 109 船橋市と転出後の居住地の評価（属性別⑥）

（単位：％）

		自然の豊かさ				親や子どもの家の近さ				まちのイメージ			
		回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	現在の市区町村が優れている	わからない
全体		565	23.7	58.6	17.7	555	30.8	31.9	37.3	560	34.6	36.8	28.6
性別	男性	215	25.6	57.2	17.2	212	32.1	28.8	39.2	214	39.7	32.7	27.6
	女性	343	22.4	59.2	18.4	336	30.4	33.3	36.3	339	31.9	38.9	29.2
年齢層別	18～19歳	6	16.7	66.7	16.7	6	16.7	33.3	50.0	6	16.7	83.3	0.0
	20～24歳	44	40.9	52.3	6.8	43	55.8	11.6	32.6	44	61.4	20.5	18.2
	25～29歳	126	23.8	61.1	15.1	125	26.4	30.4	43.2	125	41.6	30.4	28.0
	30～34歳	108	29.6	47.2	23.1	107	30.8	32.7	36.4	107	29.0	37.4	33.6
	35～39歳	90	16.7	64.4	18.9	91	38.5	30.8	30.8	89	29.2	39.3	31.5
	40～44歳	71	18.3	59.2	22.5	69	23.2	37.7	39.1	70	25.7	41.4	32.9
	45～49歳	40	30.0	55.0	15.0	39	25.6	35.9	38.5	40	42.5	30.0	27.5
	50～54歳	17	17.6	70.6	11.8	17	23.5	17.6	58.8	17	23.5	47.1	29.4
	55～59歳	22	9.1	72.7	18.2	21	9.5	47.6	42.9	21	28.6	47.6	23.8
	60～64歳	21	14.3	66.7	19.0	21	42.9	42.9	14.3	21	28.6	57.1	14.3
	65歳以上	16	25.0	56.3	18.8	12	25.0	33.3	41.7	16	31.3	37.5	31.3
居住地別	東部	144	18.8	67.4	13.9	141	32.6	29.1	38.3	144	35.4	32.6	31.9
	西部	171	25.1	56.1	18.7	167	28.1	32.3	39.5	167	29.3	41.9	28.7
	南部	142	16.9	63.4	19.7	140	22.9	40.7	36.4	141	40.4	36.9	22.7
	北部	52	42.3	36.5	21.2	51	47.1	15.7	37.3	52	30.8	34.6	34.6
	中部	50	32.0	52.0	16.0	50	42.0	34.0	24.0	50	40.0	34.0	26.0
職業別	会社員	278	28.1	55.0	16.9	276	31.5	29.7	38.8	275	34.2	35.3	30.5
	公務員	45	31.1	53.3	15.6	44	47.7	15.9	36.4	45	46.7	22.2	31.1
	自営・自由業・経営者	17	35.3	52.9	11.8	17	35.3	41.2	23.5	17	23.5	58.8	17.6
	アルバイト・パート	48	14.6	66.7	18.8	47	31.9	34.0	34.0	48	35.4	31.3	33.3
	契約（派遣）社員	30	16.7	53.3	30.0	29	24.1	27.6	48.3	30	46.7	30.0	23.3
	学生	11	45.5	45.5	9.1	11	27.3	18.2	54.5	11	27.3	63.6	9.1
	専業主婦（主夫）	95	13.7	68.4	17.9	94	25.5	43.6	30.9	93	28.0	41.9	30.1
	無職（年金生活者含む）	23	8.7	73.9	17.4	20	25.0	50.0	25.0	23	30.4	56.5	13.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(7) 検討した転出先

① 船橋市への転出の検討の有無

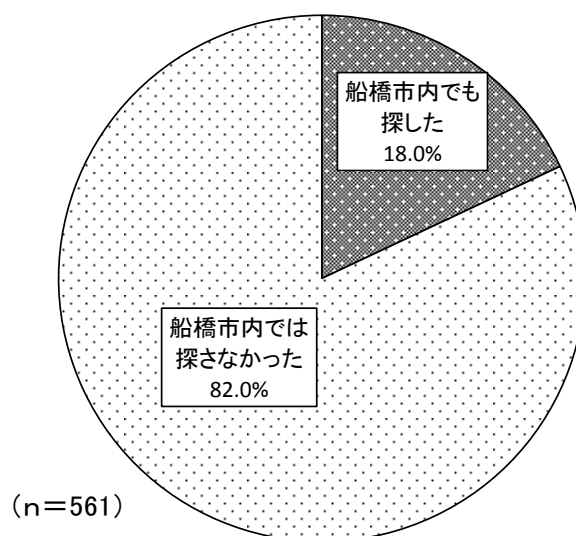
転居にあたって、船橋市内でも住居を探しましたか。(S A)

本市でも住居を探したかについてみると、「船橋市内でも探した」は18.0%、「船橋市内では探さなかった」は82.0%となっている(図表110)。

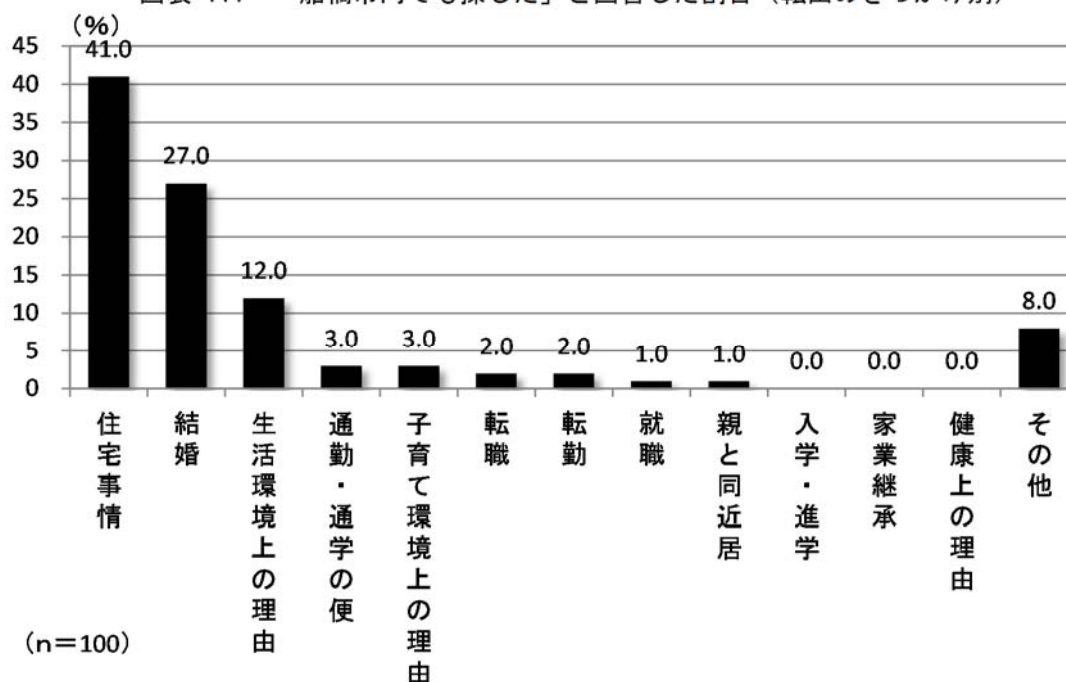
「船橋市内でも探した」との回答割合を転出のきっかけ別にみると、「住宅事情」が41.0%で最も多く、次いで「結婚(27.0%)」、「生活環境上の理由(12.0%)」の順となっている(図表111)。

「船橋市内でも探した」の回答者を年齢層別にみると、30歳台(30～34歳：25.2%、35～39歳：23.1%)の割合が他の年齢層より多い。

図表 110 船橋市への転出の検討の有無



図表 111 「船橋市内でも探した」と回答した割合(転出のきっかけ別)



図表 112 船橋市への転出の検討の有無（属性別）

（単位：％）

		回 答 数 (n)	船 橋 市 内 で も 探 し た	船 橋 市 内 で は 探 さ な か っ た
全体		561	18.0	82.0
性 別	男性	213	19.7	80.3
	女性	341	17.0	83.0
年 齢 層 別	18～19歳	6	16.7	83.3
	20～24歳	42	9.5	90.5
	25～29歳	126	14.3	85.7
	30～34歳	107	25.2	74.8
	35～39歳	91	23.1	76.9
	40～44歳	71	16.9	83.1
	45～49歳	40	12.5	87.5
	50～54歳	17	11.8	88.2
	55～59歳	22	9.1	90.9
	60～64歳	20	20.0	80.0
	65歳以上	15	26.7	73.3
居 住 地 別	東部	143	23.8	76.2
	西部	170	20.6	79.4
	南部	142	12.7	87.3
	北部	50	16.0	84.0
	中部	50	12.0	88.0
職 業 別	会社員	276	17.4	82.6
	公務員	44	18.2	81.8
	自営・自由業・経営者	18	27.8	72.2
	アルバイト・パート	48	20.8	79.2
	契約(派遣)社員	30	23.3	76.7
	学生	11	9.1	90.9
	専業主婦(主夫)	95	20.0	80.0
	無職(年金生活者含む)	21	9.5	90.5

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

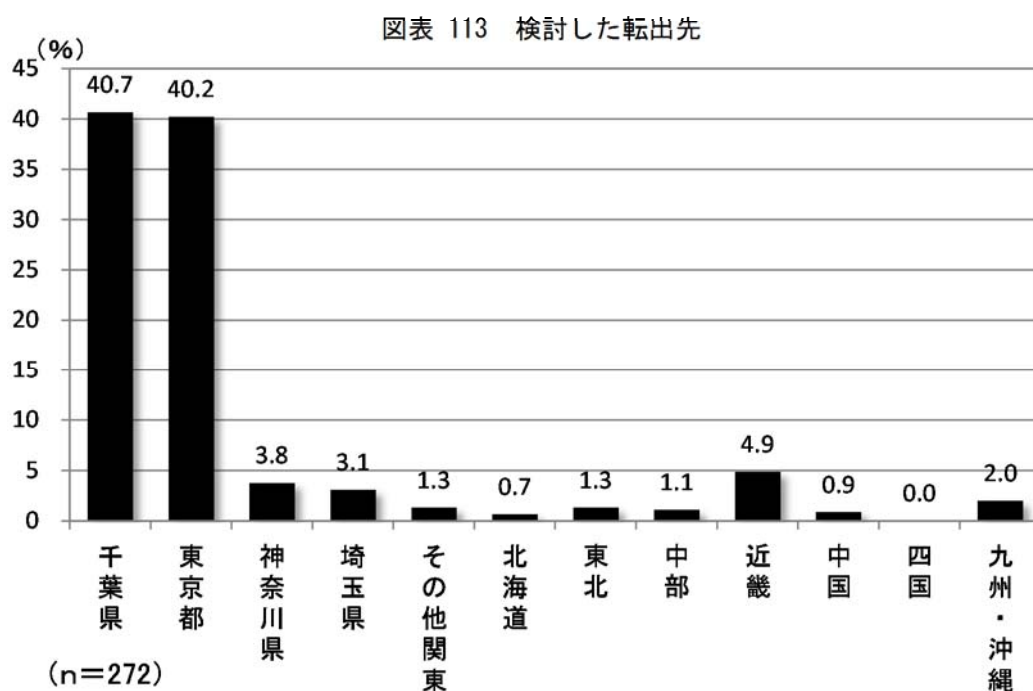
2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

② 検討した転出先

現在お住まいの市区町村以外では、どの地域を検討されましたか。(MA)

現在の居住地以外で検討した転出先についてみると、「千葉県(40.7%)」と「東京都(40.2%)」が拮抗している(図表 113)。

「千葉県」を検討した回答者のうち、82.4%が実際に「千葉県」に転出したが、12.1%は「東京都」へ転出した(図表 114)。「東京都」を検討した回答者のうち、76.5%が実際に「東京都」に転出したが、18.4%は「千葉県」へ転出した。



図表 114 検討した転出先と実際の転出先(東京圏)

(単位: %)

		回答数 (n)	転出した都県				
			千葉県	東京都	神奈川県	埼玉県	その他
全 体		447	40.9	37.4	3.6	3.8	14.3
検討した都県	千葉県	182	82.4	12.1	1.1	0.5	3.8
	東京都	179	18.4	76.5	2.2	1.7	1.1
	神奈川県	17	0.0	35.3	58.8	5.9	0.0
	埼玉県	14	0.0	14.3	0.0	85.7	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、検討した都県別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(8) 船橋市の住みやすさの評価

船橋市は住みやすかったですか。(S A)

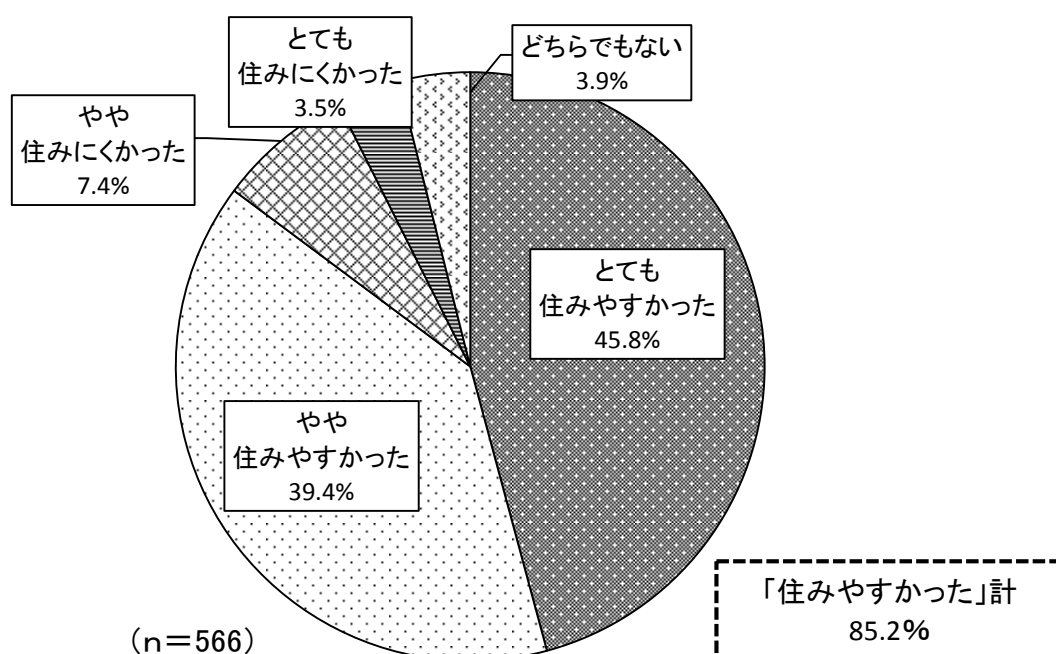
本市の住みやすさの評価についてみると、「とても住みやすかった」は45.8%で「やや住みやすかった(39.4%)」をあわせると85.2%が「住みやすかった」と回答した(図表115)。

一方、「とても住みにくかった(3.5%)」と「やや住みにくかった(7.4%)」の合計は10.9%となっている。「どちらでもない」は3.9%であった。

年齢層別にみると、全年齢層で「とても住みやすかった」が最も多く、その回答割合は、「20～24歳」が50.0%で最多となっている(図表116)。

「とても住みやすかった」を居住地別にみると、最も多い「南部(55.6%)」と最も低い「中部(38.0%)」では17.6ポイントの差異がみられた。

図表 115 船橋市の住みやすさの評価



図表 116 船橋市の住みやすさの評価（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	とても住みやすかった	やや住みやすかった	やや住みにくかった	とても住みにくかった	どちらでもない
全体		566	45.8	39.4	7.4	3.5	3.9
性別	男性	214	43.5	42.1	6.1	3.7	4.7
	女性	345	47.2	38.0	8.4	2.9	3.5
年齢層別	18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	20～24歳	44	50.0	45.5	2.3	0.0	2.3
	25～29歳	126	43.7	38.1	11.9	0.0	6.3
	30～34歳	108	47.2	35.2	9.3	7.4	0.9
	35～39歳	90	45.6	41.1	6.7	4.4	2.2
	40～44歳	71	43.7	40.8	4.2	9.9	1.4
	45～49歳	40	47.5	45.0	2.5	0.0	5.0
	50～54歳	17	58.8	41.2	0.0	0.0	0.0
	55～59歳	22	54.5	31.8	4.5	0.0	9.1
	60～64歳	22	36.4	45.5	9.1	0.0	9.1
	65歳以上	16	37.5	37.5	6.3	0.0	18.8
居住地別	東部	142	43.0	40.1	7.7	4.9	4.2
	西部	169	42.6	42.6	7.1	3.6	4.1
	南部	142	55.6	38.0	2.1	1.4	2.8
	北部	52	46.2	28.8	15.4	3.8	5.8
	中部	50	38.0	40.0	12.0	6.0	4.0
職業別	会社員	279	45.5	41.9	6.1	3.6	2.9
	公務員	44	38.6	45.5	6.8	4.5	4.5
	自営・自由業・経営者	18	38.9	44.4	11.1	5.6	0.0
	アルバイト・パート	48	50.0	35.4	12.5	0.0	2.1
	契約(派遣)社員	30	56.7	33.3	3.3	6.7	0.0
	学生	11	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0
	専業主婦(主夫)	96	49.0	34.4	8.3	3.1	5.2
	無職(年金生活者含む)	22	31.8	36.4	9.1	4.5	18.2

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(9) 住みやすかった・住みにくかった理由

あなたが、船橋市に住みやすかった又は住みにくかったと考える点は何ですか。A(住みやすかった点)、B(住みにくかった点)からあてはまるものを選んで番号に○印をつけてください(MA)。

1) 住みやすかった理由

住みやすかった理由をみると、「公共交通機関が便利である」が 61.0%で最も多く、「買い物・レジャー環境が充実している (60.3%)」、「知人・友人がいる (23.8%)」が続いている(図表 117)。もっとも、2位の「買い物・レジャー環境が充実している」と3位の「知人・友人がいる」は、36.5 ポイントの大幅な差異がみられる。

住みやすさの評価別にみると、「住みやすかった」と評価している回答者は、「住みにくかった」と評価している回答者に比べて「買い物・レジャー環境が充実している (差異 32.6 ポイント)」や「公共交通機関が便利である (同 30.0 ポイント)」、「まちに賑わいを感じる (同 19.9 ポイント)」などを高く評価している。

年齢層別にみると、「20～24 歳」は、「公共交通機関が便利である (67.6%)」が最も多く、「親や子供等が近隣に住んでいる (27.0%)」や「自然が豊かである (18.9%)」が他の年齢層と比べて多かった(図表 118)。「25～29 歳」から「45～49 歳」までは「買い物・レジャー環境が充実している」がそれぞれ最多となっている。また、「30～34 歳」は「職場や学校が近い (24.4%)」、「40～44 歳」は「知人・友人がいる (33.3%)」、「45～49 歳」は「まちに賑わいを感じる (22.9%)」や「住宅価格・家賃が適当である (20.0%)」などがそれぞれ他の年齢層と比べて最も多かった。

図表 117 住みやすかった理由

(単位: %、ポイント)

(n=432)	全体	住みやすさの評価別		
		住みやすかった 【A】	住みにくかった 【B】	差異(DI) 【A-B】
公共交通機関が便利である	61.0	63.4	33.3	30.0
買い物・レジャー環境が充実している	60.3	63.4	30.8	32.6
知人・友人がいる	23.8	24.3	23.1	1.3
まちに賑わいを感じる	18.0	19.9	0.0	19.9
親や子供等が近隣に住んでいる	16.4	15.7	20.5	▲ 4.8
職場や学校が近い	16.4	17.0	7.7	9.3
住宅価格・家賃が適当である	14.1	13.1	23.1	▲ 10.0
自然が豊かである	12.5	11.5	25.6	▲ 14.1
道路など生活インフラが整っている	9.5	10.5	0.0	10.5
医療・介護・福祉が充実している	7.6	7.6	7.7	▲ 0.1
子育てしやすい環境である	5.5	6.0	0.0	6.0
教育環境が良い	1.6	1.8	0.0	1.8
文化・教育施設が充実している	1.4	1.6	0.0	1.6
防災・防犯体制が充実している	0.9	1.0	0.0	1.0
その他	3.5	3.1	0.0	3.1

(注) グレーの濃い網掛けは、住みやすかった理由別に最も割合が多い項目。

図表 118 住みやすかった理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	公共交通機関が便利である	買い物・レジャー環境が充実している	知人・友人がいる	まちに賑わいを感じる	親や子供等が近隣に住んでいる	職場や学校が近い	住宅価格・家賃が適当である	自然が豊かである	道路など生活インフラが整っている	医療・介護・福祉が充実している	子育てしやすい環境である	教育環境が良い	文化・教育施設が充実している	防災・防犯体制が充実している	その他
全体		433	61.0	60.3	23.8	18.0	16.4	16.4	14.1	12.5	9.5	7.6	5.5	1.6	1.4	0.9	3.5
性別	男性	167	58.7	55.7	24.0	18.0	16.8	16.2	13.8	12.6	12.0	9.0	6.0	2.4	1.2	1.2	3.0
	女性	261	62.8	63.6	23.4	17.6	16.1	16.9	14.2	12.3	7.7	6.9	5.4	1.1	1.5	0.8	3.8
年齢層別	18～19歳	5	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	37	67.6	48.6	29.7	18.9	27.0	13.5	10.8	18.9	10.8	10.8	5.4	0.0	0.0	2.7	0.0
	25～29歳	94	61.7	67.0	21.3	19.1	20.2	14.9	10.6	8.5	11.7	3.2	3.2	1.1	2.1	1.1	3.2
	30～34歳	86	58.1	59.3	26.7	18.6	18.6	24.4	14.0	14.0	7.0	4.7	9.3	0.0	1.2	0.0	2.3
	35～39歳	66	62.1	62.1	15.2	15.2	15.2	9.1	18.2	10.6	9.1	3.0	9.1	3.0	0.0	1.5	4.5
	40～44歳	51	56.9	58.8	33.3	11.8	7.8	13.7	15.7	13.7	7.8	13.7	2.0	0.0	0.0	2.0	3.9
	45～49歳	35	48.6	68.6	20.0	22.9	11.4	20.0	20.0	17.1	8.6	11.4	2.9	2.9	2.9	0.0	5.7
	50～54歳	14	71.4	85.7	21.4	14.3	0.0	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	55～59歳	15	53.3	46.7	26.7	26.7	13.3	20.0	33.3	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7
	60～64歳	17	70.6	35.3	23.5	17.6	17.6	5.9	5.9	17.6	17.6	23.5	11.8	11.8	5.9	0.0	5.9
	65歳以上	10	90.0	60.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
居住地別	東部	109	60.6	57.8	29.4	22.0	16.5	12.8	11.0	11.0	8.3	11.0	7.3	1.8	1.8	1.8	4.6
	西部	135	71.9	51.9	19.3	17.8	14.8	20.7	11.1	10.4	9.6	8.1	3.7	0.7	1.5	0.7	4.4
	南部	104	67.3	81.7	16.3	15.4	9.6	17.3	20.2	3.8	8.7	5.8	3.8	2.9	1.0	1.0	1.9
	北部	34	23.5	35.3	47.1	5.9	29.4	17.6	11.8	35.3	11.8	5.9	11.8	2.9	0.0	0.0	5.9
	中部	43	44.2	65.1	20.9	20.9	27.9	11.6	16.3	25.6	9.3	4.7	4.7	0.0	2.3	0.0	0.0
職業別	会社員	224	57.6	61.2	21.0	16.1	15.6	14.3	16.5	12.1	11.6	7.6	4.5	1.3	0.9	1.8	3.6
	公務員	37	64.9	51.4	27.0	13.5	24.3	27.0	10.8	16.2	8.1	2.7	5.4	2.7	0.0	0.0	0.0
	自営・自由業・経営者	16	37.5	43.8	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
	アルバイト・パート	38	73.7	71.1	18.4	26.3	15.8	21.1	2.6	2.6	13.2	5.3	5.3	0.0	7.9	0.0	2.6
	契約（派遣）社員	17	58.8	29.4	47.1	11.8	17.6	23.5	23.5	11.8	5.9	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8
	学生	8	37.5	37.5	12.5	37.5	0.0	25.0	25.0	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）	64	70.3	70.3	31.3	23.4	17.2	12.5	10.9	6.3	0.0	3.1	9.4	0.0	0.0	0.0	6.3
	無職（年金生活者含む）	16	81.3	56.3	25.0	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

2) 住みにくかった理由

住みにくかった理由をみると、「住宅価格・家賃が高い」が29.6%で最も多く、「道路など生活インフラが整っていない(26.0%)」、「自然が豊かではない(20.4%)」が続いている(図表119)。

住みやすさの評価別にみると、「住みにくかった」と評価している回答者は、「住みやすかった」と評価している回答者と比べて、「道路など生活インフラが整っていない(差異24.8ポイント)」や「買い物・レジャー環境が充実していない(同12.6ポイント)」、「医療・介護・福祉が充実していない(同7.1ポイント)」などを低く評価している。

年齢層別にみると、「20～24歳」は「防災・防犯体制に不安がある(28.1%)」が最も多かった(図表120)。「25～29歳」、「30～34歳」、「40～44歳」及び「45～49歳」は「住宅価格・家賃が高い」がそれぞれ最多となっている。「35～39歳」は「道路など生活インフラが整っていない(30.3%)」が最も多い。また、「25～29歳」は「自然が豊かではない(22.8%)」や「知人・友人がいない(19.6%)」、「35～39歳」は「子育てしづらい環境である(12.1%)」、「45～49歳」は「職場や学校が遠い(26.7%)」、「公共交通機関が不便である(26.7%)」及び「親や子供等が遠方に住んでいる(20.0%)」などが他の年齢層と比べて多かった。

図表 119 住みにくかった理由

(単位: %、ポイント)

(n=408)	全体	住みやすさの評価別		
		住みにくかった 【A】	住みやすかった 【B】	差異(DI) 【A-B】
住宅価格・家賃が高い	29.6	8.7	32.3	▲ 23.6
道路など生活インフラが整っていない	26.0	47.8	23.1	24.8
自然が豊かではない	20.4	15.2	21.0	▲ 5.8
職場や学校が遠い	19.9	8.7	21.6	▲ 12.9
防災・防犯体制に不安がある	15.5	15.2	15.9	▲ 0.6
公共交通機関が不便である	14.1	19.6	13.5	6.0
親や子供等が遠方に住んでいる	13.6	0.0	15.3	▲ 15.3
知人・友人がいない	12.4	0.0	12.1	▲ 12.1
子育てしづらい環境である	6.8	10.9	6.6	4.2
文化・教育施設が充実していない	5.8	0.0	5.2	▲ 5.2
まちに賑わいが感じられない	5.3	8.7	4.9	3.8
医療・介護・福祉が充実していない	4.9	10.9	3.7	7.1
教育環境が悪い	4.4	8.7	3.7	4.9
買い物・レジャー環境が充実していない	4.1	15.2	2.6	12.6
その他	12.4	23.9	9.8	14.1

(注) グレーの濃い網掛けは、住みにくかった理由別に最も割合が多い項目。

図表 120 住みにくかった理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	住宅価格・家賃が高い	道路など生活インフラが整っていない	自然が豊かではない	職場や学校が遠い	防災・防犯体制に不安がある	公共交通機関が不便である	親や子供等が遠方に住んでいる	知人・友人がいない	子育てしづらい環境である	文化・教育施設が充実していない	まちに賑わいを感じられない	医療・介護・福祉が充実していない	教育環境が悪い	買い物・レジャー環境が充実していない	その他
全体		412	29.6	26.0	20.4	19.9	15.5	14.1	13.6	12.4	6.8	5.8	5.3	4.9	4.4	4.1	12.4
性別	男性	159	30.2	28.9	17.6	25.2	17.6	15.1	9.4	8.8	5.0	6.9	7.5	6.3	3.8	6.9	12.6
	女性	248	29.0	24.6	22.2	16.5	14.1	13.3	16.1	14.5	7.7	5.2	4.0	4.0	4.4	2.4	11.7
年齢層別	18～19歳	5	20.0	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	20～24歳	32	21.9	12.5	21.9	21.9	28.1	12.5	9.4	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	9.4	12.5
	25～29歳	92	29.3	18.5	22.8	22.8	8.7	13.0	8.7	19.6	6.5	5.4	3.3	3.3	5.4	5.4	12.0
	30～34歳	80	31.3	28.8	21.3	18.8	11.3	18.8	17.5	7.5	10.0	3.8	6.3	5.0	3.8	7.5	16.3
	35～39歳	66	21.2	30.3	16.7	18.2	12.1	7.6	10.6	15.2	12.1	4.5	6.1	6.1	4.5	0.0	10.6
	40～44歳	50	32.0	24.0	16.0	24.0	22.0	18.0	10.0	14.0	4.0	4.0	2.0	4.0	6.0	0.0	16.0
	45～49歳	30	40.0	30.0	13.3	26.7	13.3	26.7	20.0	13.3	6.7	13.3	3.3	6.7	3.3	3.3	13.3
	50～54歳	13	46.2	23.1	30.8	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7
	55～59歳	17	17.6	58.8	29.4	11.8	17.6	0.0	23.5	0.0	5.9	11.8	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0
	60～64歳	17	41.2	35.3	17.6	11.8	23.5	11.8	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9	17.6	0.0	5.9	0.0
	65歳以上	7	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
居住地別	東部	101	30.7	28.7	25.7	17.8	13.9	11.9	12.9	9.9	3.0	3.0	5.9	4.0	3.0	3.0	11.9
	西部	124	29.0	31.5	16.9	17.7	12.1	8.9	16.9	9.7	9.7	9.7	8.1	6.5	4.8	6.5	12.9
	南部	107	36.4	15.9	24.3	19.6	22.4	7.5	15.0	20.6	9.3	3.7	2.8	4.7	3.7	0.9	13.1
	北部	34	17.6	20.6	5.9	32.4	5.9	50.0	0.0	5.9	2.9	5.9	5.9	5.9	2.9	11.8	14.7
	中部	39	23.1	33.3	17.9	23.1	20.5	23.1	12.8	12.8	5.1	2.6	2.6	0.0	7.7	2.6	5.1
職業別	会社員	206	26.2	25.7	19.4	27.2	17.5	15.0	6.8	11.7	5.8	5.3	5.8	3.9	3.4	3.9	13.6
	公務員	33	30.3	21.2	15.2	30.3	9.1	21.2	18.2	3.0	6.1	6.1	9.1	9.1	0.0	12.1	15.2
	自営・自由業・経営者	7	28.6	14.3	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	アルバイト・パート	34	32.4	23.5	26.5	11.8	23.5	5.9	17.6	20.6	14.7	2.9	5.9	0.0	5.9	2.9	14.7
	契約（派遣）社員	21	47.6	28.6	4.8	23.8	19.0	9.5	19.0	23.8	4.8	9.5	0.0	9.5	9.5	0.0	4.8
	学生	9	11.1	11.1	44.4	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1
	専業主婦（主夫）	75	30.7	33.3	26.7	5.3	6.7	8.0	26.7	8.0	9.3	8.0	2.7	5.3	6.7	1.3	12.0
	無職（年金生活者含む）	14	35.7	28.6	21.4	0.0	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

（１０）船橋市への再移住の意向

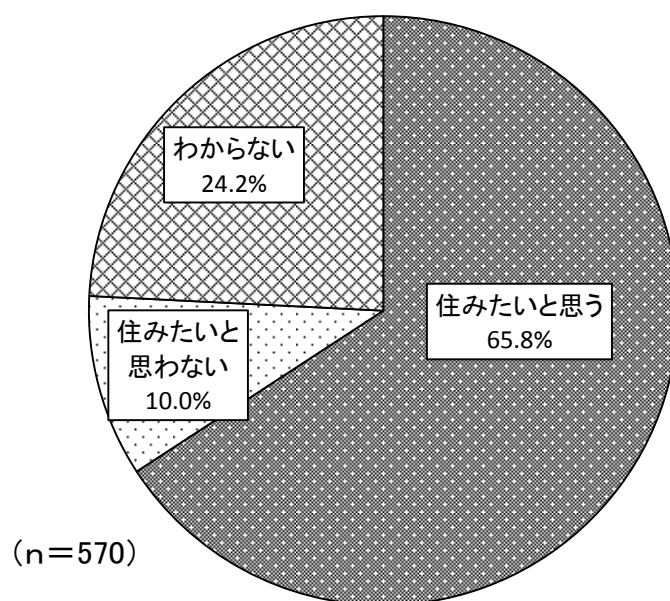
機会があれば、また船橋市に住みたいと思われますか。（ＳＡ）

本市への再移住の意向についてみると、「住みたいと思う」は 65.8%と、「住みたいと思わない(10.0%)」を 55.8 ポイント上回っている。「わからない」は 24.2%であった(図表 121)。

年齢層別にみると、全年齢層で「住みたいと思う」が最も多く、その回答割合は「20～24 歳」が 79.5%でが最多となっている(図表 122)。

「住みたいと思う」を居住地別にみると、最も多い「南部(73.2%)」と最も少ない「中部(60.0%)」では 13.2 ポイントの差異がみられた。

図表 121 船橋市への再移住の意向



図表 122 船橋市への再移住の意向（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	住みたいと思う	住みたいと思わない	わからない
全体		570	65.8	10.0	24.2
性別	男性	217	66.8	7.8	25.3
	女性	346	65.6	11.0	23.4
年齢層別	18～19歳	6	66.7	0.0	33.3
	20～24歳	44	79.5	4.5	15.9
	25～29歳	127	67.7	8.7	23.6
	30～34歳	108	64.8	12.0	23.1
	35～39歳	91	63.7	7.7	28.6
	40～44歳	72	61.1	12.5	26.4
	45～49歳	41	73.2	9.8	17.1
	50～54歳	17	82.4	0.0	17.6
	55～59歳	22	50.0	18.2	31.8
	60～64歳	22	54.5	4.5	40.9
	65歳以上	16	56.3	25.0	18.8
居住地別	東部	144	62.5	11.8	25.7
	西部	171	64.9	9.4	25.7
	南部	142	73.2	6.3	20.4
	北部	52	63.5	7.7	28.8
	中部	50	60.0	18.0	22.0
職業別	会社員	281	66.2	9.6	24.2
	公務員	45	71.1	4.4	24.4
	自営・自由業・経営者	18	44.4	16.7	38.9
	アルバイト・パート	48	75.0	8.3	16.7
	契約（派遣）社員	30	83.3	6.7	10.0
	学生	11	72.7	0.0	27.3
	専業主婦（主夫）	96	61.5	14.6	24.0
	無職（年金生活者含む）	23	47.8	8.7	43.5

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

(11) 船橋市のまちづくりへの自由意見

船橋市の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(F A)

本アンケートでは、船橋市の今後のまちづくりに関する意見として 239 件の意見が寄せられた。

カテゴリー別の件数及び主な意見は以下の通り。

図表 123 船橋市の今後のまちづくりに関する意見（カテゴリー別件数）

カテゴリー	件数
道路環境	93
社会インフラ	23
公共交通	21
再移住希望	20
治安・マナー	16
子育て	12
教育・文化	8
その他	46
合 計	239

1) 道路環境

車の渋滞がひどいため、夫の職場から車でアクセスの良い八千代市に引っ越しました。人が多い人気の街なので仕方ないですが、そこさえ良ければもっと船橋にいたいと思いました。(女性、18～24 歳、アルバイト・パート、宮本)

道路や歩道の幅が非常に狭く、車椅子やベビーカーの人は危ないのではないかと感じた。また、車や自転車のマナーがとても悪いのには大変驚いた(スピードが速すぎて危険、ゆずり合わない、飲酒しながら自転車に乗る等)。(女性、40～44 歳、専業主婦(主夫)、葛飾)

昔に比べると船橋駅前の道は整備され、渋滞解消されていると思うが、市内全体としては細い道も多く、どこに行くにも渋滞のストレスが付いてまわる。(女性、40～44 歳、専業主婦(主夫)、夏見)

2) 社会インフラ

船橋市には約1年しかいられていませんでしたが、魅力ある飲食店が多く、行きたい所が沢山あります。そのPRをするのはいかがでしょうか。(女性、25～29 歳、その他、湊町)

街灯を増やして裕しい。夜は暗く、帰宅時に不安になることもあった。(女性、25～29 歳、公務員、夏見)

マンションが多く建っているが、それに学校や医療施設がともなっていないように思う。(女性、40～44 歳、会社員、前原)

3) 公共交通

妊娠してお腹が大きくなるなか、都心への通勤が困難となり、都心に引っ越しました。総武線・東西線の混雑さがもう少しマシであれば、あのまま船橋市に住み続けたいほどでした。(女性、25～29

歳、自営・自由業・経営者、宮本)
駅から居住地まで徒歩で 20 分要したことから転居を決めました。バスはありましたが、仕事帰りの夜間はほとんど使えず、朝もベストな時間がないため活用できませんでした。(男性、30～34 歳、会社員、湊町)
船橋駅から出掛けるのは便利だが、船橋市内なのに船橋駅まで行くのに時間が掛かりすぎると思っています。交通の便を良くしてほしいと思いました。(男性、30～34 歳、会社員、三咲)

4) 再移住希望

単身赴任が終れば、また船橋に戻ります。朝市等に行くのが楽しみです。(男性、50～54 歳、公務員、湊町)
主に電車での移動が多いので、市役所関連が船橋FACEで済むのが嬉しかったです。子育て支援がもっと充実し、家賃が低ければまた住みたいです。(女性、25～29 歳、専業主婦(主夫)、中山)
また、機会があれば船橋に住みたいです。自然も豊かで、買い物も便利な船橋が大好きです。ただ結局、東京勤務だと通勤が大変です。船橋にもっと会社が増えればいいのに。(女性、30～34 歳、会社員、高根台)

5) 治安・マナー

JR船橋駅前付近での居酒屋などの客引きがしつこく不快に感じた。船橋駅周辺は買い物や食事にとっても便利な所であると思うので、より安心して買い物などが出来るように客引きの規制などを行っていただきたいです。(男性、18～24 歳、学生、湊町)
船橋駅から10分程度のところに住んでいたが、治安の悪さをほぼ毎日感じた。パトロールするなど1人暮らしの女性も働やすい環境をつくってほしい。引っ越してからは、怖いと思ったことは1度もありません。(女性、25～29 歳、会社員、本町)
船橋駅の南側は、アジア系の女性が客引きみたいな行為をしていて夜通るのが怖かったです。船橋駅周辺が雑多で汚い雰囲気なのでそこが良くなるといいと思います。(女性、35～39 歳、自営・自由業・経営者、本町)

6) 子育て

子供の医療費が無料の所も多いのに、船橋市は200→300円に値上げするなど子供に関してはあまり考えていない市なんだと感じていました。周囲の方も不満だった様でよく話題になりました。(男性、45～49 歳、会社員、宮本)
保育園を増やして下さい。また、入りやすくして下さい。(男性、25～29 歳、契約(派遣)社員、宮本)
子育て支援をもっと充実してほしい。江戸川区等幼稚園の手当が充実しており、とても育児しやすい環境と感じています(男性、30～34 歳、会社員、前原)

7) 教育・文化

船橋市は工場が多いので毎月工場見学の企画があると面白いと思う。(女性、35～39 歳、会社員、中山)
一般市民を対象に文化経済大学講義等の講座が充実していると良い。(女性、55～59 歳、無職、葛飾)
図書館の数や開館時間の延長などがあるとすごく魅力的な市になると思います。(女性、25～29 歳、会社員、中山)

8) その他

医療・介護・福祉に力を入れてほしい。(女性、40～44 歳、会社員、宮本)
農業漁業も豊かなので地域の産業と住民が共に楽しめるイベントをぜひ増やしてほしいと思います。(女性、45～49 歳、会社員、本町)
市役所本庁でなくとも、フェイスなど、出張所で、休日・時間外にも、利用できることは、とても助かりました。(女性、65 歳以上、アルバイト・パート、中山)

IV 転入者アンケート結果（詳細）

1. 属性

あなた自身のことについておうかがいします。

回答者の属性は図表 124 のとおり。

図表 124 回答者の属性（転入者）

属性	カテゴリー	回答割合 (%)	属性	カテゴリー	回答割合 (%)
性別 (n=656)	男性	37.0	子どもの属性 (n=201)	就学前	55.7
	女性	63.0		小学校	10.4
年齢層 (n=661)	18～19歳	1.5		中学生	2.5
	20～24歳	9.7		高等学校	4.0
	25～29歳	20.7		短大・大学・専門学校等	3.5
	30～34歳	21.2		社会人・アルバイト	14.9
	35～39歳	13.2		その他	9.0
	40～44歳	11.0	同居している 高齢者の有無 (n=657)	いる	11.0
	45～49歳	7.1		いない	89.0
	50～54歳	5.1	転入前の 住んだ経験 (n=661)	ある	27.5
	55～59歳	3.6		ない	72.5
	60～64歳	3.3	勤務地 (n=480)	千葉県	49.4
	65歳以上	3.5		東京都	48.1
職業 (n=657)	農・漁業	0.0		神奈川県	0.8
	会社員	43.2		埼玉県	0.6
	公務員	6.1		その他関東	0.8
	自営・自由業・経営者	2.7		北海道	0.0
	アルバイト・パート	11.6		東北	0.0
	契約(派遣)社員	6.5		中部	0.0
	学生	2.1		近畿	0.2
	専業主婦(主夫)	21.5		中国	0.0
	無職(年金生活者含む)	4.7		四国	0.0
	その他	1.5		九州・沖縄	0.0

2. 転入動向

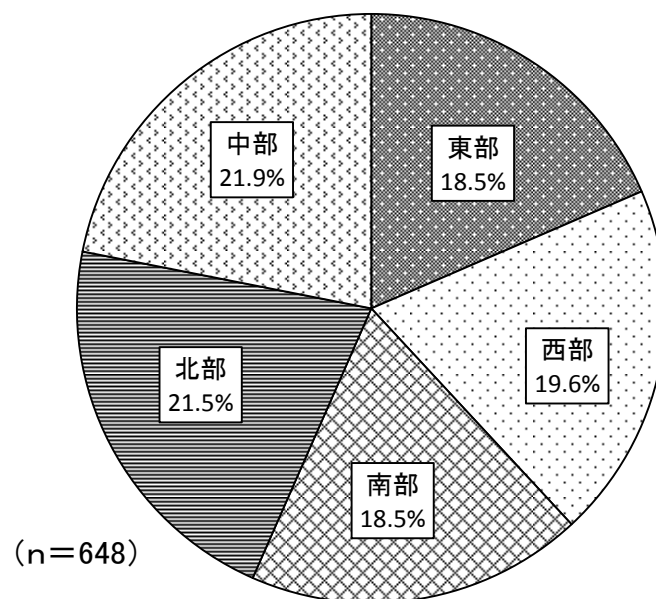
転入動向についておうかがいします。

(1) 船橋市の居住地区

現在の船橋市のご住所について□のなかにご記入ください。(F A)

現在の本市の居住地区は、「中部」が21.9%で最も多く、「北部(21.5%)」、「西部(19.6%)」が続いている(図表125)。

図表 125 船橋市の住所

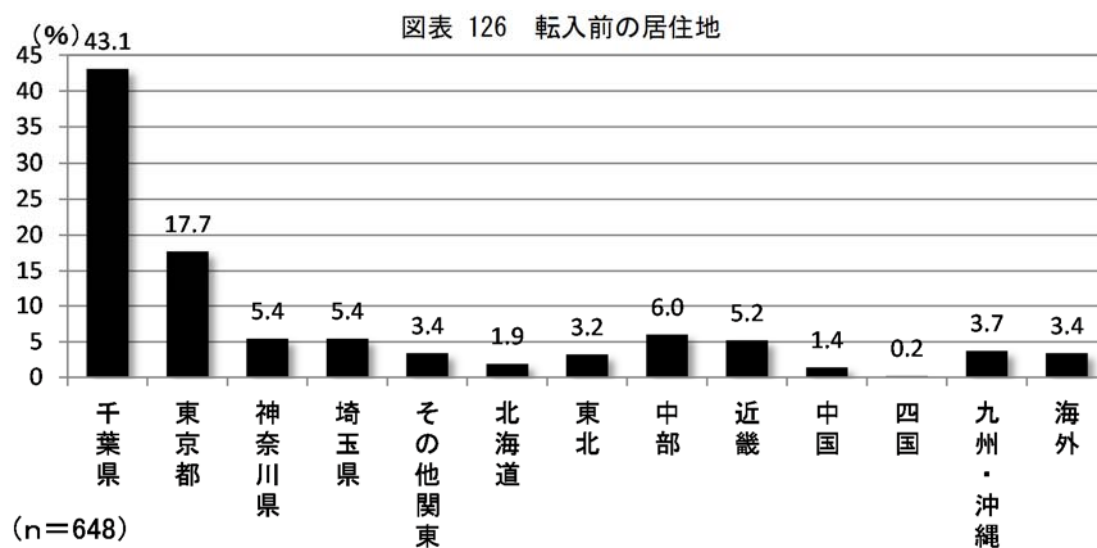


(2) 転入前の居住地

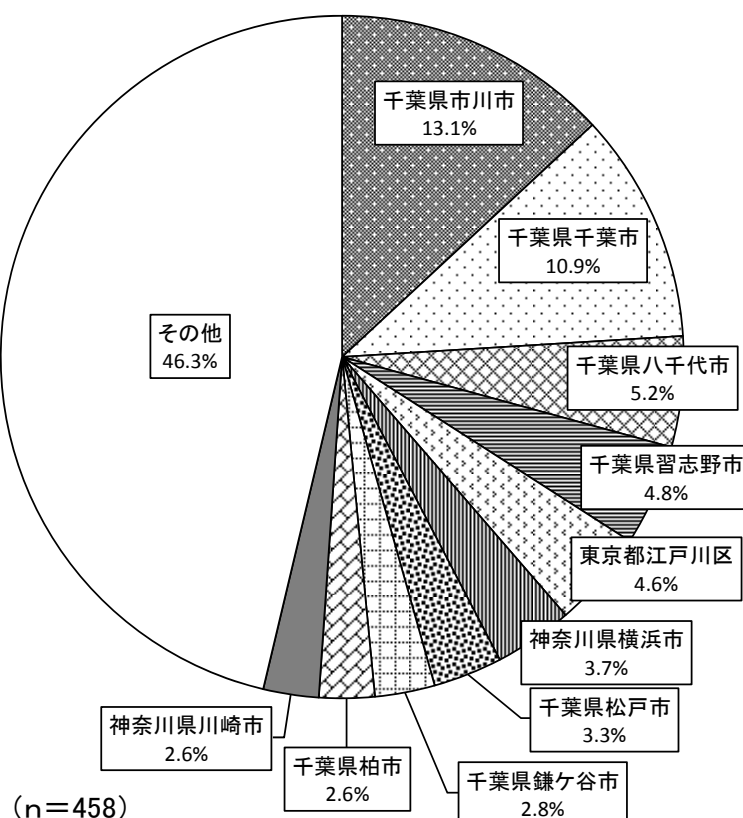
船橋市への転入前のご住所について□のなかにご記入ください。(F A)

本市に転入する前の居住地は、「千葉県」が43.1%で最も多く、「東京都(17.7%)」、「中部(6.0%)」が続いている(図表126)。

転入前の住所を市町村別にみると、「千葉縣市川市」が13.1%で最も多く、「千葉県千葉市(10.9%)」、「千葉県八千代市(5.2%)」の順となっている(図表127)。



図表 127 転入前の住所(市区町村別)



(3) 転入のきっかけ

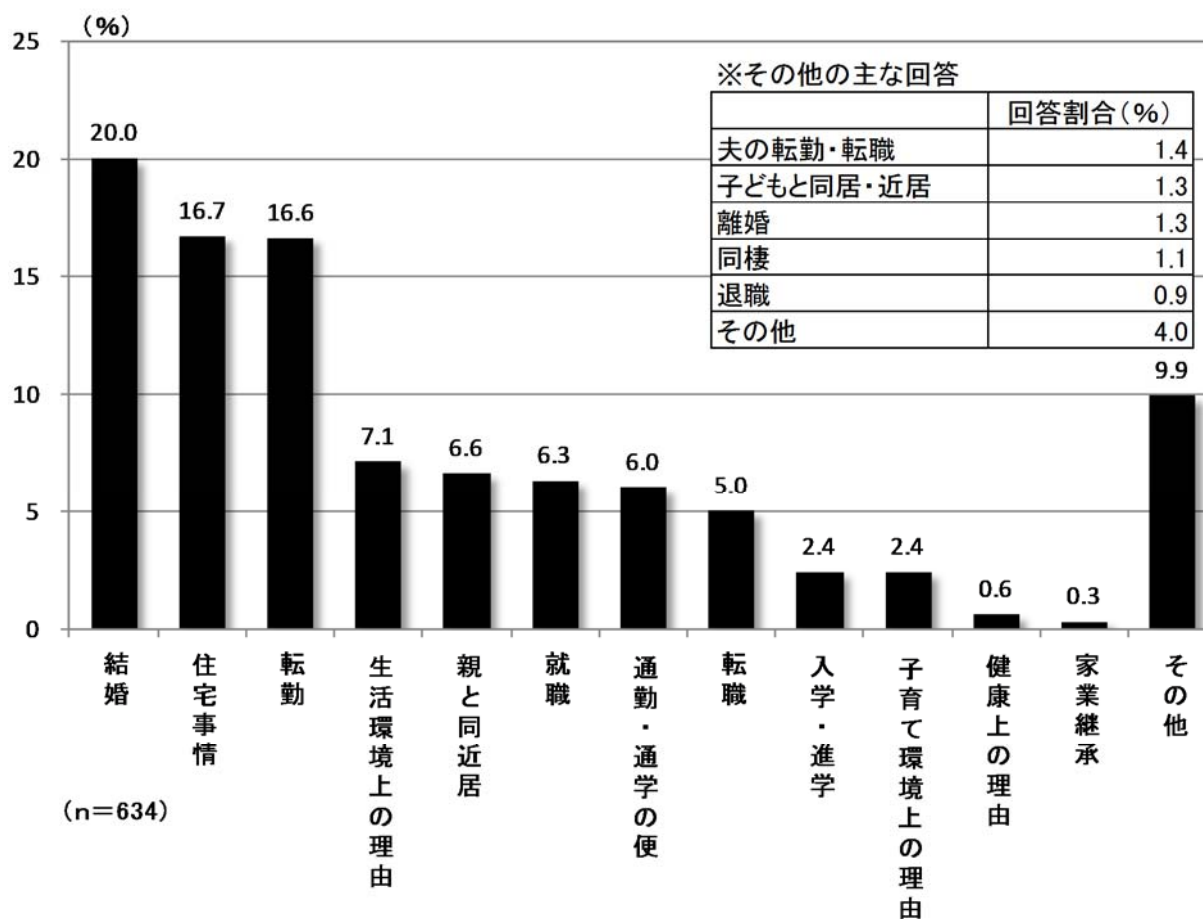
船橋市に転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(S A)

1) 全体

本市に転入するきっかけは、「結婚」が20.0%で最も多く、次いで「住宅事情(16.7%)」、「転勤(16.6%)」の順となっている(図表128)。

年齢層別にみると、「20～24歳」は「就職(33.3%)」、「25～29歳」から「35～39歳」までは「結婚」、「40～44歳」は「住宅事情(22.5%)」、「45～49歳」や「50～54歳」は「転勤」がそれぞれ最も多くなっている。また、「30～34歳」は「通勤・通学の便(10.4%)」、「40～44歳」は「生活環境上の理由(11.3%)」、「50～54歳」は「住宅事情(24.2%)」や「親と同居(15.2%)」が他の年齢層より多くなっている(図表129)。

図表 128 転入のきっかけ



図表 129 転入のきっかけ（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	結婚	住宅事情	転勤	生活環境上の理由	親と同居	就職	通勤・通学の便	転職	入学・進学	子育て環境上の理由	健康上の理由	家業継承	その他
全体		634	20.0	16.7	16.6	7.1	6.6	6.3	6.0	5.0	2.4	2.4	0.6	0.3	9.9
性別	男性	233	11.2	20.6	23.6	5.6	4.7	10.3	5.2	6.9	2.6	1.3	0.9	0.4	6.9
	女性	396	25.5	14.1	12.6	7.8	7.3	4.0	6.6	4.0	2.3	3.0	0.5	0.3	11.9
年齢層別	18～19歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0	22.2
	20～24歳	63	22.2	7.9	7.9	3.2	3.2	33.3	9.5	6.3	1.6	0.0	0.0	0.0	4.8
	25～29歳	133	30.8	10.5	12.0	6.0	8.3	6.8	7.5	6.0	2.3	1.5	0.0	0.0	8.3
	30～34歳	135	25.2	14.1	14.1	10.4	4.4	2.2	10.4	5.9	1.5	5.9	0.0	0.0	5.9
	35～39歳	82	23.2	22.0	22.0	4.9	7.3	3.7	2.4	7.3	0.0	1.2	0.0	1.2	4.9
	40～44歳	71	12.7	22.5	21.1	11.3	9.9	0.0	2.8	1.4	5.6	4.2	1.4	1.4	5.6
	45～49歳	43	11.6	20.9	32.6	7.0	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.6
	50～54歳	33	15.2	24.2	27.3	0.0	15.2	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	12.1
	55～59歳	22	0.0	22.7	18.2	18.2	4.5	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7
	60～64歳	22	0.0	22.7	18.2	4.5	4.5	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	4.5	0.0	27.3
	65歳以上	21	0.0	33.3	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	38.1
居住地別	東部	116	16.4	12.1	20.7	6.9	8.6	9.5	1.7	6.9	5.2	2.6	0.0	1.7	7.8
	西部	123	23.6	12.2	18.7	8.1	1.6	6.5	13.0	6.5	0.8	0.8	0.0	0.0	8.1
	南部	116	18.1	16.4	19.8	6.0	6.0	7.8	6.9	4.3	1.7	0.9	0.0	0.0	12.1
	北部	137	24.8	16.1	13.9	8.0	8.8	3.6	2.9	2.2	3.6	5.1	0.7	0.0	10.2
	中部	137	16.1	25.5	11.7	5.8	8.0	5.1	5.1	5.8	0.7	2.2	2.2	0.0	11.7
職業別	会社員	272	17.6	19.9	19.5	5.9	4.4	10.7	6.3	6.3	1.1	1.5	0.0	0.4	6.6
	公務員	40	30.0	7.5	17.5	5.0	7.5	15.0	7.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	5.0
	自営・自由業・経営者	15	20.0	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3
	アルバイト・パート	75	24.0	14.7	8.0	16.0	8.0	1.3	6.7	6.7	0.0	2.7	0.0	0.0	12.0
	契約（派遣）社員	41	19.5	7.3	2.4	9.8	12.2	7.3	12.2	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0	19.5
	学生	13	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	46.2	0.0	0.0	0.0	15.4
	専業主婦（主夫）	137	26.3	19.7	23.4	4.4	5.8	0.0	3.6	2.2	2.9	5.1	0.0	0.0	6.6
	無職（年金生活者含む）	29	3.4	13.8	3.4	10.3	13.8	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	13.8	0.0	37.9

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

2) 転入前の居住地別（東京圏・東京圏以外）

転入のきっかけを転入前の居住地別（東京圏・東京圏以外）にみると、「東京圏」は、「結婚」が 24.1%で最も多く、次いで「住宅事情（22.9%）」、「生活環境上の理由（8.2%）」の順となっている（図表 130）。

一方、「東京圏以外」は「転勤」が 42.2%と最多で、「就職（11.7%）」、「結婚（9.4%）」が続いている。

図表 130 転入のきっかけ（東京圏・東京圏以外別、年齢層別）

（単位：％）

		回答数 (n)	結婚	住宅事情	生活環境上の理由	通勤・通学の便	親と同居	転勤	転職	就職	子育て環境上の理由	入学・進学	健康上の理由	家業継承	その他
全 体		559	20.0	16.7	7.1	6.0	6.6	6.5	5.0	6.3	2.9	2.4	0.6	0.3	9.9
東京圏	合 計	449	24.1	22.9	8.2	7.8	7.3	6.5	5.1	4.2	2.9	1.3	0.4	0.2	8.9
	18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	20～24歳	41	31.7	12.2	2.4	14.6	4.9	4.9	4.9	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
	25～29歳	103	34.0	13.6	7.8	9.7	7.8	7.8	5.8	2.9	1.9	1.9	0.0	0.0	6.8
	30～34歳	99	27.3	18.2	9.1	11.1	4.0	4.0	7.1	2.0	7.1	2.0	0.0	0.0	8.1
	35～39歳	65	27.7	26.2	6.2	3.1	9.2	7.7	7.7	4.6	1.5	0.0	0.0	1.5	4.6
	40～44歳	47	14.9	34.0	14.9	4.3	10.6	8.5	0.0	0.0	4.3	2.1	2.1	0.0	4.3
	45～49歳	26	15.4	34.6	11.5	7.7	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2
	50～54歳	19	21.1	36.8	0.0	0.0	21.1	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
	55～59歳	15	0.0	33.3	20.0	6.7	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
	60～64歳	13	0.0	38.5	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
	65歳以上	18	0.0	38.9	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	33.3
東京圏以外	合 計	180	9.4	1.7	4.4	1.1	5.0	42.2	5.0	11.7	1.1	4.4	1.1	0.6	12.2
	18～19歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
	20～24歳	22	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	13.6	9.1	54.5	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1
	25～29歳	29	20.7	0.0	0.0	0.0	10.3	27.6	6.9	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8
	30～34歳	33	15.2	3.0	15.2	6.1	6.1	45.5	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳	17	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	76.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	40～44歳	24	8.3	0.0	4.2	0.0	8.3	45.8	4.2	0.0	4.2	12.5	0.0	4.2	8.3
	45～49歳	16	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	50～54歳	14	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	57.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3
	55～59歳	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	60～64歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3
	65歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各年齢層別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

3) 「結婚」をきっかけとした転入のクロス集計

① 転入前の住所

結婚をきっかけとした転入者の転入前の住所を都県別にみると、「千葉県」が56.0%で最も多く、次いで「東京都(20.0%)」、「埼玉県(6.4%)」となっている。全体との比較では、「千葉県」が全体(43.1%)を12.9ポイント上回っている(図表131)。

結婚をきっかけとした転入者の転入前の住所を市町村別でみると、「千葉市」が11.4%で最も多く、次いで「市川市(7.3%)」、「江戸川区(6.5%)」の順となっている(図表132)。

図表 131 転入前の住所(「結婚」をきっかけ)

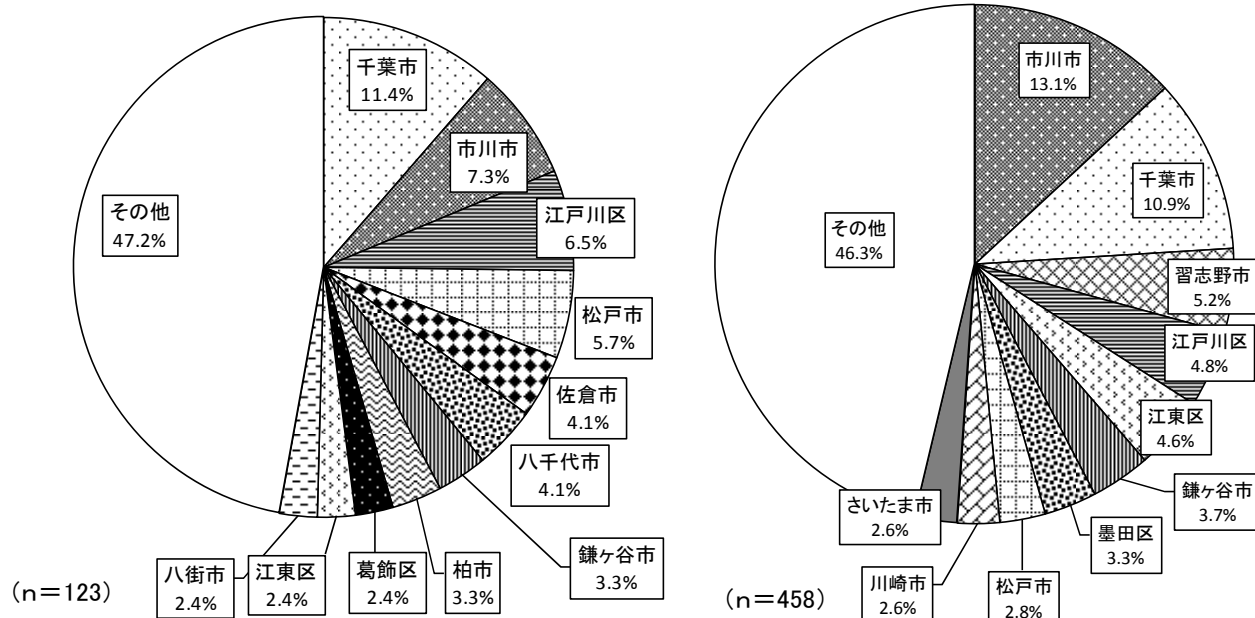
(単位: %、ポイント)

	(回答者 n)	東京圏	千葉県	東京都	神奈川県	埼玉県	その他
結婚【A】	125	86.4	56.0	20.0	4.0	6.4	13.6
全体【B】	648	71.6	43.1	17.7	5.4	5.4	28.4
差異【A-B】	-	14.8	12.9	2.3	▲ 1.4	1.0	▲ 14.8

図表 132 転入前の住所(市区町村別・「結婚」をきっかけ)

【結婚】

【全体】



② 転入後の住所

結婚をきっかけとした転入者の転入後の住所は、「北部」が27.2%で最も多く、次いで「西部（23.2%）」、「中部（17.6%）」となっている（図表133）。

全体との比較では、北部が5.7ポイント、西部が3.6ポイント、それぞれ全体を上回っている。

図表 133 転入後の住所（「結婚」がきっかけ）

（単位：％、ポイント）

	回答者 (n)	東部	西部	南部	北部	中部
結婚【A】	125	15.2	23.2	16.8	27.2	17.6
全体【B】	648	18.5	19.6	18.5	21.5	21.9
差異【A-B】	-	▲ 3.3	3.6	▲ 1.7	5.7	▲ 4.3

③ 転入前後の居住形態

結婚をきっかけとした転入者の転入前の居住形態は、「集合住宅（賃貸）（49.6%）」が最も多く、「一戸建て（持家）（35.4%）」が続いている（図表134）。

一方、転入後の居住形態は、「集合住宅（賃貸）」が68.5%と最も多く、その割合は、転入前（46.9%）を18.9ポイント上回っている。

図表 134 転入前後の居住形態（「結婚」がきっかけ）

（単位：％）

	回答者 (n)	一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	集合住宅 (持家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・ 独身寮	その他
転入前【A】	127	35.4	3.9	2.4	49.6	6.3	2.4
転入後【B】	127	16.5	9.4	2.4	68.5	3.1	0.0
差異【B-A】	-	▲ 18.9	5.5	0.0	18.9	▲ 3.2	▲ 2.4

④ 船橋市の居住経験

結婚をきっかけとした転入者の転入前の船橋市の居住経験をみると、「ある」は13.4%で、「全体（28.2%）」より14.8ポイント少なかった（図表135）。

図表 135 船橋市の居住経験（「結婚」がきっかけ）

（単位：％）

	回答者 (n)	ある	ない
全体	634	28.2	71.8
入学・進学	15	26.7	73.3
就職	40	12.5	87.5
転職	32	25	75
転勤	105	33.3	66.7
家業継承	2	50	50
住宅事情	106	19.8	80.2
生活環境上の理由	45	37.8	62.2
通勤・通学の便	38	26.3	73.7
親と同近居	42	81	19
結婚	127	13.4	86.6
子育て環境上の理由	15	40	60
健康上の理由	4	25	75
その他	63	31.7	68.3

⑤ 他市区町村での住居の検討状況

結婚をきっかけとした転入者の他の市区町村での検討状況をみると、「他市区町村でも探した」は25.5%で「全体（31.8%）」を6.3ポイント下回っている（図表136）。

図表 136 他市区町村での住居の検討状況（「結婚」がきっかけ）

（単位：％）

	回答者 (n)	他市区町村でも 探した	他市区町村では 探さなかった
全体	333	31.8	68.2
入学・進学	10	40.0	60.0
就職	20	15.0	85.0
転職	22	31.8	68.2
転勤	54	24.1	75.9
家業継承	1	0.0	100.0
住宅事情	52	51.9	48.1
生活環境上の理由	24	41.7	58.3
通勤・通学の便	18	50.0	50.0
親と同近居	29	13.8	86.2
結婚	51	25.5	74.5
子育て環境上の理由	11	45.5	54.5
健康上の理由	1	100.0	0.0
その他	40	25.0	75.0

⑥ 転入を決めた理由

結婚をきっかけとした転入者の転入を決めた理由をみると、「公共交通機関が便利である」が 39.3%と最も多く、次いで「職場・学校が近い (27.0%)」、「住宅価格・家賃が適当である (24.6%)」となっている (図表 137)。

全体との比較では、「公共交通機関が便利である (39.3%)」が全体 (34.6%) を 4.7 ポイント上回っている。一方、「住宅価格・家賃が適当である (24.6%)」は全体 (29.6%) を 5.0 ポイント下回った。

図表 137 転入を決めた理由（「結婚」がきっかけ）

(単位: %、ポイント)

	結婚 【A】 (n=122)	全体 【B】 (n=638)	差異 【A-B】
公共交通機関が便利である	39.3	34.6	4.7
職場・学校が近い	27.0	27.7	▲ 0.7
住宅価格・家賃が適当である	24.6	29.6	▲ 5.0
親や子ども等が近隣に住んでいる	20.5	21.6	▲ 1.1
買い物・レジャー環境が充実している	16.4	16.0	0.4
知人・友人がいる	11.5	12.7	▲ 1.2
医療・介護・福祉が充実している	5.7	3.1	2.6
まちに賑わいを感じる	4.1	5.5	▲ 1.4
子育てがしやすい環境である	4.1	4.9	▲ 0.8
道路など生活インフラが整っている	3.3	2.4	0.9
自然が豊かである	3.3	6.6	▲ 3.3
教育環境が良い	0.0	1.3	▲ 1.3
文化・教育施設が充実している	0.0	0.6	▲ 0.6
防災・防犯体制が充実している	0.0	0.8	▲ 0.8
その他	27.9	22.4	5.5

⑦ 船橋市と転入前の住所の評価

結婚をきっかけとした転入者の船橋市と転入前の居住地の評価をみると、「自然の豊かさ（結婚 36.5%、全体 33.2%）」、「まちのイメージ（同 36.6%、35.6%）」は全体の評価を上回っている（図表 138）。

一方、「親や子どもの家の近さ（同 21.6%、33.5%）」や「教育環境（同 11.1%、17.5%）」は全体の評価を下回っている。

図表 138 船橋市と転入前の住所の評価（「結婚」をきっかけ）

≪「船橋市が優れている」割合≫

（単位：%、ポイント）

	結婚 【A】	全体 【B】	差異(DI) 【A-B】
自然の豊かさ (n=126、642)	36.5	33.2	3.3
まちのイメージ (n=123、637)	36.6	35.6	1.0
地域のコミュニケーション (n=126、640)	20.6	20.6	0.0
買い物など日常生活の 利便性(n=126、643)	47.6	48.5	▲ 0.9
交通の便 (n=126、641)	51.6	53.0	▲ 1.4
医療・福祉環境 (n=126、645)	29.4	31.3	▲ 1.9
通勤・通学時間 (n=124、634)	37.1	39.6	▲ 2.5
治安の良さ (n=126、640)	22.2	25.0	▲ 2.8
道路などの都市基盤 (n=126、642)	22.2	25.7	▲ 3.5
子育て環境 (n=126、638)	14.3	18.0	▲ 3.7
住宅価格・家賃(安さ) (n=125、631)	25.6	30.4	▲ 4.8
教育環境 (n=126、639)	11.1	17.5	▲ 6.4
親や子どもの家の近さ (n=125、633)	21.6	33.5	▲ 11.9

⑧ 今後の居留意向

結婚をきっかけとした転入者の今後の居留意向についてみると、「現在の住宅にこれからも住み続けたい」は20.5%で全体（32.7%）を12.2ポイント下回っているが、「将来、転居するかもしれないが、その時も船橋市内に住みたい」は21.4%で全体（16.2%）を5.2ポイント上回った（図表139）。

図表 139 今後の居留意向（「結婚」がきっかけ）

（単位：％）

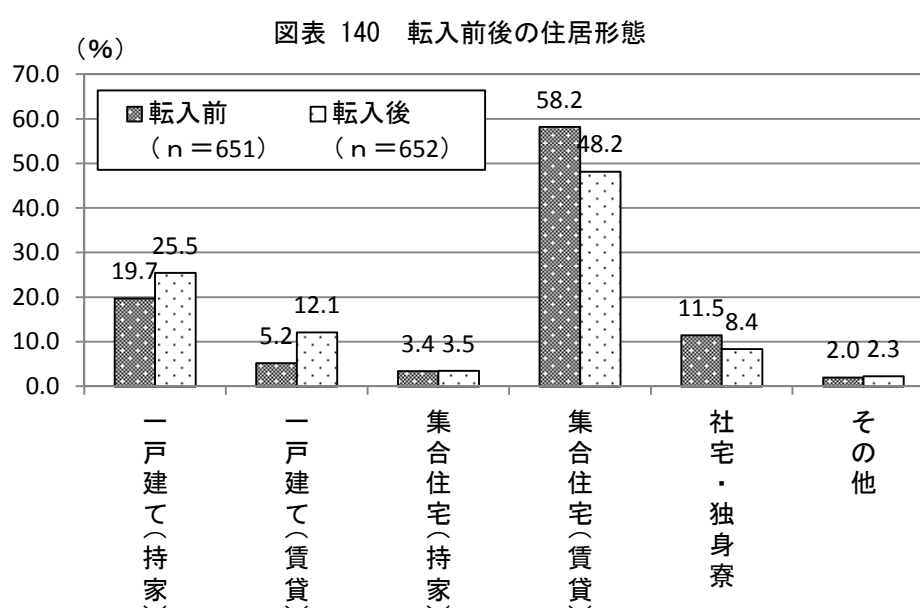
	回答者（n）	これから現在の住宅に住み続けたい	将来、転居するかもしれないが、その時も船橋市内に住みたいが、	将来は船橋市外に引っ越したい	わからない
全体	575	32.7	16.2	20.5	30.6
入学・進学	14	50.0	7.1	21.4	21.4
就職	38	15.8	15.8	26.3	42.1
転職	30	16.7	26.7	30.0	26.7
転勤	93	23.7	22.6	26.9	26.9
家業継承	2	0.0	0.0	50.0	50.0
住宅事情	99	57.6	7.1	11.1	24.2
生活環境上の理由	41	29.3	17.1	7.3	46.3
通勤・通学の便	35	28.6	17.1	25.7	28.6
親と同近居	39	35.9	7.7	23.1	33.3
結婚	112	20.5	21.4	23.2	34.8
子育て環境上の理由	14	64.3	7.1	14.3	14.3
健康上の理由	3	33.3	33.3	0.0	33.3
その他	55	40.0	14.5	18.2	27.3

(4) 転入前後の住居形態

転入前後の住居形態は、次のうちどれですか。(S A)

転入前後の住居形態（回答者の構成比）をみると、「一戸建て（持家）（転入前 19.7%→転入後 25.5%）」や「一戸建て（賃貸）（同 5.2%→12.1%）」はいずれも増加しているが、「集合住宅（賃貸）（同 58.2%→48.2%）」や「社宅・独身寮（同 11.5%→8.4%）」は減少している（図表 140）。

転入前後の住居形態（相関）をみると、「一戸建て（持家）」の 55.5%、「一戸建て（賃貸）」の 52.9%はいずれも「集合住宅（賃貸）」に移動している（図表 141）。「集合住宅（賃貸）」は、「集合住宅（賃貸）」への移動が 50.7%、「一戸建て（持家）」への移動が 26.4%となっている。



図表 141 転入前後の居住形態（相関）

(単位: %)

		回答数 (n)	転入後の居住形態				
			一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	集合住宅 (持家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・ 独身寮
全 体		650	25.4	12.2	3.5	48.3	8.5
転入前の 居住形態	一戸建て(持家)	128	20.3	10.2	3.9	55.5	8.6
	一戸建て(賃貸)	34	29.4	8.8	0.0	52.9	8.8
	集合住宅(持家)	22	31.8	4.5	27.3	27.3	0.0
	集合住宅(賃貸)	379	26.4	14.2	2.9	50.7	4.5
	社宅・独身寮	74	23.0	10.8	1.4	33.8	31.1
	その他	13	38.5	0.0	0.0	15.4	7.7

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、転入前の居住形態別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 142 転入前後の居住形態（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	一戸建て (持家)		一戸建て (賃貸)		集合住宅 (持家)		集合住宅 (賃貸)		社宅・ 独身寮		その他	
			転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後	転 入 前	転 入 後
全体		651	19.7	25.5	5.2	12.1	3.4	3.5	58.2	48.2	11.5	8.4	2.0	2.3
性別	男性	239	15.1	24.3	5.9	11.7	2.9	4.6	55.6	42.7	18.0	14.2	2.5	2.5
	女性	407	22.6	25.7	4.9	12.5	3.7	2.9	59.5	51.5	7.6	5.1	1.7	2.2
年齢層別	18～19歳	9	77.8	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	22.2	22.2	11.1
	20～24歳	62	33.9	17.7	8.1	9.7	4.8	0.0	46.8	61.3	6.5	11.3	0.0	0.0
	25～29歳	136	17.6	11.7	5.9	5.8	2.2	1.5	58.8	67.9	14.0	10.9	1.5	2.2
	30～34歳	138	20.3	21.0	3.6	10.1	2.2	2.2	63.0	55.1	9.4	9.4	1.4	2.2
	35～39歳	86	12.8	36.0	3.5	12.8	2.3	5.8	65.1	36.0	11.6	8.1	4.7	1.2
	40～44歳	73	12.3	37.0	6.8	12.3	4.1	6.8	61.6	34.2	15.1	5.5	0.0	4.1
	45～49歳	45	15.6	22.2	6.7	15.6	2.2	8.9	68.9	44.4	6.7	8.9	0.0	0.0
	50～54歳	33	12.1	45.5	3.0	21.2	12.1	9.1	60.6	18.2	12.1	3.0	0.0	3.0
	55～59歳	24	20.8	37.5	8.3	25.0	0.0	0.0	54.2	29.2	12.5	8.3	4.2	0.0
	60～64歳	22	13.6	27.3	0.0	36.4	13.6	4.5	45.5	27.3	22.7	0.0	4.5	4.5
	65歳以上	23	39.1	39.1	8.7	13.0	0.0	0.0	34.8	39.1	13.0	0.0	4.3	8.7
居住地別	東部	120	21.7	26.1	1.7	7.6	3.3	5.0	54.2	47.1	15.8	10.9	3.3	3.4
	西部	125	20.8	10.2	6.4	11.0	3.2	0.0	57.6	65.4	12.0	12.6	0.0	0.8
	南部	120	25.8	8.3	4.2	19.2	0.8	2.5	55.8	59.2	10.0	9.2	3.3	1.7
	北部	139	18.0	48.2	6.5	5.8	6.5	8.6	55.4	25.9	11.5	7.2	2.2	4.3
	中部	142	13.4	31.0	6.3	17.6	2.8	1.4	66.9	45.8	9.2	2.8	1.4	1.4
職業別	会社員	277	15.5	24.4	5.8	8.6	2.9	3.2	64.3	52.3	11.6	9.3	0.0	2.2
	公務員	40	27.5	25.0	2.5	10.0	0.0	2.5	35.0	40.0	30.0	17.5	5.0	5.0
	自営・自由業・経営者	17	23.5	29.4	11.8	23.5	11.8	11.8	47.1	29.4	5.9	0.0	0.0	5.9
	アルバイト・パート	76	26.3	25.3	3.9	17.3	3.9	4.0	59.2	50.7	3.9	1.3	2.6	1.3
	契約（派遣）社員	43	20.9	14.0	14.0	11.6	2.3	4.7	55.8	62.8	7.0	4.7	0.0	2.3
	学生	13	38.5	38.5	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	38.5	15.4	7.7	23.1	7.7
	専業主婦（主夫）	141	18.4	29.8	2.8	17.0	5.7	4.3	58.9	39.0	12.1	9.2	2.1	0.7
	無職（年金生活者含む）	31	29.0	35.5	3.2	12.9	0.0	0.0	58.1	45.2	6.5	3.2	3.2	3.2

（注）グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

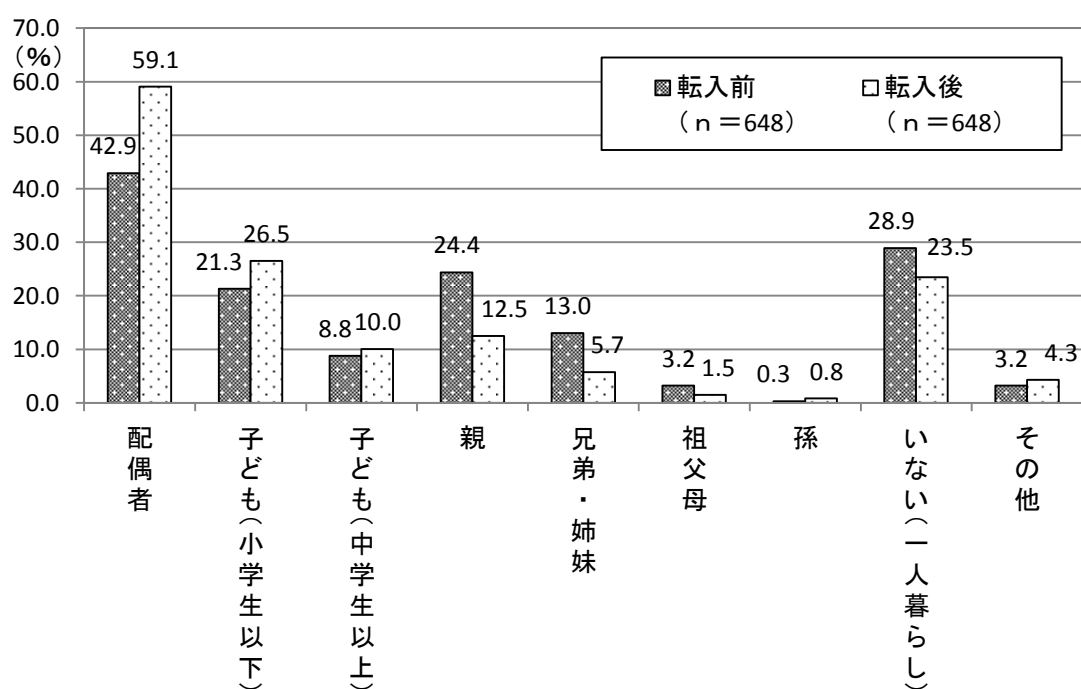
（５）転入前後の家族構成

転入前後の家族構成は、次のうちどれですか。（ＳＡ）

転入前後の家族構成（回答者の構成比）をみると、「配偶者（転入前 42.9%→転入後 59.1%）」が 16.2 ポイント増加しているほか、「子ども（小学生以下）（同 21.3%→26.5%）」も 5.2 ポイント増加している（図表 143）。一方、「親（同 24.4%→12.5%）」、「兄弟・姉妹（同 13.0%→5.7%）」、「いない（一人暮らし）（同 28.9%→23.5%）」はそれぞれ減少している。

転入前後の家族構成（相関）をみると、転入前に「親」と暮らしていた層は、転入後には「配偶者（51.6%）」や「いない（一人暮らし）（29.3%）」が多くなり、「親」との同居は 14.6% に減少している（図表 144）。また、転入前の「いない（一人暮らし）」層は、転入後には「いない（一人暮らし）」が 46.8% で最も多いが、「配偶者」が 29.6% となっている。

図表 143 転入前後の家族構成



図表 144 転入前後の家族構成（相関）

（単位：％）

		回答数 (n)	転入後の家族構成								
			配偶者	子ども(小 学生以下)	子ども(中 学生以上)	親	兄弟・ 姉妹	祖父母	孫	いない(一 人暮らし)	その他
全 体		646	59.1	26.6	10.1	12.5	5.6	1.5	0.8	23.5	4.3
転入前 の家族 構成	配偶者	278	88.5	52.2	15.1	10.4	2.2	1.1	1.8	4.7	1.8
	子ども (小学生以下)	138	86.2	91.3	12.3	10.1	1.4	1.4	0.0	3.6	1.4
	子ども (中学生以上)	57	66.7	21.1	78.9	10.5	5.3	0.0	1.8	10.5	1.8
	親	157	51.6	11.5	5.1	14.6	7.0	1.9	0.0	29.3	6.4
	兄弟・姉妹	84	45.2	9.5	0.0	8.3	11.9	3.6	0.0	34.5	7.1
	祖父母	21	52.4	28.6	9.5	9.5	9.5	4.8	0.0	28.6	4.8
	孫	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	いない (一人暮らし)	186	29.6	4.3	4.3	18.8	8.1	2.2	0.0	46.8	3.2
	その他	21	38.1	9.5	0.0	14.3	14.3	4.8	0.0	9.5	38.1

（注）1. グレーの濃い網掛けは、転入前の家族構成別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 145 転入前後の家族構成（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	配偶者		(小学生以下)		(中学生以上)		親		兄弟・姉妹		祖父母		孫		(一人暮らし)		その他	
			転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後	転入前	転入後
全体		648	42.9	59.1	21.3	26.5	8.8	10.0	24.4	12.5	13.0	5.7	3.2	1.5	0.3	0.8	28.9	23.5	3.2	4.3
性別	男性	238	39.9	39.9	19.3	19.3	9.7	9.7	16.4	16.4	7.6	7.6	2.5	2.5	0.0	0.0	40.8	40.8	2.9	2.9
	女性	405	44.4	44.4	22.5	22.5	8.4	8.4	29.4	29.4	16.3	16.3	3.7	3.7	0.2	0.2	21.7	21.7	3.5	3.5
年齢層別	18～19歳	9	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	66.7	44.4	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	55.6	0.0	0.0
	20～24歳	63	3.2	25.4	1.6	7.9	1.6	0.0	60.3	22.2	49.2	17.5	11.1	4.8	0.0	0.0	31.7	46.0	6.3	6.3
	25～29歳	134	23.9	54.8	9.7	19.3	0.0	0.7	29.1	10.4	17.2	5.2	3.0	0.7	0.0	0.0	44.0	28.1	2.2	5.2
	30～34歳	138	50.7	68.8	25.4	34.1	0.0	0.0	26.1	8.7	13.8	5.1	4.3	1.4	0.0	0.0	19.6	17.4	3.6	3.6
	35～39歳	86	54.7	64.0	39.5	46.5	3.5	3.5	15.1	10.5	2.3	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	29.1	23.3	2.3	3.5
	40～44歳	73	63.0	72.6	45.2	46.6	9.6	11.0	15.1	20.5	2.7	2.7	0.0	1.4	0.0	0.0	20.5	6.8	2.7	6.8
	45～49歳	44	59.1	62.2	36.4	33.3	25.0	22.2	13.6	6.7	4.5	2.2	2.3	0.0	0.0	0.0	20.5	22.2	4.5	6.7
	50～54歳	33	57.6	78.1	9.1	9.4	51.5	59.4	9.1	12.5	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	21.2	9.4	0.0	0.0
	55～59歳	24	45.8	58.3	4.2	4.2	33.3	41.7	16.7	16.7	4.2	12.5	0.0	4.2	4.2	4.2	20.8	16.7	12.5	4.2
	60～64歳	22	59.1	68.2	4.5	0.0	9.1	27.3	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	36.4	18.2	0.0	0.0
	65歳以上	22	50.0	33.3	0.0	0.0	27.3	33.3	4.5	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.5	9.5	45.5	47.6	0.0	0.0
居住地別	東部	120	47.5	60.0	32.5	36.7	7.5	7.5	19.2	12.5	11.7	7.5	2.5	4.2	0.0	1.7	27.5	25.0	4.2	1.7
	西部	126	32.5	56.3	10.3	15.1	4.0	5.6	32.5	5.6	19.8	5.6	3.2	0.0	0.8	0.8	32.5	31.0	4.0	3.2
	南部	120	40.0	56.7	14.2	20.8	6.7	9.2	29.2	2.5	13.3	0.8	5.0	1.7	0.0	0.0	27.5	31.7	2.5	6.7
	北部	137	42.3	59.9	23.4	28.5	16.1	18.2	21.2	24.1	12.4	8.8	3.6	1.5	0.0	0.7	30.7	13.1	4.4	4.4
	中部	141	52.5	62.4	26.2	31.9	9.2	9.2	19.1	16.3	7.8	5.7	1.4	0.7	0.7	0.7	26.2	17.7	1.4	5.7
職業別	会社員	279	37.6	52.7	18.6	24.4	5.7	6.8	21.9	11.5	14.0	3.6	3.2	1.1	0.0	0.0	37.3	31.9	2.9	3.6
	公務員	39	23.1	47.5	10.3	12.5	15.4	17.5	25.6	7.5	17.9	2.5	5.1	0.0	0.0	0.0	41.0	32.5	7.7	10.0
	自営・自由業・経営者	17	52.9	64.7	0.0	11.8	11.8	17.6	41.2	29.4	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	17.6	0.0	11.8
	アルバイト・パート	75	40.0	62.7	17.3	16.0	16.0	14.7	33.3	16.0	14.7	12.0	1.3	2.7	1.3	0.0	18.7	13.3	5.3	6.7
	契約(派遣)社員	42	26.2	33.3	9.5	7.1	7.1	11.9	35.7	11.9	21.4	9.5	4.8	2.4	0.0	0.0	35.7	42.9	2.4	4.8
	学生	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	61.5	38.5	30.8	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	30.8	7.7	7.7
	専業主婦(主夫)	141	71.6	95.0	44.0	56.0	9.2	9.9	19.9	7.1	7.1	0.7	2.8	2.1	0.7	1.4	7.1	0.0	2.1	0.7
	無職(年金生活者含む)	30	23.3	20.7	3.3	3.4	6.7	13.8	10.0	20.7	6.7	20.7	3.3	0.0	0.0	10.3	56.7	34.5	3.3	6.9

(注) グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(6) 船橋市と転入前の居住地の評価

船橋市と以前お住まいの市区町村を以下の項目について比べると、どちらが優れているとお考えですか。(S A)

1) 全体

「船橋市が優れている」とした回答割合は、「交通の便」が53.0%で最も多く、「買い物など日常生活の利便性(48.5%)」、「通勤・通学時間(39.6%)」が続いている(図表146)。

「船橋市が優れている【A】」と「以前の市区町村が優れている【B】」の「差異(DI)【A-B】」をみると、「交通の便(14.0ポイント)」や「買い物など日常生活の利便性(8.4ポイント)」、「親や子どもの家の近さ(6.5ポイント)」などの水準が高い。一方、「道路などの都市基盤(▲24.1ポイント)」や「自然の豊かさ(▲14.0ポイント)」、「治安の良さ(▲11.4ポイント)」などは低水準となっている。

図表 146 船橋市と転入前の居住地の評価

(単位: %、ポイント)

	船橋市が 優れている 【A】	以前の市区町村 が優れている 【B】	わからない	差異(DI) 【A-B】
交通の便 (n=641)	53.0	39.0	8.0	14.0
買い物など日常生活の 利便性(n=643)	48.5	40.1	11.4	8.4
通勤・通学時間 (n=634)	39.6	43.7	16.7	▲ 4.1
まちのイメージ (n=637)	35.6	33.8	30.6	1.8
親や子どもの家の近さ (n=633)	33.5	27.0	39.5	6.5
自然の豊かさ (n=642)	33.2	47.2	19.6	▲ 14.0
医療・福祉環境 (n=645)	31.3	27.9	40.8	3.4
住宅価格・家賃(安さ) (n=631)	30.4	38.5	31.1	▲ 8.1
道路などの都市基盤 (n=642)	25.7	49.8	24.5	▲ 24.1
治安の良さ (n=640)	25.0	36.4	38.6	▲ 11.4
地域のコミュニケー ーション(n=640)	20.6	23.3	56.1	▲ 2.7
子育て環境 (n=638)	18.0	24.1	57.8	▲ 6.1
教育環境 (n=639)	17.5	16.9	65.6	0.6

(注) 1. 網掛けは最多の項目。

2. 「船橋市が優れている」の降順で掲載。

3. グレーの濃い網掛けは、評価項目別に最も割合が多い項目。

2) 東京圏（都県別 D I）

船橋市の評価を転入前の居住地別（東京圏の各都県別）で見ると、「千葉県」との比較では、「交通の便（23.2 ポイント）」や「まちのイメージ（12.9 ポイント）」などの評価が高く、「道路などの都市基盤（▲20.7 ポイント）」や「住宅価格・家賃（安さ）（▲17.9 ポイント）」などは低くなっている（図表 147）。「東京都」との比較では、「住宅価格・家賃（安さ）（67.3 ポイント）」や「自然の豊かさ（48.3 ポイント）」などの評価は高いが、「道路などの都市基盤（▲52.1 ポイント）」や「交通の便（▲49.6 ポイント）」などは低い。「神奈川県」との比較では、「住宅価格・家賃（安さ）（47.0 ポイント）」や「地域のコミュニケーション（11.5 ポイント）」などの評価は高いが、「道路などの都市基盤（▲51.5 ポイント）」や「まちのイメージ（▲42.8 ポイント）」などは低くなっている。「埼玉県」との比較では、「通勤・通学時間（35.3 ポイント）」や「交通の便（17.7 ポイント）」などの評価は高いが、「自然の豊かさ（▲20.6 ポイント）」や「地域のコミュニケーション（▲14.7 ポイント）」などは低かった。

図表 147 船橋市と転入前の居住地の評価（東京圏の各都県別 D I）

（単位：ポイント）

回答数(n)	全体 (627)	転入前居住地			
		千葉県 (273)	東京都 (110)	神奈川県 (34)	埼玉県 (34)
交通の便	14.0	23.2	▲ 49.6	▲ 29.4	17.7
買い物など 日常生活の利便性	8.4	7.2	▲ 8.7	▲ 8.6	0.0
親や子どもの家の近さ	6.5	5.9	9.6	8.6	▲ 11.8
医療・福祉環境	3.4	0.4	▲ 15.6	2.8	5.9
まちのイメージ	1.8	12.9	1.7	▲ 42.8	17.2
教育環境	0.6	4.8	▲ 12.2	▲ 5.9	11.7
地域のコミュニケーション	▲ 2.7	2.2	6.1	11.5	▲ 14.7
通勤・通学時間	▲ 4.1	5.6	▲ 32.7	0.0	35.3
子育て環境	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 9.6	▲ 14.7	11.8
住宅価格・家賃（安さ）	▲ 8.1	▲ 17.9	67.3	47.0	▲ 5.9
治安の良さ	▲ 11.4	▲ 10.2	6.1	▲ 2.9	▲ 5.9
自然の豊かさ	▲ 14.0	▲ 9.4	48.3	8.5	▲ 20.6
道路などの都市基盤	▲ 24.1	▲ 20.7	▲ 52.1	▲ 51.5	▲ 11.7

（注）1. 転入前居住地との比較における全体の降順で掲載。

2. DIは「船橋市が優れている」-「転入前の市区町村が優れている」で算出。

3. 回答数(n)は「交通の便」を掲載。

4. グレーの濃い網掛けは、評価項目別に最も水準が高い項目。

図表 148 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別①）

（単位：％）

		住宅価格・家賃(安さ)				交通の便			
		回答数 (n)	船橋市 が優れて いる	以前の 市区町村 が優れて いる	わから ない	回答数 (n)	船橋市 が優れて いる	以前の 市区町村 が優れて いる	わから ない
全体		631	30.4	38.5	31.1	641	53.0	39.0	8.0
性別	男性	227	30.8	39.2	30.0	232	54.3	39.2	6.5
	女性	399	30.1	38.1	31.8	404	52.7	38.6	8.7
年齢層別	18～19歳	9	11.1	44.4	44.4	9	66.7	33.3	0.0
	20～24歳	62	21.0	41.9	37.1	63	65.1	28.6	6.3
	25～29歳	135	34.1	31.9	34.1	136	47.8	41.2	11.0
	30～34歳	134	29.1	43.3	27.6	135	60.7	32.6	6.7
	35～39歳	80	45.0	33.8	21.3	84	45.2	48.8	6.0
	40～44歳	73	32.9	35.6	31.5	73	45.2	43.8	11.0
	45～49歳	42	23.8	47.6	28.6	44	52.3	38.6	9.1
	50～54歳	32	21.9	34.4	43.8	30	70.0	26.7	3.3
	55～59歳	23	26.1	30.4	43.5	23	39.1	43.5	17.4
	60～64歳	21	9.5	57.1	33.3	22	63.6	36.4	0.0
	65歳以上	20	40.0	45.0	15.0	22	36.4	59.1	4.5
居住地別	東部	113	28.3	38.9	32.7	116	61.2	28.4	10.3
	西部	122	28.7	41.8	29.5	126	59.5	34.1	6.3
	南部	117	31.6	45.3	23.1	118	66.9	28.0	5.1
	北部	135	27.4	32.6	40.0	137	41.6	48.9	9.5
	中部	139	35.3	35.3	29.5	139	39.6	51.8	8.6
職業別	会社員	266	34.2	37.6	28.2	273	53.8	37.7	8.4
	公務員	39	20.5	33.3	46.2	39	43.6	43.6	12.8
	自営・自由業・経営者	16	18.8	37.5	43.8	17	47.1	52.9	0.0
	アルバイト・パート	75	24.0	34.7	41.3	76	55.3	36.8	7.9
	契約(派遣)社員	42	28.6	38.1	33.3	42	52.4	40.5	7.1
	学生	13	15.4	46.2	38.5	13	61.5	23.1	15.4
	専業主婦(主夫)	139	33.1	38.8	28.1	139	50.4	41.7	7.9
	無職(年金生活者含む)	29	31.0	55.2	13.8	29	58.6	41.4	0.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 149 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別②）

（単位：％）

		通勤・通学時間				買い物など日常生活の利便性			
		回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない
全体		634	39.6	43.7	16.7	643	48.5	40.1	11.4
性別	男性	232	38.4	48.3	13.4	234	51.3	38.5	10.3
	女性	398	40.7	41.0	18.3	404	47.3	40.8	11.9
年齢層別	18～19歳	9	55.6	22.2	22.2	9	55.6	33.3	11.1
	20～24歳	63	57.1	28.6	14.3	63	54.0	36.5	9.5
	25～29歳	133	37.6	45.9	16.5	136	45.6	42.6	11.8
	30～34歳	135	47.4	42.2	10.4	136	54.4	33.8	11.8
	35～39歳	82	35.4	52.4	12.2	84	50.0	38.1	11.9
	40～44歳	73	35.6	47.9	16.4	73	41.1	45.2	13.7
	45～49歳	43	30.2	48.8	20.9	44	38.6	50.0	11.4
	50～54歳	32	28.1	43.8	28.1	30	60.0	30.0	10.0
	55～59歳	23	30.4	43.5	26.1	23	43.5	47.8	8.7
	60～64歳	22	36.4	36.4	27.3	22	45.5	54.5	0.0
	65歳以上	19	21.1	42.1	36.8	23	43.5	39.1	17.4
居住地別	東部	114	37.7	41.2	21.1	115	57.4	28.7	13.9
	西部	126	46.8	38.9	14.3	127	51.2	38.6	10.2
	南部	117	54.7	35.0	10.3	119	62.2	30.3	7.6
	北部	134	29.1	52.2	18.7	137	38.0	49.6	12.4
	中部	139	31.7	49.6	18.7	140	37.9	50.7	11.4
職業別	会社員	273	42.5	48.7	8.8	274	50.4	38.3	11.3
	公務員	38	50.0	39.5	10.5	39	48.7	41.0	10.3
	自営・自由業・経営者	17	41.2	47.1	11.8	17	47.1	52.9	0.0
	アルバイト・パート	76	42.1	39.5	18.4	76	46.1	43.4	10.5
	契約（派遣）社員	41	39.0	43.9	17.1	42	47.6	45.2	7.1
	学生	13	53.8	30.8	15.4	13	38.5	38.5	23.1
	専業主婦（主夫）	137	30.7	41.6	27.7	139	45.3	39.6	15.1
	無職（年金生活者含む）	26	26.9	26.9	46.2	30	50.0	40.0	10.0

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

図表 150 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別③）

（単位：％）

		医療・福祉環境				子育て環境			
		回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない
全体		645	31.3	27.9	40.8	638	18.0	24.1	57.8
性別	男性	236	32.6	27.5	39.8	232	20.3	25.9	53.9
	女性	404	30.9	28.2	40.8	401	17.0	23.2	59.9
年齢層別	18～19歳	9	55.6	0.0	44.4	9	22.2	22.2	55.6
	20～24歳	63	31.7	30.2	38.1	63	17.5	15.9	66.7
	25～29歳	136	34.6	25.0	40.4	136	14.0	23.5	62.5
	30～34歳	136	29.4	25.7	44.9	136	22.8	24.3	52.9
	35～39歳	84	23.8	34.5	41.7	84	20.2	26.2	53.6
	40～44歳	73	31.5	32.9	35.6	73	26.0	17.8	56.2
	45～49歳	44	31.8	31.8	36.4	44	11.4	43.2	45.5
	50～54歳	31	32.3	22.6	45.2	31	16.1	19.4	64.5
	55～59歳	24	37.5	16.7	45.8	23	13.0	21.7	65.2
	60～64歳	22	31.8	22.7	45.5	20	10.0	30.0	60.0
	65歳以上	23	30.4	39.1	30.4	19	5.3	31.6	63.2
居住地別	東部	116	36.2	26.7	37.1	116	17.2	26.7	56.0
	西部	127	24.4	23.6	52.0	126	17.5	23.0	59.5
	南部	120	31.7	25.0	43.3	118	13.6	26.3	60.2
	北部	137	37.2	27.7	35.0	136	19.9	19.9	60.3
	中部	140	27.9	36.4	35.7	138	21.7	25.4	52.9
職業別	会社員	275	29.5	26.9	43.6	274	17.5	23.0	59.5
	公務員	39	38.5	28.2	33.3	39	20.5	25.6	53.8
	自営・自由業・経営者	17	29.4	47.1	23.5	17	29.4	29.4	41.2
	アルバイト・パート	76	30.3	28.9	40.8	76	13.2	21.1	65.8
	契約（派遣）社員	42	23.8	16.7	59.5	42	9.5	14.3	76.2
	学生	13	23.1	23.1	53.8	13	15.4	7.7	76.9
	専業主婦（主夫）	139	33.1	30.2	36.7	138	23.9	30.4	45.7
	無職（年金生活者含む）	31	45.2	25.8	29.0	26	15.4	23.1	61.5

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0％以上）のため分析対象外。

図表 151 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別④）

（単位：％）

		教育環境				地域のコミュニケーション			
		回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない
全体		639	17.5	16.9	65.6	640	20.6	23.3	56.1
性別	男性	233	18.5	20.2	61.4	234	22.6	21.8	55.6
	女性	401	17.2	15.0	67.8	401	19.5	23.7	56.9
年齢層別	18～19歳	9	33.3	33.3	33.3	9	11.1	33.3	55.6
	20～24歳	63	17.5	12.7	69.8	62	14.5	25.8	59.7
	25～29歳	136	8.8	17.6	73.5	136	20.6	23.5	55.9
	30～34歳	136	22.8	15.4	61.8	136	18.4	24.3	57.4
	35～39歳	84	20.2	11.9	67.9	84	29.8	13.1	57.1
	40～44歳	73	21.9	17.8	60.3	73	19.2	20.5	60.3
	45～49歳	44	9.1	31.8	59.1	44	22.7	31.8	45.5
	50～54歳	31	16.1	16.1	67.7	31	22.6	22.6	54.8
	55～59歳	23	21.7	17.4	60.9	23	26.1	34.8	39.1
	60～64歳	20	25.0	5.0	70.0	21	4.8	23.8	71.4
	65歳以上	20	15.0	25.0	60.0	21	28.6	23.8	47.6
居住地別	東部	116	20.7	14.7	64.7	116	20.7	24.1	55.2
	西部	125	16.0	16.0	68.0	125	16.8	21.6	61.6
	南部	118	13.6	15.3	71.2	118	11.9	26.3	61.9
	北部	136	20.6	19.1	60.3	137	27.7	20.4	51.8
	中部	139	17.3	19.4	63.3	139	24.5	25.2	50.4
職業別	会社員	274	16.1	15.0	69.0	274	22.3	20.4	57.3
	公務員	39	20.5	25.6	53.8	39	23.1	25.6	51.3
	自営・自由業・経営者	17	29.4	17.6	52.9	17	35.3	23.5	41.2
	アルバイト・パート	75	17.3	12.0	70.7	75	18.7	25.3	56.0
	契約（派遣）社員	42	11.9	7.1	81.0	42	14.3	23.8	61.9
	学生	13	23.1	23.1	53.8	13	7.7	23.1	69.2
	専業主婦（主夫）	138	20.3	21.0	58.7	138	21.0	25.4	53.6
	無職（年金生活者含む）	28	14.3	14.3	71.4	29	13.8	27.6	58.6

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0％以上）のため分析対象外。

図表 152 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別⑤）

（単位：％）

		道路などの都市基盤				治安の良さ			
		回答数 (n)	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数 (n)	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない
全体		642	25.7	49.8	24.5	640	25.0	36.4	38.6
性別	男性	234	25.6	53.8	20.5	233	25.3	38.6	36.1
	女性	403	25.8	48.1	26.1	402	24.9	35.1	40.0
年齢層別	18～19歳	9	55.6	44.4	0.0	9	22.2	44.4	33.3
	20～24歳	63	34.9	42.9	22.2	63	22.2	36.5	41.3
	25～29歳	136	25.7	47.1	27.2	135	27.4	38.5	34.1
	30～34歳	136	29.4	44.9	25.7	136	30.9	33.1	36.0
	35～39歳	84	16.7	53.6	29.8	84	23.8	34.5	41.7
	40～44歳	73	30.1	42.5	27.4	73	23.3	31.5	45.2
	45～49歳	44	22.7	63.6	13.6	44	18.2	47.7	34.1
	50～54歳	31	16.1	67.7	16.1	31	25.8	25.8	48.4
	55～59歳	22	18.2	54.5	27.3	22	13.6	36.4	50.0
	60～64歳	22	13.6	63.6	22.7	22	13.6	40.9	45.5
	65歳以上	22	22.7	59.1	18.2	21	28.6	52.4	19.0
居住地別	東部	116	31.0	46.6	22.4	115	26.1	35.7	38.3
	西部	127	26.0	49.6	24.4	127	22.0	40.9	37.0
	南部	117	35.9	36.8	27.4	118	19.5	43.2	37.3
	北部	137	20.4	56.9	22.6	136	27.9	32.4	39.7
	中部	140	17.1	57.1	25.7	140	28.6	31.4	40.0
職業別	会社員	275	23.6	50.2	26.2	275	22.9	38.9	38.2
	公務員	39	30.8	53.8	15.4	39	30.8	25.6	43.6
	自営・自由業・経営者	17	35.3	47.1	17.6	17	23.5	47.1	29.4
	アルバイト・パート	76	27.6	46.1	26.3	76	31.6	31.6	36.8
	契約(派遣)社員	42	26.2	38.1	35.7	41	19.5	29.3	51.2
	学生	13	30.8	38.5	30.8	13	30.8	30.8	38.5
	専業主婦(主夫)	138	23.9	53.6	22.5	138	25.4	33.3	41.3
	無職(年金生活者含む)	29	31.0	55.2	13.8	28	25.0	50.0	25.0

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

図表 153 船橋市と転入前の居住地の評価（属性別⑥）

（単位：％）

		自然の豊かさ				親や子どもの家の近さ				まちなイメージ			
		回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない	回答数（n）	船橋市が優れている	以前の市区町村が優れている	わからない
全体		642	33.2	47.2	19.6	633	33.5	27.0	39.5	637	35.6	33.8	30.6
性別	男性	234	34.6	49.1	16.2	231	32.0	25.1	42.9	234	38.0	34.6	27.4
	女性	403	32.5	46.2	21.3	397	34.3	28.5	37.3	398	34.4	33.4	32.2
年齢層別	18～19歳	9	11.1	66.7	22.2	9	33.3	33.3	33.3	9	33.3	55.6	11.1
	20～24歳	63	25.4	60.3	14.3	62	25.8	40.3	33.9	62	33.9	30.6	35.5
	25～29歳	136	34.6	44.1	21.3	133	31.6	26.3	42.1	133	40.6	31.6	27.8
	30～34歳	135	28.1	49.6	22.2	137	29.9	31.4	38.7	135	34.1	34.1	31.9
	35～39歳	85	45.9	38.8	15.3	83	39.8	19.3	41.0	85	41.2	29.4	29.4
	40～44歳	73	38.4	32.9	28.8	72	44.4	19.4	36.1	71	38.0	26.8	35.2
	45～49歳	44	34.1	56.8	9.1	44	22.7	34.1	43.2	44	18.2	52.3	29.5
	50～54歳	32	21.9	65.6	12.5	29	37.9	31.0	31.0	31	35.5	38.7	25.8
	55～59歳	22	27.3	45.5	27.3	22	27.3	18.2	54.5	23	39.1	21.7	39.1
	60～64歳	22	22.7	54.5	22.7	21	52.4	4.8	42.9	22	18.2	50.0	31.8
	65歳以上	21	52.4	33.3	14.3	21	33.3	28.6	38.1	22	40.9	36.4	22.7
居住地別	東部	117	27.4	56.4	16.2	115	43.5	24.3	32.2	114	38.6	33.3	28.1
	西部	127	30.7	49.6	19.7	126	21.4	34.1	44.4	127	33.1	38.6	28.3
	南部	118	16.1	56.8	27.1	117	24.8	28.2	47.0	116	38.8	31.9	29.3
	北部	137	44.5	41.6	13.9	134	35.1	25.4	39.6	135	38.5	28.1	33.3
	中部	139	43.9	33.8	22.3	137	42.3	23.4	34.3	140	30.7	35.0	34.3
職業別	会社員	274	35.0	44.5	20.4	272	31.3	28.3	40.4	273	31.1	38.8	30.0
	公務員	39	30.8	43.6	25.6	38	31.6	36.8	31.6	37	54.1	29.7	16.2
	自営・自由業・経営者	17	35.3	52.9	11.8	17	47.1	29.4	23.5	17	47.1	29.4	23.5
	アルバイト・パート	74	29.7	54.1	16.2	75	29.3	29.3	41.3	75	34.7	32.0	33.3
	契約（派遣）社員	42	40.5	40.5	19.0	40	15.0	20.0	65.0	42	42.9	19.0	38.1
	学生	13	23.1	53.8	23.1	13	38.5	15.4	46.2	13	30.8	46.2	23.1
	専業主婦（主夫）	141	34.0	46.1	19.9	138	42.0	26.8	31.2	139	37.4	30.9	31.7
	無職（年金生活者含む）	29	27.6	48.3	24.1	28	50.0	7.1	42.9	29	34.5	27.6	37.9

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

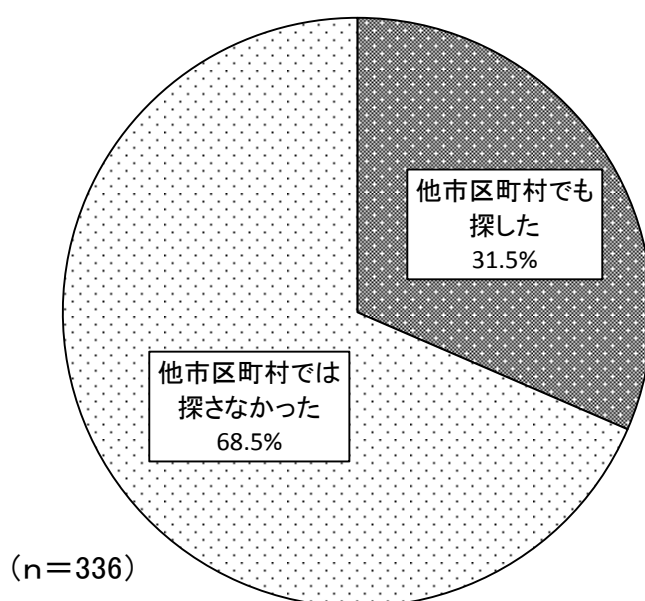
(7) 検討した転入先の有無

船橋市への転入される際に他市区町村でも住居を探しましたか。(S A)

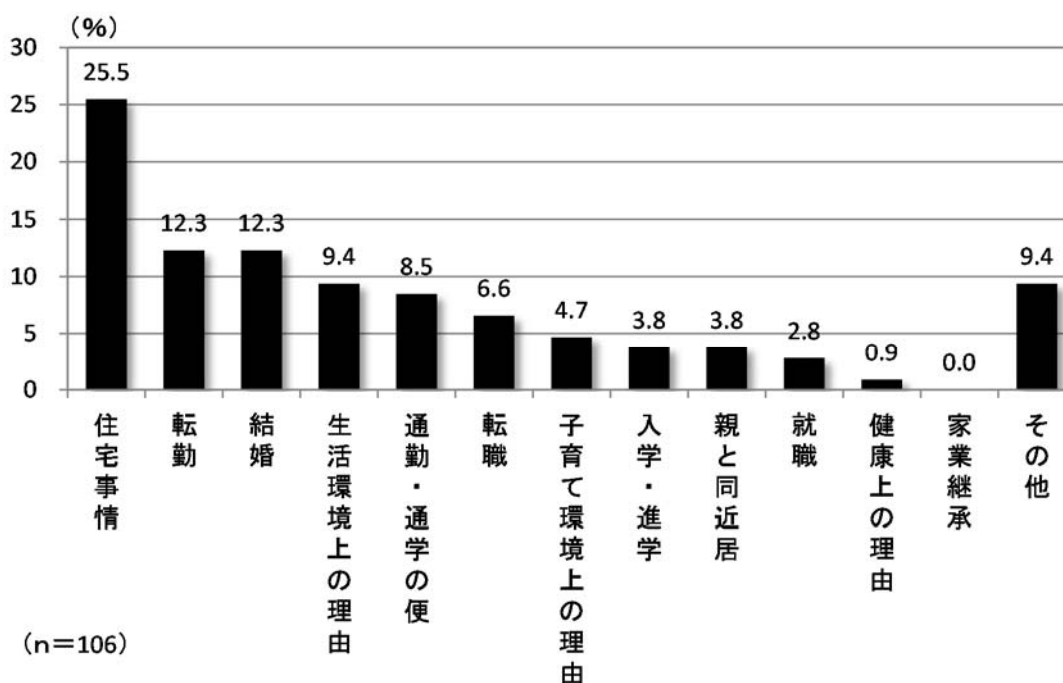
本市に転入する際に他の市区町村でも住居を探したかについてみると、「他市区町村でも探した」は31.5%、「他市区町村では探さなかった」は68.5%となっている(図表154)。

「他市区町村でも探した」という回答割合を転入のきっかけ別にみると、「住宅事情」が25.5%で最も多く、「転勤(12.3%)」や「結婚(12.3%)」が同率で続いている(図表155)。

図表 154 検討した転入先の有無



図表 155 「他市区町村でも探した」と回答した割合(転入のきっかけ別)



図表 156 検討した転入先の有無

(単位: %)

		回答数 (n)	船橋市内でも 探した	船橋市内では 探さなかった
全体		336	31.5	68.5
性別	男性	129	31.8	68.2
	女性	206	31.6	68.4
年齢層別	18～19歳	6	0.0	100.0
	20～24歳	33	15.2	84.8
	25～29歳	64	29.7	70.3
	30～34歳	68	38.2	61.8
	35～39歳	41	34.1	65.9
	40～44歳	31	32.3	67.7
	45～49歳	25	32.0	68.0
	50～54歳	21	42.9	57.1
	55～59歳	16	25.0	75.0
	60～64歳	18	38.9	61.1
	65歳以上	13	30.8	69.2
居住地別	東部	62	27.4	72.6
	西部	58	39.7	60.3
	南部	62	33.9	66.1
	北部	86	23.3	76.7
	中部	68	36.8	63.2
職業別	会社員	136	27.2	72.8
	公務員	21	19.0	81.0
	自営・自由業・経営者	10	30.0	70.0
	アルバイト・パート	39	38.5	61.5
	契約(派遣)社員	23	43.5	56.5
	学生	9	11.1	88.9
	専業主婦(主夫)	75	38.7	61.3
	無職(年金生活者含む)	19	26.3	73.7

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

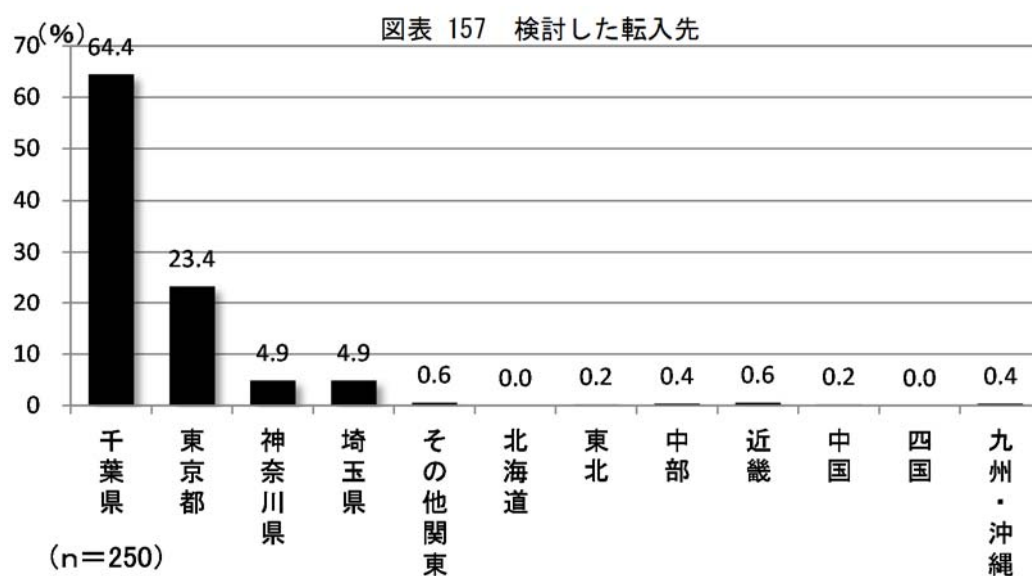
2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(8) 検討した転入先

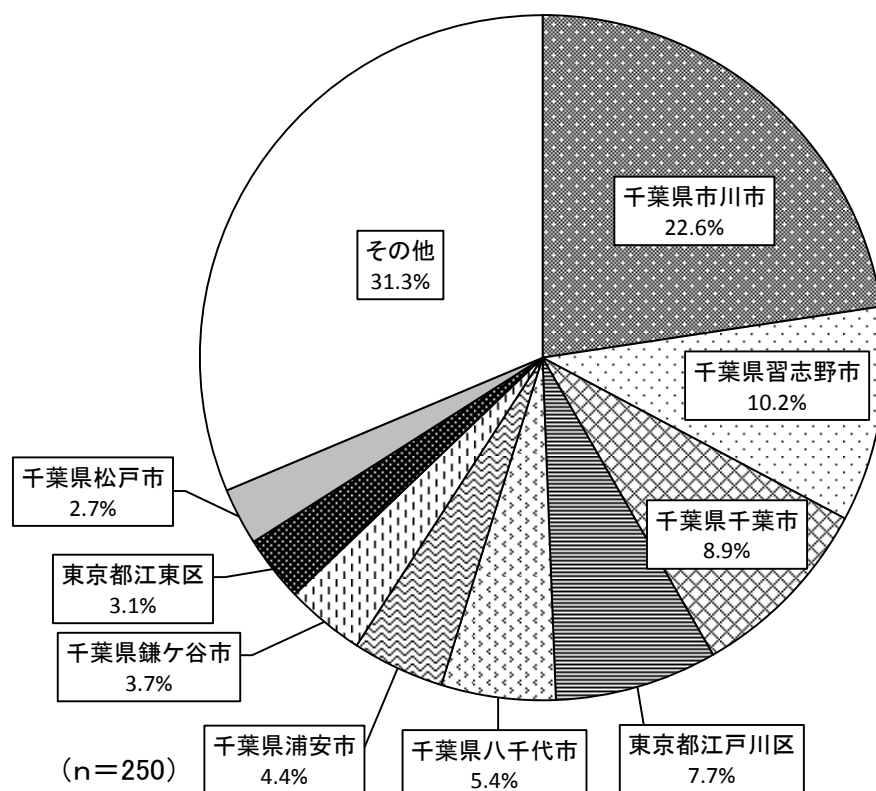
船橋市以外では、どの市区町村を検討されましたか。(MA)

転入を検討した都道府県についてみると、「千葉県」が 64.4%で最も多く、次いで「東京都 (23.4%)」となっており、「神奈川県 (4.9%)」と「埼玉県 (4.9%)」が同率で続いている (図表 157)。

転入を検討した市区町村をみると、「千葉縣市川市」が 22.6%で最も多く、次いで「千葉県習志野市 (10.2%)」、「千葉県千葉市 (8.9%)」の順となっている (図表 158)。千葉県外では、「東京都江戸川区 (7.7%)」、「東京都江東区 (3.1%)」の割合が多かった。



図表 158 転入を検討した市区町村



(9) 船橋市に転入を決めた理由

船橋市への転入を決めた理由は何ですか。(MA)

1) 全体

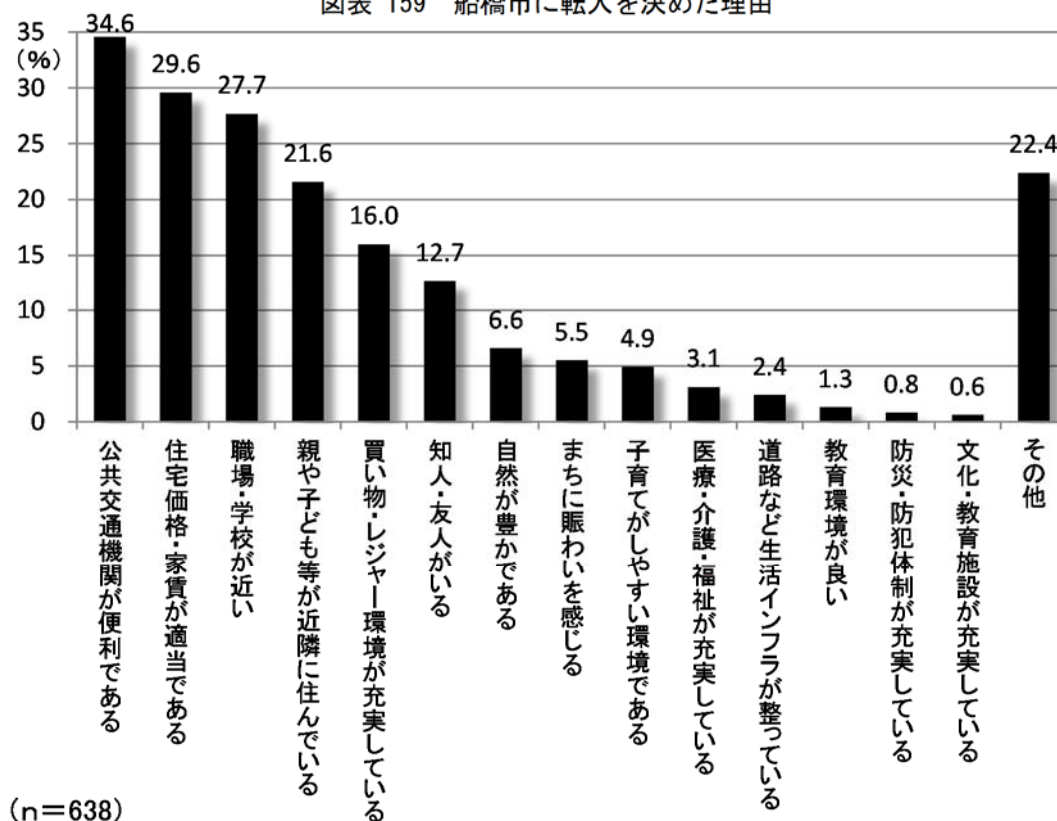
本市に転入を決めた理由についてみると、「公共交通機関が便利である」が34.6%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃が妥当である(29.6%)」、「職場・学校が近い(27.7%)」が続いている(図表159)。

年齢層別にみると、「20～24歳」から「35～39歳」及び「50～54歳」は、「公共交通機関が便利である」がいずれも最多となっている(「25～29歳」は「職場・学校が近い」も同率で最多)。「40～44歳」は「住宅価格・家賃が妥当である(33.8%)」、「45～49歳」は「職場・学校が近い(38.6%)」がそれぞれ最も多かった。また、「30～34歳」は「買い物・レジャー環境が充実している(22.6%)」、「40～44歳」は「親や子ども等が近隣に住んでいる(31.0%)」、「子育てがしやすい環境である(16.9%)」及び「自然が豊かである(11.3%)」、「45～49歳」は「知人・友人がいる(15.9%)」、「50～54歳」は「まちに賑わいを感じる(11.8%)」などがそれぞれ他の年齢層より多くなっている(図表160)。

居住地別にみると、「東部」、「西部」及び「南部」は「公共交通機関が便利である」がいずれも最多となっている。「北部」は「親や子ども等が近隣に住んでいる(28.2%)」、「中部」は「住宅価格・家賃が妥当である(37.0%)」がそれぞれ最も多かった。

就学前の子どもがいる世帯では、「住宅価格・家賃が妥当である(37.6%)」や「親や子ども等が近隣に住んでいる(37.6%)」が同率で最も多いほか、「子育てがしやすい環境である(13.8%)」は「就学前の子どもがいない世帯(5.9%)」を7.9ポイント上回っている。

図表 159 船橋市に転入を決めた理由



図表 160 船橋市に転入を決めた理由（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	公共交通機関が便利である	住宅価格・家賃が適当である	職場・学校が近い	親や子ども等が近隣に住んでいる	買い物・レジャー環境が充実している	知人・友人がいる	自然が豊かである	まちに賑わいを感じる	子育てがしやすい環境である	医療・介護・福祉が充実している	道路など生活インフラが整っている	教育環境が良い	防災・防犯体制が充実している	文化・教育施設が充実している	その他
全体		638	34.6	29.6	27.7	21.6	16.0	12.7	6.6	5.5	4.9	3.1	2.4	1.3	0.8	0.6	22.4
性別	男性	235	34.5	31.9	27.7	20.4	14.5	10.6	8.9	7.7	6.4	2.1	1.7	1.3	0.4	0.9	20.9
	女性	398	34.7	28.4	28.1	21.9	17.1	14.1	5.3	4.3	4.0	3.8	2.8	1.3	1.0	0.3	23.1
年齢層別	18～19歳	10	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	20～24歳	63	36.5	23.8	31.7	17.5	11.1	3.2	4.8	3.2	1.6	1.6	3.2	0.0	1.6	0.0	27.0
	25～29歳	132	33.3	31.8	33.3	16.7	18.2	12.1	4.5	6.1	2.3	2.3	3.0	0.8	0.8	0.8	21.2
	30～34歳	137	46.0	33.6	27.7	21.9	22.6	13.1	5.8	2.2	2.9	2.2	2.2	1.5	2.2	0.7	19.7
	35～39歳	83	34.9	31.3	31.3	28.9	19.3	12.0	3.6	8.4	8.4	1.2	1.2	2.4	0.0	0.0	18.1
	40～44歳	71	23.9	33.8	23.9	31.0	12.7	14.1	11.3	4.2	16.9	1.4	2.8	2.8	0.0	2.8	21.1
	45～49歳	44	29.5	25.0	38.6	9.1	15.9	15.9	9.1	4.5	4.5	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	18.2
	50～54歳	34	41.2	29.4	14.7	17.6	8.8	5.9	5.9	11.8	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	32.4
	55～59歳	22	36.4	18.2	13.6	9.1	13.6	18.2	13.6	18.2	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	31.8
	60～64歳	20	35.0	25.0	15.0	50.0	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	15.0
	65歳以上	22	13.6	27.3	4.5	22.7	0.0	31.8	18.2	4.5	4.5	18.2	0.0	4.5	0.0	0.0	36.4
子どもが就学しているかどうか	いる	109	27.5	37.6	22.0	37.6	16.5	9.2	7.3	5.5	13.8	3.7	0.9	4.6	0.9	1.8	17.4
	いない	85	31.8	23.5	28.2	16.5	14.1	16.5	10.6	5.9	5.9	4.7	3.5	1.2	0.0	0.0	25.9
居住地別	東部	119	33.6	21.8	26.1	26.9	16.0	12.6	1.7	2.5	5.9	0.8	3.4	2.5	0.8	0.8	27.7
	西部	125	40.8	29.6	36.8	9.6	14.4	8.0	6.4	4.8	3.2	2.4	3.2	0.8	0.8	0.8	23.2
	南部	116	54.3	33.6	29.3	19.0	31.0	11.2	1.7	10.3	1.7	3.4	2.6	0.9	0.0	0.9	15.5
	北部	131	13.7	25.2	19.8	28.2	6.9	16.0	9.9	3.8	5.3	4.6	1.5	1.5	0.0	0.8	29.8
	中部	135	31.9	37.0	27.4	25.9	14.1	14.1	12.6	6.7	8.1	4.4	1.5	0.7	2.2	0.0	15.6
職業別	会社員	274	37.6	35.4	29.9	20.8	16.1	9.9	5.8	5.8	4.7	1.1	1.5	1.1	0.0	1.1	20.8
	公務員	39	35.9	23.1	28.2	23.1	23.1	7.7	2.6	5.1	5.1	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	25.6
	自営・自由業・経営者	18	38.9	11.1	38.9	38.9	16.7	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1
	アルバイト・パート	73	42.5	21.9	27.4	19.2	16.4	20.5	6.8	5.5	6.8	5.5	4.1	0.0	2.7	0.0	23.3
	契約（派遣）社員	43	34.9	48.8	44.2	14.0	16.3	14.0	11.6	2.3	0.0	4.7	0.0	0.0	2.3	0.0	11.6
	学生	14	28.6	14.3	35.7	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	専業主婦（主夫）	134	27.6	26.1	20.1	23.9	16.4	11.2	7.5	2.2	6.7	5.2	3.0	3.0	0.7	0.7	26.9
	無職（年金生活者含む）	31	16.1	16.1	0.0	25.8	12.9	25.8	3.2	12.9	0.0	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	35.5

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

2) 市区町村別

本市に転入を決めた理由を本市のほかに転入を検討した市町村別にみると、1位は、上位4市区中3市区が「住宅価格・家賃が適当である」をあげており、その回答割合は「千葉県市川市」が62.2%で最も多く、次いで「東京都江戸川区(52.8%)」、「千葉県習志野市(48.9%)」の順となっている(図表161)。なお、「千葉県千葉市」は「公共交通機関が便利である(60.0%)」が1位となっている。

2位は、4市区中3市区が「公共交通機関が便利である」をあげており、その回答割合は、「東京都江戸川区」が47.2%で最も多く、「千葉県習志野市(40.4%)」、「千葉県市川市(38.7%)」が続いている。なお、「千葉県千葉市」は「住宅価格・家賃が適当である(47.5%)」が2位となっている。

3位は、4市区中3市区が「職場・学校が近い」をあげており、その回答割合は、「千葉県習志野市(34.0%)」が最も多く、「千葉県千葉市(30.0%)」、「千葉県市川市(26.1%)」の順であった。「東京都江戸川区」は「買い物・レジャー環境が充実している(27.8%)」が3位であった。

図表 161 船橋市に転入を決めた理由（転入を検討した市町村別）

		1位	2位	3位	4位	5位	6～7位			
1	千葉県市川市 (n=111)	住宅価格・家賃が適当 (62.2%)	公共交通機関が便利 (38.7%)	職場・学校が近い (26.1%)	買い物・レジャー環境が充実 (24.3%)	親や子ども等が近隣に居住 (11.7%)	自然が豊かな (9.9%)	子育てがしやすい環境 (7.2%)		
2	千葉県習志野市 (n=47)	住宅価格・家賃が適当 (48.9%)	公共交通機関が便利 (40.4%)	職場・学校が近い (34.0%)	親や子ども等が近隣に居住 (21.3%)	買い物・レジャー環境が充実 (19.1%)	子育てがしやすい環境 (10.6%)	知人・友人がいる (6.4%)	道路など生活インフラが整備 (6.4%)	
3	千葉県千葉市 (n=40)	公共交通機関が便利 (60.0%)	住宅価格・家賃が適当 (47.5%)	職場・学校が近い (30.0%)	買い物・レジャー環境が充実 (17.5%)	親や子ども等が近隣に居住 (15.0%)	まちに賑わいを感じる (10.0%)	子育てがしやすい環境 (7.5%)	知人・友人がいる (7.5%)	自然が豊かな (7.5%)
4	東京都江戸川区 (n=36)	住宅価格・家賃が適当 (52.8%)	公共交通機関が便利 (47.2%)	買い物・レジャー環境が充実 (27.8%)	職場・学校が近い (25.0%)	自然が豊かな (8.3%)	親や子ども等が近隣に居住 (5.6%)	知人・友人がいる (5.6%)		
5	千葉県八千代市 (n=24)	住宅価格・家賃が適当 (54.2%)	公共交通機関が便利 (20.8%)	職場・学校が近い (20.8%)	親や子ども等が近隣に居住 (20.8%)	自然が豊かな (16.7%)	医療・介護・福祉が充実 (8.3%)	まちに賑わいを感じる (8.3%)		
6	千葉県浦安市 (n=20)	住宅価格・家賃が適当 (55.0%)	公共交通機関が便利 (40.0%)	職場・学校が近い (35.0%)	買い物・レジャー環境が充実 (20.0%)	知人・友人がいる (15.0%)	子育てがしやすい環境 (15.0%)	自然が豊かな (10.0%)		
7	千葉県鎌ヶ谷市 (n=18)	住宅価格・家賃が適当 (50.0%)	公共交通機関が便利 (33.3%)	親や子ども等が近隣に居住 (33.3%)	職場・学校が近い (27.8%)	まちに賑わいを感じる (16.7%)	買い物・レジャー環境が充実 (11.1%)	知人・友人がいる (5.6%)	子育てがしやすい環境 (5.6%)	自然が豊かな (5.6%)
8	東京都江東区 (n=14)	住宅価格・家賃が適当 (71.4%)	公共交通機関が便利 (42.9%)	職場・学校が近い (28.6%)	買い物・レジャー環境が充実 (21.4%)	防災・防犯体制が充実 (14.3%)	親や子ども等が近隣に居住 (7.1%)	子育てがしやすい環境 (7.1%)		
9	千葉県松戸市 (n=12)	公共交通機関が便利 (50.0%)	住宅価格・家賃が適当 (33.3%)	親や子ども等が近隣に居住 (33.3%)	職場・学校が近い (25.0%)	買い物・レジャー環境が充実 (16.7%)	まちに賑わいを感じる (16.7%)	知人・友人がいる (8.3%)	自然が豊かな (8.3%)	

(注) グレーの網掛けは、回答数が25件未満(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(10) 船橋市の住みやすさの評価

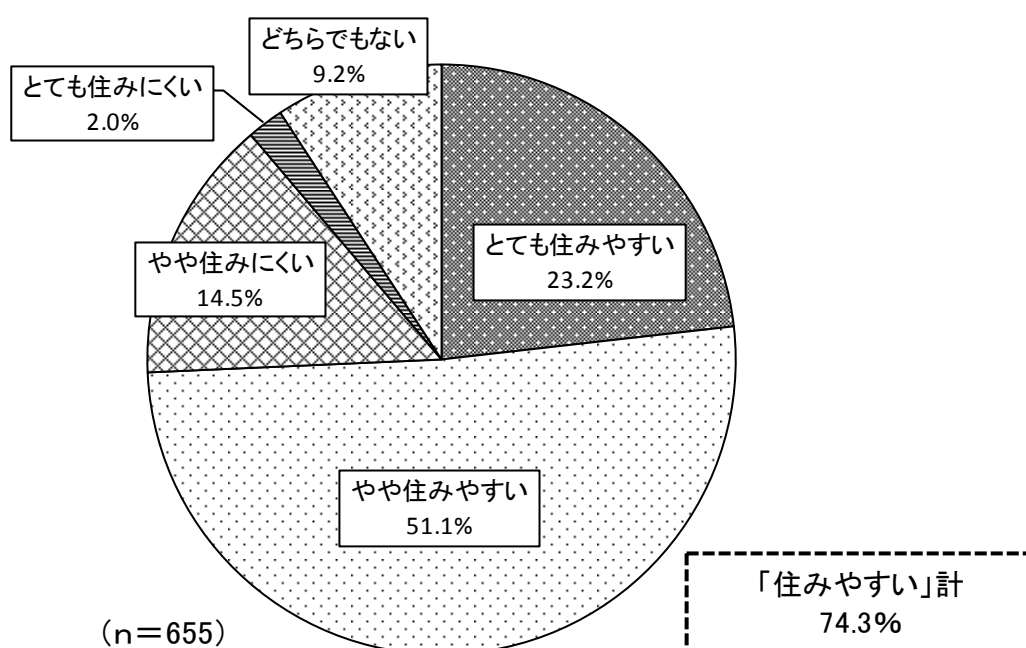
船橋市は住みやすいですか。(S A)

本市の住みやすさの評価をみると、「とても住みやすい」は23.2%となっており、「やや住みやすい(51.1%)」をあわせると、74.3%が「住みやすい」と回答した(図表162)。

一方、「とても住みにくい(2.0%)」と「やや住みにくい(14.5%)」の合計は、16.5%であった。「どちらでもない」は9.2%となっている。

「とても住みやすい」を居住地別にみると、「南部(25.8%)」や「西部(25.4%)」、「東部(25.0%)」は25%台でほぼ同水準であったが、これらの地域と比べると「北部(17.8%)」はやや低い水準であった(図表163)。

図表 162 船橋市の住みやすさの評価



図表 163 船橋市の住みやすさの評価（属性別）

（単位：％）

		回答数 (n)	とても 住みやすい	やや 住みやすい	やや 住みにくい	とても 住みにくい	どちら でもない
全体		655	23.2	51.1	14.5	2.0	9.2
性別	男性	241	24.5	52.3	14.9	1.7	6.6
	女性	409	22.5	50.6	14.2	2.2	10.5
年齢層別	18～19歳	10	20.0	50.0	10.0	0.0	20.0
	20～24歳	64	32.8	48.4	9.4	4.7	4.7
	25～29歳	134	29.1	43.3	17.9	1.5	8.2
	30～34歳	138	21.7	57.2	10.9	1.4	8.7
	35～39歳	87	25.3	48.3	10.3	2.3	13.8
	40～44歳	73	11.0	67.1	17.8	0.0	4.1
	45～49歳	47	19.1	44.7	23.4	4.3	8.5
	50～54歳	33	33.3	48.5	9.1	3.0	6.1
	55～59歳	24	16.7	45.8	25.0	0.0	12.5
	60～64歳	22	18.2	45.5	18.2	4.5	13.6
	65歳以上	23	8.7	56.5	13.0	0.0	21.7
居住地別	東部	120	25.0	52.5	10.8	1.7	10.0
	西部	126	25.4	51.6	15.9	0.8	6.3
	南部	120	25.8	53.3	13.3	1.7	5.8
	北部	135	17.8	51.9	14.8	3.0	12.6
	中部	141	21.3	49.6	17.7	2.1	9.2
職業別	会社員	282	25.5	52.1	12.8	1.8	7.8
	公務員	38	31.6	47.4	7.9	5.3	7.9
	自営・自由業・経営者	18	27.8	50.0	16.7	0.0	5.6
	アルバイト・パート	75	24.0	54.7	14.7	1.3	5.3
	契約(派遣)社員	43	23.3	46.5	20.9	2.3	7.0
	学生	14	14.3	71.4	7.1	0.0	7.1
	専業主婦(主夫)	141	17.0	50.4	17.7	1.4	13.5
	無職(年金生活者含む)	31	12.9	45.2	16.1	3.2	22.6

(注) 1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下(標本誤差率20.0%以上)のため分析対象外。

(11) 船橋市の定住意向

① 定住意向

今後も船橋市に住みたいと思えますか。(S A)

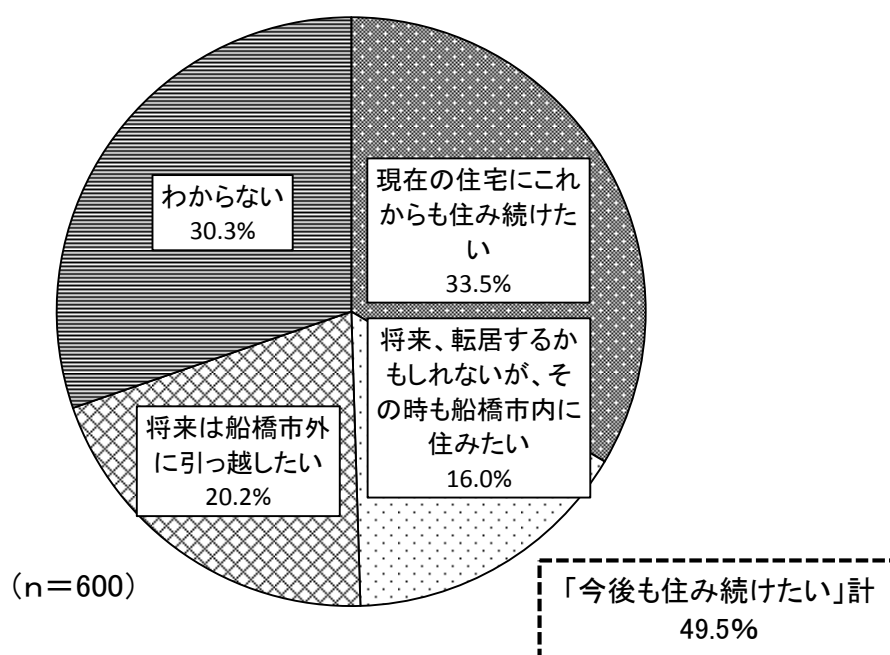
本市への定住意向は、「現在の住宅にこれからも住みたい」が33.5%となっており、「将来、転居するかもしれないが、その時も船橋市内に住みたい(16.0%)」をあわせると49.5%が「今後も住みたい」意向であった(図表164)。

一方、「将来は船橋市外に引っ越したい」は20.2%、「わからない」は30.3%となっている。

年齢層別にみると、「20～24歳」から「30～34歳」までは「わからない」が最も多くなっているが、「現在の住宅にこれからも住みたい」と「将来は船橋市外に引っ越したい」の回答割合がいずれも拮抗している(図表165)。「35～39歳」、「40～44歳」や「50～54歳」は「現在の住宅にこれからも住みたい」がいずれも最多となっている。

居住地別にみると、「西部」は「わからない(36.4%)」が最も多くなっているが、それ以外の地区は「現在の住宅にこれからも住みたい」がいずれも最多であった。

図表 164 定住意向



図表 165 定住意向（属性別）

（単位：％）

		回答数（n）	これから現在の住宅に 住み続けたい	将来、転居するかも しれないが、その時も 船橋市内に住みたい	将来は船橋市外に 引っ越したい	わからない
全体		600	33.5	16.0	20.2	30.3
性別	男性	226	33.6	20.4	20.8	25.2
	女性	371	33.4	13.2	19.7	33.7
年齢層別	18～19歳	10	30.0	10.0	30.0	30.0
	20～24歳	59	22.0	20.3	23.7	33.9
	25～29歳	123	24.4	17.9	25.2	32.5
	30～34歳	126	27.8	17.5	23.8	31.0
	35～39歳	81	39.5	16.0	14.8	29.6
	40～44歳	65	46.2	9.2	16.9	27.7
	45～49歳	41	31.7	22.0	12.2	34.1
	50～54歳	33	42.4	15.2	18.2	24.2
	55～59歳	21	42.9	9.5	9.5	38.1
	60～64歳	20	50.0	15.0	25.0	10.0
	65歳以上	21	57.1	4.8	9.5	28.6
居住地別	東部	101	34.7	13.9	19.8	31.7
	西部	118	28.0	14.4	21.2	36.4
	南部	112	31.3	19.6	25.9	23.2
	北部	132	36.4	14.4	18.9	30.3
	中部	127	36.2	17.3	16.5	29.9
職業別	会社員	261	33.0	19.2	20.7	27.2
	公務員	37	32.4	13.5	27.0	27.0
	自営・自由業・経営者	17	41.2	5.9	23.5	29.4
	アルバイト・パート	68	39.7	17.6	17.6	25.0
	契約（派遣）社員	40	22.5	17.5	20.0	40.0
	学生	14	28.6	14.3	28.6	28.6
	専業主婦（主夫）	125	35.2	11.2	17.6	36.0
	無職（年金生活者含む）	28	35.7	10.7	10.7	42.9

（注）1. グレーの濃い網掛けは、各属性別に最も割合が多い項目。

2. グレーの薄い網掛けは、回答数が25件以下（標本誤差率20.0%以上）のため分析対象外。

② 転出したい理由

船橋市外に引っ越したい理由についてご記入ください。(F A)

本市から転出したい理由についてみると、「道路事情の悪さ」が23.0%で最も多く、次いで「実家・故郷へのUターン(18.5%)」、「通勤事情を良くするため(11.1%)」が続いている(図表166)。

アンケート回答の主な意見は以下の通り。

図表 166 転出したい理由

	(n=135)	回答割合 (%)
a	道路事情の悪さ	23.0
b	実家・故郷へのUターン	18.5
c	通勤事情を良くするため	11.1
d	治安の悪さ	5.2
e	買い物利便性の悪さ	5.2
f	子育て・教育環境の悪さ	4.4
g	住宅購入	4.4
h	公共交通の利便性の悪さ	3.7
i	自然豊かな環境に住みたい	3.0
j	その他	21.5

a. 道路事情の悪さ

道路・歩道が整備されていないため、今後子どもが成長したときに交通事故等にあわないか心配です。(女性、25～29歳、会社員、法典)

道路が渋滞しすぎて、右折車線もない。せまい道路が多いせいもあると思うがひどい。信号を変えるか新たにつけるなど改善してほしい。(女性、30～34歳、専業主婦(主夫)、前原)

b. 実家・故郷へのUターン

実家に関西なので、いずれは帰る予定です。船橋に不満はありません。(女性、20～24歳、会社員、本町)

親・兄弟が近くにいる所へ引っ越したい。(男性、30～34歳、会社員、夏見)

c. 通勤事情を良くするため

職場の異動等で都内のもっと遠くに勤務することが考えられ、職場までの通勤時間を考えると船橋市外が良いと考えている。(女性、25～29歳、公務員、法典)

都内に勤務しており勤務先近くに住みたい。(男性、25～29歳、会社員、夏見)

d. 治安の悪さ

路上喫煙している人の数が驚くほど多く、その他のマナーにも不安がある人が多い。今後の子育てを考えると不安である。(女性、30～34歳、会社員、葛飾)

女性にとって朝晩の治安が良くない。自宅のまわりにコンビニがない。勤務先が都内なので、都内に引っ越す予定。(男性、25～29 歳、会社員、葛飾)

e. 買い物利便性の悪さ

駅のまわりにスーパーがないなど生活しにくいので引っ越したい。(女性、25～29 歳、会社員、本町)

大手百貨店が近くにないので東京まで出なければならない。三陸あたりの海産物ばかりしかスーパーの店頭に並ばない。(女性、35～39 歳、アルバイト・パート、習志野台)

f. 子育て・教育環境の悪さ

保育園に入れない。千葉市の場合は 3 歳から受け入れ人数が増えると聞いており、3 歳になったら仕事をする予定だったが、船橋市に引っ越してみると状況が違って困っている。(女性、30～34 歳、専業主婦（主夫）、前原)

子育て環境（自然、公園、歩道の整備）が他の都市に劣るから。(女性、45～49 歳、専業主婦（主夫）、新高根・芝山)

g. 住宅購入

いずれ住宅を購入する予定だが、船橋は広さの割に高く、価格で考えれば駅遠、狭めとなりそう。それならあと 10 分電車に乗っても、駅近・広めを探したいし、探せると思う。(女性、30～34 歳、会社員、本町)

習志野市津田沼にマンションを購入したので転居予定です。福祉は船橋市の方が良いので残念ですが…。(女性、30～34 歳、会社員、前原)

h. 公共交通の利便性の悪さ

以前住んでいた地域の方が公通の便、日常生活の利便性等がよかったため、また戻ろうと考えている。スーパーの品物や電車賃等も若干高い。(男性、18～19 歳、学生、豊富)

バスや電車の時刻が少ない。車がないと住みづらい。外灯が少なく夜も危ない。(女性、25～29 歳、アルバイト・パート、八木ケ谷)

i. 自然豊かな環境に住みたい

定年を向えたら自然が多いところに転居したい。(女性、50～54 歳、アルバイト・パート、葛飾)

将来的には田舎で暮らしたい。(女性、25～29 歳、アルバイト・パート、習志野台)

j. その他

地盤が悪い。起伏が激しい土地・道路が整備されていないので防災にも弱い。(男性、40～44 歳、会社員、前原)

東京都内に住みたいため。(男性、25～29 歳、会社員、新高根・芝山)

(12) 船橋市のまちづくりへの自由意見

船橋市の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(F A)

本アンケートでは、船橋市の今後のまちづくりに関する意見として 381 件の意見が寄せられた(図表 167)。

カテゴリー別の件数及び主な意見は以下の通り。

図表 167 船橋市の今後のまちづくりに関する意見(カテゴリー別件数)

カテゴリー	件数
道路環境	182
子育て	36
社会インフラ	35
公共交通	35
治安・マナー	33
教育・文化	10
その他	50
合 計	381

1) 道路環境

道が狭いうえに車の交通量が多いので電柱の地中下など少しでも人と車が安全にすれ違えるようにしてもらいたい。(女性、30～39 歳、専業主婦(主夫)、前原)

安全に歩ける歩道がない道路が多いのが残念です。家の近くの道は、トラックなど頻繁に通りますが、歩道が狭すぎて歩けない時があります。特に子供と一緒に時は危険を感じます。船橋市は便利で住みやすいので、道路事情が改善されればと願っています。(女性、35～39 歳、専業主婦(主夫)、葉園台)

県道の木下街道は交通量が多いのに、自転車も多く、歩行者にとってとても危険を感じる。雨の日は大きな水たまりができていて、車が通ると水がかかることもある。朝、救急車が通れないこともあり、何とかなるといいと思う。(女性、25～29 歳、公務員、法典)

2) 子育て

一時保育を充実させて欲しいです。市の幼稚園がない分補助金を出す施設を増やして欲しいです。我が家は習志野市の園に通わせていますが補助金が出ないので不公平な気がします。(30～34 歳、専業主婦(主夫)、前原)

3歳の子供がいます。仕事を探そうとした時、子供を預けられる所がなかなか見つからなくて仕事もできず、保育園の申請も通りませんでした。一時預けのできる園をもっと増やして頂けると、みなさん助かると思います。(女性、30～34 歳、アルバイト・パート、習志野台)

先日、子育て支援センターを利用したのですが、決まり事がこまかくて驚きました。「お菓子やジュースは持ち込み禁止」や「市外在住の人は使用できない」、「一時保育中はお茶(白湯)以外禁止」など。千葉市の子育て支援センターとのギャップが大きく、その後はあまり利用していません。(女性、35～39 歳、専業主婦(主夫)、高根台)

3) 社会インフラ

衣・食・住がそろった良い市だと思いますが、住む駅によってはスーパーが少なく、食品の購入に少し困ったり、帰り道が暗くて不安だったりします。また、市のイベント(祭りなど)を、もう少し周知していただけると行きやすくなると思います。(女性、25～29 歳、契約(派遣)社員、宮本)

公園が増えてほしいです。遊具も少なく子供を遊ばせる場が少ないです。本町通りは歩きやすいですが、自転車も多く、スピードを出す方が多いので子供を歩かせるのに少し心配です。(女性、30～34 歳、専業主婦(主夫)、本町)

街や人口の規模に対して、図書館や公民館、児童館の整備などのハード面が不足していると思います。(女性、40～44 歳、専業主婦(主夫)、夏見)

4) 公共交通

他市にあるような 100 円程度で乗車できるコミュニティバスも、交通の便が良くない地域に通して欲しいです。ご高齢の方も気軽に外出できるようになると良いと思います。(男性、30～34 歳、会社員、三咲)

東葉高速鉄道の異常な高さもあり気軽に電車を使えない。(男性、18～24 歳、学生、坪井)

外国からの来客が帰国する際に、成田に行くため、早朝6時に駅までタクシーを依頼したら7、8社に全部断られました。荷物を持って駅まで歩きました。(55～59 歳、専業主婦(主夫)、夏見)

5) 治安・マナー

空き家を減らして下さい。見栄えも治安の面でも良くない。(男性、25～29 歳、会社員、三山・田喜野井)

歩きたばこやゴミのばい捨てが多く、非常に迷惑しています。取り締まりの強化をして欲しいです。(女性、25～29 歳、専業主婦(主夫)、湊町)

街全体が夜になると暗くなるのが、防犯上よくないと思います。私自身帰りが遅いので外灯をたくさんつけていただきたいと思います。(女性、25～29 歳、アルバイト・パート、三咲)

6) 教育文化

現在居住している住所から子供の中学校まで徒歩で往復1時間もかかる。自転車通学又は電車・バス通学を公に認めて欲しい。(女性、50～54 歳、アルバイト・パート、八木ヶ谷)

図書館には学習室を設置して欲しい。(男性、50～54 歳、会社員、葛飾)

身障者向けの教育、福祉サービスの充実や増設を望みます。(男性、40～44 歳、会社員、中山)

7) その他

日曜・祝日にも利用出来る、医療機関を増やしてほしいです。(男性、40～44 歳、会社員、大穴)

ゴミ出しに関して、時間制限がきびしい。仕事をもっていると時間までに帰宅できず、朝か前日夜に出すことになる 共稼ぎの方は大変だと思う。専業主婦を基準に決めたルールが多いのではないかと感じる。(男性、60～64 歳、会社員、新高根・芝山)

外国人がたくさん住んでいる町なので、外国人向けの相談所とか、日本語教室とかを設置したらいいかなと思います。(女性、25～29 歳、学生、中山)

調 査 票

Ⅰ 船橋市 結 婚 ・ 出 産 ・ 子 育 て に 関 す る 意 識 ・ 希 望 調 査

1. あなた自身のことについておうかがいします

(それぞれの設問の該当する番号に○印をつけてください。)

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	あなたのご年齢をご記入ください。 () 歳
③住所	住所をご記入ください。 船橋市 () (例：本町、宮本、薬園台、夏見町・・・)
④出身地	あなたがお生まれになった都道府県または国名をご記入ください。 ()
⑤転入の有無	1. 船橋市で生まれ、市内に住み続けている 2. 船橋市で生まれ、市外に出たが戻ってきた 3. 船橋市外で生まれ、就学・就職(転職含む)を機に転入してきた 4. 船橋市外で生まれ、「3」以外の理由(親の仕事等)で転入してきた
⑥居住形態	1. 一戸建て(持家) 2. 一戸建て(賃貸) 3. 集合住宅(持家) 4. 集合住宅(賃貸) 5. 社宅・独身寮 6. その他()
⑦世帯人数 (回答者含む)	1. 単身(あなた1人) 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
⑧同居者 (複数回答可)	1. 配偶者 2. 子ども(小学生以下) 3. 子ども(中学生以上) 4. 親 5. 兄弟・姉妹 6. 祖父母 7. 孫 8. いない(一人暮らし) 9. その他()
⑨職業	1. 農・漁業 2. 会社員 3. 公務員 4. 自営・自由業・経営者 5. アルバイト・パート 6. 契約(派遣)社員 7. 学生 8. 専業主婦(主夫) 9. 無職(年金生活を含む) 10. その他()
⑩勤務地・通学地	⑨で「1.」～「7.」とお答えになった方への質問 1. 船橋市内 2. 千葉県 3. 東京都 4. 神奈川県 5. 埼玉県 6. その他()
⑪勤務地・通学地までの所要時間	⑨で「1.」～「7.」とお答えになった方への質問 () 時間 () 分程度

2. 将来の居住動向などについておうかがいします

すべての方への質問

問 1 あなたは、5年後、船橋市外に居住している可能性がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 大いにある 2. ある程度ある 問2～3をお答えください

3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

ご結婚されている方は問4へ
独身の方は問16へお進みください

問1で「1. 大いにある」または「2. ある程度ある」とお答えになった方への質問

問2 船橋市から転居される見通しの理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 入学・進学	2. 就職	3. 転職
4. 転勤	5. 家業継承	6. 住宅事情
7. 生活環境上の理由	8. 通勤通学の便	9. 親と同近居
10. 結婚	11. 子育て環境上の理由	12. 健康上の理由
13. その他（ ）		

問1で「1. 大いにある」または「2. ある程度ある」とお答えになった方への質問

問3 船橋市から転居したい先（転居予定先）はどこですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。また、転居先として具体的にイメージされている市区町村がある方は、その市区町村名をご記入ください。

あてはまる番号に○をつけてください	市区町村名（ある場合のみご記入ください）
1. 千葉県内の他の市町村	
2. 東京都	
3. 神奈川県	
4. 埼玉県	
5. 上記1～4以外の都道府県	
6. 海外	
7. 具体的な場所は未定	

3. あなたの結婚の状況及び出産・子育ての意向等についておうかがいします

ご結婚されている方への質問

独身の方は問16にお進みください

問4 あなた方ご夫婦がご結婚されたのはご夫婦がそれぞれ何歳のときですか。

あなた	(歳)	配偶者の方	(歳)
-----	-----	-------	-----

ご結婚されている方への質問

問5 あなたの現在の結婚における初婚・再婚の別について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

1. 初婚である 2. 再婚である

ご結婚されている方への質問

問6 あなた方ご夫婦の現在のお子さんの人数について()内にご記入ください。

現在のお子さんの人数	() 人 いない場合は0を記入
------------	---------------------

ご結婚されている方への質問

問7 あなた方ご夫婦にとって、理想的なお子さんの数(現状や今後の予定ではなく理想の子ども数)は何人ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人以上()人
6. 子どもはいらない

ご結婚されている方への質問

問8 あなた方ご夫婦の今後持つつもりのお子さんの予定(現在妊娠中のお子さんも含めて)についておうかがいします。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1. (あと)1人生むつもり 2. (あと)2人生むつもり
3. (あと)3人生むつもり 4. (あと)4人以上生むつもり
5. (もう)生むつもりはない

ご結婚されている方への質問

問9 そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人以上（ ）人
6. 子どもは持たない

今後持つつもりのお子さんの数（問8の答）が1人以上の方への質問

それ以外の方は問 11 にお進みください

問 10 今後持つつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いでしょうか。以下のなかから、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 収入が不安定なこと
2. 自分や配偶者の仕事（勤めや家業）の事情
3. 家事・育児の協力者がいないこと
4. 保育所など子どもの預け先がないこと
5. 今いる子どもに手がかかること
6. 年齢や健康上の理由で子どもができないこと
7. その他（ ）
8. 持つつもりの子ども数を実現できない可能性は低い

持つつもりのお子さんの数（問9の答）が、理想的なお子さんの数（問7の答）より少ない方への質問

それ以外の方は問 12 にお進みください

問 11 今後持つつもりのお子さんの数が、理想的なお子さんの数より少ないのはどうしてですか。以下の理由のなかから、あてはまるものすべてに○印をつけ、そのなかで最も重要な理由には◎をつけてください。

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
4. 高年齢で生むのはいやだから
5. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
6. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. ほしいけれどもできないから
10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
11. 配偶者が望まないから
12. 末子が定年退職までに成人してほしいから
13. その他（ ）

お子さんがいる方への質問

お子さんがいらっしゃる方は問 15 にお進みください

- 問 12** あなた方ご夫婦のお子さんが 3 歳になるまでの間（3 歳未満の場合は現在）について、①ご夫婦いずれかの親世帯と同居していましたか。また、同別居とは別に、②子育ての手助けはありましたか。あてはまるものをそれぞれ選んで番号に○印をつけてください（複数のお子さんがいる場合は、第 1 子についてお答えください）。

①居住の形態	1. 同居	2. 同じ市区町村内で別居
	3. それ以外の地域で別居	4. 同居できる環境ではなかった
②子育ての手助け	1. ほぼ毎日あった	2. 週に 1～3 日程度あった
	3. 月に数日程度あった	4. ほとんどなかった

お子さんがいる方への質問

- 問 13** あなた方ご夫婦のお子さんを出産、子育てするにあたり、ご夫婦と親世帯の住居はどのような形態が望ましい、または望ましかったと思いますか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. 同居	2. 近居（1 キロ以内）
3. 近居（同じ市区町村ならどこでも）	4. 同居も近居も望まない

お子さんがいる方への質問

- 問 14** 船橋市は、お子さんが安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. そう思わない	

ご結婚されている方への質問

- 問 15** あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。また、不妊治療のご経験はありますか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。

（1）不妊に関する悩みの有無（1 つだけに○）

1. 子どもができないことを心配したことはない	→ 問 20 へ
2. 過去に子どもができないのではないかと心配したことがある	→ 問 15（2）へ
3. 現在、子どもができないのではないかと心配している	

問 15 (1) で「2.」または「3.」とお答えになった方への質問

(2) 不妊治療の経験の有無 (1 つだけに○)

1. 心配したが、特に医療機関にかかったことはない
2. 過去に検査や治療を受けたことがある
3. 現在、検査や治療を受けている

結婚されている方は問 20 にお進みください

4. あなたの結婚や出産・子育ての意向等についておうかがいします。

独身の方への質問

問 16 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください(3 つまで)。

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性をまだ感じないから
3. 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
7. 異性とうまくつき合えないから
8. 結婚資金がたりないから
9. 結婚生活のための住居のめどが立たないから
10. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
11. その他 ()
12. すでに結婚が決まっている

独身の方への質問

問 17 あなたは、子どもは何人くらい欲しいですか。希望する子どもの人数について、あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. 子どもは持たない
2. 1 人
3. 2 人
4. 3 人
5. 4 人
6. 5 人以上 () 人

独身の方への質問

問 18 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のうちどちらですか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

1. いずれ結婚するつもり → **問 19 へ**

2. 一生結婚するつもりはない → **問 20 へ**

問 18で「1. いずれ結婚するつもり」とお答えになった方への質問

問 19 あなたが結婚したいと思うご自分の年齢について、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 24 歳未満 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50 歳以上 | |

5. あなたの地方への移住に関する意向等についておうかがいします。

すべての方への質問

問 20 政府は、地方創生のため、東京圏の一極集中是正を推進していますが、あなたは、地方に移住してみたいと思いますか。あなたのお考えに一番近いものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. そう思う | 2. 検討してみたい | → 問 21～22 へ |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない | → 問 23 へ |

問 20で「1. そう思う」、「2. 検討してみたい」とお答えになった方への質問

問 21 船橋市から地方へ移住するのは、どのタイミングが良いと思われますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| 1. 就職 | 2. 転職 | 3. 定年退職・早期退職 |
| 4. 結婚 | 5. 妊娠・出産 | 6. 子育て（就学前） |
| 7. 入学・進学 | 8. 子どもの独立 | 9. 子どもや孫との同居・近居 |
| 10. 親族の介護 | 11. 特にない | 12. その他（ ） |

問22 地方へ移住をしたい・検討してみたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 出身地であるから
2. 家族・親戚・知人など親しい人がいるから
3. 食べ物や水・空気がおいしいから
4. スローライフを実現したいから
5. 気候が暮らしやすいから
6. 健康的な生活がしたいから
7. 自分にあった生活スタイルを送りたいから
8. 趣味を楽しみたいから
9. 都心を離れたいから
10. 船橋市内では家を購入しづらいから
11. (現在の)生活コストが高いから
12. 暮らしてみたい街があるから
13. 子どもを自然の多い環境で育てたいから
14. 子育てがしやすい環境だから
15. 医療・福祉施設が充実しているから
16. 地域住民の人柄が良いから
17. 仕事と生活のどちらも充実させたいから
18. やりたい仕事があるから
19. 自分にあった仕事を得られないから
20. 家業を継ぐから
21. 農業をはじめたいから
22. あてはまるものはない
23. その他（ ）

すべての方への質問

問23 少子化、人口問題を考えるうえでの、結婚・出産・子育てのあり方や行政による支援について、ご意見などがございましたら以下の欄に自由にご記入ください。

[illegible]

160

II 転出入者アンケート調査

1. 転出者向けアンケート調査票

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢層をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 | 4. 30～34 歳 |
| 5. 35～39 歳 | 6. 40～44 歳 | 7. 45～49 歳 | 8. 50～54 歳 |
| 9. 55～60 歳 | 10. 60～64 歳 | 11. 65 歳以上 | |

問3 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1. 農・漁業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 |
| 4. 自営・自由業・経営者 | 5. アルバイト・パート | |
| 6. 契約（派遣）社員 | 7. 学生 | 8. 専業主婦（主夫） |
| 9. 無職（年金生活を含む） | 10. その他（ | ） |

問4 同居されているお子さんがいらっしゃる方は、お子さんについてお答えください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|--------------|--------|---------|
| 1. 就学前 | 2. 小学校 | 3. 中学校 | 4. 高等学校 |
| 5. 短大・大学・専門学校等 | 6. 社会人・アルバイト | | |
| 7. その他（ | | | ） |

問5 同居されている65歳以上の高齢者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6 船橋市にお住まいだった年数についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～14年 |
| 4. 15～19年 | 5. 20～24年 | 6. 25年以上 |

問7 あなたがお仕事をされている（学校に通っている）場合、現在の勤務先（通学先）について□のなかにご記入ください。

都道府県

--

市区町村

--

転出動向についておうかがいします

問 8 転出前の船橋市のご住所について□のなかにご記入ください。

船 橋 市

(例：本町、宮本、薬園台、夏見町・・・)

問 9 船橋市から転出後のご住所について□のなかにご記入ください。

都道府県

市区町村

問 10 船橋市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|---------------|------------|
| 1. 入学・進学 | 2. 就職 | 3. 転職 |
| 4. 転勤 | 5. 家業継承 | 6. 住宅事情 |
| 7. 生活環境上の理由 | 8. 通勤・通学の便 | 9. 親と同近居 |
| 10. 結婚 | 11. 子育て環境上の理由 | 12. 健康上の理由 |
| 13. その他 () | | |

問 11 転出前後の住居形態は、次のうちどれですか。

(1) 転出前 (○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 一戸建て (持家) | 2. 集合住宅 (持家) | 3. 一戸建て (賃貸) |
| 4. 集合住宅 (賃貸) | 5. 社宅・独身寮 | 6. その他 () |

(2) 転出後 (○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 一戸建て (持家) | 2. 集合住宅 (持家) | 3. 一戸建て (賃貸) |
| 4. 集合住宅 (賃貸) | 5. 社宅・独身寮 | 6. その他 () |

問 12 転出前後の家族構成は、次のうちどれですか。

(1) 転出前 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども (小学生以下)	3. 子ども (中学生以上)
4. 親	5. 兄弟・姉妹	6. 祖父母
7. 孫	8. いない (一人暮らし)	9. その他 ()

(2) 転出後 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども (小学生以下)	3. 子ども (中学生以上)
4. 親	5. 兄弟・姉妹	6. 祖父母
7. 孫	8. いない (一人暮らし)	9. その他 ()

問 13 船橋市と現在お住まいの市区町村を以下の項目について比べると、どちらが優れているとお考えですか。(○は各項目 1 つずつ)

	船橋市 が優れている	現在の市区町村が 優れている	わからない
住宅価格・家賃 (安さ)	1	2	3
交通の便	1	2	3
通勤・通学時間	1	2	3
買い物など日常生活の利便性	1	2	3
医療・福祉環境	1	2	3
子育て環境	1	2	3
教育環境	1	2	3
地域のコミュニケーション	1	2	3
道路などの都市基盤	1	2	3
治安の良さ	1	2	3
自然の豊かさ	1	2	3
親や子どもの家の近さ	1	2	3
まちのイメージ	1	2	3

問 14 転居にあたって、船橋市内でも住居を探しましたか。(○は 1 つ)

1. 船橋市内でも探した	2. 船橋市内では探さなかった
--------------	-----------------

問 15 現在お住まいの市区町村以外では、どの地域を検討されましたか。(最大 3 つ)

① 都道府県		市区町村	
② 都道府県		市区町村	
③ 都道府県		市区町村	

問 16 船橋市は住みやすかったですか。(○は一つ)

1. とても住みやすかった	2. やや住みやすかった
3. やや住みにくかった	4. とても住みにくかった
5. どちらでもない	

問 17 あなたが、船橋市に住みやすかった又は住みにくかったと考える点は何ですか。

A (住みやすかった点)、B (住みにくかった点) からあてはまるものを選んで番号に○印をつけてください (○はそれぞれ3つまで)。

A (住みやすかった点)	B (住みにくかった点)
1. 公共交通機関が便利である	1. 公共交通機関が不便である
2. 買い物・レジャー環境が充実している	2. 買い物・レジャー環境が充実していない
3. まちに賑わいを感じる	3. まちに賑わいが感じられない
4. 道路など生活インフラが整っている	4. 道路など生活インフラが整っていない
5. 子育てしやすい環境である	5. 子育てしづらい環境である
6. 教育環境が良い	6. 教育環境が悪い
7. 自然が豊かである	7. 自然が豊かではない
8. 親や子供等が近隣に住んでいる	8. 親や子供等が遠方に住んでいる
9. 知人・友人がいる	9. 知人・友人がいない
10. 文化・教育施設が充実している	10. 文化・教育施設が充実していない
11. 医療・介護・福祉が充実している	11. 医療・介護・福祉が充実していない
12. 職場や学校が近い	12. 職場や学校が遠い
13. 住宅価格・家賃が適当である	13. 住宅価格・家賃が高い
14. 防災・防犯体制が充実している	14. 防災・防犯体制に不安がある
15. その他 ()	15. その他 ()

すべての方への質問

問 18 機会があれば、また船橋市に住みたいと思われませんか。(○は1つ)

1. 住みたいと思う	2. 住みたいと思わない	3. わからない
------------	--------------	----------

問 19 船橋市の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

--

◆ 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 転入者向けアンケート調査票

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢層をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 | 4. 30～34 歳 |
| 5. 35～39 歳 | 6. 40～44 歳 | 7. 45～49 歳 | 8. 50～54 歳 |
| 9. 55～60 歳 | 10. 60～64 歳 | 11. 65 歳以上 | |

問3 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1. 農・漁業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 |
| 4. 自営・自由業・経営者 | 5. アルバイト・パート | |
| 6. 契約（派遣）社員 | 7. 学生 | 8. 専業主婦（主夫） |
| 9. 無職（年金生活を含む） | 10. その他（ | ） |

問4 同居されているお子さんがいらっしゃる方は、お子さんについてお答えください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|--------------|--------|---------|
| 1. 就学前 | 2. 小学校 | 3. 中学校 | 4. 高等学校 |
| 5. 短大・大学・専門学校等 | 6. 社会人・アルバイト | | |
| 7. その他（ | | | ） |

問5 同居されている65歳以上の高齢者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6 あなたがお仕事をされている（学校に通っている）場合、現在の勤務先（通学先）について□のなかにご記入ください。

都道府県

--

市区町村

--

問7 今回、船橋市に転入される前に、船橋市にお住まいの経験はありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

転入動向についておうかがいします

問8 現在の船橋市のご住所について□のなかにご記入ください。

船 橋 市

(例：本町、宮本、薬園台、夏見町・・・)

問9 船橋市への転入前のご住所について□のなかにご記入ください。

都道府県

市区町村

問10 船橋市に転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 入学・進学	2. 就職	3. 転職
4. 転勤	5. 家業継承	6. 住宅事情
7. 生活環境上の理由	8. 通勤・通学の便	9. 親と同近居
10. 結婚	11. 子育て環境上の理由	12. 健康上の理由
13. その他 ()		

問11 転入前後の住居形態は、次のうちどれですか。(○は1つずつ)

(1) 転入前

1. 一戸建て(持家)	2. 集合住宅(持家)	3. 一戸建て(賃貸)
4. 集合住宅(賃貸)	5. 社宅・独身寮	6. その他 ()

(2) 転入後(船橋市の住居形態)

1. 一戸建て(持家)	2. 集合住宅(持家)	3. 一戸建て(賃貸)
4. 集合住宅(賃貸)	5. 社宅・独身寮	6. その他 ()

問 12 転入前後の家族構成は、次のうちどれですか。

(1) 転入前 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども (小学生以下)	3. 子ども (中学生以上)
4. 親	5. 兄弟・姉妹	6. 祖父母
7. 孫	8. いない (一人暮らし)	9. その他 ()

(2) 転入後 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども (小学生以下)	3. 子ども (中学生以上)
4. 親	5. 兄弟・姉妹	6. 祖父母
7. 孫	8. いない (一人暮らし)	9. その他 ()

問 13 船橋市と以前お住まいの市区町村を以下の項目について比べると、どちらが優れているとお考えですか。(○は各項目 1 つずつ)

	船橋市 が優れている	以前の市区町村が 優れている	わからない
住宅価格・家賃 (安さ)	1	2	3
交通の便	1	2	3
通勤・通学時間	1	2	3
買い物など日常生活の利便性	1	2	3
医療・福祉環境	1	2	3
子育て環境	1	2	3
教育環境	1	2	3
地域のコミュニケーション	1	2	3
道路などの都市基盤	1	2	3
治安の良さ	1	2	3
自然の豊かさ	1	2	3
親や子どもの家の近さ	1	2	3
まちのイメージ	1	2	3

問 14 船橋市への転入される際に他市区町村でも住居を探しましたか。(○は 1 つ)

1. 他市区町村でも探した →	問 15~16 へ
2. 他市区町村では探さなかった →	問 16 へ

問 15 船橋市以外では、どの市区町村を検討されましたか。(最大 3 つ)

① 都道府県		市区町村	
② 都道府県		市区町村	
③ 都道府県		市区町村	

問 16 船橋市への転入を決めた理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 公共交通機関が便利である | 9. 知人・友人がいる |
| 2. 買い物・レジャー環境が充実している | 10. 文化・教育施設が充実している |
| 3. まちに賑わいを感じる | 11. 医療・介護・福祉が充実している |
| 4. 道路など生活インフラが整っている | 12. 職場・学校が近い |
| 5. 子育てがしやすい環境である | 13. 住宅価格・家賃が適当である |
| 6. 教育環境が良い | 14. 防災・防犯体制が充実している |
| 7. 自然が豊かである | 15. その他 () |
| 8. 親や子ども等が近隣に住んでいる | |

問 17 船橋市は住みやすいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. とても住みやすい | 2. やや住みやすい | 3. やや住みにくい |
| 4. とても住みにくい | 5. どちらでもない | |

問 18 今後も船橋市に住み続けたいと思われますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 現在の住宅にこれからも住み続けたい | } 問 20 へ |
| 2. 将来、転居するかもしれないが、その時も船橋市内に住みたい | |
| 3. 将来は船橋市外に引っ越したい → | 問 19 へ |
| 4. わからない → | 問 20 へ |

問 19 船橋市外に引っ越したい理由についてご記入ください。

問 20 船橋市の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◆ 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(基礎調査報告書)

平成27年10月

船 橋 市

発 行 船橋市企画財政部政策企画課

住 所 〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号

電 話 047-436-2932

調査委託先 株式会社 ちばぎん総合研究所